

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第4778382号
(P4778382)

(45) 発行日 平成23年9月21日 (2011.9.21)

(24) 登録日 平成23年7月8日 (2011.7.8)

(51) Int.Cl.	F 1
A 6 3 F 7/02 (2006.01)	A 6 3 F 7/02 3 2 8
G 0 6 Q 50/00 (2006.01)	A 6 3 F 7/02 3 5 2 F
	G 0 6 F 17/60 1 4 6 Z

請求項の数 7 (全 135 頁)

(21) 出願番号	特願2006-242061 (P2006-242061)	(73) 特許権者	000144153
(22) 出願日	平成18年9月6日 (2006.9.6)		株式会社三共
(65) 公開番号	特開2008-61770 (P2008-61770A)		東京都渋谷区渋谷三丁目29番14号
(43) 公開日	平成20年3月21日 (2008.3.21)	(74) 代理人	100093687
審査請求日	平成19年9月25日 (2007.9.25)		弁理士 富崎 元成
		(74) 代理人	100106770
			弁理士 円城寺 貞夫
		(74) 代理人	100107951
			弁理士 山田 勉
		(72) 発明者	鷲尾 芳輝
			東京都渋谷区渋谷3-28-13 渋谷新
			南口ビル 日本ゲームカード株式会社内
		(72) 発明者	城谷 龍弥
			東京都渋谷区渋谷3-28-13 渋谷新
			南口ビル 日本ゲームカード株式会社内
			最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 管理システム及び管理装置

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

店舗での取引処理に使用可能な記録媒体を所有する所有者の操作により、当該記録媒体を個々に識別可能な記録媒体識別情報を含む登録要求を送信する登録要求送信手段を備える操作端末と、

前記登録要求を受信したことに基づいて、該受信した登録要求に含まれる記録媒体識別情報を登録し、該登録した記録媒体識別情報である既登録記録媒体識別情報に対応付けて、前記記録媒体を使用した前記店舗での取引処理に関連して発生する取引関連情報を記憶する取引関連情報記憶手段を備える管理装置と、

を含む管理システムであって、

前記操作端末は、前記既登録記録媒体識別情報が記録された記録媒体に代えて新たな記録媒体の再発行を受けた前記所有者の操作により、該新たな記録媒体の記録媒体識別情報である新記録媒体識別情報と、前記既登録記録媒体識別情報とを含む引き継ぎ要求を前記管理装置に対して送信する引き継ぎ要求送信手段を備え、

前記管理装置は、

前記引き継ぎ要求を受信したことに基づいて、該受信した引き継ぎ要求に含まれる新記録媒体識別情報が前記取引関連情報記憶手段で登録されていない未登録記録媒体識別情報であるか否かを判定する登録判定手段と、

該登録判定手段により未登録記録媒体識別情報であると判定されたことを条件として、前記受信した引き継ぎ要求に含まれる既登録記録媒体識別情報に対応付けられている取引

10

20

関連情報を、該引き継ぎ要求に含まれる新記録媒体識別情報に対応付ける引き継ぎ処理を行う引き継ぎ処理手段と、を備えることを特徴とする管理システム。

【請求項 2】

請求項 1 に記載した管理システムであって、

前記操作端末は、複数の記録媒体識別情報を含む合算要求を前記管理装置に対して送信する合算要求送信手段をさらに備え、

前記管理装置は、

複数の各記録媒体識別情報に対応する各取引関連情報を合算するための合算条件を設定する合算条件設定手段と、

前記合算要求を受信したことに基づいて、該受信した合算要求に含まれる複数の記録媒体識別情報が前記合算条件設定手段により設定した合算条件を満たすか否かを判定する合算条件判定手段と、

該合算条件判定手段により合算条件を満たすと判定されたことを条件として、前記受信した合算要求に含まれる各記録媒体識別情報に対応付けて登録する登録手段と、

該登録手段により対応付けて登録した各記録媒体識別情報に対応する各取引関連情報を合算する合算処理を行う合算処理手段と、をさらに備えることを特徴とする管理システム。

10

【請求項 3】

請求項 2 に記載した管理システムであって、

前記合算条件設定手段は、前記受信した合算要求に含まれる各記録媒体識別情報が記録された各記録媒体の発行店舗が異なることを前記合算条件として設定することを特徴とする管理システム。

20

【請求項 4】

請求項 2 又は 3 に記載した管理システムであって、

前記管理装置は、複数の店舗が属するグループを設定するグループ設定手段をさらに備え、

前記合算条件設定手段は、前記受信した合算要求に含まれる各記録媒体識別情報が記録された各記録媒体の発行店舗が前記グループ設定手段により設定された同一グループに属することを前記合算条件として設定することを特徴とする管理システム。

30

【請求項 5】

請求項 2 ～ 4 のいずれか 1 つに記載した管理システムであって、

前記管理装置は、前記引き継ぎ要求を受信したことに基づいて、該受信した引き継ぎ要求に含まれる既登録記録媒体識別情報に対応付けて登録されている他の既登録記録媒体識別情報があるか否かを判定する対応付け判定手段をさらに備え、

該対応付け判定手段によりあると判定されたことを条件として、前記引き継ぎ処理手段により、前記引き継ぎ処理を行うと共に、前記登録手段により、前記引き継ぎ要求に含まれる新記録媒体識別情報を前記他の既登録記録媒体識別情報に対応付けて登録することを特徴とする管理システム。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 つに記載した管理システムであって、

前記引き継ぎ処理手段は、前記引き継ぎ処理として、前記既登録記録媒体識別情報に対応付けられている取引関連情報を、前記新記録媒体識別情報に対応付けると共に、該新記録媒体識別情報に対応付けられている取引関連情報と合算する処理を行うことを特徴とする管理システム。

40

【請求項 7】

店舗での取引処理に使用可能な記録媒体を所有する所有者が操作する操作端末から、当該記録媒体を個々に識別可能な記録媒体識別情報を含む登録要求を受信したことに基づいて、該受信した登録要求に含まれる記録媒体識別情報を登録し、該登録した記録媒体識別情報である既登録記録媒体識別情報に対応付けて、前記記録媒体を使用した前記店舗での取引処理に関連して発生する取引関連情報を記憶する取引関連情報記憶手段を備える管理

50

装置であって、

前記既登録記録媒体識別情報が記録された記録媒体に代えて新たな記録媒体の再発行を受けた前記所有者が操作する前記操作端末から、該新たな記録媒体の記録媒体識別情報である新記録媒体識別情報と、前記既登録記録媒体識別情報とを含む引き継ぎ要求を受信したことに基づいて、該受信した引き継ぎ要求に含まれる新記録媒体識別情報が前記取引関連情報記憶手段で登録されていない未登録記録媒体識別情報であるか否かを判定する登録判定手段と、

該登録判定手段により未登録記録媒体識別情報であると判定されたことを条件として、前記受信した引き継ぎ要求に含まれる既登録記録媒体識別情報に対応付けられている取引関連情報を、該引き継ぎ要求に含まれる新記録媒体識別情報に対応付ける引き継ぎ処理を行う引き継ぎ処理手段と、を備えることを特徴とする管理装置。

10

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、店舗での取引処理に使用可能な記録媒体の記録媒体識別情報を登録し、該記録媒体識別情報に対応付けて、当該記録媒体を使用した前記店舗での取引処理に関連して発生する取引関連情報（例えばポイント）を記憶する管理装置を含む管理システム及び当該管理装置に係り、特に既に登録されている既登録記録媒体識別情報が記録された記録媒体に代えて新たな記録媒体の再発行が行われた場合に、前記管理装置が、当該既登録記録媒体識別情報に対応付けられている取引関連情報を当該新たな記録媒体に記録された新記録媒体識別情報に対応付ける引き継ぎ処理を行うものに関する。

20

【背景技術】

【0002】

従来より、特許文献1に示すように、店舗（遊技場）において会員登録を行った会員に対して発行された記録媒体（会員カード）に記録されている記録媒体識別情報（会員ID）を含む登録要求を、当該会員が操作する情報端末（PC又は携帯電話）から受信し、該受信した登録要求に含まれる会員IDを登録するメール会員登録処理を行うと共に、該会員IDに対応付けて、会員の属性情報及び累計使用金額を管理し、該累計使用金額に応じたポイントを付与する統合管理装置が知られている。この統合管理装置では、会員が会員カードを紛失したり破損したりして、該会員カード（旧会員カード）に代えて新たな会員カード（新会員カード）の再発行が行われた場合に、旧会員IDと新会員IDとを含む引き継ぎ要求を、店舗に設けられた会員管理装置から受信すると、旧会員IDに対応付けられた情報を新会員IDに対応付ける引き継ぎ処理が行われる。

30

【0003】

【特許文献1】特開2006-141882号公報（図1，図11，図24，図37～図40，段落0338，0390）

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

しかしながら、特許文献1に示す統合管理装置では、メール会員登録処理については、会員が操作する情報端末から登録要求を受信したことに基づいて処理を行うにも拘わらず、引き継ぎ処理については、店舗に設けられた会員管理装置から引き継ぎ要求を受信したことに基づいて処理を行うので、該引き継ぎ処理を行うために、会員管理装置及び統合管理装置において引き継ぎ要求の送受信に伴うプログラムを組んだり、該送受信のための装置を設けたりする必要があり、そのためのコストがかかって費用対効果が低いという問題があった。

40

【0005】

本発明は、このような背景のもとになされたものであり、その目的は、記録媒体識別情報に対応付けて取引関連情報を管理する管理装置において、引き継ぎ処理を行うためのコストを低減することにある。

50

【課題を解決するための手段】

【0006】

本発明は、前記課題を解決するために、次のような手段を採る。なお後述する発明を実施するための最良の形態の説明及び図面で使用した符号を参考のために括弧書きで付記するが、本発明の構成要素は該付記したものには限定されない。

【0007】

まず請求項1に係る発明は、店舗（遊技場）での取引処理（玉貸処理）に使用可能な記録媒体（会員カード）を所有する所有者の操作により、当該記録媒体を個々に識別可能な記録媒体識別情報（会員カードID）を含む登録要求を送信する登録要求送信手段を備える操作端末（PC6、携帯電話7、カードユニット20、キオスク端末30）と、前記登録要求を受信したことに基づいて、該受信した登録要求に含まれる記録媒体識別情報を登録し、該登録した記録媒体識別情報である既登録記録媒体識別情報に対応付けて、前記記録媒体を使用した前記店舗での取引処理に関連して発生する取引関連情報（使用金額、ポイント）を記憶する取引関連情報記憶手段（ポイント会員情報DB）を備える管理装置（ポイント管理装置50）と、を含む管理システム（1）であって、前記操作端末は、前記既登録記録媒体識別情報が記録された記録媒体に代えて新たな記録媒体の再発行を受けた前記所有者の操作により、該新たな記録媒体の記録媒体識別情報である新記録媒体識別情報と、前記既登録記録媒体識別情報とを含む引き継ぎ要求を前記管理装置に対して送信する引き継ぎ要求送信手段を備え、前記管理装置は、前記引き継ぎ要求を受信したことに基づいて、該受信した引き継ぎ要求に含まれる新記録媒体識別情報が前記取引関連情報記憶手段で登録されていない未登録記録媒体識別情報であるか否かを判定する登録判定手段（制御部52）と、該登録判定手段により未登録記録媒体識別情報であると判定されたことを条件として、前記受信した引き継ぎ要求に含まれる既登録記録媒体識別情報に対応付けられている取引関連情報を、該引き継ぎ要求に含まれる新記録媒体識別情報に対応付ける引き継ぎ処理を行う引き継ぎ処理手段（制御部52）と、を備えることを特徴とする管理システムである。

また請求項7に係る発明は、店舗（遊技場）での取引処理（玉貸処理）に使用可能な記録媒体（会員カード）を所有する所有者が操作する操作端末（PC6、携帯電話7、カードユニット20、キオスク端末30）から、当該記録媒体を個々に識別可能な記録媒体識別情報（会員カードID）を含む登録要求を受信したことに基づいて、該受信した登録要求に含まれる記録媒体識別情報を登録し、該登録した記録媒体識別情報である既登録記録媒体識別情報に対応付けて、前記記録媒体を使用した前記店舗での取引処理に関連して発生する取引関連情報を記憶する取引関連情報記憶手段（ポイント会員情報DB）を備える管理装置（ポイント管理装置50）であって、前記既登録記録媒体識別情報が記録された記録媒体に代えて新たな記録媒体の再発行を受けた前記所有者が操作する前記操作端末から、該新たな記録媒体の記録媒体識別情報である新記録媒体識別情報と、前記既登録記録媒体識別情報とを含む引き継ぎ要求を受信したことに基づいて、前記既登録記録媒体識別情報が記録された記録媒体に代えて新たな記録媒体の再発行を受けた前記所有者が操作する前記操作端末から、該新たな記録媒体の記録媒体識別情報である新記録媒体識別情報と、前記既登録記録媒体識別情報とを含む引き継ぎ要求を受信したことに基づいて、該受信した引き継ぎ要求に含まれる新記録媒体識別情報が前記取引関連情報記憶手段で登録されていない未登録記録媒体識別情報であるか否かを判定する登録判定手段（制御部52）と、該登録判定手段により未登録記録媒体識別情報であると判定されたことを条件として、前記受信した引き継ぎ要求に含まれる既登録記録媒体識別情報に対応付けられている取引関連情報を、該引き継ぎ要求に含まれる新記録媒体識別情報に対応付ける引き継ぎ処理を行う引き継ぎ処理手段（制御部52）と、を備えることを特徴とする管理装置である。

【0008】

また請求項2に係る発明は、請求項1に記載した管理システム（1）であって、前記操作端末（PC6、携帯電話7、カードユニット20、キオスク端末30）は、複数の記録媒体識別情報（会員カードID）を含む合算要求（会員統合要求）を前記管理装置（ポイ

10

20

30

40

50

ント管理装置 50) に対して送信する合算要求送信手段をさらに備え、前記管理装置は、複数の各記録媒体識別情報(会員カード)に対応する各取引関連情報(使用金額、ポイント)を合算するための合算条件を設定する合算条件設定手段(制御部 52)と、前記合算要求を受信したことに基づいて、該受信した合算要求に含まれる複数の記録媒体識別情報が前記合算条件設定手段により設定した合算条件を満たすか否かを判定する合算条件判定手段(制御部 52)と、該合算条件判定手段により合算条件を満たすと判定されたことを条件として、前記受信した合算要求に含まれる各記録媒体識別情報を対応付けて登録する登録手段(制御部 52)と、該登録手段により対応付けて登録した各記録媒体識別情報に対応する各取引関連情報を合算する合算処理(統合処理)を行う合算処理手段(制御部 52)と、をさらに備えることを特徴とする管理システムである。

10

【0009】

また請求項 3 に係る発明は、請求項 2 に記載した管理システム(1)であって、前記合算条件設定手段(制御部 52)は、前記受信した合算要求(会員統合要求)に含まれる各記録媒体識別情報(会員カード ID)が記録された各記録媒体(会員カード)の発行店舗が異なることを前記合算条件として設定することを特徴とする管理システムである。

【0010】

また請求項 4 に係る発明は、請求項 2 又は 3 に記載した管理システム(1)であって、前記管理装置(ポイント管理装置 50)は、複数の店舗が属するグループを設定するグループ設定手段(ディスプレイ 54 及び入力装置 55)をさらに備え、前記合算条件設定手段(制御部 52)は、前記受信した合算要求(会員統合要求)に含まれる各記録媒体識別情報(会員カード ID)が記録された各記録媒体(会員カード)の発行店舗が前記グループ設定手段により設定された同一グループに属することを前記合算条件として設定することを特徴とする管理システムである。

20

【0011】

また請求項 5 に係る発明は、請求項 2 ～ 4 のいずれか 1 つに記載した管理システム(1)であって、前記管理装置(ポイント管理装置 50)は、前記引き継ぎ要求を受信したことに基づいて、該受信した引き継ぎ要求に含まれる既登録記録媒体識別情報に対応付けて登録されている他の既登録記録媒体識別情報があるか否かを判定する対応付け判定手段(制御部 52)をさらに備え、該対応付け判定手段によりあると判定されたことを条件として、前記引き継ぎ処理手段(制御部 52)により、前記引き継ぎ処理を行うと共に、前記登録手段(制御部 52)により、前記引き継ぎ要求に含まれる新記録媒体識別情報を前記他の既登録記録媒体識別情報に対応付けて登録することを特徴とする管理システムである。

30

【0012】

さらに請求項 6 に係る発明は、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 つに記載した管理システム(1)であって、前記引き継ぎ処理手段(制御部 52)は、前記引き継ぎ処理として、前記既登録記録媒体識別情報に対応付けられている取引関連情報(使用金額、ポイント)を、前記新記録媒体識別情報に対応付けると共に、該新記録媒体識別情報に対応付けられている取引関連情報と合算する処理を行うことを特徴とする管理システムである。

【発明の効果】

40

【0013】

まず請求項 1 に係る管理システム及び請求項 7 に係る管理装置によれば、管理装置において、既登録記録媒体識別情報が記録された記録媒体に代えて新たな記録媒体の再発行を受けた該記録媒体の所有者が操作する操作端末から引き継ぎ要求を受信したことに基づいて引き継ぎ処理が行われるので、該管理装置及び店舗に設けられる会員管理装置において引き継ぎ要求の送受信に伴うプログラムを組んだり、該送受信を行うための装置を設けたりする必要がなく、引き継ぎ処理を行うためのコストが低減される。また前記管理装置に登録されていない未登録の新記録媒体識別情報に対して引き継ぎ処理が行われるので、ある既登録記録媒体識別情報が記録された記録媒体の所有者が他人の記録媒体を拾って引き継ぎ要求を送信しても引き継ぎ処理が行われず、当該他人が損をしてしまうということが

50

ない。

【0014】

また請求項2に係る管理システムによれば、複数の各記録媒体識別情報が合算条件を満たすことを条件として、管理装置において、当該各記録媒体識別情報に対応する各取引関連情報を合算する合算処理が行われるので、当該各記録媒体識別情報が記録された複数の記録媒体を所有する所有者の利便性が向上する。

【0015】

また請求項3に係る管理システムによれば、合算要求に含まれる各記録媒体識別情報が記録された各記録媒体の発行店舗が異なる場合に限って、管理装置において合算処理が行われるので、記録媒体を紛失した者の取引関連情報が、該記録媒体を拾った他の者の取引関連情報と合算されてしまうおそれが低減し、該記録媒体を紛失した者が不利益を被るおそれを低減することができる。

10

【0016】

また請求項4に係る管理システムによれば、合算要求に含まれる各記録媒体識別情報が記録された各記録媒体の発行店舗が同一グループに属する場合に限って、管理装置において合算処理が行われるので、当該各記録媒体識別情報に対応する取引関連情報を合算して使用でき、グループ店での集客の向上に利用することができる。

【0017】

また請求項5に係る管理システムによれば、引き継ぎ要求に含まれる既登録記録媒体識別情報に対応付けて登録されている他の既登録記録媒体識別情報があれば、引き継ぎ要求に含まれる新記録媒体識別情報が当該他の既登録記録媒体識別情報に対応付けて登録されるので、当該他の既登録記録媒体識別情報と新記録媒体識別情報とを含む合算要求を送信する必要が無く、それら記録媒体識別情報が記録された複数の記録媒体を所有する所有者の利便性が向上する。

20

【0018】

さらに請求項6に係る管理システムによれば、管理装置において、新記録媒体識別情報に対応付けて取引関連情報が管理されている場合であっても、既登録記録媒体識別情報に対応付けられている取引関連情報と該新記録媒体識別情報に対応付けられている取引関連情報とが合算されるので、それら記録媒体識別情報が記録された複数の記録媒体を所有する所有者の利便性が向上する。

30

【発明を実施するための最良の形態】

【0019】

以下、本発明の実施の形態を、図面を参照して説明する。本発明に係る管理装置（ポイント管理装置50）は、店舗（遊技場）での取引処理（玉貸処理）に使用可能な記録媒体（会員カード）に記録されている当該記録媒体を個々に識別可能な記録媒体識別情報であると共に、各店舗において店舗会員として会員登録した会員を個々に識別可能な会員識別情報である会員カードIDを含む登録要求を、当該記録媒体の所有者が操作する操作端末（PC6、携帯電話7、カードユニット20、キオスク端末30）から受信し、図26（a）のポイント会員情報DBに示すように、該受信した登録要求に含まれる会員カードIDをポイント会員として登録すると共に、該会員カードIDに対応付けて、当該記録媒体を使用した前記店舗での取引処理に関連して発生する取引関連情報（使用金額、ポイント）を管理し、既に登録されている既登録会員カードIDが記録された記録媒体に代えて新たな記録媒体の再発行が行われた場合に、当該既登録会員カードIDに対応付けられた取引関連情報と当該新たな記録媒体に記録された新会員カードIDとを対応付ける引き継ぎ処理を行うものであって、特に前記操作端末から、前記既登録会員カードIDと共に前記新会員カードIDを含む引き継ぎ要求を受信したことに基づいて、前記引き継ぎ処理を行うことを特徴とする。

40

【0020】

またポイント管理装置50は、複数の会員カードIDを含む合算要求（会員統合要求）を受信したことに基づいて、予め定められた合算条件を満たすことを条件として、合算要

50

求に含まれる各会員カード I D を対応付けて登録すると共に、各会員カード I D に対応する各取引関連情報を合算する合算処理（統合処理）を行うものである。

【0021】

さらにポイント管理装置 50 は、ユーザー（店舗会員）が操作する操作端末（P C 6，携帯電話 7，カードユニット 20，キオスク端末 30）から、店舗（遊技場）を特定可能な店舗特定情報（会員カード I D）を含む店舗情報要求（登録要求 A）を受信したことに基づいて、該受信した店舗情報要求に含まれる店舗特定情報から特定される店舗に関する店舗情報を操作端末に対して提供するものであり、特に図 4 の D 107 又は D 109，及び図 10 の D 204 又は D 207 に示すように、当該店舗が予め設定されたグループに属する場合には、該グループに属する他の店舗（グループ店）を認識可能なグループ店情報を操作端末に対して提供するものである。

10

【0022】

ここでポイント管理装置 50 及び該ポイント管理装置 50 を含むポイント管理システム 1 には、図 1～図 51 に示す第 1 実施形態と、図 52～図 53 に示すように、第 1 実施形態とは統合処理が異なる第 2 実施形態と、図 54～図 55 に示すように、第 1 実施形態とは引き継ぎ処理が異なる第 3 実施形態とが含まれる。ここで第 1 実施形態では、統合対象となる会員カード I D のいずれかが既にポイント会員として登録されていることを条件として統合処理が行われ、第 2 実施形態では、統合対象となる会員カード I D のすべてが既にポイント会員として登録されていることを条件として統合処理が行われる。また第 1 実施形態では、引き継ぎ先の新会員カード I D がポイント会員として登録されていないことを条件として引き継ぎ処理が行われ、第 3 実施形態では、引き継ぎ先の新会員カード I D がポイント会員として登録されているか否かに拘わらず引き継ぎ処理が行われる。

20

【0023】

以下においては、まず第 1 実施形態に係るポイント管理装置 50 を含むポイント管理システム 1 について説明し、次に第 2 実施形態に係るポイント管理装置 50 を含むポイント管理システム 1，及び第 3 実施形態に係るポイント管理装置 50 を含むポイント管理システム 1 について、第 1 実施形態と異なる点についてのみ説明し、最後に変形例について説明する。

【0024】

なお、以下においては、図 1 に示すように、店舗が遊技場であり、該店舗での取引処理が玉貸処理である例について説明する。ここで遊技場には、複数の第 1 遊技場（遊技場 A，遊技場 B，…），及び複数の第 2 遊技場（遊技場 X，遊技場 Y，…）が含まれ、これら各遊技場は、各遊技場（店舗）を個々に識別可能な店舗識別情報である店舗 I D により識別される。ここでの店舗 I D は、各遊技場に割り当てられたアルファベットであり、例えば遊技場 A（「A 店」とも称する。）であれば「A」，遊技場 X（「X 店」とも称する。）であれば「X」である。なお第 1 遊技場及び第 2 遊技場の数は特に限定されない。

30

【0025】

また、以下においては、リーダー／ライタを「R/W」，データベースを「DB」，ステップを「S」と略記する。さらに、以下においては、後述する図 26（a）に示すポイント会員情報 DB において、会員カード I D，暗証番号，及び属性情報（少なくとも性別及び生年月日）がポイント会員として登録されていることを「既登録（又は登録済）」と称し、それらが登録されていないことを「未登録」と称する。

40

【0026】

[1. 第 1 実施形態に係るポイント管理装置 50 を含むポイント管理システム 1]

まず、図 1～図 48 を参照して、第 1 実施形態に係るポイント管理装置 50 を含むポイント管理システム 1 の構成について説明する。このポイント管理システム 1 は、図 1 に示すように、第 1 遊技場（A，B，…）においてパチンコ機 10 に対応して設けられるカードユニット 20 と、第 1 遊技場に設置されるキオスク端末 30 と、第 1 遊技場に設置され、カードユニット 20 と通信可能なシステム管理装置 40 と、カードユニット 20 及びシステム管理装置 40 と通信可能な第 1 会員管理装置 100 と、第 2 遊技場（X，Y，…）

50

においてパチンコ機 10 に対応して設けられるカードユニット 20 と、第 2 遊技場に設置されるキオスク端末 30 と、第 2 遊技場に設置され、カードユニット 20 と通信可能なシステム管理装置 40 と、遊技場外のカード会社に設置され、各第 1 遊技場のシステム管理装置 40 及び各第 2 遊技場のシステム管理装置 40 と転送装置 70 を介して通信可能なポイント管理装置 50 と、からなる。

【0027】

このポイント管理装置 50 は、会員が所持している情報端末である PC（パーソナルコンピュータ）6 及び携帯電話 7、並びに遊技場に設置される店舗端末であるカードユニット 20 及びキオスク端末 30（以下「登録端末」と総称する。）と、インターネットを介して通信可能である。これら登録端末は、会員であるユーザー（即ち記録媒体である会員カードの所有者）が操作可能な操作端末である。またポイント管理装置 50 は、会員カードエンコード機構に設置されるエンコード情報管理装置 60 と通信可能である。なお第 2 遊技場内には、カードユニット 20 と通信可能な第 2 会員管理装置 200 が設置されている。

10

【0028】

ポイント管理システム 1 を運営するカード会社は、遊技に使用可能な遊技用有価価値の大きさを特定可能な有価価値特定情報（第 1 会員カード ID、カード残額、第 2 会員カード ID、カード残額）が記録された記録媒体（第 1 会員カード 4、第 2 会員カード 5）を管理する機関である。該ポイント管理システム 1 の運営機関であるカード会社は、当該カード会社が運営する会員管理システム（第 1 システム）の会員として第 1 遊技場（A、B、…）において会員登録した第 1 会員遊技者に対して発行され、該カード会社において当該第 1 会員遊技者を個々に特定するための第 1 会員遊技者特定情報（第 1 会員 ID）と、前記有価価値特定情報（第 1 会員カード ID、カード残額）とが記録された第 1 記録媒体（第 1 会員カード 4）、及び、該ポイント管理システム 1 とは異なる運営機関（他社）により運営される他の会員管理システム（第 2 システム）の会員として第 2 遊技場において会員登録した第 2 会員遊技者に対して発行され、該他の会員管理システムの運営機関において当該第 2 会員遊技者を個々に特定するための他システム会員遊技者特定情報（他システム会員 ID）と、前記ポイント管理システム 1 の運営機関において当該第 2 記録媒体（第 2 会員カード 5）を個々に識別するための情報であると共に、前記有価価値特定情報である第 2 記録媒体識別情報（第 2 会員カード ID、カード残額）とが記録された第 2 記録媒体を管理するポイント管理システム 1 を運営する機関である。

20

30

【0029】

ここで、第 1 遊技場に設置されるカードユニット 20、キオスク端末 30、システム管理装置 40、及び第 1 会員管理装置 100 と、第 2 遊技場に設置されるカードユニット 20、キオスク端末 30、及びシステム管理装置 40 と、管理センタに設置される転送装置 70 と、カード会社に設置されるポイント管理装置 50 と、会員カードエンコード機構に設置されるエンコード情報管理装置 60 は、ポイント管理システム 1 及び会員管理システム（第 1 システム）を運営する運営機関であるカード会社が設置・管理するものである。一方、第 2 遊技場に設置される第 2 会員管理装置 200 は、ポイント管理システム 1 とは異なる会員管理システム（第 2 システム）を運営する運営機関である他社（図示外）が設置・管理するものである。

40

【0030】

このポイント管理システム 1 では、図 1 及び図 9 に示すように、紙幣 2、硬貨 3、第 1 会員カード 4、第 2 会員カード 5、PC 6、及び携帯電話 7 が使用される。

【0031】

紙幣 2 は貨幣の一例であって、ここでは図 9（b）に示すように、1000 円紙幣、2000 円紙幣、5000 円紙幣、及び 10000 円紙幣の 4 種類が使用される。硬貨 3 も貨幣の一例であって、ここでは 500 円硬貨、及び 100 円硬貨の 2 種類が使用される。ただしカードユニット 20 において第 1 会員カード 4 が受け付けられているとき又はカードユニット 20 において第 2 会員カード 5 が受け付けられているとき（即ち後述する入金

50

処理が行われるとき)には、すべての金種の貨幣を使用できるが、カードユニット20において第1会員カード4が受け付けられていないとき又はカードユニット20において第2会員カード5が受け付けられていないとき(即ち後述するビジュタ玉貨処理が行われるとき)には、1000円紙幣、500円硬貨、及び100円硬貨のみを使用できる。

【0032】

第1会員カード4は記録媒体の一例であって、図2(a)に示すように、店舗(ここでは遊技場)での取引処理(ここでは玉貨処理)に使用可能なものであり、当該記録媒体を個々に識別可能な記録媒体識別情報(第1会員カードID)が記録されたものである。また記録媒体である第1会員カード4は、各店舗(ここでは第1遊技場)において店舗会員として会員登録した会員に対して発行され、当該会員を個々に識別可能な会員識別情報(第1会員カードID)を特定可能な第1会員特定情報(第1会員カードID及び第1会員ID)が磁氣的又は電氣的に記録されると共に、前記会員識別情報を特定可能な第2会員特定情報(第1会員カードID及び第1会員ID)が目視可能に記録されたものである。さらに第1会員カード4は第1記録媒体の一例でもあって、ポイント管理システム1と同一の運営機関(ここではカード会社)により運営される会員管理システム(ここでは第1システム)の会員として第1遊技場(A, B, …)において会員登録した第1会員遊技者に対して発行され、該ポイント管理システム1の運営機関において当該第1会員遊技者を個々に特定するための第1会員遊技者特定情報(第1会員ID)と、遊技機での遊技に使用可能な遊技用有価価値の大きさ(ここではカード残額)を特定可能な有価価値特定情報(ここでは第1会員カードID, カード残額)とが記録されたものである。

【0033】

この第1会員カード4は、長形状を呈するプラスチック製の薄板において、表面に形成された表示領域4aで、第2会員特定情報である第1会員カードID及び第1会員IDを目視可能に記録(ここでは印字)しており、内部に搭載されたICチップ4bで、第1会員特定情報である第1会員カードID及び第1会員IDとカード残額とを電氣的に記録しており、上部に形成された磁気ストライプ4cで、第1会員特定情報である第1会員IDを磁氣的に記録している、IC/磁気ハイブリッドカードである。

【0034】

ここで第1会員IDは、後述する図27(a)等に示すように、カード会社が運営する会員管理システム(第1システム)を導入している第1遊技場に対して発行されたことを示す数字(ここでは100番台の3桁の数字)と、該第1遊技場において会員登録した第1会員遊技者を個々に識別するための数字(ここではユニークな5桁の数字)の組み合わせからなるIDである。第1遊技場及びカード会社では、この第1会員IDによって第1会員遊技者を個々に特定可能である。

【0035】

また第1会員カードIDは、当該第1会員カード4を発行した第1遊技場の前記店舗ID(A, B, …)と、該第1遊技場において会員登録した第1会員遊技者を個々に識別するための数字(ここではユニークな5桁の数字)の組み合わせからなるIDである。即ち第1会員カードIDの所定箇所(ここでは先頭の1文字)には、当該第1会員カード4を発行した店舗の店舗IDが含まれるので、該第1会員カードIDは、店舗を特定可能な情報である。この第1会員カードIDは、ポイント管理システム1の運営機関であるカード会社において、当該第1記録媒体(第1会員カード4)及び当該第1記録媒体を所持する会員を個々に識別するための情報として作用する。また第1会員カードIDは、システム管理装置40の残額管理DB(図16(a))において、遊技用有価価値の大きさであるカード残額と対応付けて管理されるため、遊技用有価価値の大きさを特定可能な有価価値特定情報として作用する。

【0036】

これら第1会員カードIDと第1会員IDは、図27(a)のエンコード情報DBに示すように、ポイント管理装置50において1対1に対応付けて管理されており、カード会社においては、第1会員IDから第1会員カードIDを特定可能である。即ち第1会員カ

ードID及び第1会員IDは、会員識別情報である第1会員カードIDを特定可能な第1会員特定情報及び第2会員特定情報であり、情報端末であるPC6又は携帯電話7においては、第2会員特定情報として表示領域4aに記録されている第1会員カードIDが入力され、店舗端末であるカードユニット20においては、第1会員特定情報としてICチップ4bに記録されている第1会員カードIDが読み取られ、また第2会員特定情報として表示領域4aに記録されている第1会員カードIDが入力され、店舗端末であるキオスク端末30においては、第1会員特定情報として磁気ストライプ4cに記録されている第1会員IDが読み取られる。

【0037】

なお第1会員カード4に記録されているカード残額は、遊技に使用可能な遊技用有価価値の大きさであり、該カード残額自体を特定可能な有価価値特定情報でもある。即ち第1会員カード4に記憶されている上記第1会員カードID、及びカード残額は、いずれも有価価値特定情報である。

【0038】

この第1会員カード4は、以下のようにして発行される。まず第1会員管理装置100において、遊技者が希望する暗証番号と、該遊技者の属性情報（ここでは氏名、住所、性別、生年月日、及び電子メールアドレス）が受け付けられて会員登録が行われると、カード会社から第1遊技場に納入されている第1会員カード4のうちの1枚から、当該第1会員カード4に予め記録されている第1会員IDが読み取られ、該読み取った第1会員IDと前記受け付けられた暗証番号及び属性情報が、後述する図16（b）に示す第1会員情報DBに対応付けて記憶されると共に、ポイント管理装置50に対して送信されて、該第1会員カード4が遊技者に対して発行される。なおポイント管理装置50に対して送信された暗証番号は、第1会員ID及び第1会員カードIDと対応付けて、後述する図27（a）に示すエンコード情報DBで記憶されるが、属性情報（氏名、住所、性別、生年月日、及び電子メールアドレス）は、特に使用されずに破棄される。

【0039】

なお会員が第1会員カード4を紛失したり破損したりして、該第1会員カード4（旧会員カード）に代えて新たな第1会員カード4（新会員カード）の再発行が行われる場合には、まず遊技場の店員が、第1会員管理装置100の第1会員情報DB（図16（b））を検索して、該会員の属性情報に対応する旧会員カードの第1会員IDを特定し、該特定した第1会員IDをカード会社に対して送信する。次に該第1会員IDを受信したカード会社のオペレータは、ポイント管理装置50のエンコード情報DB（図27（a））を検索して、該第1会員IDに対応する旧会員カードの第1会員カードIDを特定し、該特定した第1会員カードIDを遊技場に対して返信する。そして該第1会員カードIDを受信した遊技場の店員は、該第1会員カードIDを記載した紙片を会員に手渡す。この紙片に記載された旧会員カードの第1会員カードIDは、後述する図11のD221に示すように、会員がカードユニット20又はキオスク端末30から引き継ぎ要求を送信する際に、該カードユニット20又はキオスク端末30において入力される。

【0040】

第2会員カード5も記録媒体の一例であって、図2（b）に示すように、店舗（ここでは遊技場）での取引処理（ここでは玉貸処理）に使用可能なものであり、当該記録媒体を個々に識別可能な記録媒体識別情報（第2会員カードID）が記録されたものである。また記録媒体である第2会員カード5は、各店舗（ここでは第2遊技場）において店舗会員として会員登録した会員に対して発行され、当該会員を個々に識別可能な会員識別情報（第2会員カードID）を特定可能な第1会員特定情報（第2会員カードID及び他システム会員ID）が磁氣的又は電氣的に記録されると共に、前記会員識別情報を特定可能な第2会員特定情報（第2会員カードID及び他システム会員ID）が目視可能に記録されたものである。さらに第2会員カード5は第2記録媒体の一例であって、ポイント管理システム1とは異なる運営機関（ここでは他社）により運営される他の会員管理システム（第2システム）の会員として第2遊技場（遊技場X、Y、…）において会員登録した第2会

10

20

30

40

50

員遊技者に対して発行され、該他の会員管理システムの運営機関において当該第2会員遊技者を個々に特定するための他システム会員遊技者特定情報（他システム会員ID）と、ポイント管理システム1の運営機関において当該第2記録媒体を個々に識別するための情報であると共に、前記有価価値特定情報である第2記録媒体識別情報（第2会員カードID、カード残額）とが記録されたものである。

【0041】

この第2会員カード5は、長形状を呈するプラスチック製の薄板において、表面に形成された表示領域5aで、第2会員特定情報である第2会員カードID及び他システム会員IDを目視可能に記録しており、内部に搭載されたICチップ5bで、第1会員特定情報である第2会員カードID及び他システム会員IDとカード残額とを電氣的に記録して

10

【0042】

ここで他システム会員IDは、後述する図27（a）等に応示するように、カード会社とは異なる他社が運営する会員管理システム（第2システム）を導入している第2遊技場に対して発行されたことを示す数字（ここでは200番台の3桁の数字）と、該第2遊技場において会員登録した第2会員遊技者を個々に識別するための数字（ここではユニークな5桁の数字）の組み合わせからなるIDである。第2遊技場及び前記他社では、この他システム会員IDによって第2会員遊技者を個々に特定可能である。

【0043】

また第2会員カードIDは、当該第2会員カード5を発行した第2遊技場の前記店舗ID（X、Y、…）と、該第2遊技場において会員登録した第2会員遊技者を個々に識別するための数字（ここではユニークな5桁の数字）の組み合わせからなるIDである。即ち第2会員カードIDの所定箇所（ここでは先頭の1文字）には、当該第2会員カード5を発行した店舗の店舗IDが含まれるので、該第2会員カードIDは、店舗を特定可能な情報である。この第2会員カードIDは、ポイント管理システム1の運営機関であるカード会社において、当該第2記録媒体（第2会員カード5）及び当該第2記録媒体を所持する会員を個々に識別するための情報として作用する。また第2会員カードIDは、システム管理装置40の残額管理DB（図16（a））において、遊技用有価価値の大きさであるカード残額と対応付けて管理されるため、遊技用有価価値の大きさを特定可能な有価価値特定情報として作用する。

20

30

【0044】

これら第2会員カードIDと他システム会員IDは、図27（a）のエンコード情報DBに応示するように、ポイント管理装置50において1対1に対応付けて管理されており、カード会社においては、他システム会員IDから第2会員カードIDを特定可能である。即ち第2会員カードID及び他システム会員IDは、会員識別情報である第2会員カードIDを特定可能な第1会員特定情報及び第2会員特定情報であり、情報端末であるPC6又は携帯電話7においては、第2会員特定情報として表示領域5aに記録されている第2会員カードID及び他システム会員IDの下4桁が入力され、店舗端末であるカードユニット20においては、第1会員特定情報としてICチップ5bに記録されている第2会員カードIDが読み取られ、また第2会員特定情報として表示領域5aに記録されている第2会員カードID及び他システム会員IDの下4桁が入力され、店舗端末であるキオスク端末30においては、第1会員特定情報として磁気ストライプ5cに記録されている他システム会員IDが読み取られる。

40

【0045】

なお第2会員カード5に記録されているカード残額は、遊技に使用可能な遊技用有価価値の大きさであり、該カード残額自体を特定可能な有価価値特定情報でもある。即ち第2会員カード5に記憶されている上記第2会員カードID、及びカード残額は、いずれも有価価値特定情報であることから、これら第2会員カードID及びカード残額の両方の情報を以て、前記第2記録媒体識別情報としても良い。

50

【0046】

この第2会員カード5は、以下のようにして発行される。まず第2会員管理装置200において、遊技者の属性情報（ここでは暗証番号、氏名、住所、性別、生年月日、及び電子メールアドレス）が受け付けられて会員登録が行われると、カード会社から第2遊技場に納入されている第2会員カード5のうちの1枚から、当該第2会員カード5に予め記録されている他システム会員IDが読み取られ、該読み取った他システム会員IDと前記受け付けられた属性情報が、後述する図16（c）に示す第2会員情報DBに対応付けて記憶されて、該第2会員カード5が遊技者に対して発行される。

【0047】

なお会員が第2会員カード5を紛失したり破損したりして、該第2会員カード5（旧会員カード）に代えて新たな第2会員カード5（新会員カード）の再発行が行われる場合には、まず遊技場の店員が、第2会員管理装置200の第2会員情報DB（図16（c））を検索して、該会員の属性情報に対応する旧会員カードの他システム会員IDを特定し、該特定した他システム会員IDをカード会社に対して送信する。次に該他システム会員IDを受信したカード会社のオペレータは、ポイント管理装置50のエンコード情報DB（図27（a））を検索して、該他システム会員IDに対応する旧会員カードの第2会員カードIDを特定し、該特定した第2会員カードIDを遊技場に対して返信する。そして該第2会員カードIDを受信した遊技場の店員は、該第2会員カードIDを記載した紙片を会員に手渡す。この紙片に記載された旧会員カードの第2会員カードIDは、後述する図11のD221に示すように、会員がカードユニット20又はキオスク端末30から引き継ぎ要求を送信する際に、該カードユニット20又はキオスク端末30において入力される。

【0048】

以上に説明したように、第1会員特定情報は、会員カードに磁氣的又は電氣的に記録されたものであり、第2会員特定情報は、会員カードに目視可能に記録されたものである。これら第1会員特定情報及び第2会員特定情報は、情報の記録の仕方で区別されるものであり、その情報自体は同じものであっても良い。なお、以下においては、第1会員カード4と第2会員カード5とを併せたものを、単に「会員カード」と称し、第1会員カードIDと第2会員カードIDとを併せたものを、単に「会員カードID」と称し、第1会員IDと他システム会員IDとを併せたものを、単に「会員ID」と称する。

【0049】

図1に戻り、PC6、携帯電話7は、会員が操作する登録端末及び会員が所持する情報端末の一例であって、電子メール送受信機能及びインターネット接続機能等を備える一般的なものである。

【0050】

このPC6、携帯電話7からは、第2会員特定情報（第1会員カードID又は第2会員カードID）、及び会員カードの発行時（即ち店舗での会員登録時）に登録された暗証番号（以下「登録時の暗証番号」と称する。）又は他システム会員IDの下4桁を含む第2登録要求Aと、第2会員特定情報（第1会員カードID又は第2会員カードID）、ポイント会員として登録する暗証番号（以下「登録する暗証番号」と称する。）、会員の属性情報（性別及び生年月日）、電子メールアドレス、及び店舗情報の提供を希望する店舗の店舗IDを含む第2登録要求Bが、インターネットを介して、ポイント管理装置50に対して送信される。以下においては、第2登録要求Aと第2登録要求Bとを併せたものを、単に「第2登録要求」と称する。ここで第2登録要求は、店舗を特定可能な店舗特定情報（ここでは第1会員カードID又は第2会員カードID）を含む店舗情報要求であり、また会員の電子メールアドレスと、店舗特定情報として会員識別情報（ここでは第1会員カードID又は第2会員カードID）を含む店舗情報要求である。

【0051】

このPC6又は携帯電話7から送信される第2登録要求A、Bには、会員が登録する会員カード（第1会員カード4又は第2会員カード5）を目視して入力した第2会員特定情

10

20

30

40

50

報が含まれる。また第2登録要求Bに含まれる属性情報は、氏名等のような、個人を特定可能な個人情報ではなく、個人を特定できない属性情報とされており、ここでは性別及び生年月日である。このように、個人を特定できない属性情報のみの登録を求めることにより、個人情報の登録を好まない会員がポイント会員として登録する際の抵抗感を少なくすることができると共に、後述するアンケートやイベント情報をポイント管理装置50から通知する際に、通知対象（ターゲット）となるポイント会員を有効に抽出することができる。

【0052】

またPC6、携帯電話7からは、複数の会員特定情報を含む会員統合要求が、インターネットを介して、ポイント管理装置50に対して送信される。この会員統合要求には、ポイント会員としてポイント管理装置50に新たに登録する会員識別情報を特定可能な会員特定情報と該ポイント管理装置50に既に登録されている会員識別情報を特定可能な会員特定情報とを含む第1の会員統合要求と、ポイント会員としてポイント管理装置50に既に登録されている複数の会員識別情報を特定可能な複数の会員特定情報を含む第2の会員統合要求とがある。このPC6、携帯電話7から送信される会員統合要求に含まれる会員特定情報は、会員が目視して入力した第2会員特定情報である。なお会員統合要求は、複数の記録媒体識別情報である会員カードIDを含む合算要求でもある。

【0053】

即ち、PC6、携帯電話7からは、図3～図5に示すように、ポイント管理装置50から配信されてきてディスプレイで表示されるポイント会員登録画面で入力された内容を含む第2登録要求、及び会員統合要求が送信される。

【0054】

具体的には、まず図3のD101に示すように、各店舗に掲示されているポイント会員の登録に関するポスターを見た当該店舗の会員が、PC6又は携帯電話7に備えられる図示しない操作キーを操作して、D102に示すように、該ポスターに掲載されている電子メールアドレス宛に電子メール（ここではタイトルや内容を入力していない、いわゆる空メール）を送信すると、該電子メールがインターネットを介してポイント管理装置50に対して送信される。この電子メールを受信したポイント管理装置50からは、該電子メールの送信元のPC6又は携帯電話7に対して、ポイント会員登録画面を表示するためのURLを含む電子メールが返信される。

【0055】

この電子メールを受信したPC6又は携帯電話7では、D103に示すように、該電子メールの内容がディスプレイに表示される。このD103で、会員が操作キーを操作して、表示されるURLをクリックしてポイント管理装置50にアクセスすると、該ポイント管理装置50からPC6又は携帯電話7に対して、D104に示すメニュー画面が配信されて、ディスプレイに表示される。このD104では、メニューを選択するためのボタンとして、「単独登録」ボタン、「統合登録」ボタン、及び「グループ店一覧」ボタンが表示される。

【0056】

このD104で、会員が操作キーを操作して、「単独登録」ボタンを操作すると、該単独登録が選択された旨が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信され、該ポイント管理装置50からPC6又は携帯電話7に対して、D105に示す画面が配信されて、ディスプレイに表示される。このD105では、ポイント会員として登録する会員カードの種類を選択するためのボタンとして、「第1会員カード」ボタン、及び「第2会員カード」ボタンが表示される。

【0057】

このD105で、第1会員カード4を所有している会員が操作キーを操作して、「第1会員カード」ボタンを操作すると、該第1会員カードボタンが選択された旨が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信され、該ポイント管理装置50からPC6又は携帯電話7に対して、図4のD106に示す画面が配信されて、ディスプレイに

10

20

30

40

50

表示される。このD106では、登録する第1会員カード4について、第1会員カードID、及び登録時の暗証番号の入力欄が表示される。

【0058】

このD106で、第1会員カード4を所有している会員が操作キーを操作して、当該第1会員カード4の表示領域4aに表示されている第2会員特定情報である第1会員カードIDと、登録時の暗証番号とを入力して「登録」ボタンを操作すると、該入力された第1会員カードIDが一時的に記憶されると共に、当該第1会員カードID、及び入力された暗証番号を含む第2登録要求Aが、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信され、該ポイント管理装置50からPC6又は携帯電話7に対して、D107に示す画面が配信されて、ディスプレイに表示される。

10

【0059】

このD107では、前記記憶している第1会員カードIDが表示されると共に、登録を希望する暗証番号（第1会員カード4の発行時に登録された暗証番号と異なっても良い）、及び属性情報である生年月日と性別の入力欄が表示され、かつD102で送信した空メールの送信元である電子メールアドレスが表示される。

【0060】

またD107では、前記記憶している第1会員カードIDから特定される店舗（ここではA店）がグループに属する（即ち当該店舗の店舗IDが図27（b）に示すグループDBで登録されている）場合には、当該店舗の店舗名と、該グループ（ここでは◎◎グループ）に属する他のグループ店であって当該店舗と同一地域（例えば東京都）に所在する店舗（ここではB店）の店舗名とが、店舗情報（ここではイベント情報を含む電子メール）の提供を希望する店舗の選択を受け付けるために表示される。なお図示しないが、前記記憶している第1会員カードIDから特定される店舗がグループに属さない（即ち当該店舗の店舗IDが図27（c）に示す店舗DBで登録されている）場合には、当該店舗の店舗名のみが、店舗情報の提供を希望する店舗の選択を受け付けるために表示される。

20

【0061】

一方、D105で、第2会員カード5を所有している会員が操作キーを操作して、「第2会員カード」ボタンを操作すると、該第2会員カードボタンが選択された旨が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信され、該ポイント管理装置50からPC6又は携帯電話7に対して、図4のD108に示す画面が配信されて、ディスプレイに表示される。このD108では、登録する第2会員カード5について、第2会員カードID、及び他システム会員IDの下4桁の入力欄が表示される。ここで他システム会員IDの全桁ではなく下4桁の入力を求めるのは、全桁の入力は会員にとって大変であると共に却って入力を間違える可能性が高くなる一方、下4桁が偶然に一致する確率はかなり低いいため、照合する桁数としては充分だからである。

30

【0062】

このD108で、第2会員カード5を所有している会員が操作キーを操作して、当該第2会員カード5の表示領域5aに表示されている第2会員特定情報である第2会員カードID及び他システム会員IDの下4桁を入力して「登録」ボタンを操作すると、該入力された第2会員カードIDが一時的に記憶されると共に、当該第2会員カードID、及び入力された他システム会員IDの下4桁を含む第2登録要求Aが、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信され、該ポイント管理装置50からPC6又は携帯電話7に対して、D109に示す画面が配信されて、ディスプレイに表示される。

40

【0063】

このD109では、前記記憶している第2会員カードIDが表示されると共に、登録を希望する暗証番号（第2会員カード5の発行時に登録された暗証番号と異なっても良い）、及び属性情報である生年月日と性別の入力欄が表示され、かつD102で送信した空メールの送信元である電子メールアドレスが表示される。

【0064】

またD109では、前記記憶している第2会員カードIDから特定される店舗（ここで

50

はX店)がグループに属する(即ち当該店舗の店舗IDが図27(b)に示すグループDBで登録されている)場合には、当該店舗の店舗名と、該グループ(ここでは◎◎グループ)に属する他のグループ店であって当該店舗と同一地域(例えば神奈川県)に所在する店舗(ここではC店)の店舗名とが、店舗情報(ここではイベント情報を含む電子メール)の提供を希望する店舗の選択を受け付けるために表示される。なお図示しないが、前記記憶している第2会員カードIDから特定される店舗がグループに属さない(即ち当該店舗の店舗IDが図27(c)に示す店舗DBで登録されている)場合には、当該店舗の店舗名のみが、店舗情報の提供を希望する店舗の選択を受け付けるために表示される。

【0065】

これらD107又はD109で、会員が操作キーを操作して、登録を希望する暗証番号と、属性情報である生年月日と性別とを入力し、かつ表示されている店舗名のうち、店舗情報の提供を希望する店舗名に対応するチェックボックスをチェックして、「登録」ボタンを操作すると、表示されている会員カードID(第1会員カードID又は第2会員カードID)と、入力された暗証番号及び属性情報と、表示されている電子メールアドレスと、チェックされたチェックボックスに対応する店舗の店舗IDとを含む第2登録要求Bが、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信される。ここで第2登録要求Bは、店舗情報の提供を希望する店舗を特定可能な情報(店舗ID)を含む返信情報でもある。

【0066】

図3に戻り、D104で、会員が操作キーを操作して、「統合登録」ボタンを操作すると、該統合登録が選択された旨が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信され、該ポイント管理装置50からPC6又は携帯電話7に対して、図5のD110に示す画面が配信されて、ディスプレイに表示される。このD110では、統合する会員カードの少なくとも1つがポイント会員として登録されている必要がある旨が表示されると共に、統合する会員カードの数を選択するためのボタンとして、「2つ」ボタン、「3つ」ボタン、及び「4つ」が表示される。

【0067】

このD110で、会員が操作キーを操作して、例えば「2つ」ボタンを操作すると、統合する会員カードの数が2つである旨が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信され、該ポイント管理装置50からPC6又は携帯電話7に対して、D111～D116に示す画面が配信されて一時的に記憶され、まずD111の画面がディスプレイに表示される。このD111では、既登録の会員カードについて会員カードID(第1会員カードID又は第2会員カードID)及び登録済の暗証番号の入力が求められると共に、該会員カードIDと暗証番号の入力欄が表示される。

【0068】

このD111で、会員が操作キーを操作して、会員カードの表示領域に表示されている会員カードIDと、登録済の暗証番号とを入力して「登録」ボタンを操作すると、該入力内容が一時的に記憶されると共に、前記記憶しているD112の画面がディスプレイに表示される。このD112では、統合する会員カードがポイント会員として登録済であるか否かを選択するためのボタンとして、「未登録」ボタン、及び「登録済」ボタンが表示される。

【0069】

このD112で、会員が操作キーを操作して、「未登録」ボタンを操作すると、統合する会員カードが未登録である旨が一時的に記憶されると共に、前記記憶しているD113の画面がディスプレイに表示される。このD113では、統合する会員カードの種類を選択するためのボタンとして、「第1会員カード」ボタン、及び「第2会員カード」ボタンが表示される。

【0070】

このD113で、第1会員カード4を所有する会員が操作キーを操作して、「第1会員カード」ボタンを操作すると、前記記憶しているD114の画面がディスプレイに表示さ

10

20

30

40

50

れる。このD114では、第1会員カードID及び登録時の暗証番号の入力欄が表示される。このD114で、第1会員カード4を所有している会員が操作キーを操作して、当該第1会員カード4の表示領域4aに表示されている第1会員カードIDと、登録時の暗証番号とを入力して「登録」ボタンを操作すると、D111で入力されて記憶している内容（即ち既登録の会員カードの会員カードID及び登録済の暗証番号）と、D114で入力された内容（即ち未登録の第1会員カード4の会員カードID及び登録時の暗証番号）とを含む第1の会員統合要求が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信される。ここで送信される会員統合要求には、未登録の会員カードIDと既登録の会員カードIDとを含むため、第1の会員統合要求である。

【0071】

一方、D113で、第2会員カード5を所有する会員が操作キーを操作して、「第2会員カード」ボタンを操作すると、前記記憶しているD115の画面がディスプレイに表示される。このD115では、第2会員カードID及び他システム会員IDの下4桁の入力欄が表示される。このD115で、第2会員カード5を所有している会員が操作キーを操作して、当該第2会員カード5の表示領域5aに表示されている第2会員カードID及び他システム会員IDの下4桁を入力して「登録」ボタンを操作すると、D111で入力されて記憶している内容（即ち既登録の会員カードの会員カードID及び登録済の暗証番号）と、D115で入力された内容（即ち未登録の第2会員カード5の会員カードID及び他システム会員IDの下4桁）とを含む第1の会員統合要求が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信される。ここで送信される会員統合要求には、未登録の会員カードIDと既登録の会員カードIDとを含むため、第1の会員統合要求である。

【0072】

前記D112で、会員が操作キーを操作して、「登録済」ボタンを操作すると、統合する会員カードが登録済である旨が一時的に記憶されると共に、前記記憶しているD116の画面がディスプレイに表示される。このD116では、既登録の会員カードについて会員カードID（第1会員カードID又は第2会員カードID）及び登録済の暗証番号の入力が求められると共に、該会員カードIDと暗証番号の入力欄が表示される。

【0073】

このD116で、会員が操作キーを操作して、会員カードの表示領域に表示されている会員カードIDと、登録済の暗証番号とを入力して「登録」ボタンを操作すると、D111で入力されて記憶している内容（即ち既登録の会員カードの会員カードID及び登録済の暗証番号）と、D116で入力された内容（即ち既登録の会員カードの会員カードID及び登録済の暗証番号）とを含む第2の会員統合要求が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信される。ここで送信される会員統合要求には、既登録の会員カードIDのみを含むため、第2の会員統合要求である。

【0074】

なおD110で、「3つ」ボタンが操作された場合には、D114、D115又はD116からもう一度D112に戻り、「4つ」ボタンが操作された場合には、さらにもう一度D112に戻り、該D112以降で入力された内容をさらに含む第1の会員統合要求又は第2の会員統合要求が送信される。ここでD112の選択時に、統合する各会員カードに対して、未登録である旨又は登録済である旨を記憶しているので、少なくとも1つの会員カードに対して未登録である旨が記憶されていれば、第1の会員統合要求が送信され、すべての会員カードに対して登録済である旨が記憶されていれば、第2の会員統合要求が送信される。

【0075】

即ち、PC6、携帯電話7から送信される会員統合要求には、会員が1枚目の会員カード（第1会員カード4又は第2会員カード5）を目視して入力した第2会員特定情報と、2枚目のカードを目視して入力した第2会員特定情報が少なくとも含まれ、これにより複数の会員特定情報が含まれることになる。なお3つの会員カードを統合する場合には、会員が3枚目のカードを目視して入力した第2会員特定情報がさらに含まれ、4つの会員

カードを統合する場合には、会員が4枚目のカードを目視して入力した第2会員特定情報がさらに含まれる。

【0076】

またPC6、携帯電話7からは、会員カードIDを含むグループ店一覧要求が、インターネットを介して、ポイント管理装置50に対して送信される。具体的には、図3のD104で、会員が操作キーを操作して、「グループ店一覧」ボタンを操作すると、該グループ店一覧が選択された旨が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信され、該ポイント管理装置50からPC6又は携帯電話7に対して、図6のD120に示す画面が配信されて、ディスプレイに表示される。このD120では、既登録の会員カード（第1会員カード4又は第2会員カード5）について、会員カードID（第1会員カードID又は第2会員カードID）の入力欄が表示される。

10

【0077】

このD120で、会員が操作キーを操作して、会員カードの表示領域に表示されている第2会員特定情報である会員カードIDを入力して「検索」ボタンを操作すると、該入力された会員カードIDを含むグループ店一覧要求が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信される。このグループ店一覧要求に応じて、該ポイント管理装置50からPC6又は携帯電話7に対して、D121に示す画面（グループ店一覧）が配信されてくるが、これについては後述する。

【0078】

なお図3～図6に示した各画面が表示されている状態で、図示しない「メニュー」ボタンを操作すると、メニュー表示要求が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信され、該ポイント管理装置50からPC6又は携帯電話7に対して、前記D104に示すメニュー画面が配信されて、ディスプレイに表示される。

20

【0079】

またPC6、携帯電話7からは、ポイント会員専用画面表示モードが実行されると、ログイン画面配信要求が、インターネットを介して、ポイント管理装置50に対して送信される。またPC6、携帯電話7からは、該ログイン画面配信要求に応じてポイント管理装置50から配信されてきたログイン画面（図45のD400-1）で入力された、ポイント会員として登録済の会員カードIDと暗証番号とを含むログイン要求が、インターネットを介して、ポイント管理装置50に対して送信される。ここでログイン要求は、後述する情報公開要求及び確認要求の一部である。このログイン要求に含まれる会員カードID（以下「ログインID」と称する。）は、ポイント会員として対応付けて登録されているいずれの会員カードIDであっても良い。

30

【0080】

またPC6、携帯電話7からは、前記ログイン要求に応じてポイント管理装置50から配信されてきたメニュー画面（図45のD401）に示される各ボタンの操作に応じて、ポイント確認・使用要求、登録情報の更新要求、グループ店一覧要求、グループ店追加情報要求、アンケート要求、イベント情報要求、当選情報要求、及び会員統合処理要求が、インターネットを介して、ポイント管理装置50に対して送信される。ここでポイント確認・使用要求、登録情報の更新要求、グループ店一覧要求、及びグループ店追加情報要求は、後述する情報公開要求の一部であり、アンケート要求、イベント情報要求、及び当選情報要求は、後述する確認要求の一部である。これらの要求に応じて、ポイント管理装置50からPC6又は携帯電話7に対して、図46～図48に示す画面が配信されてくるが、これについては後述する。

40

【0081】

ここでPC6又は携帯電話7において、図45のD400-1に示すログイン画面に会員カードID及び暗証番号が入力された状態で、該画面（URL）をブックマーク（お気に入り）に登録しておくと、該入力された会員カードID及び暗証番号がクッキーに記憶される。そして該登録されているブックマークを選択すると、クッキーに記憶されている会員カードID及び暗証番号が入力された状態でD400-1のログイン画面が表示され

50

、「ログイン」ボタンを操作すると、該ログイン画面に表示されている登録済の会員カードID（即ちログインID）と暗証番号とを含むログイン要求が、インターネットを介して、ポイント管理装置50に対して送信される。

【0082】

そしてPC6、携帯電話7からは、該ログイン要求に応じてポイント管理装置50から配信されてきたメニュー画面（図45のD401）に示される「カードの引き継ぎ」ボタンを操作すると、引き継ぎ処理要求が、インターネットを介して、ポイント管理装置50に対して送信される。この引き継ぎ処理要求に応じて、ポイント管理装置50からPC6又は携帯電話7に対して、図45のD405に示す画面が配信されて、ディスプレイに表示される。このD405では、前記ログイン画面に表示されていた登録済の会員カードID（即ちログインID）が、ポイントの引き継ぎ元である既登録の旧会員カードID（即ち紛失又は破損した会員カードである旧会員カードに記録されている会員カードID）として表示され、かつ前記ログイン画面に表示されていた登録済の暗証番号が表示されると共に、ポイントの引き継ぎ先である未登録の新会員カードID（即ち再発行された新会員カードに記録されている会員カードID）、及び登録する暗証番号の入力欄が表示される。

10

【0083】

このD405で、会員が操作キーを操作して、新会員カードの表示領域に表示されている新会員カードIDと、登録する暗証番号とを入力して「引き継ぎ」ボタンを操作すると、該D405で表示及び入力された内容（即ち登録済の旧会員カードID及び登録済の暗証番号と、未登録の新会員カードID及び登録する暗証番号）を含む引き継ぎ要求が、インターネットを介して、ポイント管理装置50に対して送信される。即ちPC6、携帯電話7からは、既登録記録媒体識別情報である旧会員カードID（以下「引き継ぎ元ID」とも称する。）と共に新記録媒体識別情報である新会員カードID（以下「引き継ぎ先ID」とも称する。）を含む引き継ぎ要求が、インターネットを介して、ポイント管理装置50に対して送信される。

20

【0084】

図1に戻り、前記パチンコ機10は遊技機の一例であって、カードユニット20に対応して設けられ、遊技媒体であるパチンコ玉を遊技領域に打ち込むことにより遊技を行うものであり、ここでは対応するカードユニット20との間でパチンコ玉の貸与に関する信号のやり取りが行われて玉貸処理（後述するビジュ玉貸処理及び会員カード玉貸処理）が行われる、いわゆるCR式のパチンコ機である。このパチンコ機10は、遊技場内に配置された遊技島（図示外）において該パチンコ機10の機種等に従って設置されている。

30

【0085】

このパチンコ機10は、図9（a）に示すように、その前面に遊技領域、上皿、下皿、及び発射ハンドル等を備えると共に、残度数表示器14、玉貸ボタン15、及びカード返却ボタン16を備え、図7及び図8に示すように、その内部に遊技制御基板11、払出制御基板12、及び玉払出装装置13等を備えており、これらの各構成要素は図7及び図8に示すように接続されている。

【0086】

遊技制御基板11は、パチンコ機10における遊技状態を制御するものである。払出制御基板12は、カードユニット20の後述する玉貸通信部21bと通信可能に接続され、パチンコ機10とカードユニット20との間における通信を司るものである。これにより、玉貸処理が行われる場合に、パチンコ機10とカードユニット20との間でパチンコ玉の貸出に関する信号のやり取りが行われる。また払出制御基板12は、玉払出装装置13と接続され、該玉払出装装置13を制御するものである。さらに払出制御基板12は、残度数表示器14、玉貸ボタン15、及びカード返却ボタン16とも接続されている。玉払出装装置13は、玉貸処理が行われて遊技者に貸し出されたパチンコ玉や、遊技の結果として遊技者に付与されるパチンコ玉（いわゆる賞球）を払い出すものである。

40

【0087】

50

残度数表示器 14 は、カードユニット 20 のカード R/W 25 にて受け付けている会員カード（第 1 遊技場では第 1 会員カード 4，第 2 遊技場では第 2 会員カード 5）に記録されているカード残額に相当する残度数を表示するための表示器である。ここで残度は、カード残額が所定の比率で変換されたもの（例えば 100 円＝1 度数）である。この残度数表示器 14 では、玉貸通信部 21b から残度数を示す度数表示信号が入力されることにより、残度数が表示される。

【0088】

玉貸ボタン 15 は、カードユニット 20 のカード R/W 25 にて受け付けている前記会員カードに記録されているカード残額を使用するための玉貸操作を受け付けるボタンである。この玉貸ボタン 15 が操作されたことにより、玉貸通信部 21b に貸出入力信号が入力され、該入力の検出によってカードユニット 20 のユニット制御部 22 が、玉貸ボタン 15 が操作された旨を認識する。

10

【0089】

カード返却ボタン 16 は、カードユニット 20 のカード R/W 25 にて受け付けている前記会員カードを遊技用装置外部に排出するための排出操作を受け付けるものである。このカード返却ボタン 16 が操作されたことにより、玉貸通信部 21b に返却入力信号が入力され、該入力の検出によってカードユニット 20 のユニット制御部 22 が、カード返却ボタン 16 が操作された旨を認識し、カード R/W 制御部 26 の制御により、カード R/W 25 にて受け付けている会員カードの排出制御が行われ、該会員カードがカード挿入口 25a から排出されて遊技者に返却される。

20

【0090】

このパチンコ機 10 において、玉払出装置 13 から払い出されたパチンコ玉は、上皿に供給され、発射ハンドルの操作により遊技領域の内部に打ち込まれて、遊技が行われる。そして該打ち込まれたパチンコ玉が、遊技領域に形成された入賞口に入賞すると、払出制御基板 12 から発せられる払出信号に基づいて、賞球として玉払出装置 13 からパチンコ玉が払い出されて、上皿又は下皿に供給される。また、このパチンコ機 10 からは、打ち込まれたパチンコ玉が始動入賞口に入賞した旨を示すスタート信号や、大当たりが発生した旨を示す大当たり信号等の遊技情報が出力される。

【0091】

以下、ポイント管理システム 1 の各構成要素について説明する。

30

【0092】

まず、図 7～図 9 を参照して、第 1 遊技場に設置される各装置（カードユニット 20，キオスク端末 30，システム管理装置 40，及び第 1 会員管理装置 100）と、第 2 遊技場に設置される各装置（カードユニット 20，キオスク端末 30，システム管理装置 40，及び第 2 会員管理装置 200）について説明する。

【0093】

図 7 に示す第 1 遊技場において、カードユニット 20 は、ハブ（図示外），中継器（図示外），及び通信ケーブル等を介して、システム管理装置 40 及び第 1 会員管理装置 100 と双方向のデータ通信可能に接続されており、各接続機器にはそれぞれローカル IP アドレスが付与されてローカルエリアネットワーク（LAN）が形成されている。また、前記システム管理装置 40 と第 1 会員管理装置 100 とは、個別の通信ケーブルを介して、比較的高速のデータ通信を実施可能に接続されている。

40

【0094】

また図 8 に示す第 2 遊技場において、カードユニット 20 は、ハブ（図示外），中継器（図示外），及び通信ケーブル等を介して、システム管理装置 40 及び第 2 会員管理装置 200 と双方向のデータ通信可能に接続されており、各接続機器にはそれぞれローカル IP アドレスが付与されてローカルエリアネットワーク（LAN）が形成されている。

【0095】

また第 1 遊技場及び第 2 遊技場に設置されるシステム管理装置 40 は、通信回線（ここでは専用線）を介して、管理センタに設置された転送装置 70 と双方向のデータ通信を実

50

施できるように接続されていて、管理センタでは、該転送装置 70 によって、各第 1 遊技場の第 1 会員カード 4 による売上や、システム管理装置 40 及びカードユニット 20 のエラー状況等を把握できるようになっている。

【0096】

次に、第 1 遊技場に設置されるカードユニット 20 について説明する。このカードユニット 20 は遊技用装置の一例であって、図 1 及び図 9 (a) に示すように、遊技場においてパチンコ機 10 に対応して（ここではパチンコ機 10 の左側に隣接して）設けられ、後述する玉貨処理（ビジュタ玉貨処理、会員カード玉貨処理）を行うものである。またカードユニット 20 は、会員であるユーザーが操作する登録端末（操作端末）及び店舗内に設置される店舗端末の一例である。このカードユニット 20 は、装置 ID により該カードユニット 20 を個々に識別可能とされている。

10

【0097】

このカードユニット 20 は、縦長の箱型の形状を呈するものであり、図 9 (a) に示すように、その前面に紙幣挿入口 23 a、硬貨挿入口 24 a、硬貨返却ボタン 24 b、タッチパネル式のディスプレイ 27、硬貨返却口 24 f、及びカード挿入口 25 a 等を備え、図 9 (b) に示すように、その内部に紙幣識別機 23、ユニット制御部 22、会員管理装置用通信部 21 a、玉貨通信部 21 b、硬貨識別機 24、カード R/W 25、及びカード R/W 制御部 26 等を備えており、これらの各構成要素は図 7 に示すように接続されている。

【0098】

20

会員管理装置用通信部 21 a は、ハブ（図示外）、中継器（図示外）、及び通信ケーブル等を介して、第 1 会員管理装置 100 の後述するユニット用通信部 101 a と通信可能に接続されており、カードユニット 20 と第 1 会員管理装置 100 との間における通信を司るものである。このカードユニット 20 から中継器に対して、カード R/W 25 により読み取った第 1 会員 ID が送信され、該第 1 会員 ID と対応付けて、パチンコ機 10 から該中継器に対して送信された遊技情報（大当たり信号、スタート信号等）が第 1 会員管理装置 100 に対して送信されることで、後述する図 16 (b) に示すように、第 1 会員管理装置 100 において、第 1 会員 ID に対応付けて、各第 1 会員遊技者の大当たり回数やスタート回数等の遊技情報を管理することができる。玉貨通信部 21 b は、前述の如く、パチンコ機 10 の払出制御基板 12 と接続されている。

30

【0099】

ユニット制御部 22 は、CPU、RAM、ROM、EEPROM等を備えており、ROM（あるいは EEPROM）に記憶されている処理プログラムが RAM を作業領域として CPU で実行されることにより、カードユニット 20 に備えられる各構成要素の動作を制御して各種の処理を行うものであるが、その機能については後述する。なお EEPROM には、前記装置 ID が記憶されている。

【0100】

紙幣識別機 23 は貨幣受付手段の一例であって、貨幣を受け付けるものであり、ここでは図 9 (b) に示すように、カード R/W 25 が第 1 会員カード 4 を受け付けていない状態、及びカード R/W 25 で受け付けている第 1 会員カード 4 に記録されているカード残額が零である状態（即ちここでは会員カード玉貨可能状態ではない状態）で、紙幣挿入口 23 a から挿入され搬送されてきた紙幣 2 を受け付けて、該受け付けた紙幣 2 が前記 4 種類の紙幣のうちのいずれの紙幣であるかを識別する（いずれの紙幣でもなければ正規の紙幣ではないと識別する）識別機である。

40

【0101】

この識別により、受け付けた紙幣が正規の紙幣 2（1000 円紙幣、2000 円紙幣、5000 円紙幣、10000 円紙幣）であれば、識別結果（識別された紙幣 2 に応じた入金金額）をユニット制御部 22 に出力する。なお識別が完了した正規の紙幣 2 は、紙幣通路 23 b を通じてカードユニット 20 の背面から外部に排出され、遊技場に設けられた紙幣搬送機構（図示外）により搬送されて、金庫（図示外）に回収される。なお、正規の紙幣

50

ではないと識別した場合には、受け付けた紙幣 2 を紙幣挿入口 2 3 a から返却する。

【0102】

硬貨識別機 2 4 も貨幣受付手段の一例であって、貨幣を受け付けるものであり、ここでは図 9 (b) に示すように、カード R/W 2 5 が第 1 会員カード 4 を受け付けていない状態、及びカード R/W 2 5 で受け付けている第 1 会員カード 4 に記録されているカード残額が零である状態（即ちここでは会員カード玉貸可能状態ではない状態）で、硬貨挿入口 2 4 a から投入され、硬貨通路 2 4 b を通じて搬送された硬貨 3 を受け付けて、該受け付けた硬貨 3 が前記 2 種類の硬貨のうちのいずれの硬貨であるかを識別する（いずれの硬貨でもなければ正規の硬貨ではないと識別する）識別機である。

【0103】

この識別により、受け付けた硬貨が正規の硬貨 3（100 円硬貨，500 円硬貨）であれば、識別結果（識別された硬貨 3 に応じた入金金額）をユニット制御部 2 2 に出力する。なお識別が完了した正規の硬貨 3 は、硬貨通路 2 4 c を通じてカードユニット 2 0 の背面から外部に排出され、遊技島に設けられた硬貨搬送機構（図示外）により搬送されて、金庫（図示外）に回収される。硬貨返却ボタン 2 4 e は、硬貨通路 2 4 b や硬貨識別機 2 4 において詰まった硬貨 3 の返却操作を受け付けるためのボタンであり、遊技者により硬貨返却ボタン 2 4 e が操作されると、該詰まった硬貨 3 が硬貨通路 2 4 d を通じて硬貨返却口 2 4 f に戻る。なお、正規の硬貨ではないと識別した場合には、受け付けた硬貨 3 を硬貨通路 2 4 d を通じて硬貨返却口 2 4 f から返却する。

【0104】

カード R/W 2 5 は記録媒体受付手段の一例であって、記録媒体（ここでは自店で発行された第 1 会員カード 4）を受け付けるものであり、図 9 (b) に示すように、カード挿入口 2 5 a から挿入された第 1 会員カード 4 を受け付けて、該第 1 会員カード 4 の IC チップ 4 b に記録されている第 1 会員特定情報である第 1 会員カード ID，第 1 会員 ID，及びカード残額を読み取ると共に、会員カード玉貸処理が行われたことに基づいて、該会員カード玉貸処理に使用された使用金額を減算した後のカード残額を第 1 会員カード 4 に記録する（書き込む）ものである。このカード R/W 2 5 は、前記第 1 会員カード 4 に対応した IC チップ R/W を備えている。

【0105】

カード R/W 制御部 2 6 は、カード R/W 2 5 が受け付けた第 1 会員カード 4 とのデータ送受を行う通信部や、カード R/W 2 5 の制御を行うコントローラ等を備えている。このカード R/W 制御部 2 6 は、図 7 に示すように、ユニット制御部 2 2 に接続されており、該ユニット制御部 2 2 との各種データの送受が実施可能とされている。

【0106】

またカード R/W 制御部 2 6 は、システム管理装置用通信部 2 6 a を備えている。このシステム管理装置用通信部 2 6 a は、ハブ，中継器，及び通信ケーブル等を介して、システム管理装置 4 0 のユニット用通信部 4 1 a に接続され、カードユニット 2 0 とシステム管理装置 4 0 とのデータ通信を実施可能とされている。なおカード R/W 制御部 2 6 から送信する情報には、該情報の送信元を特定可能なように、ユニット制御部 2 2 の EEPROM に記憶されている装置 ID が含まれる。

【0107】

ここでシステム管理装置用通信部 2 6 a は、カード R/W 2 5 により第 1 会員カード 4 から第 1 会員カード ID 及びカード残額が読み取られたときに、後述する図 1 8 に示すように、該読み取った第 1 会員カード ID 及びカード残額を含む使用許諾要求を、システム管理装置 4 0 に対して送信し（S 3 2）、該システム管理装置 4 0 から、第 1 会員カード ID とカード残額の照合結果を受信するものである。

【0108】

またシステム管理装置用通信部 2 6 a は、ユニット制御部 2 2 によりビジュア玉貸処理が行われたときに、図示しないが、該ビジュア玉貸処理に使用された金額（即ちここでは入金金額）を、システム管理装置 4 0 に対して送信するものである。ここで送信された金額（

10

20

30

40

50

ビジュア処理に使用された金額)は、各装置IDと対応付けてシステム管理装置40で管理される。

【0109】

またシステム管理装置用通信部26aは、ユニット制御部22により会員カード玉貨処理が行われたときに、後述する図18に示すように、前記読み取った第1会員カードIDと該会員カード玉貨処理に使用されたカード残額である使用金額を、システム管理装置40に対して送信するものである(S52)。

【0110】

またシステム管理装置用通信部26aは、ユニット制御部22により入金処理が行われたときに、後述する図17に示すように、前記読み取った第1会員カードIDと該入金処理に供された入金金額を、システム管理装置40に対して送信するものである(S12)。

10

【0111】

タッチパネル式のディスプレイ27は、カードユニット20の前面から突設されており、対応するパチンコ機10で遊技をする遊技者に向くように、各種の情報を表示するメッセージ表示領域27aと、各種の入力を受け付ける操作キー表示領域27bとを備えている。このディスプレイ27のメッセージ表示領域27aでは、図示しないが、カードR/W25が第1会員カード4を受け付けている状態で、該第1会員カード4の第1会員IDに対応付けて第1会員管理装置100で管理されている遊技情報(個人遊技情報)を閲覧可能であると共に、カードR/W25が第1会員カード4を受け付けていない状態であっても、個人遊技情報以外の遊技情報やテレビ画像を閲覧可能である。

20

【0112】

ここで前記ユニット制御部22の機能について説明する。まずユニット制御部22は、前記入金金額を使用したビジュア処理を行うものである。具体的には、カードR/W25により第1会員カード4が受け付けられていない状態で紙幣識別機23又は硬貨識別機24により紙幣2又は硬貨3が受け付けられて、該受け付けられて識別された貨幣の金額が所定額(ここでは1000円とする)以下であれば、該入金金額が入金残額としてユニット制御部22のRAMに記憶されて、パチンコ機10との間でパチンコ玉の貸出に関する信号のやり取りを行って、該入金残額に相当する度数分のパチンコ玉をパチンコ機10から払い出す処理を行う。これにより、第1会員カード4を所有しないビジュア遊技者であっても、パチンコ玉の貸出を受けてパチンコ機10による遊技をすることができる。

30

【0113】

またユニット制御部22は、前記カード残額を使用した会員カード玉貨処理を行うものである。具体的には、会員カード使用許諾情報を受信したことにより会員カード玉貨可能状態となり、玉貨ボタン15が操作されて貸出力信号が入力されたときに、第1会員カード4に記録されたカード残額と予め設定された玉貨設定金額(例えば500円)とを比較して、カード残額 $\geq$ 玉貨設定金額であれば該玉貨設定金額に相当する度数のパチンコ玉の払出を払出制御基板12に対して指示し、払出制御基板12が指示された度数分のパチンコ玉の払出を玉払出装置13により行う。一方、カード残額 $<$ 玉貨設定金額であれば該カード残額に相当する度数のパチンコ玉の払出を払出制御基板12に対して指示し、払出制御基板12が該指示された度数分のパチンコ玉の払出を玉払出装置13により行う。

40

【0114】

またユニット制御部22は、第1会員カード4に対する入金処理を行うものである。具体的には、カードR/W25によりカード残額が零である第1会員カード4が受け付けられている状態で紙幣識別機23又は硬貨識別機24により紙幣2又は硬貨3が受け付けられたときに、該受け付けられて識別された貨幣の金額をカード残額としてカードR/W制御部26及びカードR/W25により第1会員カード4に記録する処理を行う。

【0115】

またユニット制御部22は、ポイント会員登録画面配信要求を、カードユニット20のカードR/W制御部26、及びシステム管理装置用通信部26aと、システム管理装置4

50

0の後述するユニット用通信部41a, 制御部42, 及び外部通信部41dと、インターネットを介して（以下単に「インターネットを介して」と称する。）、ポイント管理装置50に対して送信するものである。

【0116】

またユニット制御部22は登録要求送信手段の一例であって、第1会員特定情報（第1会員カードID）、及び登録時の暗証番号を含む第1登録要求Aと、第1会員特定情報（第1会員カードID）、登録する暗証番号、及び会員の属性情報（性別及び生年月日）を少なくとも含み、会員により選択された場合には電子メールアドレス、及び店舗情報の提供を希望する店舗の店舗IDをさらに含む第1登録要求Bを、インターネットを介して、ポイント管理装置50に対して送信するものである。以下においては、第1登録要求Aと第1登録要求Bとを併せたものを、単に「第1登録要求」とも称する。ここで第1登録要求は、店舗を特定可能な店舗特定情報（ここでは第1会員カードID）を含む店舗情報要求であり、また会員の電子メールアドレスと、店舗特定情報として会員識別情報（ここでは第1会員カードID）を含む店舗情報要求である。

10

【0117】

このユニット制御部22から送信される第1登録要求A, Bには、カードR/W25が読み取った第1会員特定情報が含まれる。また第1登録要求Bに含まれる属性情報は、氏名等のような、個人を特定可能な個人情報ではなく、個人を特定できない属性情報とされており、ここでは性別及び生年月日である。

20

【0118】

またユニット制御部22は会員統合要求送信手段の一例であって、複数の会員特定情報を含む会員統合要求を、インターネットを介して、ポイント管理装置50に対して送信するものである。この会員統合要求には、前述した第1の会員統合要求及び第2の会員統合要求がある。このカードユニット20から送信される会員統合要求に含まれる会員特定情報は、カードR/W25が読み取った第1会員特定情報、及び会員が目視して入力した第2会員特定情報である。なお会員統合要求は、複数の記録媒体識別情報である会員カードIDを含む合算要求でもある。

【0119】

即ち、第1遊技場に設置されるカードユニット20からは、図10～図11に示すように、カードR/W25により読み取った第1会員特定情報である第1会員カードIDと、ポイント管理装置50から配信されてきてディスプレイで表示されるポイント会員登録画面で入力された内容を含む第1登録要求、及び会員統合要求が送信される。

30

【0120】

具体的には、会員が操作キー表示領域27bの操作キーを操作して、ポイント会員登録モードが実行されると、前記ポイント会員登録画面配信要求が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信され、該ポイント管理装置50からカードユニット20に対して、図10のD200に示すメニュー画面が配信されて、ディスプレイ27に表示される。このD200に示すメニュー画面は、前記D104と同様である。

【0121】

このD200で、会員が操作キーを操作して、「単独登録」ボタンを操作すると、該単独登録が選択された旨が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信され、該ポイント管理装置50から第1遊技場に設置されるカードユニット20に対して、D201及びD202に示す画面が配信されて一時的に記憶され、まずD201の画面がディスプレイ27に表示される。このD201では、登録対象の第1会員カード4の挿入が求められる。

40

【0122】

このD201で、会員がカードR/W25に登録対象の第1会員カード4（即ち未登録の第1会員カード4）を挿入すると、前記記憶しているD202の画面がディスプレイ27に表示される。このD202では、カードR/W25に挿入された第1会員カード4のICチップ4bから読み取った第1会員カードIDが表示されると共に、登録時の暗証番

50

号の入力欄が表示される。

【0123】

このD202で、会員が操作キーを操作して、登録時の暗証番号を入力して「登録」ボタンを操作すると、表示されている未登録の第1会員カードIDが一時的に記憶されると共に、当該第1会員カードIDと、入力された暗証番号とを含む第1登録要求Aが、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信され、該ポイント管理装置50からカードユニット20に対して、D203～D204に示す画面が配信されて一時的に記憶され、まずD203の画面がディスプレイ27に表示される。

【0124】

このD203では、前記記憶している第1会員カードIDが表示されると共に、登録を希望する暗証番号（第1会員カード4の発行時に登録された暗証番号と異なっても良い）、及び属性情報である生年月日と性別の入力欄が表示され、かつ電子メールアドレスを入力するか又は省略するかを選択するためのボタンとして、「入力する」ボタンと「省略する」ボタンが表示される。

10

【0125】

このD203で、会員が操作キーを操作して、登録を希望する暗証番号と、属性情報である生年月日と性別とを入力して「省略する」ボタンを操作すると、表示されている第1会員カードIDと、入力された暗証番号及び属性情報とを含む第1登録要求Bが、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信される。

【0126】

20

一方、D203で、会員が操作キーを操作して、登録を希望する暗証番号と、属性情報である生年月日と性別とを入力して「入力する」ボタンを操作すると、前記記憶しているD204の画面がディスプレイ27に表示される。このD204では、前記記憶している第1会員カードIDと、D203で入力された登録を希望する暗証番号、及び属性情報である生年月日と性別とが表示されると共に、電子メールアドレスの入力欄が表示される。

【0127】

またD204では、前記記憶している第1会員カードIDから特定される店舗（ここではA店）がグループに属する（即ち当該店舗の店舗IDが図27（b）に示すグループDBで登録されている）場合には、当該店舗の店舗名と、該グループ（ここでは◎◎グループ）に属する他のグループ店であって当該店舗と同一地域（例えば東京都）に所在する店舗（ここではB店）の店舗名とが、店舗情報（ここではイベント情報を含む電子メール）の提供を希望する店舗の選択を受け付けるために表示される。なお図示しないが、前記記憶している第1会員カードIDから特定される店舗がグループに属さない（即ち当該店舗の店舗IDが図27（c）に示す店舗DBで登録されている）場合には、当該店舗の店舗名のみが、店舗情報の提供を希望する店舗の選択を受け付けるために表示される。

30

【0128】

このD204で、会員が操作キーを操作して、電子メールアドレスを入力し、かつ表示されている店舗名のうち、店舗情報の提供を希望する店舗名に対応するチェックボックスをチェックして、「登録」ボタンを操作すると、表示されている第1会員カードID、暗証番号、属性情報と、入力された電子メールアドレスと、チェックされたチェックボックスに対応する店舗の店舗IDとを含む第1登録要求Bが、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信される。ここで第1登録要求Bは、店舗情報の提供を希望する店舗を特定可能な情報（店舗ID）を含む返信情報でもある。

40

【0129】

前記D200で、会員が操作キーを操作して、「統合登録」ボタンを操作すると、該統合登録が選択された旨が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信され、該ポイント管理装置50からカードユニット20に対して、図11のD210及びD211に示す画面が配信されて一時的に記憶され、まずD210の画面がディスプレイ27に表示される。このD210では、登録済の会員カードの挿入が求められる。

【0130】

50

このD 2 1 0で、会員がカードR/W 2 5に登録済の会員カードを挿入すると、前記記憶しているD 2 1 1の画面がディスプレイ2 7に表示される。このD 2 1 1では、挿入されている当該会員カードがポイント会員として登録されている必要がある旨が表示されると共に、統合する会員カードの数を選択するためのボタンとして、「2つ」ボタン、「3つ」ボタン、及び「4つ」が表示される。

【0 1 3 1】

このD 2 1 1で、会員が操作キーを操作して、例えば「2つ」ボタンを操作すると、統合する会員カードの数が2つである旨が、インターネットを介してポイント管理装置5 0に対して送信され、該ポイント管理装置5 0からカードユニット2 0に対して、D 2 1 5～D 2 1 9に示す画面が配信されて一時的に記憶され、まずD 2 1 5の画面がディスプレイに表示される。このD 2 1 5では、挿入されている第1会員カード4のICチップ4 bから読み取った第1会員カードIDが表示されると共に、登録済の暗証番号の入力欄が表示される。

10

【0 1 3 2】

このD 2 1 5で、会員が操作キーを操作して、登録済の暗証番号を入力して「登録」ボタンを操作すると、表示されている第1会員カードIDと、入力された暗証番号とが一時的に記憶されると共に、前記記憶しているD 2 1 6の画面がディスプレイに表示される。このD 2 1 6では、統合する会員カードが、未登録の第1会員カード4であるか、未登録の第2会員カード5であるか、又は登録済であるかを選択するためのボタンとして、「未登録の第1会員カード」ボタン、「未登録の第2会員カード」ボタン、及び「登録済」ボタンが表示される。

20

【0 1 3 3】

このD 2 1 6で、会員が操作キーを操作して、「未登録の第1会員カード」ボタンを操作すると、統合する第1会員カード4が未登録である旨が一時的に記憶されると共に、前記記憶しているD 2 1 7の画面がディスプレイに表示される。このD 2 1 7では、該第1会員カード4の第1会員カードID及び登録時の暗証番号の入力欄が表示される。このD 2 1 7で、第1会員カード4を所有している会員が操作キーを操作して、当該第1会員カード4の表示領域4 aに表示されている第1会員カードIDと、登録時の暗証番号とを入力して「登録」ボタンを操作すると、D 2 1 5で入力されて記憶している内容（即ち既登録の第1会員カード4の第1会員カードID及び登録済の暗証番号）と、D 2 1 7で入力された内容（即ち未登録の第1会員カード4の第1会員カードID及び登録時の暗証番号）とを含む第1の会員統合要求が、インターネットを介してポイント管理装置5 0に対して送信される。ここで送信される会員統合要求には、未登録の会員カードIDと既登録の会員カードIDとを含むため、第1の会員統合要求である。

30

【0 1 3 4】

一方、D 2 1 6で、会員が操作キーを操作して、「未登録の第2会員カード」ボタンを操作すると、統合する第2会員カード5が未登録である旨が一時的に記憶されると共に、前記記憶しているD 2 1 8の画面がディスプレイに表示される。このD 2 1 8では、該第2会員カード5の第2会員カードID及び他システム会員IDの下4桁の入力欄が表示される。このD 2 1 8で、第2会員カード5を所有している会員が操作キーを操作して、当該第2会員カード5の表示領域5 aに表示されている第1会員カードID及び他システム会員IDの下4桁を入力して「登録」ボタンを操作すると、D 2 1 5で入力されて記憶している内容（即ち既登録の第1会員カード4の第1会員カードID及び登録済の暗証番号）と、D 2 1 8で入力された内容（即ち未登録の第2会員カード5の第2会員カードID及び他システム会員IDの下4桁）とを含む第1の会員統合要求が、インターネットを介してポイント管理装置5 0に対して送信される。ここで送信される会員統合要求には、未登録の会員カードIDと既登録の会員カードIDとを含むため、第1の会員統合要求である。

40

【0 1 3 5】

前記D 2 1 6で、会員が操作キーを操作して、「登録済」ボタンを操作すると、統合す

50

る会員カードが登録済である旨が一時的に記憶されると共に、前記記憶しているD 2 1 9の画面がディスプレイに表示される。このD 2 1 9では、既登録の会員カードについて会員カードID（第1会員カードID又は第2会員カードID）及び登録済の暗証番号の入力が求められると共に、該会員カードIDと暗証番号の入力欄が表示される。

【0136】

このD 2 1 9で、会員が操作キーを操作して、会員カードの表示領域に表示されている会員カードIDと、登録済の暗証番号とを入力して「登録」ボタンを操作すると、D 2 1 5で入力されて記憶している内容（即ち既登録の会員カードの会員カードID及び登録済の暗証番号）と、D 2 1 9で入力された内容（即ち既登録の会員カードの会員カードID及び登録済の暗証番号）とを含む第2の会員統合要求が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信される。ここで送信される会員統合要求には、既登録の会員カードIDのみを含むため、第2の会員統合要求である。

10

【0137】

なおD 2 1 1で、「3つ」ボタンが操作された場合には、D 2 1 7、D 2 1 8又はD 2 1 9からもう一度D 2 1 6に戻り、「4つ」ボタンが操作された場合には、さらにもう一度D 2 1 6に戻り、該D 2 1 6以降で入力された内容をさらに含む第1の会員統合要求第又は2の会員統合要求が送信される。ここでD 2 1 6の選択時に、統合する各会員カードに対して、未登録である旨又は登録済である旨を記憶しているので、少なくとも1つの会員カードに対して未登録である旨が記憶されていれば、第1の会員統合要求が送信され、全ての会員カードに対して登録済である旨が記憶されていれば、第2の会員統合要求が送信される。

20

【0138】

即ち、カードユニット20から送信される会員統合要求には、カードR/W 2 5により受け付けた第1会員カード4から読み取った第1会員特定情報と、会員が会員カード（第1会員カード4又は第2会員カード5）を目視して入力した第2会員特定情報とが少なくとも含まれ、これにより複数の会員特定情報が含まれることになる。なお3つの会員カードを統合する場合には、会員が3枚目のカードを目視して入力した第2会員特定情報がさらに含まれ、4つの会員カードを統合する場合には、会員が4枚目のカードを目視して入力した第2会員特定情報がさらに含まれる。

【0139】

またカードユニット20からは、会員カードIDを含むグループ店一覧要求が、インターネットを介して、ポイント管理装置50に対して送信される。具体的には、図10のD 2 0 0で、会員が操作キーを操作して、「グループ店一覧」ボタンを操作すると、該グループ店一覧が選択された旨が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信され、該ポイント管理装置50からカードユニット20に対して、前記D 2 0 1に示す画面が配信されて、ディスプレイ27に表示される。

30

【0140】

このD 2 0 1で、会員がカードR/W 2 5に登録済の会員カードを挿入すると、該挿入された会員カードのICチップからカードR/W 2 5により読み取った第1会員特定情報である会員カードIDを含むグループ店一覧要求が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信される。このグループ店一覧要求に応じて、該ポイント管理装置50からカードユニット20に対して、前記D 1 2 1に示す画面（グループ店一覧）が配信されてくる。

40

【0141】

またカードユニット20からは、既登録記録媒体識別情報である旧会員カードID（即ち引き継ぎ元ID）と共に新記録媒体識別情報である新会員カードID（即ち引き継ぎ先ID）を含む引き継ぎ要求が、インターネットを介して、ポイント管理装置50に対して送信される。

【0142】

具体的には、図10のD 2 0 0で、会員が操作キーを操作して、「カードの引き継ぎ」

50

ボタンを操作すると、該カードの引き継ぎが選択された旨が、インターネットを介してポイント管理装置 50 に対して送信され、該ポイント管理装置 50 からカードユニット 20 に対して、図 11 の D 2 2 0 及び D 2 2 1 に示す画面が配信されて一時的に記憶され、まず D 2 2 0 の画面がディスプレイ 27 に表示される。この D 2 2 0 では、この D 2 2 0 では、再発行された新会員カードの挿入が求められる。

【0143】

この D 2 2 0 で、会員がカード R/W 25 に未登録の新会員カードを挿入すると、前記記憶している D 2 2 1 の画面がディスプレイ 27 に表示される。この D 2 2 1 では、ポイントの引き継ぎ元である既登録の旧会員カード I D（即ち紛失又は破損した会員カードである旧会員カードに記録されている会員カード I D）、及び登録済の暗証番号の入力欄が表示されると共に、前記挿入されている会員カードの I C チップからカード R/W 25 により読み取った会員カード I D が、ポイントの引き継ぎ先である未登録の新会員カード I D（即ち再発行された新会員カードに記録されている会員カード I D）として表示され、かつ登録する暗証番号の入力欄が表示される。

10

【0144】

この D 2 2 1 で、会員が操作キーを操作して、新会員カードの再発行の際に遊技場の店員から手渡された紙片に記載されている旧会員カード I D と、登録済の暗証番号と、登録する暗証番号とを入力して「引き継ぎ」ボタンを操作すると、該 D 2 2 1 で表示及び入力された内容（即ち登録済の旧会員カード I D 及び登録済の暗証番号と、未登録の新会員カード I D 及び登録する暗証番号）を含む引き継ぎ要求が、インターネットを介して、ポイント管理装置 50 に対して送信される。

20

【0145】

なお図 10～図 11 に示した各画面が表示されている状態で、図示しない「メニュー」ボタンを操作すると、メニュー表示要求が、インターネットを介してポイント管理装置 50 に対して送信され、該ポイント管理装置 50 からカードユニット 20 に対して、前記 D 2 0 0 に示すメニュー画面が配信されて、ディスプレイに表示される。

【0146】

またカードユニット 20 からは、ポイント会員専用画面表示モードが実行されると、ログイン画面配信要求が、インターネットを介して、ポイント管理装置 50 に対して送信される。またカードユニット 20 からは、挿入されている会員カードの I C チップからカード R/W 25 により読み取った第 1 会員特定情報である会員カード I D と、前記ログイン画面配信要求に応じてポイント管理装置 50 から配信されてきたログイン画面（図 45 の D 4 0 0-2）で入力された登録済の暗証番号とを含むログイン要求が、インターネットを介して、ポイント管理装置 50 に対して送信される。ここでログイン要求は、後述する情報公開要求及び確認要求の一部である。

30

【0147】

さらにカードユニット 20 からは、前記ログイン要求に応じてポイント管理装置 50 から配信されてきたメニュー画面（図 45 の D 4 0 1-2）に示される各ボタンの操作に応じて、ポイント確認・使用要求、登録情報の更新要求、グループ店一覧要求、グループ店追加情報要求、アンケート要求、イベント情報要求、当選情報要求、及び会員統合処理要求が、インターネットを介して、ポイント管理装置 50 に対して送信される。ここでポイント確認・使用要求、登録情報の更新要求、グループ店一覧要求、及びグループ店追加情報要求は、後述する情報公開要求の一部であり、アンケート要求、イベント情報要求、及び当選情報要求は、後述する確認要求の一部である。これらの要求に応じて、ポイント管理装置 50 からカードユニット 20 に対して、図 46～図 48 に示す画面が配信されてくるが、これについては後述する。

40

【0148】

次に、第 2 遊技場に設置されるカードユニット 20 について説明する。この第 2 遊技場に設置されるカードユニット 20 は、第 1 遊技場に設置されるカードユニット 20 と同様のものであるが、以下の 5 点について、第 1 遊技場に設置されるカードユニット 20 と異

50

なる。

【0149】

まず1点目として、記録媒体受付手段であるカードR/W25は、前記第1会員カード4に代えて、記録媒体として自店で発行された第2会員カード5を受け付けるものであり、図9(b)に示すように、カード挿入口25aから挿入された第2会員カード5を受け付けて、該第2会員カード5のICチップ5bに記録されている第1会員特定情報である第2会員カードID及び他システム会員IDと、カード残額とを読み取ると共に、会員カード玉貸処理が行われたことに基づいて、該会員カード玉貸処理に使用された使用金額を減算した後のカード残額を第2会員カード5に記録する(書き込む)ものである。

【0150】

また2点目として、会員管理装置用通信部21aからは、中継器に対して、カードR/W25により読み取った他システム会員IDが送信され、該他システム会員IDと対応付けて、パチンコ機10から該中継器に対して送信された遊技情報(大当り信号、スタート信号等)が第2会員管理装置200に対して送信されることで、後述する図16(c)に示すように、第2会員管理装置200において、他システム会員IDに対応付けて、各第2会員遊技者の大当り回数やスタート回数等の遊技情報を管理することができる。

【0151】

また3点目として、ディスプレイ27のメッセージ表示領域27aでは、図示しないが、カードR/W25が第2会員カード5を受け付けている状態で、該第2会員カード5の他システム会員IDに対応付けて第2会員管理装置200で管理されている遊技情報(個人遊技情報)を閲覧可能であると共に、カードR/W25が第2会員カード5を受け付けていない状態であっても、個人遊技情報以外の遊技情報やテレビ画像を閲覧可能である。

【0152】

また4点目として、前記登録要求送信手段として機能するユニット制御部22は、第1会員特定情報(第2会員カードID)、及び他システム会員IDの下4桁を含む第1登録要求Aと、第1会員特定情報(第2会員カードID)、登録する暗証番号、及び会員の属性情報(性別及び生年月日)を少なくとも含み、会員により選択された場合には電子メールアドレス、及び店舗情報の提供を希望する店舗の店舗IDをさらに含む第1登録要求Bを、インターネットを介して、ポイント管理装置50に対して送信するものである。ここで第1登録要求は、店舗を特定可能な店舗特定情報(ここでは第2会員カードID)を含む店舗情報要求であり、また会員の電子メールアドレスと、店舗特定情報として会員識別情報(ここでは第2会員カードID)を含む店舗情報要求である。

【0153】

即ち、第1遊技場に設置されるカードユニット20からは、図10に示すように、カードR/W25により読み取った第1会員特定情報である第2会員カードIDと、ポイント管理装置50から配信されてきてディスプレイで表示されるポイント会員登録画面で入力された内容を含む第1登録要求が送信される。

【0154】

具体的には、第2遊技場に設置されるカードユニット20においては、会員が操作キー表示領域27bの操作キーを操作して、ポイント会員登録モードが実行されると、前記ポイント会員登録画面配信要求が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信され、該ポイント管理装置50からカードユニット20に対して、図10のD200に示すメニュー画面が配信されて、ディスプレイ27に表示される。このD200に示すメニュー画面は、前記D104と同様である。

【0155】

このD200で、会員が操作キーを操作して、「単独登録」ボタンを操作すると、該単独登録が選択された旨が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信され、該ポイント管理装置50から第1遊技場に設置されるカードユニット20に対して、D201及びD205に示す画面が配信されて一時的に記憶され、まずD201の画面がディスプレイ27に表示される。このD201では、登録対象の第2会員カード5の挿入

が求められる。

【0156】

このD201で、会員がカードR/W25に登録対象の第2会員カード5（即ち未登録の第2会員カード5）を挿入すると、前記記憶しているD205の画面がディスプレイ27に表示される。このD205では、カードR/W25に挿入された第2会員カード5のICチップ5bから読み取った第2会員カードID及び他システム会員IDの下4桁が表示される。

【0157】

このD205で、会員が操作キーを操作して、「登録」ボタンを操作すると、表示されている第2会員カードIDが一時的に記憶されると共に、当該第2会員カードIDと、表示されている他システム会員IDの下4桁とを含む第1登録要求Aが、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信され、該ポイント管理装置50からカードユニット20に対して、D206～D207に示す画面が配信されて一時的に記憶され、まずD206の画面がディスプレイ27に表示される。

10

【0158】

このD206では、前記記憶している第2会員カードIDが表示されると共に、登録を希望する暗証番号（第2会員カード5の発行時に登録された暗証番号と異なっても良い）、及び属性情報である生年月日と性別の入力欄が表示され、かつ電子メールアドレスを入力するか又は省略するかを選択するためのボタンとして、「入力する」ボタンと「省略する」ボタンが表示される。

20

【0159】

このD206で、会員が操作キーを操作して、登録を希望する暗証番号と、属性情報である生年月日と性別とを入力して「省略する」ボタンを操作すると、表示されている第2会員カードIDと、入力された暗証番号及び属性情報とを含む第1登録要求Bが、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信される。

【0160】

一方、D206で、会員が操作キーを操作して、登録を希望する暗証番号と、属性情報である生年月日と性別とを入力して「入力する」ボタンを操作すると、前記記憶しているD207の画面がディスプレイ27に表示される。このD207では、挿入されている第2会員カード5のICチップ5bから読み取った第2会員カードIDと、D206で入力された登録を希望する暗証番号、及び属性情報である生年月日と性別とが表示されると共に、電子メールアドレスの入力欄が表示される。

30

【0161】

またD207では、前記記憶している第2会員カードIDから特定される店舗（ここではX店）がグループに属する（即ち当該店舗の店舗IDが図27（b）に示すグループDBで登録されている）場合には、当該店舗の店舗名と、該グループ（ここでは◎◎グループ）に属する他のグループ店であって当該店舗と同一地域（例えば神奈川県）に所在する店舗（ここではC店）の店舗名とが、店舗情報（ここではイベント情報を含む電子メール）の提供を希望する店舗の選択を受け付けるために表示される。なお図示しないが、前記記憶している第2会員カードIDから特定される店舗がグループに属さない（即ち当該店舗の店舗IDが図27（c）に示す店舗DBで登録されている）場合には、当該店舗の店舗名のみが、店舗情報の提供を希望する店舗の選択を受け付けるために表示される。

40

【0162】

このD207で、会員が操作キーを操作して、電子メールアドレスを入力し、かつ表示されている店舗名のうち、店舗情報の提供を希望する店舗名に対応するチェックボックスをチェックして、「登録」ボタンを操作すると、表示されている第1会員カードID、暗証番号、属性情報と、入力された電子メールアドレスと、チェックされたチェックボックスに対応する店舗の店舗IDとを含む第1登録要求Bが、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信される。ここで第1登録要求Bは、店舗情報の提供を希望する店舗を特定可能な情報（店舗ID）を含む返信情報でもある。

50

【0163】

さらに5点目として、前記会員統合要求送信手段として機能するユニット制御部22は、既登録の会員カードIDとして、前記第1会員カードIDに代えて、挿入されている第2会員カード5のICチップ5bから読み取った第2会員カードIDを含む会員統合要求（第1の会員統合要求、又は第2の会員統合要求）を、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信する。即ち、図11のD215では、既登録の会員カードIDとして、挿入されている第2会員カード5のICチップ5bから読み取った第2会員カードIDが表示されるので、該第2の会員カードIDが既登録の会員カードIDとして会員統合要求に含まれる。

【0164】

10

次に、第1遊技場及び第2遊技場に設置されるキオスク端末30について説明する。キオスク端末30は、会員が操作する登録端末及び店舗（遊技場）内に設置される店舗端末の一例であって、インターネット接続機能を備えるコンピュータである。このキオスク端末30は、第1遊技場内の所定箇所（例えば景品交換カウンタの近傍等）に設けられ、図12（a）に示すように、L字型の筐体を有するものであり、該筐体の垂直部の前面にディスプレイ34を備え、該筐体の水平部の上面に操作キー35、前面にカード挿入口33aを備え、その内部に外部通信部31、制御部32、及びカードR/W143を備えており、これらの各構成要素は図12（b）に示すように接続されている。

【0165】

20

外部通信部31は、図1及び図12（b）に示すように、インターネットと通信可能に接続されており、キオスク端末30とインターネットを介して接続されるポイント管理装置50との間における通信を司るものである。制御部32は、CPU、RAM、ROM等を備えており、ROMに記憶されている処理プログラムがRAMを作業領域としてCPUで実行されることにより、キオスク端末30に備えられる各構成要素の動作を制御して各種の処理を行うものであるが、その機能については後述する。

【0166】

カードリーダー33は記録媒体受付手段の一例であって、記録媒体（ここでは第1会員カード4及び第2会員カード5）を受け付けるものであり、カード挿入口33aから挿入された第1会員カード4を受け付けて、該第1会員カード4の磁気ストライプ4cに記録されている第1会員特定情報である第1会員IDを読み取ると共に、カード挿入口33aから挿入された第2会員カード5を受け付けて、該第2会員カード5の磁気ストライプ5cに記録されている第1会員特定情報である他システム会員IDを読み取るものである。このカードリーダー33では、自店の会員カードであっても他店の会員カードであっても受付可能である。

30

【0167】

ここでカードリーダー33は、統合対象とする複数の会員カードを受け付けて、該受け付けた会員カードに記録されている第1会員特定情報を読み取るものであり、具体的には、1枚目の会員カードを受け付けて、該会員カードに記録されている第1会員特定情報を読み取り、該会員カードに関する入力が終了して後述する「登録」ボタンが操作されると、当該1枚目の会員カードを排出して、2枚目の会員カードを受け付け、該会員カードに記録されている第1会員特定情報を読み取り、該会員カードに関する入力が終了して「登録」ボタンが操作されると、当該2枚目の会員カードを排出する。

40

【0168】

ディスプレイ34は各種の情報を表示するもの（例えば液晶ディスプレイ）であり、操作キー35は各種の入力を受け付けるものである。

【0169】

ここで制御部32は、ポイント会員登録画面配信要求を、インターネットを介して、ポイント管理装置50に対して送信するものである。

【0170】

また制御部32は登録要求送信手段の一例であって、登録する会員カードの磁気ストラ

50

イプからカードリーダー33により読み取った第1会員特定情報である会員ID（第1会員ID又は他システム会員ID）を含む第1登録要求Xと、第1会員特定情報（第1会員カードID又は第2会員カードID）、及び登録時の暗証番号を含む第1登録要求Aと、第1会員特定情報（第1会員カードID又は第2会員カードID）、登録する暗証番号、及び会員の属性情報（性別及び生年月日）を少なくとも含み、会員により選択された場合には電子メールアドレス、及び店舗情報の提供を希望する店舗の店舗IDをさらに含む第1登録要求Bを、インターネットを介して、ポイント管理装置50に対して送信するものである。以下においては、第1登録要求Xと第1登録要求Aと第1登録要求Bとを併せたものを、単に「第1登録要求」とも称する。ここで第1登録要求は、店舗を特定可能な店舗特定情報（ここでは第1会員カードID）を含む店舗情報要求であり、また会員の電子メー

10

【0171】

この制御部32から送信される第1登録要求A、Bには、カードリーダー33により読み取った第1会員特定情報が含まれる。また第1登録要求Bに含まれる属性情報は、氏名等のような、個人を特定可能な個人情報ではなく、個人を特定できない属性情報とされており、ここでは性別及び生年月日である。

【0172】

なお第1登録要求Xを受信したポイント管理装置50は、制御部52の制御により、後述する図27(a)に示すエンコード情報DBの記憶内容に基づいて、該送信されてきた第1登録要求Xに含まれる会員ID（第1会員ID又は他システム会員ID）に対応する会員カードID（第1会員カードID又は第2会員カードID）を特定し、該特定した会員カードIDをキオスク端末30に対して返信する、会員カードID特定処理を行う。

20

【0173】

また制御部32は会員統合要求送信手段の一例であって、複数の会員特定情報を含む会員統合要求を、インターネットを介して、ポイント管理装置50に対して送信するものである。この会員統合要求には、前述した第1の会員統合要求及び第2の会員統合要求がある。このキオスク端末30から送信される会員統合要求に含まれる会員特定情報は、カードリーダー33が読み取った第1会員特定情報である。

【0174】

また会員統合要求送信手段として機能する制御部32は、統合する会員カードが挿入され、該挿入された会員カードからカードリーダー33が第1会員特定情報である会員ID（第1会員ID又は他システム会員ID）を読み取る毎に、該読み取ったカードIDを含む会員統合要求A、B、…（以下「会員統合要求N」と称する。）を、インターネットを介して、ポイント管理装置50に対して送信するものである。即ち、会員統合要求送信手段として機能する制御部32は、2枚の会員カードが統合される場合には、1枚目の会員カードから読み取ったカードIDを含む会員統合要求Aと、2枚目の会員カードから読み取ったカードIDを含む会員統合要求Bとを送信し、3枚の会員カードが統合される場合には、さらに3枚目の会員カードから読み取ったカードIDを含む会員統合要求Cを送信し、4枚の会員カードが統合される場合には、さらに4枚目の会員カードから読み取ったカードIDを含む会員統合要求Dを送信する。なお会員統合要求Nを受信したポイント管理装置50は、前記会員カードID特定処理を行う。

30

40

【0175】

即ち、キオスク端末30からは、図13～図15に示すように、カードリーダー33により読み取った第1会員特定情報である会員ID（第1会員ID又は他システム会員ID）と、ポイント管理装置50から配信されてきてディスプレイで表示されるポイント会員登録画面で入力された内容を含む第1登録要求、及び会員統合要求が送信される。

【0176】

具体的には、会員が操作キー35を操作して、ポイント会員登録モードが実行されると、前記ポイント会員登録画面配信要求が、インターネットを介してポイント管理装置50

50

に対して送信され、該ポイント管理装置 50 からキオスク端末 30 に対して、図 13 の D 300 に示すメニュー画面が配信されて、ディスプレイ 34 に表示される。この D 300 に示すメニュー画面は、前記 D 104 と同様である。

【0177】

この D 300 で、会員が操作キー 35 を操作して、「単独登録」ボタンを操作すると、該単独登録が選択された旨が、インターネットを介してポイント管理装置 50 に対して送信され、該ポイント管理装置 50 からキオスク端末 30 に対して、D 301 に示す画面が配信されて、ディスプレイ 34 に表示される。この D 301 では、登録対象の会員カード（第 1 会員カード 4 又は第 2 会員カード 5）の挿入が求められる。

【0178】

この D 301 で、会員がカードリーダー 33 に登録対象の会員カード（即ち未登録の会員カード）を挿入すると、該カードリーダー 33 に挿入された会員カードの磁気ストライプから読み取った会員 ID（第 1 会員カード 4 であれば第 1 会員 ID、第 2 会員カード 5 であれば他システム会員 ID）が一時的に記憶されると共に、該読み取った会員 ID を含む前記第 1 登録要求 X が、インターネットを介してポイント管理装置 50 に対して送信される。

【0179】

ここでポイント管理装置 50 において、前記会員カード ID 特定処理が行われて、該第 1 登録要求 X に含まれる会員 ID（第 1 会員 ID）に対応する会員カード ID として第 1 会員カード ID が特定されると、該ポイント管理装置 50 からキオスク端末 30 に対して、該特定された第 1 会員カード ID が返信されて一時的に記憶されると共に、前記 D 202 に示す画面が配信されて、ディスプレイ 34 に表示される。この D 202 では、ポイント管理装置 50 から返信されてきた第 1 会員カード ID が表示されると共に、登録時の暗証番号の入力欄が表示される。

【0180】

そしてキオスク端末 30 では、この D 202 の表示以降、第 1 遊技場に設置されるカードユニット 20 と同様に、前記 D 203 及び D 204 の処理が行われる。ただし、D 203 及び D 204 で表示される第 1 会員カード ID は、ポイント管理装置 50 から返信されてきて記憶している第 1 会員カード ID であり、キオスク端末 30 からポイント管理装置 50 に対して送信される第 1 登録要求 A、B に含まれる第 1 会員カード ID も、該記憶している第 1 会員カード ID である。

【0181】

またポイント管理装置 50 において、前記会員カード ID 特定処理が行われて、前記第 1 登録要求 X に含まれる会員 ID（他システム会員 ID）に対応する会員カード ID として第 2 会員カード ID が特定されると、該ポイント管理装置 50 からキオスク端末 30 に対して、該特定された第 2 会員カード ID が返信されて一時的に記憶されると共に、前記 D 205 に示す画面が配信されて、ディスプレイ 34 に表示される。この D 205 では、ポイント管理装置 50 から返信されてきた第 2 会員カード ID が表示されると共に、登録時の暗証番号の入力欄が表示される。

【0182】

そしてキオスク端末 30 では、この D 205 の表示以降、第 2 遊技場に設置されるカードユニット 20 と同様に、前記 D 206 及び D 207 の処理が行われる。ただし、D 206 及び D 207 で表示される第 2 会員カード ID は、ポイント管理装置 50 から返信されてきて記憶している第 2 会員カード ID であり、キオスク端末 30 からポイント管理装置 50 に対して送信される第 1 登録要求 A、B に含まれる第 2 会員カード ID も、該記憶している第 2 会員カード ID である。

【0183】

なお、キオスク端末 30 からポイント管理装置 50 に対する第 1 登録要求 B の送信に伴い、挿入されている第 1 会員カード 4 又は第 2 会員カード 5 が排出される。

【0184】

また前記D300で、会員が操作キー35を操作して、「統合登録」ボタンを操作すると、該統合登録が選択された旨が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信され、該ポイント管理装置50からキオスク端末30に対して、前記D110と同様のD310に示す画面が配信されて、ディスプレイ34に表示される。

【0185】

このD310で、会員が操作キー35を操作して、例えば「2つ」ボタンを操作すると、統合する会員カードの数が2つである旨が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信され、該ポイント管理装置50からキオスク端末30に対して、図14のD320に示す画面が配信されて、ディスプレイ34に表示される。このD320では、登録済の会員カード（第1会員カード4又は第2会員カード5）の挿入が求められる。

10

【0186】

このD320で、会員がカードリーダー33に登録済の会員カードを挿入すると、該カードリーダー33に挿入された会員カードの磁気ストライプから読み取った会員ID（第1会員カード4であれば第1会員ID、第2会員カード5であれば他システム会員ID）を含む会員統合要求Aが、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信される。

【0187】

ここで前記会員カードID特定処理が行われたポイント管理装置50において、前記会員統合要求Aに含まれる会員ID（第1会員ID）に対応する会員カードIDとして第1会員カードIDが特定されると、該ポイント管理装置50からキオスク端末30に対して、該特定された第1会員カードIDが返信されると共に、D321、D323、及びD324に示す画面が配信されて一時的に記憶され、まずD321に示す画面がディスプレイ34に表示される。このD321では、返信されてきた第1会員カードIDが表示されると共に、登録済の暗証番号の入力欄が表示される。このD321で、会員が操作キー35を操作して、登録済の暗証番号を入力して「登録」ボタンを操作すると、該入力内容と、前記返信されてきた第1会員カードIDと、前記読み取った第1会員IDとが一時的に記憶され、挿入されている第1会員カード4が排出されると共に、前記記憶しているD323に示す画面が、ディスプレイ34に表示される。

20

【0188】

一方、前記会員カードID特定処理が行われたポイント管理装置50において、前記会員統合要求Aに含まれる会員IDに対応する会員カードIDとして第2会員カードIDが特定されると、該ポイント管理装置50からキオスク端末30に対して、該特定された第2会員カードIDが返信されると共に、D322～D324に示す画面が配信されて一時的に記憶され、まずD322に示す画面がディスプレイ34に表示される。このD322では、返信されてきた第2会員カードIDが表示されると共に、登録済の暗証番号の入力欄が表示される。このD322で、会員が操作キー35を操作して、登録済の暗証番号を入力して「登録」ボタンを操作すると、該入力内容と、前記返信されてきた第2会員カードIDと、前記読み取った他システム会員IDとが一時的に記憶され、挿入されている第2会員カード5が排出されると共に、前記記憶しているD323に示す画面が、ディスプレイ34に表示される。

30

40

【0189】

D323では、統合する会員カードがポイント会員として登録済であるか否かを選択するためのボタンとして、「未登録」ボタン、及び「登録済」ボタンが表示される。

【0190】

このD323で、会員が操作キー35を操作して、「未登録」ボタンを操作すると、前記記憶しているD324に示す画面が、ディスプレイ34に表示される。このD324では、統合する会員カード（第1会員カード4又は第2会員カード5）の挿入が求められる。このD324で、会員がカードリーダー33に未登録の会員カードを挿入すると、該カードリーダー33に挿入された会員カードの磁気ストライプから読み取った会員ID（第1会員カード4であれば第1会員ID、第2会員カード5であれば他システム会員ID）を含

50

む会員統合要求Bが、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信される。

【0191】

ここで前記会員カードID特定処理が行われたポイント管理装置50において、前記会員統合要求Bに含まれる会員IDに対応する会員カードIDとして第1会員カードIDが特定されると、該ポイント管理装置50からキオスク端末30に対して、該特定された第1会員カードIDが返信されると共に、D325に示す画面が配信されて、ディスプレイ34に表示される。このD325では、返信されてきた第1会員カードIDが表示されると共に、登録時の暗証番号の入力欄が表示される。

【0192】

このD325で、会員が操作キー35を操作して、登録時の暗証番号を入力して「登録」ボタンを操作すると、挿入されている第1会員カード4が排出されると共に、前記記憶している既登録の会員カードID（第1会員カードID又は第2会員カードID）と、暗証番号とを含むと共に、D325で表示されている未登録の第1会員カードIDと、D325で入力された暗証番号とを含む第1の会員統合要求が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信される。

【0193】

一方、前記会員カードID特定処理が行われたポイント管理装置50において、前記会員統合要求Bに含まれる会員IDに対応する会員カードIDとして第2会員カードIDが特定されると、該ポイント管理装置50からキオスク端末30に対して、該特定された第2会員カードIDが返信されると共に、D326に示す画面が配信されて、ディスプレイ34に表示される。このD326では、返信されてきた第2会員カードIDが表示されると共に、カードリーダー33に挿入されている第2会員カード5の磁気ストライプ5cから読み取った他システム会員IDの下4桁が表示される。

【0194】

このD326で、会員が操作キー35を操作して、「登録」ボタンを操作すると、挿入されている第2会員カード5が排出されると共に、前記記憶している既登録の会員カードID（第1会員カードID又は第2会員カードID）と、暗証番号とを含むと共に、D326で表示されている第2会員カードID及び他システム会員IDの下4桁とを含む第1の会員統合要求が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信される。

【0195】

このように、キオスク端末30から送信される第1の会員統合要求は、会員統合要求Aと会員統合要求Bと第1の会員統合要求の3回に分けて送信される。ここで最後に送信される第1の会員統合要求に含まれる各会員カードIDは、カードリーダー33により読み取った第1会員特定情報である第1会員ID又は他システム会員IDから特定されるものである。即ち会員統合要求は、複数の記録媒体識別情報である会員カードIDを含む合算要求でもある。

【0196】

なおD310で、「3つ」ボタンが操作された場合には、もう一度D323に戻ってD325又はD326の入力を受け付け、「4つ」ボタンが操作された場合には、さらにもう一度D323に戻ってD325又はD326の入力を受け付けてから、D325で表示されている未登録の第1会員カードID及びD325で入力された暗証番号か、又はD326で表示されている未登録の第2会員カードID及び他システム会員IDの下4桁をさらに含む第1の会員統合要求が送信される。

【0197】

前記D323で、会員が操作キー35を操作して、「登録済」ボタンを操作すると、前記記憶しているD324に示す画面がディスプレイ34に表示される。このD324で、会員がカードリーダー33に既登録の会員カードを挿入すると、該カードリーダー33に挿入された会員カードの磁気ストライプから読み取った会員ID（第1会員カード4であれば第1会員ID、第2会員カード5であれば他システム会員ID）を含む会員統合要求Bが

10

20

30

40

50

、インターネットを介してポイント管理装置 50 に対して送信される。

【0198】

ここで前記会員カード I D 特定処理が行われたポイント管理装置 50 において、前記会員統合要求 B に含まれる会員 I D に対応する会員カード I D として第 1 会員カード I D が特定されると、該ポイント管理装置 50 からキオスク端末 30 に対して、該特定された第 1 会員カード I D が返信されると共に、前記 D 3 2 1 と同様の図 1 5 の D 3 2 7 に示す画面が配信されて、ディスプレイ 3 4 に表示される。

【0199】

この D 3 2 7 で、会員が操作キー 3 5 を操作して、登録済の暗証番号を入力して「登録」ボタンを操作すると、挿入されている第 1 会員カード 4 が排出されると共に、前記記憶している既登録の会員カード I D (第 1 会員カード I D 又は第 2 会員カード I D) と、暗証番号とを含むと共に、D 3 2 7 で表示されている既登録の第 1 会員カード I D と、D 3 2 7 で入力された暗証番号とを含む第 2 の会員統合要求が、インターネットを介してポイント管理装置 50 に対して送信される。

10

【0200】

一方、前記会員カード I D 特定処理が行われたポイント管理装置 50 において、前記会員統合要求 B に含まれる会員 I D に対応する会員カード I D として第 2 会員カード I D が特定されると、該ポイント管理装置 50 からキオスク端末 30 に対して、該特定された第 2 会員カード I D が返信されると共に、前記 D 3 2 2 と同様の図 1 5 の D 3 2 8 に示す画面が配信されて、ディスプレイ 3 4 に表示される。

20

【0201】

この D 3 2 8 で、会員が操作キー 3 5 を操作して、登録済の暗証番号を入力して「登録」ボタンを操作すると、挿入されている第 2 会員カード 5 が排出されると共に、前記記憶している既登録の会員カード I D (第 1 会員カード I D 又は第 2 会員カード I D) と、暗証番号とを含むと共に、D 3 2 8 で表示されている既登録の第 2 会員カード I D と、D 3 2 8 で入力された暗証番号とを含む第 2 の会員統合要求が、インターネットを介してポイント管理装置 50 に対して送信される。

【0202】

このように、キオスク端末 30 から送信される第 2 の会員統合要求も、会員統合要求 A と会員統合要求 B と第 2 の会員統合要求の 3 回に分けて送信される。ここで最後に送信される第 2 の会員統合要求に含まれる各会員カード I D も、カードリーダー 3 3 により読み取った第 1 会員特定情報である第 1 会員 I D 又は他システム会員 I D から特定されるものである。即ち会員統合要求は、複数の記録媒体識別情報である会員カード I D を含む合算要求でもある。

30

【0203】

なお D 3 1 0 で、「3 つ」ボタンが操作された場合には、もう一度 D 3 2 4 に戻って D 3 2 7 又は D 3 2 8 の入力を受け付け、「4 つ」ボタンが操作された場合には、さらにもう一度 D 3 2 4 に戻って D 3 2 7 又は D 3 2 8 の入力を受け付けてから、D 3 2 7 で表示されている既登録の第 1 会員カード I D 及び D 3 2 7 で入力された暗証番号か、又は D 3 2 8 で表示されている既登録の第 1 会員カード I D 及び D 3 2 8 で入力された暗証番号をさらに含む第 2 の会員統合要求が送信される。

40

【0204】

以上に説明したように、キオスク端末 30 から送信される会員統合要求には、カードリーダー 3 3 により受け付けた 1 枚目の会員カードから読み取った第 1 会員特定情報と、カードリーダー 3 3 により受け付けた 2 枚目の会員カードから読み取った第 1 会員特定情報とが少なくとも含まれ、これにより複数の会員特定情報が含まれることになる。なお 3 つの会員カードを統合する場合には、3 枚目の会員カードから読み取った第 1 会員特定情報がさらに含まれ、4 つの会員カードを統合する場合には、4 枚目の会員カードから読み取った第 1 会員特定情報がさらに含まれる。

【0205】

50

またキオスク端末30からは、会員IDを含むグループ店一覧要求が、インターネットを介して、ポイント管理装置50に対して送信される。具体的には、図13のD300で、会員が操作キー35を操作して、「グループ店一覧」ボタンを操作すると、該グループ店一覧が選択された旨が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信され、該ポイント管理装置50からキオスク端末30に対して、前記D302に示す画面が配信されて、ディスプレイ34に表示される。

【0206】

このD302で、会員が会員カードをカードリーダー33に挿入すると、該会員カードの磁気ストライプからカードリーダー33により読み取った会員ID（第1会員カード4であれば第1会員ID、第2会員カード5であれば他システム会員ID）を含むグループ店一覧要求が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信される。このグループ店一覧要求に応じて、該ポイント管理装置50からキオスク端末30に対して、前記D121に示す画面（グループ店一覧）が配信されてくる。

10

【0207】

またキオスク端末30からは、既登録記録媒体識別情報である旧会員カードID（即ち引き継ぎ元ID）と共に新記録媒体識別情報である新会員カードID（即ち引き継ぎ先ID）を含む引き継ぎ要求が、インターネットを介して、ポイント管理装置50に対して送信される。

【0208】

具体的には、図13のD300で、会員が操作キーを操作して、「カードの引き継ぎ」ボタンを操作すると、該カードの引き継ぎが選択された旨が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信され、該ポイント管理装置50からカードユニット20に対して、図15のD330に示す画面が配信されて、ディスプレイ34に表示される。このD330では、再発行された新会員カードの挿入が求められる。

20

【0209】

このD330で、会員がカードリーダー33に未登録の新会員カードを挿入すると、該カードリーダー33に挿入された会員カードの磁気ストライプから読み取った会員ID（第1会員カード4であれば第1会員ID、第2会員カード5であれば他システム会員ID）が一時的に記憶されると共に、該読み取った会員IDを含む引き継ぎ要求Xが、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信される。

30

【0210】

ここでポイント管理装置50において、前記会員カードID特定処理が行われて、該引き継ぎ要求Xに含まれる会員IDに対応する会員カードID（第1会員カードID）、又は第2会員カードIDが特定されると、該ポイント管理装置50からキオスク端末30に対して、該特定された会員カードIDが返信されて一時的に記憶されると共に、前記D221に示す画面が配信されて、ディスプレイ34に表示される。そしてキオスク端末30では、このD221の表示以降、カードユニット20と同様の処理が行われる。

【0211】

なお図13～図15に示した各画面が表示されている状態で、図示しない「メニュー」ボタンを操作すると、メニュー表示要求が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信され、該ポイント管理装置50からキオスク端末30に対して、前記D300に示すメニュー画面が配信されて、ディスプレイに表示される。

40

【0212】

またキオスク端末30からは、ポイント会員専用画面表示モードが実行されると、カードリーダー33により受け付けた会員カードの磁気ストライプから読み取った会員ID（第1会員カード4の磁気ストライプ4cから読み取った第1会員ID、又は第2会員カード5の磁気ストライプ5cから読み取った他システム会員ID）を含むログイン画面配信要求が、インターネットを介して、ポイント管理装置50に対して送信される。さらにキオスク端末30からは、該ログイン画面配信要求に応じてポイント管理装置50から返信されてきた会員カードID（第1会員カードID又は第2会員カードID）と、該ログイン

50

画面配信要求に応じてポイント管理装置 50 から配信されてきたログイン画面（図 45 の D400-2）で入力された、当該会員カード ID と対応付けて登録済の暗証番号とを含むログイン要求が、インターネットを介して、ポイント管理装置 50 に対して送信される。ここでログイン要求は、後述する情報公開要求及び確認要求の一部である。このログイン要求に含まれる会員カード ID は、ポイント会員として対応付けて登録されているいずれの会員カード ID であっても良い。

【0213】

さらにキオスク端末 30 からは、前記ログイン要求に応じてポイント管理装置 50 から配信されてきたメニュー画面（図 45 の D401-2）に示される各ボタンの操作に応じて、ポイント確認・使用要求、登録情報の更新要求、グループ店一覧要求、グループ店追加情報要求、アンケート要求、イベント情報要求、当選情報要求、及び会員統合処理要求が、インターネットを介して、ポイント管理装置 50 に対して送信される。ここでポイント確認・使用要求、登録情報の更新要求、グループ店一覧要求、及びグループ店追加情報要求は、後述する情報公開要求の一部であり、アンケート要求、イベント情報要求、及び当選情報要求は、後述する確認要求の一部である。これらの要求に応じて、ポイント管理装置 50 からキオスク端末 30 に対して、図 46～図 48 に示す画面が配信されてくるが、これについては後述する。

【0214】

次に、第 1 遊技場及び第 2 遊技場に設置されるシステム管理装置 40 について説明する。システム管理装置 40 は遊技場内の所定箇所（例えば管理事務所等）に設けられるものであり、図 7 及び図 8 に示すように接続されるユニット用通信部 41a、会員管理装置用通信部 41b、場外通信部 41c、外部通信部 41d、制御部 42、ハードディスク 43、ディスプレイ 44、及び入力装置 45 等を備えているコンピュータである。

【0215】

ユニット用通信部 41a は、前述の如くカードユニット 20 のシステム管理装置用通信部 26a と通信可能に接続されており、システム管理装置 40 とカードユニット 20 との間における通信を司るものである。

【0216】

会員管理装置用通信部 41b は、第 1 遊技場においては、第 1 会員管理装置 100 のシステム管理装置用通信部 101b と通信可能に接続されており、システム管理装置 40 と第 1 会員管理装置 100 との間における通信を司るものである。ただし会員管理装置用通信部 41b は、第 2 遊技場においては、第 2 会員管理装置 200 とは接続されていない。

【0217】

場外通信部 41c は、専用線を通じて遊技場外の通信機器とのデータ通信を可能とするためのデジタルサービスユニット（DSU）等を備え、管理センタに設けられた転送装置 70 と通信可能に接続されており、システム管理装置 40 と転送装置 70 との間における通信を司るものである。

【0218】

この場外通信部 41c からは、後述する図 20 の D40 に示すように、定型レポート送信要求、イベント情報送信要求、アンケート結果送信要求、及びポイント状況送信要求が、転送装置 70 を介してポイント管理装置 50 に対して送信される。

【0219】

また場外通信部 41c からは、後述する図 25（a）に示すように、遊技場の営業終了後において（即ち 1 日 1 回）、システム管理装置 40 にて管理されている残額管理 DB（図 16（a））の記憶内容が、転送装置 70 を介してポイント管理装置 50 に対して送信される。

【0220】

外部通信部 41d は、インターネットと通信可能に接続されており、遊技場内に設置される各カードユニット 20 と、インターネットを介して接続されるポイント管理装置 50 との間における通信を中継するルータとして機能するものである。

【0221】

制御部42は、CPU、RAM、ROM等を備えており、ハードディスク43に記憶されている処理プログラムがRAMを作業領域としてCPUで実行されることにより、システム管理装置40に備えられる各構成要素の動作を制御して各種の処理を行うものである。

【0222】

記憶装置であるハードディスク43は、図16(a)に示す残額管理DBを記憶している。この残額管理DBでは、当該遊技場で発行された会員カードの会員カードIDと対応付けて、遊技用有価価値の大きさであるカード残額と、該会員カードIDの会員遊技者の本日(当該第1遊技場の営業当日)の使用有価価値の大きさである本日使用金額を記憶している。この本日使用金額は、ポイント付与対象情報である。この残額管理DBでは、各カードユニット20から、会員カードIDと使用金額が送信されてくると、制御部42の制御により、該送信されてきた会員カードIDに対応付けて記憶している本日使用金額に、該送信されてきた使用金額が加算更新される。この残額管理DBの記憶内容である会員カードID、カード残額、及び本日使用金額(即ちポイント付与対象情報)は、遊技場の営業終了後に転送装置70に対して送信される。

10

【0223】

ディスプレイ44は、各種の情報を表示するための表示デバイスであり、例えば液晶ディスプレイである。入力装置45は、各種の情報を入力するためのデバイスであり、例えばキーボードやマウスである。

20

【0224】

ここで図17～図23を参照して、システム管理装置40の作用について説明する。図17～図19は、カードユニット20との間における作用の一例を表す図である。

【0225】

まず図17を参照して、カードユニット20への入金に際しての処理について説明する。第1遊技場又は第2遊技場の営業中に、カードユニット20への貨幣の入金が行われると、該入金された貨幣が紙幣識別機23又は硬貨識別機24によって受け付けられて、貨幣の識別が行われる(S01)。その結果、正規の貨幣であると識別されると、次いで会員カード(第1会員カード4又は第2会員カード5)を受け付けているか否かの判定が実施される(S012)。該S02で会員カードを受付中である(Y)と判定されると、次いで該受け付けている会員カードにカード残額が残存しているか否かの判定が実施される(S10)。該S10でカード残額が残存している(Y)と判定されると、受け付けられた貨幣が返却される(S00)。一方、S10でカード残額が残存していない(N)と判定されると、S11～S15の入金処理が実施される。

30

【0226】

この入金処理では、まず前記識別された貨幣の金額である入金金額を受付中の会員カードにカード残額として記録して(S11)、該入金金額と、会員カードから読み取られる会員カードID(第1会員カードID又は第2会員カードID)とを、当該カードユニット20の装置IDと共にシステム管理装置40に対して送信する(S12)。該S12で送信された情報を受信したシステム管理装置40においては、受信した入金金額をカード残額として、受信した会員カードIDと対応付けて残額管理DBに記憶する(S13)。次いで、前記装置IDの送信元であるカードユニット20に対してカード残額の記憶がなされた旨を示す入金処理終了通知を送信する(S14)。該入金処理終了通知を受信したカードユニット20では、会員カードのカード残額に相当する度数を残度数として残度数表示器14に表示して、玉貸ボタン15の操作により会員カード玉貸処理を行う状態(以下「会員カード玉貸可能状態」と呼ぶ)となる(S15)。

40

【0227】

ここでS02に戻り、該S02で会員カードを受付中でない(N)と判定されると、入金金額が入金残額としてユニット制御部22のRAMに記憶されると共に、該入金残額が所定額(ここでは1000円とする)以下であるか否かの判定が実施される(S20)。

50

該 S 2 0 の判定で、所定額以下であると判定されると (Y)、入金残額分のビジタ玉貸処理が実施される (S 2 1)。一方、S 2 0 の判定で所定額以下でない (1 0 0 0 円より大きい金額) と判定されると (N)、入金された貨幣が返却される (S 0 0)。

【0 2 2 8】

次に図 1 8 を参照して、会員カードの挿入時の処理、玉貸ボタン操作時の処理、及び会員カード玉貸処理について説明する。遊技場の営業中に、カードユニット 2 0 に会員カードが挿入されると (S 3 0)、カード R/W 2 5 により該受け付けた会員カードから記録情報である会員カード I D (第 1 会員カード I D 又は第 2 会員カード I D)、会員 I D (第 1 会員 I D 又は他システム会員 I D)、及びカード残額を読み取って (S 3 1)、該読み取った会員カード I D 及びカード残額を含む使用許諾要求を当該カードユニット 2 0 の装置 I D と共にシステム管理装置 4 0 に対して送信する (S 3 2)。使用許諾要求を受信したシステム管理装置 4 0 では、該受信したカード残額が、該受信した会員カード I D に対応付けて残額管理 D B に記憶しているカード残額以下であるか否か (受信したカード残額 $\leq$ 受信した会員カード I D に対応付けて残額管理 D B に記憶しているカード残額?) の照合を実施する (S 3 3)。

10

【0 2 2 9】

この S 3 3 の照合が照合 O K (即ち、受信したカード残額 $\leq$ 受信した会員カード I D に対応付けて残額管理 D B に記憶しているカード残額) である場合には、該照合 O K の旨を示す会員カード使用許諾情報を前記 S 3 2 で送信されてきた装置 I D のカードユニット 2 0 に対して送信する (S 3 4)。なお、カードユニット 2 0 とシステム管理装置 4 0 との間の通信状態がオフラインであるときに、カードユニット 2 0 にてカード残額が使用されると、受信したカード残額 $<$ 受信した会員カード I D に対応付けて残額管理 D B に記憶しているカード残額となるが、この場合には、受信した会員カード I D に対応付けて残額管理 D B に記憶しているカード残額を、受信したカード残額に更新しておく。会員カード使用許諾情報を受信したカードユニット 2 0 では、受け付けた会員カードのカード残額が残存しているか否かの判定を実施する (S 3 6)。この S 3 6 の判定で残額有りとは判定された場合には (Y)、会員カードのカード残額に相当する度数を残度数として残度数表示器 1 4 に表示して、会員カード玉貸可能状態となる (S 3 7)。一方、S 3 6 の判定で残額無しとは判定された場合には (N)、該会員カードのカード残額に相当する度数 (0 度数) を残度数として残度数表示器 1 4 に表示して、会員カード玉貸可能状態とはならない (S 3 8)。

20

30

【0 2 3 0】

ここで S 3 3 に戻り、該 S 3 3 で照合 N G (即ち、受信したカード残額 $>$ 受信した会員カード I D に対応付けて残額管理 D B に記憶しているカード残額) である場合には、該照合 N G の旨を示す会員カード使用不可情報を前記 S 3 2 で送信されてきた装置 I D のカードユニット 2 0 に対して送信する (S 3 5)。会員カード使用不可情報を受信したカードユニット 2 0 では、受け付けた会員カードを返却する。

【0 2 3 1】

次に玉貸ボタン 1 5 が操作される場合の処理について説明する。玉貸ボタン 1 5 が操作されると (S 4 0)、該操作を検出したユニット制御部 2 2 によって、会員カード玉貸可能状態であるか否かの判定が実施される (S 4 1)。S 4 1 の判定で、会員カード玉貸可能状態でないと判定された場合には (N)、処理を終了する。一方、S 4 1 の判定で、会員カード玉貸可能状態であると判定された場合には (Y)、S 5 0 ~ に示す会員カード玉貸処理を行う。

40

【0 2 3 2】

この会員カード玉貸処理では、まず玉貸設定金額 (又はカード残額) 分の玉貸処理がユニット制御部 2 2 により実施され (S 5 0)、受け付けている会員カードのカード残額から該玉貸処理に使用した使用金額を減算すると共に、残度数の表示も更新する (S 5 1)。次いで、受け付けている会員カードの会員カード I D、及び前記使用金額を、装置 I D と共にシステム管理装置 4 0 に対して送信する (S 5 2)。システム管理装置 4 0 では、

50

受信した会員カード I D と対応付けて残額管理 D B に記憶しているカード残額から、受信した使用金額を減算更新する (S 5 3) と共に、受信した会員カード I D と対応付けて残額管理 D B に記憶している本日使用金額に、受信した使用金額を加算更新する (S 5 4)。次いで、カード残額の減算が完了した旨を示す減算完了通知を S 5 2 で送信されてきた装置 I D のカードユニット 2 0 に対して送信する (S 5 5)。S 5 5 の減算完了通知を受信したカードユニット 2 0 では、会員カードのカード残額が 0 であるか否かの判定が実施され (S 5 6)、カード残額が 0 でないと判定されると (N)、会員カード玉貸可能状態が継続する (S 5 7)。S 5 6 の判定でカード残額が 0 と判定されると (Y)、会員カード玉貸可能状態が解除される (S 5 8)。

【0 2 3 3】

次に図 1 9 を参照して、カード返却ボタン 1 6 が操作される場合のカードユニット 2 0 の処理について説明する。カード返却ボタン 1 6 が操作されると (S 6 0)、会員カードを受け付けているか否かの判定がカード R / W 制御部 2 6 により実施され (S 6 1)、受付中でないと判定されると (N)、処理を終了する。一方、S 6 1 の判定において受付中と判定されると (Y)、会員カード玉貸可能状態が解除されると共に、残度数の表示が停止する (S 6 2)。そして、会員カードが返却される (S 6 3)。

【0 2 3 4】

図 2 0 ~ 図 2 3 は、システム管理装置 4 0 のディスプレイ 4 4 で表示される経営支援画面の一例を表す図である。まず図 2 0 は、システム管理装置 4 0 で表示される定型レポート表示画面の一例を表す図である。ここで D 4 0 ~ D 4 4 は、システム管理装置 4 0 が記憶している画面であり、D 4 5 は、ポイント管理装置 5 0 から送信されてくる画面である。システム管理装置 4 0 において、オペレータが入力装置 4 5 を操作して、経営支援画面表示モードが実行されると、D 4 0 に示すメニュー画面がディスプレイ 4 4 に表示される。この D 4 0 では、「定型レポート」ボタン、「イベント情報」ボタン、「アンケート結果」ボタン、及び「ポイント状況ボタン」が表示される。

【0 2 3 5】

この D 4 0 で、オペレータが入力装置 4 5 を操作して、「定型レポート」ボタンを操作すると、D 4 1 に示す期間選択画面がディスプレイ 4 4 に表示される。この D 4 1 では、定型レポートで表示する使用金額の集計期間を選択するためのボタンとして、「月別」ボタン、「週別」ボタン、及び「日別」ボタンが表示される。

【0 2 3 6】

この D 4 1 で、オペレータが入力装置 4 5 を操作して、「月別」ボタンを操作すると、D 4 2 に示す集計月選択画面がディスプレイ 4 4 に表示される。この D 4 2 では、定型レポートを作成可能な月が選択可能に表示され、デフォルトでは当年の月が表示されるが、画面右下に表示される「前年」ボタンを操作すると、前年の月が表示され、該前年以前の月が表示されている状態で画面右下に表示される「次年」ボタンを操作すると、次年の月が表示される。この D 4 2 で、オペレータが入力装置 4 5 を操作して、定型レポートの送信を希望する月を選択すると、該選択された月の定型レポートの送信を要求する定型レポート送信要求が、場外通信部 4 1 c から転送装置 7 0 を介して、ポイント管理装置 5 0 に対して送信される。

【0 2 3 7】

また D 4 1 で、オペレータが入力装置 4 5 を操作して、「週別」ボタンを操作すると、D 4 3 に示す集計週選択画面がディスプレイ 4 4 に表示される。この D 4 3 では、定型レポートを作成可能な週が選択可能に表示され、デフォルトでは当年の週が表示されるが、画面右下に表示される「前年」ボタンを操作すると、前年の週が表示され、該前年以前の週が表示されている状態で画面右下に表示される「次年」ボタンを操作すると、次年の週が表示される。この D 4 3 で、オペレータが入力装置 4 5 を操作して、定型レポートの送信を希望する週を選択すると、該選択された週の定型レポートの送信を要求する定型レポート送信要求が、場外通信部 4 1 c から転送装置 7 0 を介して、ポイント管理装置 5 0 に対して送信される。

【0238】

またD41で、オペレータが入力装置45を操作して、「日別」ボタンを操作すると、D44に示す集計日選択画面がディスプレイ44に表示される。このD44では、定型レポートを作成可能な日を選択可能に表示され、デフォルトでは当月の日が表示されるが、画面右下に表示される「前月」ボタンを操作すると、前月の日が表示され、該前月以前の日が表示されている状態で画面右下に表示される「次月」ボタンを操作すると、次月の日が表示される。このD44で、オペレータが入力装置45を操作して、定型レポートの送信を希望する日を選択すると、該選択された日の定型レポートの送信を要求する定型レポート送信要求が、場外通信部41cから転送装置70を介して、ポイント管理装置50に対して送信される。

10

【0239】

これら定型レポート送信要求に応じて、ポイント管理装置50からシステム管理装置40に対して、D45に示す定型レポート表示画面が送信されてきてディスプレイ45に表示されるが、これについては後述する。

【0240】

図20のD40に戻り、オペレータが入力装置45を操作して、「イベント情報」ボタンを操作すると、メールソフトが起動して、図21のD50に示すイベント情報送信画面がディスプレイ44に表示される。このD50では、送信する電子メールのタイトルと、送信内容の入力欄が設けられる他、送信対象となるポイント会員の属性を指定するためのチェックボックスが設けられており、性別、生年月日を属性として、10代男性、10代女性、20代男性、20代女性、30代男性、30代女性、40代男性、40代女性、50代男性、50代女性、60代男性、60代女性、70代以上男性、70代以上女性の14のグループに分類されていて、当該遊技場メールの送信対象とするグループを選択可能である。

20

【0241】

このD50で、オペレータが入力装置45を操作して、タイトルを入力し（ここでは「レディースデー」）、チェックボックスをチェックすることにより送信対象グループを選択し（ここでは全年代の女性）、送信内容を入力して（ここではA店で開催されるイベントであるレディースデーについての告知）、「送信」ボタンを選択すると、該D50で入力・選択された内容を含むイベント情報が、場外通信部41cから転送装置70を介して、ポイント管理装置50に対して送信される。このイベント情報を受信したポイント管理装置50は、該イベント情報を記憶し、所定のタイミングで、前記送信対象となるポイント会員の電子メールアドレスに対して、該イベント情報を含む電子メールを送信するが、これについては図33及び図34を参照して後述する。

30

【0242】

図20のD40に戻り、オペレータが入力装置45を操作して、「アンケート結果」ボタンを操作すると、アンケート結果送信要求が、場外通信部41cから転送装置70を介して、ポイント管理装置50に対して送信される。このアンケート結果送信要求に応じて、ポイント管理装置50からシステム管理装置40に対して、図22のD60に示すアンケート結果表示画面が送信されてきてディスプレイ45に表示されるが、これについては後述する。

40

【0243】

図20のD40に戻り、オペレータが入力装置45を操作して、「ポイント状況」ボタンを操作すると、ポイント状況送信要求が、場外通信部41cから転送装置70を介して、ポイント管理装置50に対して送信される。このポイント状況送信要求に応じて、ポイント管理装置50からシステム管理装置40に対して、図23のD70又はD71に示すポイント状況表示画面が送信されてきてディスプレイ45に表示されるが、これについては後述する。

【0244】

次に、第1遊技場に設置される第1会員管理装置100について説明する。第1会員管

50

理装置 100 は、第 1 遊技場内の所定箇所（例えば管理事務所等）に設けられるものであり、図 8 に示すように接続されるユニット用通信部 101a、システム管理装置用通信部 101b、制御部 102、ハードディスク 103 等を備えているコンピュータである。

【0245】

ユニット用通信部 101a は、前述の如くカードユニット 20 の会員管理装置用通信部 21a と通信可能に接続されており、第 1 会員管理装置 100 とカードユニット 20 との間における通信を司るものである。このユニット用通信部 101a は、前述の如く、カードユニット 20 で読み取られた第 1 会員 ID、及び該カードユニット 20 に対応するパチンコ機 10 で発生した遊技情報を受信する。

【0246】

システム管理装置用通信部 101b は、システム管理装置 40 の会員管理装置用通信部 41b と通信可能に接続されており、第 1 会員管理装置 100 とシステム管理装置 40 との間における通信を司るものである。このシステム管理装置用通信部 101b は、第 1 会員情報 DB により管理されている第 1 会員 ID と属性情報（暗証番号、氏名、住所、性別、生年月日、電子メールアドレス）とを送信するものであり、第 1 会員情報 DB への会員 ID と属性情報の登録や登録情報の変更が行われた場合に、更新後の第 1 会員情報 DB の記憶内容を、システム管理装置 40 及び転送装置 70 を介してポイント管理装置 50 に対して送信するが、前述の如く、ポイント管理装置 50 に対して送信された該属性情報のうち、暗証番号は、第 1 会員 ID 及び第 1 会員カード ID と対応付けて、後述する図 27 (a) に示すエンコード情報 DB で記憶されるが、該暗証番号以外の氏名、住所、性別、生年月日、及び電子メールアドレスは、特に使用されずに破棄される。

【0247】

制御部 102 は、CPU、RAM、ROM 等を備えており、ハードディスク 103 に記憶されている処理プログラムが RAM を作業領域として CPU で実行されることにより、第 1 会員管理装置 100 に備えられる各構成要素の動作を制御して各種の処理を行うものである。

【0248】

記憶装置であるハードディスク 103 は、図 16 (b) に示す第 1 会員情報 DB を記憶している。この第 1 会員情報 DB は属性情報管理手段の一例であって、第 1 会員 ID と対応付けて、当該第 1 会員 ID から特定される第 1 会員遊技者の属性情報（暗証番号、氏名、住所、性別、生年月日、電子メールアドレス）を管理するものであり、第 1 遊技場の会員として会員登録を行った第 1 会員遊技者の「第 1 会員 ID」に対応付けて、該第 1 会員遊技者の「暗証番号」と、同「氏名」と、同「住所」と、同「性別」と、同「生年月日」と、同「電子メールアドレス」が記憶されている。この第 1 会員情報 DB へ登録する情報の入力、第 1 会員管理装置 100 が備える図示しないディスプレイや入力装置を使用して行われる。また第 1 会員 ID に対応付けて、パチンコ機 10 から送信されてきた遊技情報を集計して、大当たり回数等の遊技情報も記憶されている。

【0249】

ここで前記制御部 102 は、後述する図 26 (a) に示すポイント会員情報 DB において第 1 会員カード ID に対応する属性情報（氏名、住所、電子メールアドレス）の更新が行われたポイント管理装置 50 から、該第 1 会員カード ID と更新後の属性情報とを受信したに基づいて、該受信した第 1 会員カード ID に対応付けて第 1 会員情報 DB で記憶している属性情報を、該受信した更新後の属性情報に更新する処理を行う。

【0250】

次に、第 2 遊技場に設置される第 2 会員管理装置 200 について説明する。この第 2 会員管理装置 200 は、前述の如く、第 1 会員管理装置 100 を設置・管理するカード会社とは異なる他社が設置・管理するものである。この第 2 会員管理装置 200 は第 2 遊技場内の所定箇所（例えば管理事務所等）に設けられるものであり、図 8 に示すように接続されるユニット用通信部 201a、制御部 202、ハードディスク 203 等を備えているコンピュータである。

【0251】

ユニット用通信部201aは、前述の如くカードユニット20の会員管理装置用通信部21aと通信可能に接続されており、第2会員管理装置200とカードユニット20との間における通信を司るものである。このユニット用通信部201aは、前述の如く、カードユニット20で読み取られた他システム会員ID、及び該カードユニット20に対応するパチンコ機10で発生した遊技情報を受信する。

【0252】

制御部202は、CPU、RAM、ROM等を備えており、ハードディスク203に記憶されている処理プログラムがRAMを作業領域としてCPUで実行されることにより、第2会員管理装置200に備えられる各構成要素の動作を制御して各種の処理を行うものである。

10

【0253】

記憶装置であるハードディスク203は、図16(c)に示す第2会員情報DBを記憶している。この第2会員情報DBでは、第2遊技場の会員として会員登録を行った第2会員遊技者の「他システム会員ID」に対応付けて、該第2会員遊技者の「暗証番号」と、同「氏名」と、同「住所」と、同「性別」と、同「生年月日」と、同「電子メールアドレス」が記憶されている。この第2会員情報DBへ登録する情報の入力は、第2会員管理装置200が備える図示しないディスプレイや入力装置を使用して行われる。また他システム会員IDに対応付けて、パチンコ機10から送信されてきた遊技情報を集計してなる、大当たり回数等の遊技情報も記憶されている。

20

【0254】

次に、図24を参照して、遊技場外の各装置（転送装置70、エンコード情報管理装置、及びポイント管理装置50）について説明する。

【0255】

まず、エンコード情報管理装置60について説明する。エンコード情報管理装置60は、会員カードエンコード機構に設置されるコンピュータであって、図示しないが、エンコード情報DBを記憶している。このエンコード情報DBでは、各第1会員カード4に記録（エンコード）された第1会員IDと第1会員カードIDとの対応付け、及び各第2会員カード5に記録（エンコード）された他システム会員IDと第2会員カードIDとの対応付けを示すエンコード情報とが記憶されている。またエンコード情報管理装置60は、カード会社のポイント管理装置50と通信を行うためのインターフェイス（例えば専用線に接続するための機器等）を備えている。ここでは、ポイント管理装置50からの要求に応じて、エンコード情報DBの記憶内容を該ポイント管理装置50に対して送信する。

30

【0256】

次に、転送装置70について説明する。転送装置70は、管理センタに設置されるコンピュータであって、カード会社に属するものである。この転送装置70では、図16(a)に示す残額管理DBを記憶している。この残額管理DBは、前述したように、各遊技場から営業終了後に送信されてきた残額管理DBの記憶内容（即ち会員カードIDに対応するカード残額及び本日使用金額）を記憶しているDBであり、各遊技場に対応する残額管理DBの記憶内容を管理するDBである。なお、各遊技場から送信されてきた情報を、1つのデータテーブルにまとめて記憶しても良く、各遊技場毎に別のデータテーブルに記憶するようにしても良い。

40

【0257】

また転送装置70は、各遊技場のシステム管理装置40、及びカード会社のポイント管理装置50と通信を行うためのインターフェイスを備えており、システム管理装置40とポイント管理装置50との間における通信、及びシステム管理装置40とポイント管理装置50との間における通信を中継する。ここでは、図16(a)に示す残額管理DBの記憶内容が更新されると、該更新後の記憶内容をポイント管理装置50に対して送信する。

【0258】

ここで図25(a)を参照して、遊技場の営業終了後における転送装置70の作用につ

50

いて説明する。ある営業日（例えば9月16日）において、各遊技場（第1遊技場、第2遊技場）の営業終了時刻（S70）を経過すると、システム管理装置40は、残額管理DBの記憶内容（図16（a））を、転送装置70に対して送信する（S71）。これを各遊技場から受信した転送装置70は、残額管理DBの記憶内容（図16（a））を更新し（S72）、該更新後の残額管理DBの記憶内容を、ポイント管理装置50に対して送信する（S73）。

【0259】

これを受信したポイント管理装置50は、制御部52により、後述する図26（c）に示す使用金額DBの更新（S74）、図26（a）に示すポイント会員情報DBの更新（S75）、及び図27（b）（c）に示すグループDBと店舗DBの更新（S76）を行

10

【0260】

まずS74では、使用金額DBにおいて、会員カードIDと対応付けて、受信した各会員カードIDに対応する本日使用金額を営業日別使用金額として、当該営業日に対応する記憶領域（ここでは9月16日に対応する記憶領域）に記憶する。これにより各会員遊技者の使用金額を日単位で管理することができる。次にS75では、後述するポイント付与処理（図25（b）を参照）及びポイント加算処理を行って、ポイント会員情報DBにおいて、累計使用金額及びポイントを更新する。そしてS76では、グループDB及び店舗DBにおいて、ポイント会員情報DBで加算更新されたポイント数を、各会員カードIDに含まれる店舗IDと対応付けて管理されている総獲得ポイント数及び残ポイント数に対して加算更新する。

20

【0261】

次に、ポイント管理装置50について説明する。ポイント管理装置50は、図26（a）に示すように、記録媒体識別情報及び会員識別情報である会員カードIDを登録すると共に、該登録した会員識別情報に対応付けて、当該記録媒体（第1会員カード4又は第2会員カード5）を使用した店舗での取引処理（即ち遊技場での玉貸処理）に関連して発生する取引関連情報である該記録媒体の所有者（即ち会員）の使用金額及びポイントを管理するものである。ここでのポイントは、前述の如く、当該記録媒体の所有者の使用金額に応じて、1日あたり10ポイントを上限値として付与される点数である。またポイント管理装置50は、会員の属性情報（性別、生年月日等）を含む登録要求（第1登録要求又は第2登録要求）を受信し、前記登録した会員カードIDに対応付けて、該受信した登録要求に含まれる属性情報を管理するものである。

30

【0262】

さらにポイント管理装置50は店舗情報提供装置の一例であって、ユーザー（会員）が操作する操作端末（登録端末）から、店舗を特定可能な店舗特定情報（会員カードID）を含む店舗情報要求（登録要求A）を受信したことに基づいて、該受信した店舗情報要求に含まれる店舗特定情報から特定される店舗に関する店舗情報（イベント情報）を前記操作端末に対して提供する店舗情報提供手段である制御部52を有するものである。

【0263】

またポイント管理装置50は、前述した図3～図6、図10～図11、及び図13～図15に示すポイント会員登録画面や、後述する図46～図48に示すポイント会員専用画面を、登録端末（PC6、携帯電話7、カードユニット20、キオスク端末30）に対して配信する、ウェブサーバとして機能するものである。さらにポイント管理装置50は、システム管理装置40からの要求に応じて、前述した図20～図23に示す管理画面を送信する、経営支援装置として機能するものである。

40

【0264】

このポイント管理装置50は、カード会社内の所定箇所（例えば管理事務所等）に設置されるものであり、図24に示すように接続されるエンコード情報管理装置用通信部51a、転送装置用通信部51b、外部通信部51c、制御部52、ハードディスク53、ディスプレイ54、及び入力装置55等を備えているコンピュータである。このポイント管

50

理装置 50 は、インターネット接続機能を備えるものであり、外部通信部 51 c を介してインターネットに接続されている。

【0265】

エンコード情報管理装置用通信部 51 a は、会員カードエンコード機構に設置されるエンコード情報管理装置 60 と通信可能に接続されており、ポイント管理装置 50 とエンコード情報管理装置 60 との間における通信を司るものであり、ここではエンコード情報管理装置 60 からエンコード情報 DB の記憶内容を受信する。

【0266】

転送装置用通信部 51 b は、管理センタに設置される転送装置 70 と通信可能に接続されており、ポイント管理装置 50 と転送装置 70 との間における通信を司るものである。この転送装置用通信部 51 b は、前記図 21 の D50 で、送信内容として入力されたイベントの内容を含むと共に、送信対象として選択されたイベント対象会員の属性情報を含むイベント情報を、システム管理装置 40 から転送装置 70 を介して受信することにより、会員に対して通知する通知内容（ここではイベントの内容）と、通知対象とする会員の会員カード ID を特定可能な情報（ここではイベント対象会員の属性情報）とを設定する通知情報設定手段として機能するものである。

【0267】

外部通信部 51 c は、インターネットと通信可能に接続されており、ポイント管理装置 50 とインターネットを介して接続される登録端末（PC 6、携帯電話 7、カードユニット 20、キオスク端末 30）との間における通信を司るものである。

【0268】

制御部 52 は、CPU、RAM、ROM等を備えており、ハードディスク 53 に記憶されている処理プログラムが RAM を作業領域として CPU で実行されることにより、ポイント管理装置 50 に備えられる各構成要素の動作を制御して各種の処理を行うものであるが、その機能については後述する。

【0269】

記憶装置であるハードディスク 53 は、図 26 (a) に示すように、ポイント会員情報 DB を記憶している。このポイント会員情報 DB では、会員カード ID に対応付けて、他の会員カード ID、暗証番号、属性情報（氏名、住所、性別、生年月日、電子メールアドレス）、メール配信店舗、累積使用金額、ポイント数（累計ポイント、当日ポイント）、及び引き継ぎ特定情報（引き継ぎ日付、引き継ぎ元 ID）を記憶（管理）する欄が設けられている。

【0270】

このポイント会員情報 DB は会員管理手段の一例であって、各店舗において店舗会員として会員登録した会員であるユーザーが操作する操作端末（登録端末）から、店舗情報要求として、該会員の電子メールアドレスと、店舗特定情報として該会員を個々に識別可能であり店舗を特定可能な会員カード ID とを受信したことに基づいて、該受信した電子メールアドレスと会員カード ID とを対応付けて管理（記憶）するものである。具体的には、PC 6 又は携帯電話 7 から、店舗情報要求として第 2 登録要求 B（図 4 の D107 又は D109）を受信したことに基づいて、該第 2 登録要求 B に含まれる電子メールアドレスと会員カード ID とを対応付けて記憶し、またカードユニット 20 又はキオスク端末 30 から、店舗情報要求として電子メールアドレスを含む第 1 登録要求 B（図 10 の D204 又は D207）を受信したことに基づいて、該第 1 登録要求 B に含まれる電子メールアドレスと会員カード ID とを対応付けて記憶する。

【0271】

また会員登録手段として機能するポイント会員情報 DB は、操作端末（登録端末）から、店舗情報（イベント情報）の提供を希望する店舗を特定可能な情報（店舗 ID）を含む返信情報を受信したことに基づいて、該受信した返信情報から特定される店舗の店舗 ID を会員カード ID に対応付けて管理（記憶）する。具体的には、PC 6 又は携帯電話 7 から、返信情報として第 2 登録要求 B（図 4 の D107 又は D109）を受信したことに基

づいて、該第2登録要求Bに含まれる会員カードIDに対応付けて、該第2登録要求Bに含まれる店舗ID（D107の場合にはA店及びB店、D109の場合にはX店及びC店）をメール配信店舗の記憶欄に記憶し、またカードユニット20又はキオスク端末30から、返信情報として店舗IDを含む第1登録要求B（図10のD204又はD207）を受信したことに基づいて、該第1登録要求Bに含まれる会員カードIDに対応付けて、該第1登録要求Bに含まれる店舗ID（D204の場合にはA店及びB店、D207の場合にはX店及びC店）をメール配信店舗の記憶欄に記憶する。

【0272】

またポイント会員情報DBはポイント管理手段の一例であって、各店舗において店舗会員として会員登録した会員であるユーザーが操作する操作端末（登録端末）から、店舗特定情報として該会員を個々に識別可能であり店舗を特定可能な会員カードIDを含む登録要求（第1登録要求B又は第2登録要求B）を受信したことに基づいて、後述する登録手段（制御部52）により、該受信した登録要求に含まれる会員カードIDを登録すると共に、該登録した会員カードIDに対応付けて、当該会員カードIDの会員カード（第1会員カード4、第2会員カード5）の所有者（即ち会員）のポイントを管理するものである。このポイント会員情報DBの各欄の記憶方法及び更新方法については後述する。

10

【0273】

さらにポイント会員情報DBは引き継ぎ特定情報管理手段の一例であって、前記操作端末から、既登録会員カードIDと共に新会員カードIDを含む引き継ぎ要求を受信したことに基づいて、後述する図41（b）に示すように、引き継ぎ処理が行われると、該引き継ぎ処理後の新会員カードID（即ち引き継ぎ先ID）に対応付けて、該受信した日付を引き継ぎ日付として記憶（管理）すると共に、該引き継ぎ要求に含まれる既登録会員カードIDを引き継ぎ元IDとして記憶（管理）するものである。

20

【0274】

またハードディスク53は、図26（b）に示すように、通知情報DBを記憶している。この通知情報DBは、会員カードIDに対応付けて、当該会員カードIDの会員に対して通知する通知情報を記憶するものであり、ここでは該通知情報として、後述するグループ店追加情報、アンケート情報、イベント情報、及び当選情報を記憶するように構成されている。この通知情報DBの各欄の記憶方法及び消去方法については後述する。なおアンケート情報は、当該アンケートのアンケート期間が終了すると消去される。

30

【0275】

またハードディスク53は、図26（c）に示すように、使用金額DBを記憶している。この使用金額DBでは、会員カードIDに対応付けて、該会員カードIDの会員遊技者が当日の遊技に使用した使用価値の大きさである使用金額を、営業日別使用金額として営業日別に記憶している。この使用金額DBでは、転送装置70から、遊技場の営業終了後に、図16（a）に示す残額管理DBの記憶内容が送信されてくると、該残額管理DBで各会員カードIDと対応付けて記憶されている本日使用金額が、当日の営業日別使用金額の記憶欄に記憶される。

【0276】

またハードディスク53は、図27（a）に示すように、エンコード情報DBを記憶している。このエンコード情報DBでは、エンコード情報管理装置60から取得したエンコード情報として、各第1会員カード4に記録された第1会員IDと第1会員カードIDとの対応付け、及び各第2会員カード5に記録された他システム会員IDと第2会員カードIDとの対応付けが記憶されると共に、第1会員管理装置100から、店舗会員として登録した第1会員ID、暗証番号（即ち第1会員カード4の発行時に登録された暗証番号）、及び属性情報が送信されてきたときに、該送信されてきた第1会員IDに対応する暗証番号が記憶される。

40

【0277】

またハードディスク53は、図27（b）に示すグループDB、及び図27（c）に示す店舗DBを記憶している。これらグループDB及び店舗DBは店舗管理手段の一例であ

50

って、ポイント管理装置 50 に登録された店舗を個々に識別可能な店舗 ID を管理（記憶）すると共に、該店舗が後述するグループ設定手段により設定されたグループに属するときには、該グループを個々に識別可能なグループ識別情報であるグループ名を対応付けて管理（記憶する）ものである。また店舗管理手段として機能するグループ DB は、店舗 ID に対応付けて、当該店舗 ID の店舗の所在地が属する地域を個々に識別可能な地域識別情報である地域名を管理（記憶）するものである。

【0278】

ここでグループ DB は、グループ設定手段によりグループ店として登録された各店舗の店舗名及び店舗 ID に対応付けて、各店舗が属するグループのグループ名、及び各店舗の所在地が属する地域の地域名（ここでは都道府県名）を記憶している。また店舗 DB は、グループ設定手段によりグループ店として設定可能な各店舗（換言すれば未だいずれのグループ店としても設定されていない店舗）の店舗名及び店舗 ID を記憶している。これらグループ名、地域名、店舗名、及び店舗 ID の登録については後述する。

10

【0279】

またグループ DB 及び店舗 DB は、各店舗 ID に対応付けて、ポイント会員数、総獲得ポイント数、残ポイント数、及び当月使用ポイント数（抽選応募使用ポイント数と商品交換使用ポイント数）を記憶しており、かつグループ DB は、ポイント会員数、総獲得ポイント数、残ポイント数、及び当月使用ポイント数のグループ合計を記憶している。なお各店舗は、いずれか 1 つのグループにしか属することができないので、1 つの店舗が複数のグループに登録されることはない。

20

【0280】

ここでポイント会員数は、ポイント会員として登録した当該店舗の店舗会員の数（即ちポイント会員情報 DB において登録されている当該店舗の会員カード ID の数）であり、ポイント会員情報 DB においてポイント会員の登録が行われると、ポイント会員数が加算更新される。

【0281】

また総獲得ポイント数は、当該店舗の各ポイント会員に対して付与されたポイント数の合計である。この総獲得ポイント数は、ポイント会員情報 DB におけるポイント数の加算更新に伴って、該加算更新されたポイント数分だけ加算更新され、所定のタイミング（例えば半年毎、一年毎等）でリセットされる。

30

【0282】

また残ポイント数は、前記総獲得ポイント数のうち、各店舗の各ポイント会員が未使用のポイント数の合計である。この残ポイント数は、ポイント会員情報 DB におけるポイント数の加算更新に伴って、該加算更新されたポイント数分だけ加算更新され、ポイント会員情報 DB におけるポイント数の減算更新に伴って、該減算更新されたポイント数分だけ減算更新される。

【0283】

さらに当月使用ポイント数は、店舗の各ポイント会員が今月使用したポイント数の合計であり、抽選への応募に使用されたポイント数（以下「抽選応募使用ポイント数」と称する。）と、商品との交換に使用されたポイント数（以下「商品交換使用ポイント数」と称する。）とが、分けて記憶される。

40

【0284】

この抽選応募使用ポイント数は、ポイント会員情報 DB における抽選への応募に使用されたポイント数の減算更新に伴って、該減算更新されたポイント数分だけ加算更新される。また商品交換使用ポイント数は、ポイント会員情報 DB における商品との交換に使用されたポイント数の減算更新に伴って、該減算更新されたポイント数分だけ加算更新される。

【0285】

ここでグループは、商品交換使用ポイント数のグループ合計に応じた対価を負担し、グループに登録されていない各店舗は、当該店舗の商品交換使用ポイント数に応じた対価を

50

負担する。なお抽選応募については、抽選応募使用ポイント数に応じた対価ではなく、各店舗が一律の料金（例えば月額〇万円）は負担する。この当月使用ポイント数は、決済期間の1ヶ月が経過するとリセットされる。

【0286】

さらにハードディスク53は、図27(d)に示すように、抽選情報DBを記憶している。この抽選情報DBでは、各抽選を識別可能な抽選IDに対応付けて、該抽選の種別（ポイントを使用した抽選であるか、又はアンケートに対応した抽選であるか）と、該抽選への応募を受け付ける期間である応募期間と、該抽選にあたり用意される各賞の賞名と、各賞の当選者数と、各賞に応募するために必要なポイント数である必要ポイントと、各賞の説明と、各賞に応募した会員の会員カードID（第1会員カードID、第2会員カードID）とが記憶される。ここで抽選IDから賞の説明までの各項目は、ポイント管理装置50において抽選の設定が行われると記憶される。

10

【0287】

また応募者会員カードIDの項目は、以下のようにして記憶される。まず登録端末から、後述する図46のD410-1、又はD410-2に示すように、当該画面で選択した賞の抽選への応募を示す応募情報を受信すると、当該抽選の抽選IDに対応付けて、該選択した賞に対応する応募者会員カードIDの記憶欄に、該応募情報の送信元である登録端末から送信されているログイン要求に含まれる会員カードID（即ちログインID）が記憶される。また登録端末から、後述する図48のD460に示すように、アンケートへの回答を含む回答情報を受信すると、当該アンケートに対応する抽選の抽選IDに対応する応募者会員カードIDの記憶欄に、該回答情報の送信元である登録端末から送信されているログイン要求に含まれる会員カードID（即ちログインID）が記憶される。さらにアンケートが配信されたPC6又は携帯電話7から、後述する図30のD21に示すように、アンケート期間中に前記回答情報と共に会員カードIDを受信すると、当該アンケートに対応する抽選の抽選IDに対応する応募者会員カードIDの記憶欄に、該回答情報に含まれる会員カードIDが記憶される。

20

【0288】

ディスプレイ54は各種の情報を表示するもの（例えば液晶ディスプレイ）であり、入力装置55は各種の入力を受け付けるもの（例えばキーボードやマウス）である。

【0289】

これらディスプレイ54及び入力装置55はグループ設定手段の一例であって、複数の店舗が属するグループを設定するものである。具体的には、オペレータがポイント管理装置50を操作してグループ設定モードを実行すると、図28のD01に示すグループ編集画面がディスプレイ54に表示される。このD01では、新規店舗の登録を行うための「新規店舗の登録」ボタンと、新たなグループの設定を行うための「新グループの設定」ボタンと、既に登録されているグループに対する新規店舗の追加を行うための「グループ店の追加」ボタンが表示される。

30

【0290】

このD01で、オペレータが入力装置55を操作して、「新規店舗の登録」ボタンを操作すると、図28のD02に示す画面がディスプレイ54に表示される。このD02では、新規店舗の店舗名と店舗IDの入力が求められると共に、店舗名の入力欄と店舗IDの入力欄が表示され、さらに当該店舗の所在地が属する地域名（都道府県名）を選択するためのプルダウンメニューが表示される。このD02で、オペレータが入力装置55を操作して店舗名と店舗IDを入力し、プルダウンメニューから当該店舗の所在地が属する地域名を選択して「登録」ボタンを操作すると、図27(c)に示す店舗DBにおいて、該選択された地域名と該入力された店舗名及び店舗IDとが対応付けて記憶される。

40

【0291】

また前記D01で、オペレータが入力装置55を操作して、「新グループの登録」ボタンを操作すると、図28のD03に示す画面がディスプレイ54に表示される。このD03では、新グループ名の入力と該グループに登録する店舗の選択が求められると共に、新

50

グループ名の入力欄が表示され、かつ該グループに登録可能な店舗を選択するためのチェックボックスが、当該店舗の店舗ID又は店舗名（ここでは店舗ID）と対応付けて複数表示される。ここでグループに登録可能な店舗とは、いずれのグループにも登録されていない店舗であり、具体的には、図27（c）に示す店舗DBにおいて記憶されている店舗である。

【0292】

このD03で、オペレータが入力装置55を操作して、新グループ名を入力し、グループ店として登録する複数の店舗に対応する各チェックボックスをチェックして選択し、「設定」ボタンを操作すると、該選択された複数の店舗がグループ店として設定され、図27（b）に示すグループDBにおいて、当該複数の店舗の店舗IDとグループ名とが対応付けて記憶される。また該記憶された店舗IDと対応付けて店舗DBで記憶されている地域名、店舗名、ポイント会員数、総獲得ポイント数、残ポイント数、及び当月使用ポイント数（抽選応募使用ポイント数と商品交換使用ポイント数）が、当該店舗DBから消去されると共に、グループDBに移行されて、前記記憶された店舗IDと対応付けられる。

10

【0293】

また前記D01で、オペレータが入力装置55を操作して、「グループ店の追加」ボタンを操作すると、図28のD04に示す画面がディスプレイ54に表示される。このD04では、グループ店を追加するグループの選択が求められると共に、該グループを選択するためのプルダウンメニューが表示される。このプルダウンメニューでは、図27（c）に示すグループDBで記憶されているグループ名が表示される。

20

【0294】

このD04で、オペレータが入力装置55を操作して、プルダウンメニューに表示されるグループの中からグループ店を追加するグループを選択し、「次へ」ボタンを操作すると、図28のD05に示す画面がディスプレイ54に表示される。このD05では、図27（b）に示すグループDBの記憶内容に基づいて、D04で選択したグループに属する店舗が表示され、該グループに追加する店舗の選択が求められると共に、該グループに登録可能な店舗を選択するためのチェックボックスが、当該店舗の店舗ID又は店舗名（ここでは店舗ID）と対応付けて複数表示される。ここでグループに登録可能な店舗とは、いずれのグループにも登録されていない店舗であり、前記と同様に、図27（c）に示す店舗DBにおいて記憶されている店舗である。

30

【0295】

このD05で、オペレータが入力装置55を操作して、グループ店として追加する一又は複数の店舗に対応するチェックボックスをチェックして選択し、「設定」ボタンを操作すると、該選択された店舗がグループ店として新たに追加され、図27（b）に示すグループDBにおいて、D04で選択されたグループにD05で選択された店舗の店舗IDが追加される。また該追加された店舗IDと対応付けて店舗DBで記憶されている地域名、店舗名、ポイント会員数、総獲得ポイント数、残ポイント数、及び当月使用ポイント数（抽選応募使用ポイント数と商品交換使用ポイント数）が、当該店舗DBから消去されると共に、グループDBに移行されて、前記追加された店舗IDと対応付けられる。

【0296】

40

このようにしてグループ設定手段により新たなグループの設定又は既に設定されているグループに対する新規店舗の追加が行われると、会員識別情報抽出手段として機能する制御部52により、当該ポイント管理装置50で既に登録されている会員カードIDのうち、当該グループに属する各店舗で発行された会員カードの会員カードIDが抽出され、店舗通知手段として機能する制御部52により、該会員識別情報抽出手段により抽出された会員カードIDの会員に対して前記グループに属する店舗の一覧又は前記新規店舗を通知するための処理が行われる。

【0297】

具体的には、会員識別情報抽出手段として機能する制御部52は、新たなグループの設定が行われた場合には、図27（b）に示すグループDBから、該新たに設定されたグル

50

ープに属する各店舗の店舗IDを抽出し、図26(a)に示すポイント会員情報DBから、該抽出された店舗IDを含む会員カードIDを抽出する。また新規店舗の追加が行われた場合には、グループDBから、該新規店舗の追加が行われたグループに属する各店舗の店舗IDを抽出し、ポイント会員情報DBから、該抽出された店舗IDを含む会員カードIDを抽出する。

【0298】

そして店舗通知手段として機能する制御部52は、新たなグループの設定が行われた場合には、前記抽出された会員カードIDの会員に対して当該新たなグループに属する店舗の一覧を通知するための処理を行い、新規店舗の追加が行われた場合には、前記抽出された会員カードIDの会員に対して当該新規店舗を通知するための処理を行う。

10

【0299】

ここで店舗の一覧又は新規店舗を通知するための処理とは、前記抽出された会員カードIDに対応付けてポイント会員情報DBで電子メールアドレスが登録されている会員については、店舗の一覧又は新規店舗を示す内容の電子メールを、当該電子メールアドレスに対して送信する処理である。また前記抽出された会員カードIDに対応付けてポイント会員情報DBで電子メールアドレスが登録されていない会員については、図26(b)に示す通知情報DBにおいて、店舗の一覧又は新規店舗を示すグループ店追加情報を、当該会員カードIDに対応付けて記憶する処理であり、当該処理を行うことにより、登録端末から情報公開要求(ログイン要求及びグループ店追加情報要求)を受信したときに、該記憶しているグループ店追加情報(図48のD450-2に示す店舗の一覧、又は同D450-1に示す新規店舗)が配信されて通知される。

20

【0300】

これによれば、新たなグループの設定又は既に設定されているグループに対する新規店舗の追加が行われた場合に、当該グループに属する各店舗で発行された記録媒体の所有者に対して、グループ店一覧又は新規店舗が通知されるので、会員に新たに統合できる店舗があることを認識させることができる。

【0301】

またディスプレイ54及び入力装置55はアンケート情報受付手段の一例であって、アンケート内容と、当該アンケートの対象とするポイント会員の属性情報(性別、年代)を受け付けるものである。具体的には、オペレータがポイント管理装置50を操作してアンケートモードを実行すると、図29のD10に示すウェブコンテンツ作成画面がディスプレイ54に表示される。このD10では、「ウェブコンテンツ作成」ボタンと、「アンケートメール送信」ボタンが表示される。

30

【0302】

このD10で、オペレータが入力装置55を操作して、「ウェブコンテンツ作成」ボタンを操作すると、ウェブコンテンツ作成ソフトが起動して、図29のD11に示す画面がディスプレイ54に表示される。このD11では、html形式でウェブに公開するアンケートを作成するための編集画面によって、アンケート内容を作成することができる。

【0303】

このD11で、オペレータが入力装置55を操作して、アンケートを作成し、「公開」ボタンを操作すると、ハードディスク53において、該作成されたアンケートのデータがURLと対応付けて記憶され、該アンケートがウェブ上に公開されて、登録端末のブラウザで閲覧可能となる。

40

【0304】

一方、前記D10で、オペレータが入力装置55を操作して、「アンケートメール送信」ボタンを操作すると、メールソフトが起動して、図29のD12に示すアンケートメール送信画面がディスプレイ54に表示される。このD12では、送信する電子メールのタイトルと、送信内容(通知内容)の入力欄が設けられる他、送信対象(通知対象)となるポイント会員の属性を指定するためのチェックボックスが設けられており、性別、生年月日を属性として、10代男性、10代女性、20代男性、20代女性、30代男性、30

50

代女性，40代男性，40代女性，50代男性，50代女性，60代男性，60代女性，70代以上男性，70代以上女性の14のグループに分類されていて、前記アンケートのURLの送信対象（即ちアンケートの対象）とするグループを選択可能である。

【0305】

このD12で、オペレータが入力装置55を操作して、タイトルを入力し（ここでは「懸賞アンケート」）、チェックボックスをチェックすることにより送信対象グループを選択し（ここでは「30代男性」）、送信内容を入力して（ここでは上記アンケートのURL及び回答者に抽選でデジタルカメラが当たる旨）、「送信」ボタンを選択すると、該選択・入力された内容が設定される。即ちディスプレイ54及び入力装置55は、会員に対して通知する通知内容（ここでは送信内容として入力されたアンケートの内容）と、通知対象とする会員の会員カードIDを特定可能な情報（ここではアンケート対象会員の属性情報）とを設定する通知情報設定手段として機能するものである。

10

【0306】

また制御部52は、該通知情報設定手段により設定された情報から特定される前記通知対象の会員カードIDに対応付けてポイント会員情報DBで管理されている電子メールアドレスを抽出する電子メールアドレス抽出手段として機能するものであり、ここではD12で選択されたグループの属性（ここでは30代男性）に合致するポイント会員をポイント会員情報DBで管理されている性別及び生年月日から特定し、該特定したポイント会員の会員カードIDを抽出すると共に、該会員カードIDに対応付けられている電子メールアドレスを抽出する。

20

【0307】

また制御部52は、前記通知情報設定手段により設定された通知内容を提供するための通知情報を含む電子メールを該電子メールアドレス抽出手段により抽出された電子メールアドレス宛に送信する電子メール送信手段として機能するものであり、ここでは前記アンケートのURLを通知情報として含む電子メールを、外部通信部51cからインターネットを介して当該電子メールアドレスに対して送信する処理を行う。

【0308】

この電子メールを受信したPC6又は携帯電話7では、図30のD20のように、アンケートのURLが表示される。ポイント会員は、該URLの入力又は選択によってPC6又は携帯電話7が備えるインターネットブラウザ機能を使用し、D21に示すように、ウェブ上で公開されているアンケートを閲覧することが可能である。ここでポイント会員がアンケートの内容に応じた選択肢（ここでは好きな景品の選択肢）に対応するチェックボックスをチェックして、画面左下の会員カードIDの入力欄に会員カードID（第1会員カードID、第2会員カードID）を入力し、「応募」ボタンを選択することで、チェックされた選択肢（即ちアンケートへの回答）を示す回答情報、及び入力された会員カードIDを、ポイント管理装置50に対して送信する。

30

【0309】

ポイント管理装置50では、アンケート期間中に前記回答情報と共に会員カードIDを受信すると、図27(d)に示す抽選情報DBにおいて、当該アンケートに対応する抽選の抽選ID（ここでは4035）に対応付けて、該会員カードIDが記憶される。またポイント管理装置50では、制御部52により、アンケート期間中に受信した回答情報に基づいて、各選択肢の選択数が集計される。このアンケートの集計結果は、ハードディスク53に記憶され、各遊技場のシステム管理装置40からの要求に応じて、該システム管理装置40に対して配信される。なおアンケートの集計結果は、アンケートの依頼元が他の企業であれば、インターネット等を介して当該他の企業に配信され、カード会社独自のアンケートであれば、ディスプレイ54に表示される。

40

【0310】

このように、ポイント管理装置50が、アンケートメール送信画面（図29のD12）にて受け付けた属性情報に合致するポイント会員の電子メールアドレスを、ポイント会員情報DBで記憶されている電子メールアドレスの中から特定し、該特定した電子メールア

50

ドレス宛にアンケートのURLを送信する処理を行うので、ポイント管理装置50で管理されているポイント会員の属性情報を、遊技場や他の企業から依頼されたアンケート調査に利用することができる。

【0311】

なお制御部52は、図26(b)に示す通知情報DBにおいて、前記アンケートの内容を示すアンケート情報を通知情報として、前記通知対象の各会員カードIDに対応付けて記憶する処理を行う。従って、ポイント会員情報DBで複数の会員カードIDが対応付けて登録されているポイント会員については、当該複数の会員カードIDの各々に対応付けてアンケート情報が記憶される。

【0312】

また制御部52は、図31に示すように、図27(d)に示す抽選情報DBに記憶されている各抽選IDから特定される抽選の応募期間の終了に伴って抽選処理を開始し(S81)、まず抽選を行う(S82)。この抽選方法としては、当該抽選の抽選IDと対応付けて記憶されている会員カードIDから当選者数分の会員カードIDをランダムに抽出する(例えば乱数を発生させて該乱数に応じて会員カードIDを抽出する)方法により行われる。

【0313】

そして制御部52は、会員に対して通知する通知内容(ここでは抽選に当選した旨)と、通知対象とする会員の会員カードIDを特定可能な情報(ここでは当選会員の会員カードID)とを設定する通知情報設定手段として機能し、図26(b)に示す通知情報DBにおいて、当選会員の会員カードIDに対応付けて、抽選に当選した旨を示す当選情報を記憶する(S83)。また前記電子メールアドレス抽出手段として機能する制御部52は、該通知情報設定手段により設定された情報から特定される前記通知対象の会員カードIDに対応付けてポイント会員情報DBで管理されている電子メールアドレスを抽出し、ここでは図26(a)に示すポイント会員情報DBの記憶内容に基づいて、当選会員の会員カードIDに対応付けられている電子メールアドレスを抽出する(S84)。そして該電子メールアドレスが登録されているか否かを判定する(S85)。このS85で登録されていない(NO)と判定された場合には、処理を終了する(S89)。この状態で、ポイント会員専用ホームページから当選情報の送信要求があると、前記S83で記憶された当選情報が配信される(図48のD480-1, D480-2)。

【0314】

一方、S85で登録されている(YES)と判定された場合には、ポイント会員情報DBにおいて、当選会員の会員カードIDに対応付けて氏名及び住所が登録されているか否かを判定する(S86)。このS86で登録されている(YES)と判定された場合には、再度氏名及び住所の登録は求めず、前記電子メール送信手段として機能する制御部52により、図32のD30に示す当選情報を通知情報として含む電子メールを、当該電子メールアドレスに対して送信して(S87)、処理を終了する(S89)。一方、S86で登録されていない(NO)と判定された場合には、氏名及び住所の登録を求め、前記電子メール送信手段として機能する制御部52により、図32のD31に示す当選情報を通知情報として含む電子メールを、当該電子メールアドレスに対して送信して(S88)、処理を終了する(S89)。この状態で、ポイント会員専用ホームページから当選情報の送信要求があっても、後述する電子メールアドレス管理判定手段により電子メールアドレスを管理していると判定されるので、当選情報は配信されない。

【0315】

図32のD30に示す電子メールでは、抽選に当選した旨のみが表示されている。ポイント管理装置50が設置されるカード会社からは、該電子メールを送信した後に、登録されている氏名及び住所を宛先として、当選した賞品が発送される。一方、図32のD31に示す電子メールでは、抽選に当選した旨が表示されていると共に、氏名及び住所の入力が求められており、氏名及び住所の入力欄が表示されている。ここで会員が氏名及び住所を入力して「登録」ボタンを操作すると、該入力された氏名及び住所を含む電子メールが

10

20

30

40

50

ポイント管理装置 50 に対して返信され、図 26 (a) に示すポイント会員情報 DB において、該電子メールに含まれる氏名及び住所が、該電子メールの送信元である電子メールアドレスに対応付けて登録される。そして該ポイント管理装置 50 においては、ハードディスク 53 で記憶している発送情報 DB (図示外) で、当選したポイント会員の氏名及び住所に対応付けて、当選した賞品が登録され、カード会社からは、該登録された氏名及び住所を宛先として、当選した賞品が発送される。

【0316】

また制御部 52 は、各店舗のシステム管理装置から転送装置 70 を介してイベント情報 (図 21 の D50) を受信すると、該イベント情報をハードディスク 53 で記憶し、所定のタイミングで、図 33 に示すイベント情報配信処理を行う。

10

【0317】

ここで前記通知情報設定手段として機能する転送装置用通信部 51b は、会員に対して通知する通知内容 (ここでは送信内容として入力されたイベントの内容) と、通知対象とする会員の会員カード ID を特定可能な情報 (ここでは送信対象として選択されたイベント対象会員の属性情報) とを設定する。

【0318】

また前記電子メールアドレス抽出手段として機能する制御部 52 は、該通知情報設定手段により設定された情報から特定される前記通知対象の会員カード ID に対応付けてポイント会員情報 DB で管理されている電子メールアドレスを抽出し、ここでは図 26 (a) に示すポイント会員情報 DB の記憶内容に基づいて、前記イベント情報の送信元の店舗 (ここでは A 店) のポイント会員の中から、該イベント情報に含まれる送信対象の属性に合致するポイント会員を特定し、該特定されたポイント会員の会員カード ID を通知対象として抽出すると共に、前記イベント情報の送信元の店舗 (ここでは A 店) の店舗 ID がメール配信店舗の記憶欄に記憶されているポイント会員の中から、該イベント情報に含まれる送信対象の属性に合致するポイント会員を特定し、該特定されたポイント会員の会員カード ID 及び電子メールアドレスを送信対象として抽出する (図 33 の S91)。

20

【0319】

そして前記電子メール送信手段として機能する制御部 52 は、前記通知情報設定手段により設定された通知内容を提供するための通知情報を含む電子メールを該電子メールアドレス抽出手段により抽出された電子メールアドレス宛に送信し、ここでは前記送信内容を通知情報として含む電子メールを、外部通信部 51c からインターネットを介して当該電子メールアドレスに対して送信する処理を行う。換言すれば、前記店舗情報提供手段として機能する制御部 52 は、ポイント会員情報 DB で会員カード ID に対応付けてメール配信店舗の記憶欄で管理 (記憶) している店舗 ID の店舗の店舗情報 (イベント情報) を含む電子メールを当該会員カード ID に対応付けて管理している電子メールアドレスに対して送信する処理を行う (図 33 の S94 又は S95)。

30

【0320】

さらに制御部 52 は、図 26 (b) に示す通知情報 DB において、前記イベントの内容を示すイベント情報を通知情報として、前記通知対象の各会員カード ID に対応付けて記憶する処理を行う (図 33 の S96)。

40

【0321】

この制御部 52 は、図 33 に示すように、所定のタイミングで、その時点でハードディスク 53 に記憶されている各店舗のイベント情報のうち、ある店舗 (例えば A 店: 以下「配信対象店舗」と称する。) のイベント情報を配信するためのイベント情報配信処理を開始するが、このイベント情報配信処理では、メール配信店舗として該配信対象店舗以外の他の店舗の店舗 ID が記憶されている場合には、当該他の店舗のイベント情報を含む電子メールが送信されるようになっている。

【0322】

具体的には、まず制御部 52 は、前記電子メールアドレス抽出手段として機能することにより、前記通知対象の会員カード ID を抽出すると共に、前記送信対象の会員カード I

50

D及び電子メールアドレスを抽出する（S91）。ここでは図21に示すように、イベント対象会員がA店の女性会員なので、該A店の女性会員の会員カードIDを通知対象として抽出すると共に、メール配信店舗としてA店が記憶されている女性会員の会員カードID及び電子メールアドレスを送信対象として抽出する。次に制御部52は、該送信対象として抽出した各会員カードIDに対応付けて、メール配信店舗として当該配信対象店舗以外の他の店舗の店舗IDが記憶されているか否かを判定する（S92）。

【0323】

このS92で他のメール配信店舗の店舗IDが記憶されていない（NO）と判定された場合には、前記電子メール送信手段として機能する制御部52により、図34のD36に示すように、配信対象店舗（ここではA店）のイベント情報のみを含む電子メールを、前記送信対象として抽出した電子メールアドレスに対して送信する（S95）。

10

【0324】

一方、S92で他のメール配信店舗（例えばB店）の店舗IDが記憶されている（YES）と判定された場合には、制御部52により、当該他のメール配信店舗のイベント情報をハードディスク53で記憶しているか否かを判定する（S93）。このS93でイベント情報を記憶していない（NO）と判定された場合には、前記S95に進む。

【0325】

一方、S93でイベント情報を記憶している（YES）と判定された場合には、前記電子メール送信手段として機能する制御部52により、図34のD35に示すように、配信対象店舗（ここではA店）のイベント情報と他のメール配信店舗（ここではB店）のイベント情報とを含む電子メールを、前記送信対象として抽出した電子メールアドレスに対して送信する（S94）。このように、メール配信店舗として配信対象店舗以外の他の店舗の店舗IDが記憶されている場合には、当該他の店舗のイベント情報を含む電子メールが送信されることにより、複数のメール配信店舗が記憶されている場合であっても、メール配信店舗毎のイベント情報を含む複数の電子メールではなく、当該複数のメール配信店舗のイベント情報を含む1通の電子メールが配信されるので、会員にとっては複数の電子メールを受信して確認する手間が省ける。

20

【0326】

またS94又はS95に示すように、会員が会員登録した店舗のグループに属する他のグループ店のうち、該会員が希望する店舗の店舗情報を含む電子メールが、該会員の電子メールアドレスに対して送信されるので、会員の利便性が向上する。

30

【0327】

これらS94又はS95で電子メールを配信した制御部52は、通知情報DBにおいて、前記イベントの内容を示すイベント情報を通知情報として、前記通知対象の各会員カードIDに対応付けて記憶して（S96）、処理を終了する。

【0328】

ここで制御部52のその他の機能について説明する。制御部52は、前述の如き各DBの更新や管理等の他に、〔1〕システム管理装置40からの使用金額の受信に基づくポイント付与処理及びポイント加算処理、〔2〕システム管理装置40からの要求に基づく経営支援画面送信処理、〔3〕登録端末からの登録要求A（第1登録要求A又は第2登録要求A）の受信に基づくグループ店情報提供処理、〔4〕登録端末からの登録要求の受信に基づくポイント会員登録処理、〔5〕登録端末からの会員統合要求の受信に基づく統合処理、〔6〕登録端末からのグループ店一覧要求の受信に基づく店舗一覧返信処理、〔7〕登録端末からの引き継ぎ要求の受信に基づく引き継ぎ処理、並びに〔8〕登録端末からの情報公開要求の受信に基づくポイント会員専用画面配信処理等を行うものである。

40

【0329】

まず〔1〕システム管理装置40からの使用金額の受信に基づくポイント付与処理に関し、制御部52は、ポイント会員情報DB及び使用金額DBにて管理されているポイント付与情報である使用価値の大きさ（累計使用金額、営業日別使用金額）に応じたポイント（例えば1000円で1ポイント）を付与するポイント付与処理を行う。具体的には、制

50

御部 5 2 は、転送装置 7 0 から残額管理 DB の記憶内容である会員カード ID、カード残額、及び本日使用金額（図 1 6（a））を受信すると、該受信した各会員カード ID（以下「受信 ID」と称する。）のすべてについて、図 2 5（b）に示すポイント付与処理を行う。

【0330】

即ち制御部 5 2 は、まず受信 ID が図 2 6（a）に示すポイント会員情報 DB においてポイント会員として登録されているか否か、即ち該受信 ID が図 2 6（a）の左 2 列に示す会員カード ID 及び他の会員カード ID の欄で記憶されているか否かを判定する（S a 1 1）。この S a 1 1 で受信 ID が登録されている（YES）と判定された場合には、該受信 ID に対応する前記受信した本日使用金額を、ポイント会員情報 DB において、該受信 ID に対応付けて記憶されている累計使用金額に対して加算更新し（S a 1 2）、該本日使用金額に応じてポイントを付与する（S a 1 3）。この S a 1 3 では、本日使用金額、即ち使用金額 DB に営業日別使用金額として記憶される金額に応じて、1 日あたり 1 0 ポイントを上限値とするポイントが付与される。

10

【0331】

次に制御部 5 2 は、ポイント会員情報 DB において、当該受信 ID に対応する当日ポイントの記憶欄にポイントが記憶されているか否かを判定する（S a 1 4）。この S a 1 4 で当日ポイントが記憶されていない（NO）と判定された場合には、当該受信 ID に対応付けて前記 S a 1 3 で付与されたポイントを当日ポイントとして記憶して（S a 1 7）、処理を終了する。

20

【0332】

一方、S a 1 4 で当日ポイントが記憶されている（YES）、即ち後述する引き継ぎ処理が行われたことにより受信 ID に対応付けて引き継ぎ元 ID が記憶されており、S a 2 6、S a 2 7、又は S a 2 8 のいずれかで当日ポイントが記憶されたと判定された場合には、該記憶されている当日ポイントと前記 S a 1 3 で付与されたポイントとの合算値が前記上限値である 1 0 ポイントを超えているか否かを判定する（S a 1 5）。この S a 1 5 で合算値が上限値を超えていない（NO）と判定された場合には、前記受信 ID に対応付けて該合算値を当日ポイントとして記憶して（S a 1 8）、処理を終了する。

【0333】

一方、S a 1 5 で合算値が上限値を超えている（YES）と判定された場合には、前記受信 ID に対応付けて該上限値である 1 0 ポイントを当日ポイントとして記憶して（S a 1 6）、処理を終了する。即ち、引き継ぎ元 ID に対して付与されたポイントと引き継ぎ先 ID に対して付与されたポイントとの合算値が上限値を超えている場合であっても、引き継ぎを行った会員に該上限値を超えたポイントが付与されることがなく、公平にポイントを付与することができる。

30

【0334】

前記 S a 1 1 で受信 ID が登録されていない（NO）と判定された場合には、ポイント会員情報 DB において、該受信 ID が引き継ぎ元 ID として登録されているか否かを判定する。この S a 1 9 で受信 ID が引き継ぎ元 ID として登録されていない（NO）、即ち受信 ID がポイント会員として登録されていないと判定された場合には、ポイントを付与せずに（S a 2 0）、処理を終了する。

40

【0335】

一方、S a 1 9 で受信 ID が引き継ぎ元 ID として登録されている（YES）と判定された場合には、ポイント会員情報 DB において、該引き継ぎ元 ID に対応する引き継ぎ日付が本日であるか否かを判定する（S a 2 0）。この S a 2 0 で引き継ぎ元 ID（例えば X 0 1 4 3 9 の会員カード ID の引き継ぎ元 ID である X 0 0 0 0 2）に対応する引き継ぎ日付が本日でない（NO）と判定された場合には、ポイントを付与せずに（S a 2 0）、処理を終了する。一方、S a 2 1 で引き継ぎ元 ID（例えば A 0 1 2 3 4 の引き継ぎ元 ID である A 0 0 0 0 7）に対応する引き継ぎ日付が本日である（YES）と判定された場合には、該引き継ぎ元 ID に対応する前記受信した本日使用金額を、ポイント会員情報

50

DBにおいて、該引き継ぎ元IDが対応付けられている引き継ぎ先ID（ここではA01234）に対応付けて記憶されている累計使用金額に対して加算更新し（Sa22）、前記Sa13と同様にして、該本日使用金額に応じてポイントを付与する（Sa23）。即ち、引き継ぎ元IDとして登録されている会員カードIDに対しては、引き継ぎ日付が本日ならばポイントが付与されるが、引き継ぎ日付が前日以前ならばポイントが付与されない。

【0336】

次に制御部52は、ポイント会員情報DBにおいて、前記引き継ぎ先IDに対応する当日ポイントの記憶欄にポイントが記憶されているか否かを判定する（Sa24）。このSa24で当日ポイントが記憶されていない（NO）と判定された場合には、当該引き継ぎ先IDに対応付けて前記Sa23で付与されたポイントを当日ポイントとして記憶して（Sa27）、処理を終了する。

10

【0337】

一方、Sa24で当日ポイントが記憶されている（YES）、即ち後述する引き継ぎ処理が行われたことにより、前述したSa16, Sa17, 又はSa18のいずれかで当日ポイントが記憶されたと判定された場合には、該記憶されている当日ポイントと前記Sa23で付与されたポイントとの合算値が前記上限値である10ポイントを超えているか否かを判定する（Sa25）。このSa25で合算値が上限値を超えていない（NO）と判定された場合には、前記引き継ぎ先IDに対応付けて該合算値を当日ポイントとして記憶して（Sa28）、処理を終了する。

20

【0338】

一方、Sa25で合算値が上限値を超えている（YES）と判定された場合には、前記引き継ぎ先IDに対応付けて該上限値である10ポイントを当日ポイントとして記憶して（Sa26）、処理を終了する。即ち、引き継ぎ元IDに対して付与されたポイントと引き継ぎ先IDに対して付与されたポイントとの合算値が上限値を超えている場合であっても、引き継ぎを行った会員に該上限値を超えたポイントが付与されることがなく、公平にポイントを付与することができる。

【0339】

なお1日あたりに付与されるポイントの上限値は、任意に設定変更可能であり、またポイント付与レート（ここでは1000円で1ポイント）も、任意に設定変更可能である。

30

【0340】

このポイント付与処理を行った制御部52は、ポイント会員情報DBにおいて記憶されている各会員カードIDのすべてについて、当日ポイントの記憶欄に記憶されているポイントを累計ポイントの記憶欄に記憶されているポイントに対して加算更新して、当日ポイントの記憶欄に記憶されているポイントを0にする、ポイント加算処理を行う。

【0341】

次に〔2〕システム管理装置40からの要求に基づく経営支援画面送信処理に関し、制御部52は、前記定型レポート送信要求（図20を参照）を受信すると、該定型レポート送信要求に含まれる期間について、属性情報別（性別、年代別）に使用価値の大きさの平均値（平均使用金額）を算出する平均使用価値算出処理を行う。具体的には、ポイント会員情報DBにて管理されるポイント会員の性別、生年月日と、使用金額DBにて管理される営業日別のポイント会員の使用金額に基づいて、性別、年代別の平均使用金額を算出する処理を行う。ここではポイント会員情報DBにて管理されるポイント会員を、10代男性、10代女性、20代男性、20代女性、30代男性、30代女性、40代男性、40代女性、50代男性、50代女性、60代男性、60代女性、70代以上男性、70代以上女性の14のグループに分類し、それぞれのグループにおける1日あたりの平均使用金額を、1日分のデータ、1週間分のデータ、1ヶ月分のデータに基づいて各々算出する。そして制御部52は、該算出されたデータに基づいて、図20のD45に示すように、各属性情報別（性別、年代別）の平均使用金額を棒グラフ形式で表した定型レポートを、転送装置用通信部51bから転送装置70を介して、前記定型レポート送信要求の送信元の

40

50

システム管理装置 40 に対して送信する処理を行う。そして定型レポートを受信したシステム管理装置 40 では、該 D 45 に示す定型レポート表示画面がディスプレイ 44 に表示される。

【0342】

このように、ポイント管理装置 50 が、属性情報別（ここでは性別、年代別）に平均使用金額を算出して、各遊技場に配信するので、遊技場では顧客の属性に応じた平均使用金額を把握して、各属性の顧客に対しての集客活動を検討することができる。例えば、D 45 の平均使用金額のグラフを参照して、30 代男性の平均使用金額が大きいこと（つまり、優良顧客であること）を把握し、30 代男性の電子メールアドレスに対して好きな景品のアンケートを行って、30 代男性に人気の高い景品（例えばタバコ）の種類を増やす等の集客活動を行ったり、設定の甘い遊技機の情報提供等の優遇サービスを行うことができる。また、女性の平均使用金額が小さいことを把握して、女性会員専用の推奨台で遊技可能なイベント等の優遇策を実施し、売上げ増加を見込むといった営業活動を行うことができる。

10

【0343】

また制御部 52 は、前記アンケート結果送信要求を受信すると、図 22 の D 60 に示すように、ハードディスク 53 で記憶しているアンケート結果の各選択肢の選択数を棒グラフ形式で表したレポートを作成し、該作成したレポートを、転送装置用通信部 51b から転送装置 70 を介して、前記アンケート結果送信要求の送信元のシステム管理装置に対して送信する処理を行う。このレポートを受信したシステム管理装置 40 では、D 60 に示すアンケート結果表示画面がディスプレイ 44 に表示される。

20

【0344】

このように、システム管理装置 40 において、ポイント管理装置 50 からアンケート結果を受信し、ポイント会員を対象としたアンケートについての結果を得ることができるので、各属性の顧客に対しての集客活動を検討することができる。例えば、各属性の顧客の好きな景品を把握して、ターゲットとなる客層に応じた景品を揃えることで、集客を図ることができる。

【0345】

さらに制御部 52 は、前記ポイント状況送信要求を受信すると、図 27 (b) に示すグループ DB 及び同 (c) に示す店舗 DB の記憶内容に基づいて、当該ポイント状況送信要求の送信元のシステム管理装置 40 が設置されている店舗が、いずれかのグループに属するか（即ち当該店舗の店舗 ID がグループ DB で記憶されているか）、又はいずれのグループにも属さないか（即ち当該店舗の店舗 ID が店舗 DB で記憶されているか）を判定する。そして制御部 52 は、当該店舗（例えば A 店）がグループに属すると判定された場合には、図 23 の D 70 に示すように、該グループに関するグループ DB の記憶内容を、転送装置用通信部 51b から転送装置 70 を介して、当該店舗のシステム管理装置 40 に対して送信する処理を行う。一方、制御部 52 は、当該店舗（例えば P 店）がグループに属しないと判定された場合には、同 D 71 に示すように、当該店舗に関する店舗 DB の記憶内容を、転送装置用通信部 51b から転送装置 70 を介して、当該店舗のシステム管理装置 40 に対して送信する処理を行う。

30

40

【0346】

このように、システム管理装置 40 において、ポイント管理装置 50 から、当該店舗が属するグループのポイント状況又は当該店舗のポイント状況を受信し、該ポイント状況に含まれる商品交換使用ポイント数を参照することにより、当該グループ又は店舗が当月に対価を負担しなければならない商品交換使用ポイント数を把握することができるので、該対価の決済の目安にすることができる。なお前述の如く、抽選応募については、抽選応募使用ポイント数に応じた対価ではなく、各店舗が一律の料金（例えば月額〇万円）は負担する。

【0347】

次に〔3〕登録端末からの登録要求 A（第 1 登録要求 A 又は第 2 登録要求 A）の受信に

50

基づくグループ店情報提供処理に関し、制御部52は、店舗情報要求（ここでは該店舗特定情報である会員カードIDを含む第1登録要求A又は第2登録要求A）を受信したことに基づいて、店舗管理手段（グループDB及び店舗DB）において該受信した店舗情報要求に含まれる店舗特定情報から特定される店舗の店舗IDにグループ識別情報（グループ名）が対応付けられているか否かを判定するグループ識別情報判定手段として機能するものである。

【0348】

具体的には、制御部52は、例えばA店の会員カードIDを含む登録要求A（第1登録要求A又は第2登録要求A）を受信した場合には、該A店の店舗IDが図27（b）に示すグループDBに記憶されており、該A店の店舗IDにグループ名（ここでは◎◎グループ）が対応付けられていると判定する。また制御部52は、例えばP店の会員カードIDを含む登録要求A（第1登録要求A又は第2登録要求A）を受信した場合には、該P店の店舗IDが、図27（c）に示す店舗DBに記憶されており、該P店の店舗IDにグループ名が対応付けられていないと判定する。

10

【0349】

また制御部52は、該グループ識別情報判定手段によりグループ識別情報（グループ名）が対応付けられていると判定されたことを条件として、店舗管理手段（グループDB）において当該グループ識別情報に対応付けられている他の店舗IDの店舗を認識可能なグループ店情報を前記操作端末（登録端末）に対して提供するグループ店情報提供手段として機能するものであり、ここでは店舗管理手段において前記受信した店舗情報要求に含まれる店舗特定情報（即ち第1登録要求A又は第2登録要求Aに含まれる会員カードID）から特定される店舗の店舗IDに対応付けて管理している地域識別情報（地域名）と同一の地域識別情報に対応付けられている他の店舗IDの店舗を認識可能なグループ店情報を前記操作端末に対して提供する。

20

【0350】

具体的には、制御部52は、例えばA店の会員カードIDを含む登録要求A（第1登録要求A又は第2登録要求A）を受信し、前記グループ識別情報判定手段により、該A店の店舗IDが図27（b）に示すグループDBに記憶されており、該A店の店舗IDにグループ名（ここでは◎◎グループ）が対応付けられていると判定された場合には、該A店の店舗IDに対応付けて管理している地域名である「東京都」に対応付けられているB店を認識可能なグループ店情報を提供する。また制御部52は、例えばX店の会員カードIDを含む登録要求A（第1登録要求A又は第2登録要求A）を受信し、前記グループ識別情報判定手段により、該X店の店舗IDが図27（b）に示すグループDBに記憶されており、該X店の店舗IDにグループ名（ここでは◎◎グループ）が対応付けられていると判定された場合には、該X店の店舗IDに対応付けて管理している地域名である「神奈川県」に対応付けられているC店を認識可能なグループ店情報を提供する。

30

【0351】

そしてグループ店情報提供手段として機能する制御部52は、前記グループ識別情報判定手段により前記受信した店舗情報要求に含まれる店舗特定情報（即ち第1登録要求A又は第2登録要求Aに含まれる会員カードID）から特定される店舗の店舗IDにグループ識別情報が対応付けられていると判定されたことを条件として、当該グループ識別情報に対応付けられている他の店舗識別情報の店舗の店舗情報（イベント情報）の提供を希望するか否かを確認する確認情報を前記グループ店情報として前記操作端末に対して提供するものであり、ここでの確認情報は、前記特定された店舗の店舗情報の提供を希望するか否かを確認するものでもある。

40

【0352】

具体的には、制御部52は、例えばA店の会員カードIDを含む登録要求A（第1登録要求A又は第2登録要求A）を受信し、前述の如く、他のB店を認識可能なグループ店情報を提供する場合には、図4のD107又は図10のD204に示すように、前記A店と該B店とを認識可能であり、A店のイベント情報の提供を希望するか否か、及びB店のイ

50

イベント情報の提供を希望するか否かを確認する確認情報を提供する。また制御部52は、例えばX店の会員カードIDを含む登録要求A（第1登録要求A又は第2登録要求A）を受信し、前述の如く、他のC店を認識可能なグループ店情報を提供する場合には、図4のD109又は図10のD207に示すように、前記X店と該C店とを認識可能であり、X店のイベント情報の提供を希望するか否か、及びC店のイベント情報の提供を希望するか否かを確認する確認情報を提供する。これら確認情報において、店舗の表示順序は、まず受信した登録要求に含まれる会員カードIDから特定される店舗が表示され、次に同一グループの同一地域に属する他の店舗が表示される。

【0353】

次に〔4〕登録端末からの登録要求の受信に基づくポイント会員登録処理に関し、制御部52は、前述の如く、図3～図6、図10～図11、及び図13～図15に示すポイント会員登録画面を登録端末に対して配信する処理を行う。また制御部52は、キオスク端末30から第1登録要求Xを受信すると、前述の如く、会員カードID特定処理を行う。

【0354】

また制御部52は、登録端末（PC6、携帯電話7、カードユニット20、キオスク端末30）から第1会員カードIDと登録時の暗証番号とを含む登録要求A（第1登録要求A又は第2登録要求A）を受信したときに、図27（a）に示すエンコード情報DBの記憶内容に基づいて、該受信した登録要求Aに含まれる第1会員カードIDに対応付けて記憶されている暗証番号が、該受信した登録要求Aに含まれる暗証番号と一致するか否かを判定するエンコード情報照合処理を行う。該判定を行わずに第1会員カードIDの登録を行うと、仮にPC6又は携帯電話7において第1会員カードIDが間違っ

【0355】

て入力された場合であっても誤って登録されてしまうことから、暗証番号の一致も判定することとしたものである。なおカードユニット20又はキオスク端末30から第1登録要求Aを受信した場合には、該第1登録要求Aに含まれる第1会員カードIDは、ICチップから読み取ったもの又は磁気ストライプから読み取った第1会員IDから前記会員カードID特定処理により特定されたものであるため間違っていることは無く、必ずしもエンコード情報照合処理を行う必要はないが、PC6又は携帯電話7から第2登録要求Aを受信した場合と同様に処理するために、該エンコード情報照合処理を行う。

【0356】

また制御部52は、登録端末（PC6、携帯電話7、カードユニット20、キオスク端末30）から、前記登録要求B（第1登録要求B又は第2登録要求B）を受信したことに基

10

20

30

40

50

登録されているか否かを判定する。

【0357】

ここで既に登録されている場合とは、第1には、ポイント会員として既に登録している当該店舗の会員が当該店舗の他の会員の会員カードを拾って、該拾った会員カードの会員カードIDと当該会員の性別及び生年月日とを含む登録要求Bが送信されてきた場合であり、第2には、ポイント会員として既に登録している当該店舗の会員の、別の店舗の会員カードの会員カードIDと当該会員の性別及び生年月日とを含む登録要求Bが送信されてきた場合であり、第3には、当該店舗の当該会員の性別及び生年月日と同じ性別及び生年月日が当該店舗の他の会員の属性情報として偶然に登録されている場合である。ここで第1の場合はポイント会員として登録すべきでない場合であり、第2の場合と第3の場合はポイント会員として登録すべき場合である。

10

【0358】

また制御部52は、該属性情報判定手段により管理されていると判定されたことを条件として、前記登録要求B（第1登録要求B又は第2登録要求B）に含まれる会員特定情報（第1会員特定情報又は第2会員特定情報）から特定される会員カードID（即ち登録要求Bに含まれる会員カードID）に対応する店舗の店舗IDと、前記既に管理されている属性情報に対応付けて既に登録されている会員カードIDに対応する店舗の店舗IDとを特定する店舗特定手段として機能するものである。具体的には、会員カードIDの所定箇所（ここでは先頭1文字）には店舗IDが含まれているという情報を記憶しているので、該情報に基づいて会員カードIDから店舗IDを抽出することにより、店舗IDを特定する。

20

【0359】

また制御部52は、該店舗特定手段により特定された前記登録要求B（第1登録要求B又は第2登録要求B）に含まれる会員特定情報（第1会員特定情報又は第2会員特定情報）から特定される会員カードID（即ち登録要求Bに含まれる会員カードID）に対応する店舗の店舗IDと、前記既に登録されている会員カードIDに対応する店舗の店舗IDとが一致するか否かを判定する店舗一致判定手段として機能するものである。ここで一致する場合には、前記第1の場合と第3の場合とが含まれる。

【0360】

さらに制御部52は、該店舗一致判定手段により一致すると判定されたことを条件として、前記登録要求B（第1登録要求B又は第2登録要求B）に含まれる会員特定情報（第1会員特定情報又は第2会員特定情報）から特定される会員カードID（即ち登録要求Bに含まれる会員カードID）と前記既に管理されている会員カードIDとを抽出する会員識別情報抽出手段として機能するものである。これにより、前記第1の場合と第3の場合に、対象となる会員カードIDが抽出される。

30

【0361】

また制御部52は、店舗端末（カードユニット20又はキオスク端末30）から第1登録要求Bを受信したことに基づいて、該受信した第1登録要求Bに含まれる第1会員特定情報から会員カードIDを特定し、該特定した会員カードIDをポイント会員情報DBに登録する登録手段として機能するものであり、具体的には、カードユニット20から受信した第1登録要求Bに含まれる会員カードID（即ち第1会員特定情報であると共に会員識別情報である会員カードID）を登録し、またキオスク端末30から受信した第1登録要求Bに含まれる会員カードID（即ち第1会員特定情報である会員IDから特定された会員カードID）を登録する。

40

【0362】

また登録手段として機能する制御部52は、情報端末（PC6又は携帯電話7）から第2登録要求Bを受信したことに基づいて、該受信した第2登録要求Bに含まれる第2会員特定情報から会員カードIDを特定し、該特定した会員カードIDをポイント会員情報DBに登録するものであり、具体的には、情報端末から受信した第2登録要求Bに含まれる会員カードID（即ち第2会員特定情報であると共に会員識別情報である会員カードID

50

）を登録する。

【0363】

ここで登録手段として機能する制御部52は、前記エンコード情報照合処理で照合OKと判定され、かつ前記属性情報判定手段により属性情報が登録されていないと判定されるか、又は該属性情報が登録されていると判定されても、前記店舗一致判定手段により店舗IDが一致しないと判定されたことを条件として、会員カードIDの登録を行う。

【0364】

次に〔5〕登録端末からの会員統合要求の受信に基づく統合処理に関し、制御部52は、キオスク端末30から会員統合要求A又は会員統合要求Bを受信すると、図27(a)に示すエンコード情報DBの記憶内容に基づいて、該送信されてきた会員統合要求A又は会員統合要求Bに含まれる会員ID(第1会員ID又は他システム会員ID)に対応する会員カードID(第1会員カードID又は第2会員カードID)を特定し、該特定した会員カードIDを、外部通信部51cからインターネットを介して、前記会員統合要求A又は会員統合要求Bの送信元のキオスク端末30に対して返信する、会員カードID特定処理を行う。

10

【0365】

また制御部52は、登録端末(PC6、携帯電話7、カードユニット20、キオスク端末30)から、未登録の第1会員カードIDと登録時の暗証番号とを含む会員統合要求、又は未登録の第2会員カードIDと他システム会員IDの下4桁とを含む会員統合要求(即ち第1の会員統合要求)を受信したときに、前記エンコード情報照合処理を行う。

20

【0366】

また制御部52は、登録端末(PC6、携帯電話7、カードユニット20、キオスク端末30)から、会員統合要求(第1の会員統合要求又は第2の会員統合要求)を受信したときに、図26(a)に示すポイント会員情報DBの記憶内容に基づいて、該受信した会員カードID及び暗証番号を照合するポイント会員情報照合処理を行う。

【0367】

また制御部52は、複数の各会員カードIDに対応する各取引関連情報(使用金額、ポイント)を合算(統合)するための合算条件設定手段として機能するものであり、ここでは受信した合算要求(会員統合要求)に含まれる各会員カードIDが記録された各会員カードの発行店舗が異なること、及び受信した合算要求(会員統合要求)に含まれる各会員カードIDが記録された各会員カードの発行店舗が前記グループ設定手段により設定された同一グループに属することを、合算条件として設定する。

30

【0368】

また制御部52は、前記操作端末(登録端末)から、複数の会員カードIDを含む合算要求(会員統合要求)を受信したことに基づいて、該受信した合算要求に含まれる複数の会員カードIDが前記合算条件設定手段により設定した合算条件を満たすか否かを判定する合算条件判定手段として機能するものである。そして制御部52は、該合算条件判定手段により合算条件を満たすと判定されたことを条件として、前記受信した合算要求に含まれる各会員カードIDを対応付けて登録する登録手段として機能すると共に、後述する合算処理手段として機能するものである。以下、これら合算条件判定手段及び登録手段としての機能について説明する。

40

【0369】

まず制御部52は、前記店舗特定手段として機能することにより、登録端末(PC6、携帯電話7、カードユニット20、キオスク端末30)から、前記会員統合要求(第1の会員統合要求又は第2の会員統合要求)を受信したことに基づいて、該会員統合要求に含まれる複数の会員特定情報(第1会員特定情報、第2会員特定情報)から特定される複数の会員カードID(第1会員カードID、第2会員カードID)に対応する各店舗の店舗IDを特定し、前記店舗一致判定手段として機能することにより、該店舗特定手段により特定された各店舗IDが一致するか否かを判定する。この店舗特定手段及び店舗一致判定手段が、前記合算条件判定手段に相当する。そして前記登録手段として機能する制御部5

50

2 は、該店舗一致判定手段により一致しない（即ち受信した会員統合要求に含まれる各会員カード I D が記録された各会員カードの発行店舗が異なるという合算条件を満たす）と判定されたことを条件として、前記複数の会員識別情報を対応付けて登録する一方、前記店舗一致判定手段により一致すると判定されたことを条件として、前記複数の会員識別情報を登録しない。

【0370】

ここで会員統合要求が前記第 1 の会員統合要求である場合には、前記店舗特定手段として機能する制御部 52 は、店舗端末（カードユニット 20 又はキオスク端末 30）から、当該ポイント管理装置 50 に新たに登録する会員カード I D（第 1 会員カード I D、第 2 会員カード I D）を特定可能な第 1 会員特定情報又は第 2 会員特定情報と当該ポイント管理装置 50 に既に登録されている会員カード I D を特定可能な第 1 会員特定情報又は第 2 会員特定情報とを含む第 1 の会員統合要求を受信したことに基づいて、該受信した第 1 の会員統合要求に含まれる第 1 会員特定情報及び／又は第 2 会員特定情報から特定される各会員カード I D（即ち第 1 の会員統合要求に含まれる各会員カード I D）に対応する各店舗の店舗 I D を特定すると共に、情報端末（P C 6 又は携帯電話 7）から、当該ポイント管理装置 50 に新たに登録する会員カード I D（第 1 会員カード I D、第 2 会員カード I D）を特定可能な第 1 会員特定情報と当該ポイント管理装置 50 に既に登録されている会員カード I D を特定可能な第 2 会員特定情報とを含む第 1 の会員統合要求を受信したことに基づいて、該受信した第 1 の会員統合要求に含まれる各第 2 会員特定情報から特定される各会員カード I D（即ち第 1 の会員統合要求に含まれる各会員カード I D）に対応する各店舗の店舗 I D を特定する。

【0371】

次に前記店舗一致判定手段として機能する制御部 52 は、該店舗特定手段により特定された、前記新たに登録する会員識別情報に対応する店舗の店舗 I D と、前記既に登録されている会員識別情報に対応する店舗の店舗 I D とが一致するか否かを判定する。そして前記登録手段として機能する制御部 52 は、該店舗一致判定手段により一致しないと判定されたことを条件として、前記新たに登録する複数の会員識別情報を前記既に登録されている会員識別情報に対応付けて登録する一方、前記店舗一致判定手段により一致すると判定されたことを条件として、前記新たに登録する複数の会員識別情報を登録しない。

【0372】

具体的には、図 35（a）に示すように、ある会員が自分の A 店の会員カードの会員カード I D をポイント会員として登録済である場合において、図 35（a-1）に示すように、当該会員が操作する登録端末から、自分の既登録の A 店の会員カードの会員カード I D 及び暗証番号と、自分の未登録の B 店の会員カードの会員カード I D 及び暗証番号とを含む第 1 の会員統合要求を受信すると、前記エンコード情報照合処理及び前記ポイント会員情報照合処理で照合 O K であると判定された後、店舗特定手段として機能する制御部 52 は、該第 1 の会員統合要求に含まれる会員カード I D から A 店の店舗 I D と B 店の店舗 I D とを抽出し（S1）、店舗一致判定手段として機能する制御部 52 は、該 S1 で抽出された A 店の店舗 I D と B 店の店舗 I D とが不一致であると判定し（S2）、登録手段として機能する制御部 52 は、B 店の会員カード I D に対応付けて、第 1 の会員統合要求に含まれる暗証番号、及び既登録の性別と生年月日を登録し、かつ A 店の会員カード I D を他の会員カード I D として登録すると共に（S3）、該 B 店の会員カード I D を、A 店の会員カード I D に対応付けて、他の会員カード I D として登録する（S4）。

【0373】

一方、図 35（a-2）に示すように、当該会員が操作する登録端末から、自分の既登録の A 店の会員カードの会員カード I D 及び暗証番号と、他人の未登録の A 店の会員カードの会員カード I D 及び暗証番号とを含む第 1 の会員統合要求を受信すると、前記エンコード情報照合処理及び前記ポイント会員情報照合処理で照合 O K であると判定された後、店舗特定手段として機能する制御部 52 は、該第 1 の会員統合要求に含まれる会員カード I D から A 店の店舗 I D と A 店の店舗 I D とを抽出し（S1）、店舗一致判定手段として

機能する制御部52は、該S1で抽出されたA店の店舗IDとA店の店舗IDとが一致であると判定し(S2)、登録手段として機能する制御部52は、他人のA店の会員カードIDを登録しない(S3)。

【0374】

ここで制御部52は、第1の会員統合要求を受信したことに基づいて、該受信した第1の会員統合要求に含まれる会員特定情報(第1会員特定情報又は第2会員特定情報)から特定される既に登録されている会員カードID(即ち第1の会員統合要求に含まれる各会員カードID)に対応付けて登録されている会員カードIDが有るか否かを判定する同一会員判定手段として機能し、前記店舗特定手段として機能する制御部52は、該同一会員判定手段により有ると判定されたことを条件として、前記対応付けて登録されている会員カードIDに対応する店舗の店舗IDをさらに特定し、前記店舗一致判定手段として機能する制御部52は、該店舗特定手段により特定された、前記対応付けて登録されている会員カードIDに対応する店舗の店舗IDと、前記会員統合要求に含まれる会員特定情報から特定される新たに登録する会員カードIDに対応する店舗の店舗IDとが一致するか否かを判定する。

10

【0375】

具体的には、図35(a')に示すように、ある会員が自分のA店の会員カードの会員カードIDと、自分のB店の会員カードの会員カードIDとを対応付けてポイント会員として登録済である場合において、図35(a-1')に示すように、当該会員が操作する登録端末から、自分の既登録のA店の会員カードの会員カードID及び暗証番号と、自分の未登録のC店の会員カードの会員カードID及び暗証番号とを含む第1の会員統合要求を受信すると、前記エンコード情報照合処理及び前記ポイント会員情報照合処理で照合OKであると判定された後、店舗特定手段として機能する制御部52は、該第1の会員統合要求に含まれる会員カードIDからA店の店舗IDとC店の店舗IDとを抽出し(S1)、店舗一致判定手段として機能する制御部52は、該S1で抽出されたA店の店舗IDとC店の店舗IDとが不一致であると判定し(S2)、同一会員判定手段として機能する制御部52は、該第1の会員統合要求に含まれる既登録のA店の会員カードIDに対応付けて登録されているB店の会員カードIDがあると判定し(S3)、店舗特定手段として機能する制御部52は、該既登録のB店の会員カードIDからB店の店舗IDを抽出し(S4)、店舗一致判定手段として機能する制御部52は、前記S1で抽出されたC店の店舗IDと該S4で抽出されたB店の店舗IDとが不一致であると判定し(S5)、登録手段として機能する制御部52は、C店の会員カードIDに対応付けて、第1の会員統合要求に含まれる暗証番号、及び既登録の性別と生年月日を登録し、かつA店の会員カードID、及びB店の会員カードIDを他の会員カードIDとして登録すると共に(S6)、該C店の会員カードIDを、A店の会員カードIDに対応付けて、他の会員カードIDとして登録し、かつB店の会員カードIDに対応付けて、他の会員カードIDとして登録する(S7)。

20

30

【0376】

一方、図35(a-2')に示すように、当該会員が操作する登録端末から、自分の既登録のA店の会員カードの会員カードID及び暗証番号と、他人の未登録のB店の会員カードの会員カードID及び暗証番号とを含む第1の会員統合要求を受信すると、前記エンコード情報照合処理及び前記ポイント会員情報照合処理で照合OKであると判定された後、店舗特定手段として機能する制御部52は、該第1の会員統合要求に含まれる会員カードIDからA店の店舗IDとB店の店舗IDとを抽出し(S1)、店舗一致判定手段として機能する制御部52は、該S1で抽出されたA店の店舗IDとB店の店舗IDとが不一致であると判定し(S2)、同一会員判定手段として機能する制御部52は、該第1の会員統合要求に含まれる既登録のA店の会員カードIDに対応付けて登録されているB店の会員カードIDがあると判定し(S3)、店舗特定手段として機能する制御部52は、該既登録のB店の会員カードIDからB店の店舗IDを抽出し(S4)、店舗一致判定手段として機能する制御部52は、前記S1で抽出されたB店の店舗IDと該S4で抽出され

40

50

たB店の店舗IDとが一致であると判定し（S5）、登録手段として機能する制御部52は、他人のB店の会員カードIDを登録しない（S6）。

【0377】

また会員統合要求が前記第2の会員統合要求である場合には、前記店舗特定手段として機能する制御部52は、店舗端末（カードユニット20又はキオスク端末30）から、当該ポイント管理装置50に既に登録されている複数の会員カードID（第1会員カードID、第2会員カードID）のそれぞれを特定可能な第1会員特定情報及び／又は第2会員特定情報を複数含む第2の会員統合要求を受信したことに基づいて、当該複数の第1会員特定情報及び／又は第2会員特定情報から特定される各会員カードID（即ち第2の会員統合要求に含まれる各会員カードID）に対応する各店舗の店舗IDを特定すると共に、情報端末（PC6又は携帯電話7）から、当該ポイント管理装置50に既に登録されている複数の会員カードID（第1会員カードID、第2会員カードID）のそれぞれを特定可能な複数の第2会員特定情報を含む第2の会員統合要求を受信したことに基づいて、当該複数の第2会員特定情報から特定される各会員カードID（即ち第2の会員統合要求に含まれる各会員カードID）に対応する各店舗の店舗IDを特定する。

10

【0378】

次に前記店舗一致判定手段として機能する制御部52は、該店舗特定手段により特定された各店舗IDが一致するか否かを判定する。そして前記登録手段として機能する制御部52は、該店舗一致判定手段により一致しないと判定されたことを条件として、前記既に登録されている複数の会員識別情報に対応付けて登録する一方、前記店舗一致判定手段により一致すると判定されたことを条件として、前記既に登録されている複数の会員識別情報に対応付けて登録しない。

20

【0379】

具体的には、図36（b）に示すように、ある会員が自分のA店の会員カードの会員カードIDと自分のB店の会員カードの会員カードIDとを各々ポイント会員として登録済である場合において、図36（b-1）に示すように、当該会員が操作する登録端末から、自分の既登録のA店の会員カードの会員カードID及び暗証番号と、自分の既登録のB店の会員カードの会員カードID及び暗証番号とを含む第2の会員統合要求を受信すると、前記ポイント会員情報照合処理で照合OKであると判定された後、店舗特定手段として機能する制御部52は、該第2の会員統合要求に含まれる会員カードIDからA店の店舗IDとB店の店舗IDとを抽出し（S1）、店舗一致判定手段として機能する制御部52は、該S1で抽出されたA店の店舗IDとB店の店舗IDとが不一致であると判定し（S2）、登録手段として機能する制御部52は、A店の会員カードIDに対応付けてB店の会員カードIDを他の会員カードIDとして登録し、かつB店の会員カードIDに対応付けてA店の会員カードIDを他の会員カードIDとして登録する（S3）。

30

【0380】

即ちポイント管理手段であるポイント会員情報DBは、前記操作端末（登録端末）から、該ポイント会員情報DBで既に登録している第1の会員カードID（ここではA店の会員カードID）に対して、該第1の会員カードIDから特定される店舗と異なる店舗の会員カードIDであって、該ポイント会員情報DBで既に登録している第2の会員カードID（ここではB店の会員カードID）を統合する旨の会員統合要求（第2の会員統合要求）を受信したことを条件として、当該第1の会員カードIDと第2の会員カードIDとを対応付けて登録する。

40

【0381】

一方、図36（b-2）に示すように、当該会員が操作する登録端末から、自分の既登録のA店の会員カードの会員カードID及び暗証番号と他人の既登録のA店の会員カードの会員カードID及び暗証番号とを含む第2の会員統合要求を受信すると、前記ポイント会員情報照合処理で照合OKである（即ち他人の既登録のA店の会員カードIDについては、第2の会員統合要求に含まれる暗証番号が、該会員カードIDに対応付けてポイント会員情報DBに登録されている暗証番号と偶然に一致した）と判定された後、店舗特定手

50

段として機能する制御部52は、該第2の会員統合要求に含まれる会員カードIDからA店の店舗IDとA店の店舗IDとを抽出し（S1）、店舗一致判定手段として機能する制御部52は、該S1で抽出されたA店の店舗IDとA店の店舗IDとが一致であると判定し（S2）、登録手段として機能する制御部52は、第2の会員統合要求に含まれる会員カードIDの対応付けを行わない（S3）。

【0382】

ここで前記同一会員判定手段として機能する制御部52は、第2の会員統合要求を受信したことに基づいて、該受信した第2の会員統合要求に含まれる会員特定情報（第1会員特定情報、第2会員特定情報）から特定される複数の会員カードID（即ち第2の会員統合要求に含まれる各会員カードID）のいずれかに対応付けて登録されている会員カードIDが有るか否かを判定し、前記店舗特定手段として機能する制御部52は、該同一会員判定手段により有ると判定されたことを条件として、前記対応付けて登録されている会員カードIDに対応する店舗の店舗IDをさらに特定し、前記店舗一致判定手段として機能する制御部52は、該店舗特定手段により特定された、前記対応付けて登録されている会員カードIDに対応する店舗の店舗IDと、前記会員統合要求に含まれる会員特定情報から特定される残りの会員カードIDに対応する店舗の店舗IDとが一致するか否かを判定する。

【0383】

具体的には、図36（b'）に示すように、ある会員が自分のA店の会員カードの会員カードIDと自分のB店の会員カードの会員カードIDとを対応付けてポイント会員として登録済みであり、かつ自分のC店の会員カードの会員カードIDをポイント会員として別個に登録済みである場合において、図36（b-1'）に示すように、当該会員が操作する登録端末から、自分の既登録のA店の会員カードの会員カードID及び暗証番号と、自分の既登録のC店の会員カードの会員カードID及び暗証番号とを含む第2の会員統合要求を受信すると、前記ポイント会員情報照合処理で照合OKであると判定された後、店舗特定手段として機能する制御部52は、該第2の会員統合要求に含まれる会員カードIDからA店の店舗IDとC店の店舗IDとを抽出し（S1）、店舗一致判定手段として機能する制御部52は、該S1で抽出されたA店の店舗IDとC店の店舗IDとが不一致であると判定し（S2）、同一会員判定手段として機能する制御部52は、該会員統合要求に含まれる既登録のA店の会員カードIDに対応付けて登録されているB店の会員カードIDがあると判定し（S3）、店舗特定手段として機能する制御部52は、該登録されているB店の会員カードIDからB店の店舗IDを抽出し（S4）、店舗一致判定手段として機能する制御部52は、前記S1で抽出されたC店の店舗IDと該S4で抽出されたB店の店舗IDとが不一致であると判定し（S5）、登録手段として機能する制御部52は、C店の会員カードIDに対応付けて、A店の会員カードID及びB店の会員カードIDを他の会員カードIDとして登録すると共に（S6）、該C店の会員カードIDを、A店の会員カードIDに対応付けて、他の会員カードIDとして登録し、かつB店の会員カードIDに対応付けて、他の会員カードIDとして登録する（S7）。

【0384】

一方、図36（b-2'）に示すように、当該会員が操作する登録端末から、自分の既登録のA店の会員カードの会員カードID及び暗証番号と、他人の既登録のB店の会員カードの会員カードID及び暗証番号とを含む第2の会員統合要求を受信すると、前記ポイント会員情報照合処理で照合OKである（即ち他人の既登録のA店の会員カードIDについては、第2の会員統合要求に含まれる暗証番号が、該会員カードIDに対応付けてポイント会員情報DBに登録されている暗証番号と偶然に一致した）と判定された後、店舗特定手段として機能する制御部52は、該第2の会員統合要求に含まれる会員カードIDからA店の店舗IDとB店の店舗IDとを抽出し（S1）、店舗一致判定手段として機能する制御部52は、該S1で抽出されたA店の店舗IDとB店の店舗IDとが不一致であると判定し（S2）、同一会員判定手段として機能する制御部52は、該会員統合要求に含まれる既登録のA店の会員カードIDに対応付けて登録されているB店の会員カードID

があると判定し（S 3）、店舗特定手段として機能する制御部 5 2 は、該登録されている B 店の会員カード I D から B 店の店舗 I D を抽出し（S 4）、店舗一致判定手段として機能する制御部 5 2 は、前記 S 1 で抽出された B 店の店舗 I D と該 S 4 で抽出された B 店の店舗 I D とが一致であると判定し（S 5）、登録手段として機能する制御部 5 2 は、他人の B 店の会員カード I D との対応付けを行わない（S 6）。

【0385】

また制御部 5 2 は、前記店舗特定手段により特定された各店舗 I D が前記グループ設定手段（ディスプレイ 5 4 及び入力装置 5 5）により設定されたグループに属する店舗の店舗 I D であるか否かを判定するグループ判定手段として機能する。この店舗特定手段及びグループ判定手段が、前記合算条件判定手段に相当する。そして前記登録手段として機能する制御部 5 2 は、該グループ判定手段によりグループに属する店舗の店舗 I D である（即ち受信した会員統合要求に含まれる各会員カード I D が記録された各会員カードの発行店舗がグループ設定手段により設定された同一グループに属するという合算条件を満たす）と判定されたことを条件として、前記複数の会員識別情報を対応付けて登録する。

10

【0386】

ここで会員統合要求が前記第 1 の会員統合要求である場合には、前記登録手段として機能する制御部 5 2 は、前記グループ判定手段によりグループに属する店舗の店舗 I D であると判定されたことを条件として、前記新たに登録する会員カード I D を前記既に登録されている会員カード I D に対応付けて登録する一方、前記グループ判定手段によりグループに属する店舗の店舗 I D でないと判定されたことを条件として、前記新たに登録する会員カード I D を前記既に登録されている会員カード I D に対応付けずに登録する。

20

【0387】

具体的には、前記図 3 5（a-1）に示す例では、店舗特定手段として機能する制御部 5 2 は、前記第 1 の会員統合要求に含まれる会員カード I D から A 店の店舗 I D と B 店の店舗 I D とを抽出しているので（S 1）、グループ判定手段として機能する制御部 5 2 は、図 2 7（b）に示すグループ DB の記憶内容に基づいて、該 S 1 で抽出された店舗 I D が同一の◎◎グループに属すると判定し、登録手段として機能する制御部 5 2 は、前記 S 3 及び S 4 の登録を行う。

【0388】

一方、図示しないが、自分の既登録の A 店の会員カードの会員カード I D 及び暗証番号と、自分の未登録の D 店の会員カードの会員カード I D 及び暗証番号とを含む第 1 の会員統合要求を受信すると、前記エンコード情報照合処理及び前記ポイント会員情報照合処理で照合 OK であると判定された後、店舗特定手段として機能する制御部 5 2 は、該第 1 の会員統合要求に含まれる会員カード I D から A 店の店舗 I D と D 店の店舗 I D とを抽出し、グループ判定手段として機能する制御部 5 2 は、図 2 7（b）に示すグループ DB の記憶内容に基づいて、該抽出された店舗 I D が同一のグループに属さない（即ち抽出された店舗 I D がグループに属する店舗の店舗 I D でない）と判定し、登録手段として機能する制御部 5 2 は、D 店の会員カード I D を A 店の会員カード I D に対応付けずに、該 D 店の会員カード I D に対応付けて、第 1 の会員統合要求に含まれる暗証番号、及び既登録の性別と生年月日を登録する。

30

40

【0389】

また会員統合要求が前記第 2 の会員統合要求である場合には、前記登録手段として機能する制御部 5 2 は、前記グループ判定手段によりグループに属する店舗の店舗 I D であると判定されたことを条件として、前記複数の会員カード I D を対応付けて登録する一方、前記グループ判定手段によりグループに属する店舗の店舗 I D でないと判定されたことを条件として、前記複数の会員カード I D の対応付けを行わない。

【0390】

具体的には、前記図 3 6（b-1）に示す例では、店舗特定手段として機能する制御部 5 2 は、前記第 2 の会員統合要求に含まれる会員カード I D から A 店の店舗 I D と B 店の店舗 I D とを抽出しているので（S 1）、グループ判定手段として機能する制御部 5 2 は

50

、図27(b)に示すグループDBの記憶内容に基づいて、該S1で抽出された店舗IDが同一の◎◎グループに属すると判定し、登録手段として機能する制御部52は、前記S3の登録を行う。

【0391】

即ちポイント管理手段であるポイント会員情報DBは、前記操作端末(登録端末)から、該ポイント会員情報DBで既に登録している第1の会員カードID(ここではA店の会員カードID)に対して、該第1の会員カードIDから特定される店舗と同一のグループに属する店舗の会員カードIDであって、該ポイント会員情報DBで既に登録している第2の会員カードID(ここではB店の会員カードID)を統合する旨の会員統合要求(第2の会員統合要求)を受信したことを条件として、当該第1の会員カードIDと第2の会員カードIDとを対応付けて登録する。

10

【0392】

一方、図示しないが、自分の既登録のA店の会員カードの会員カードID及び暗証番号と、自分の既登録のD店の会員カードの会員カードID及び暗証番号とを含む第2の会員統合要求を受信すると、前記前記ポイント会員情報照合処理で照合OKであると判定された後、店舗特定手段として機能する制御部52は、該第2の会員統合要求に含まれる会員カードIDからA店の店舗IDとD店の店舗IDとを抽出し、グループ判定手段として機能する制御部52は、図27(b)に示すグループDBの記憶内容に基づいて、該S1で抽出された店舗IDが同一のグループに属さない(即ち抽出された店舗IDがグループに属する店舗の店舗IDでない)と判定し、登録手段として機能する制御部52は、A店の会員カードIDとD店の会員カードIDとの対応付けを行わない。

20

【0393】

次に〔6〕登録端末からのグループ店一覧要求の受信に基づく店舗一覧返信処理に関し、前記店舗特定手段として機能する制御部52は、登録端末(PC6、携帯電話7、カードユニット20、キオスク端末30)から、会員特定情報(第1会員特定情報又は第2会員特定情報)を含むグループ店一覧要求を受信したことに基づいて、当該会員特定情報から特定される会員カードID(第1会員カードID又は第2会員カードID)に対応する店舗の店舗IDを特定する。具体的には、図6、図10、又は図13に示すように、登録端末から会員カードID又は会員IDを含むグループ店一覧要求を受信した場合、又は後述する図46に示すように、D401に示すグループ店一覧要求の前提として登録端末から会員カードIDを含むログイン要求を受信した場合に、それら会員カードID又は会員IDから特定される会員カードIDに含まれる店舗IDを抽出することにより店舗IDを特定する。

30

【0394】

また制御部52は、該店舗特定手段により特定された店舗IDの店舗が属するグループのグループ店として前記グループ設定手段(ディスプレイ54及び入力装置55)により設定されている各店舗を特定するグループ店特定手段として機能するものである。具体的には、図27(b)に示すグループDBの記憶内容に基づいて、例えば店舗特定手段により特定された店舗IDがA店の店舗IDである場合には、該A店が属する◎◎グループのグループ店として登録されているB店、C店、及びX店を特定する。

40

【0395】

さらに制御部52は、該グループ店特定手段により特定された店舗の一覧を前記登録端末に対して返信する店舗一覧返信手段として機能するものである。具体的には、図6のD121、又は後述する図48のD450に示すように、店舗の一覧を含む画面を、外部通信部51cからインターネットを介して、前記グループ店一覧要求の送信元の登録端末に対して配信する。

【0396】

次に〔7〕登録端末からの引き継ぎ要求の受信に基づく引き継ぎ処理に関し、制御部52は、既に登録されている既登録会員カードIDが記録された会員カードに代えて新たな会員カードの再発行が行われた場合に、当該既登録会員カードIDに対応付けられた取引

50

関連情報（使用金額，ポイント）と当該新たな会員カードに記録された新会員カード I D とを対応付ける引き継ぎ処理を行う引き継ぎ処理手段として機能するものであり、ここでは操作端末（登録端末）から引き継ぎ要求を受信したことに基づいて、引き継ぎ処理を行うものである。

【0397】

また制御部 5 2 は、操作端末（登録端末）から引き継ぎ要求を受信したことに基づいて、該受信した引き継ぎ要求に含まれる既登録会員カード I D と新会員カード I D が同一店舗で発行された会員カードの会員カード I D であるか否かを判定する同一店舗判定手段として機能するものである。具体的には、制御部 5 2 は、前記店舗特定手段として機能することにより、登録端末（P C 6，携帯電話 7，カードユニット 2 0，キオスク端末 3 0）から、前記引き継ぎ要求を受信したことに基づいて、該引き継ぎ要求に含まれる既登録会員カード I D（旧会員カード I D）及び新会員カード I D に対応する各店舗の店舗 I D を特定し、前記店舗一致判定手段として機能することにより、該店舗特定手段により特定された各店舗 I D が一致するか否かを判定する。この店舗特定手段及び店舗一致判定手段が、前記同一店舗判定手段に相当する。

10

【0398】

また制御部 5 2 は、前記受信した引き継ぎ要求に含まれる新会員カード I D が、図 2 6（a）に示すポイント会員情報 D B で登録されているか否かを判定する登録判定手段として機能するものである。

【0399】

そして引き継ぎ処理手段として機能する制御部 5 2 は、前記同一店舗判定手段により同一店舗で発行された会員カードの会員カード I D であると判定され、かつ前記登録判定手段により登録されていないと判定されたことを条件として、引き継ぎ処理を行う。

20

【0400】

また制御部 5 2 は、引き継ぎ要求を受信したことに基づいて、該受信した引き継ぎ要求に含まれる既登録会員カード I D に対応付けて登録されている他の既登録会員カード I D があるか否かを判定する対応付け判定手段として機能するものであり、具体的には、前記受信した引き継ぎ要求に含まれる既登録会員カード I D に対応付けて、図 2 6（a）に示すポイント会員情報 D B で登録されている他の会員カード I D があるか否かを判定する。例えば既登録会員カード I D が A 0 0 0 0 1 である場合には、対応付けて登録されている他の会員カード I D（ここでは X 0 0 0 0 3，C 0 0 4 7 9）があると判定され、既登録会員カード I D が A 0 0 0 0 4 である場合には、対応付けて登録されている他の会員カード I D がないと判定される。

30

【0401】

そして制御部 5 2 は、引き継ぎ処理手段として機能することにより、該対応付け判定手段によりあると判定されたことを条件として、前記引き継ぎ処理を行うと共に、登録手段として機能することにより、前記引き継ぎ要求に含まれる新会員カード I D を前記他の既登録会員カード I D に対応付けて登録する。以上に説明した引き継ぎ処理の詳細については、図 4 1 を参照して後述する。

【0402】

最後に〔8〕登録端末からの情報公開要求の受信に基づくポイント会員専用画面配信処理に関し、制御部 5 2 は、ログイン画面配信要求の受信に応じてログイン画面を登録端末に対して配信する処理を行うが、これについては後述する。

40

【0403】

また前記同一会員判定手段として機能する制御部 5 2 は、登録端末（P C 6，携帯電話 7，カードユニット 2 0，キオスク端末 3 0）から、会員カード I D を含む情報公開要求（ここではログイン要求）を受信したことに基づいて、該受信したログイン要求に含まれる会員カード I D に対応付けて登録されている他の会員カード I D が有るか否かを判定する。

【0404】

50

また制御部52は、該同一会員判定手段により無いと判定されたことを条件として、情報公開要求に含まれる会員カードIDに関連する情報を前記登録端末に対して返信し、該同一会員判定手段により有ると判定されたことを条件として、情報公開要求に含まれる会員カードID及び該会員カードIDに対応付けて登録されている他の会員カードIDに関連する情報を登録端末に対して返信する関連情報返信手段として機能する。

【0405】

即ち前記情報公開要求の一部であるログイン要求には、後述する図45のD400-1又はD400-2に示すように、ポイント会員として登録されている会員カードの会員カードID（即ちログインID）と暗証番号とが含まれるが、ここで含まれるログインIDが、ポイント会員として対応付けて登録されているいずれの会員カードIDであっても、即ち該ログインIDが図26（a）の左2列に示す会員カードID及び他の会員カードIDの欄で記憶されていれば、該ログインIDに関連する情報として、該ログインIDに対応付けて、図26（a）に示すポイント会員情報DBにおいて記憶されているポイントや、図26（b）に示す通知情報DBで記憶されているグループ店追加情報、アンケート、イベント情報、及び当選情報等を表示可能な、単一のポイント会員専用ホームページ（いわゆるマイページ）が配信される。なおログインIDが図26（a）の右1列に示す引き継ぎ元IDの欄で記憶されていても、ログインは行われず、ポイント会員専用ホームページは配信されない。

【0406】

ここで制御部52は、前記登録手段により対応付けて登録した各会員カードIDに対応する各ポイントを合算する合算処理を行う合算処理手段として機能するものであり、また該合算処理手段により合算された合算ポイントを会員が所定のサービスを楽しむために使用させるための処理を行うポイント使用処理手段として機能するものである。ここでは情報公開要求の一部であるポイント確認・使用要求を受信したことに基づいて、該合算処理手段、及びポイント使用処理手段として機能する。

【0407】

ここで「所定のサービス」とは、ポイントを使用した抽選への応募であり、該「所定のサービスを楽しむために使用させるための処理」とは、後述する図46のD410-1及びD410-2に示すように、抽選情報DBから抽出した応募期間中である抽選の内容と、ポイント会員情報DBから抽出した該抽選への応募に使用可能なポイント数とを表示したポイント確認・使用画面を、外部通信部51cからインターネットを介して、前記ログイン要求の送信元の登録端末に対して配信し、該登録端末から、前記ポイント確認・使用画面で選択した賞の抽選への応募を示す応募情報を受信して、抽選情報DBにおいて、前記ログイン要求に含まれる会員カードIDを、前記選択した賞に対応する応募者会員カードIDの記憶欄に記憶し、ポイント会員情報DBにおいて、該会員カードIDに対応付けて記憶しているポイント数から、前記選択した賞に応募するために必要なポイント数を減算する処理である。

【0408】

また「所定のサービス」とは、ポイントを使用した商品との交換であり、「所定のサービスを楽しむために使用させるための処理」とは、後述する図47のD412-1及びD412-2に示すように、予め設定されている交換可能な商品の内容と、ポイント会員情報DBから抽出した該商品との交換に使用可能なポイント数とを表示したポイント確認・使用画面を、外部通信部51cからインターネットを介して、前記ログイン要求の送信元の登録端末に対して配信し、該登録端末から、前記ポイント確認・使用画面で選択した商品との交換を示す交換情報を受信して、ポイント会員情報DBにおいて、該会員カードIDに対応付けて記憶しているポイント数から、前記商品と交換するために必要なポイント数を減算する処理である。

【0409】

この合算処理手段として機能する制御部52は、ポイントを会員が所定のサービスを楽しむために使用させるための処理を行うに当たり、対応付けて登録された各会員カード

10

20

30

40

50

I Dに対応するポイントを合算する。具体的には、情報公開要求の一部であるログイン要求を送信してポイント管理装置50にアクセスし、ポイント会員専用ホームページにログインしている登録端末から、情報公開要求の一部であるポイント確認・使用要求を受信した場合に、ログイン要求に含まれる会員カードI Dに対応するポイントと、当該会員カードI Dに対応付けて登録されている他の会員カードI Dに対応するポイントとを抽出し、該抽出したポイントを合算する。

【0410】

そして後述する図46のD410-2, 又は図47のD412-2に示すように、抽選への応募又は商品との交換に使用可能なポイント数として、各会員カードI Dに対応する各々のポイント（ここではA店ポイント数とX店ポイント数）と前記合算された合算ポイント（ここでは現在のポイント数）とを表示した画面を、外部通信部51cからインターネットを介して、前記ログイン要求の送信元の登録端末に対して配信する。

10

【0411】

また該登録端末から応募情報又は交換情報を受信した際には、各会員カードI Dに対応付けて記憶しているポイント数から、前記選択した賞に応募するために必要なポイント数又は前記選択した商品と交換するために必要なポイント数を減算するが、ここでは前記ログイン要求に含まれる会員カードI Dに対応するポイント（ここではA店ポイント数）から優先して減算され、該ポイントが不足するようであれば、不足分が当該会員カードI Dに対応付けて登録されている他の会員カードI Dに対応するポイント（ここではX店ポイント）から減算されるようになっている。

20

【0412】

なお制御部52は、ポイントを会員が所定のサービスを享受するために使用させるための処理を行うに当たり、対応付けて登録された会員カードI Dが無い場合には、情報公開要求の一部であるログイン要求を送信してポイント管理装置50にアクセスし、ポイント会員専用ホームページにログインしている登録端末から、情報公開要求の一部であるポイント確認・使用要求を受信した場合に、ログイン要求に含まれる会員カードI Dに対応するポイントを抽出する。

【0413】

そして後述する図46のD410-1, 又は図47のD412-1に示すように、抽選への応募又は商品との交換に使用可能なポイント数として、前記抽出したポイントを現在のポイント数として表示した画面を、外部通信部51cからインターネットを介して、前記ログイン要求の送信元の登録端末に対して配信する。

30

【0414】

また該登録端末から応募情報又は交換情報を受信した際には、前記ログイン要求に含まれる会員カードI Dに対応付けて記憶しているポイント数から、前記選択した賞に応募するために必要なポイント数又は前記選択した商品と交換するために必要なポイント数を減算する。

【0415】

また制御部52は、店舗端末（カードユニット20又はキオスク端末30）から第1会員特定情報（ここでは会員カードI D）を含む確認要求を受信したことに基づいて、該受信した確認要求に含まれる第1会員特定情報から特定される会員カードI Dが前記通知情報設定手段により設定された情報から特定される前記通知対象の会員カードI Dであるかを判定する通知対象判定手段として機能すると共に、該通知対象判定手段により通知対象の会員カードI Dであると判定されたことを条件として、前記通知情報を前記店舗端末に対して返信する通知情報返信手段として機能するものである。

40

【0416】

ここでの確認要求は、後述する図42に示すように、会員カードI Dを含むログイン要求と、該会員カードI Dを含まないアンケート要求、イベント情報要求、又は当選情報要求とを合わせたものである。また確認要求は、店舗端末（カードユニット20又はキオスク端末30）から送信されてくるもののみならず、情報端末（PC6又は携帯電話7）か

50

ら送信されてくるものも含む。従って、通知対象判定手段として機能する制御部52は、情報端末から確認要求を受信した場合にも前記判定を行い、通知情報返信手段として機能する制御部52は、該通知対象判定手段により通知対象の会員カードIDであると判定されたことを条件として、前記通知情報を前記情報端末に対して返信する。

【0417】

また制御部52は、前記確認要求に含まれる第1会員特定情報から特定される会員カードIDに対応付けてポイント会員情報DBで電子メールアドレスを管理しているか否かを判定する電子メールアドレス管理判定手段として機能するものであり、前記通知情報返信手段として機能する制御部52は、該電子メールアドレス管理判定手段により電子メールアドレスを管理していると判定されたことを条件として、前記通知情報を前記店舗端末（ここでは登録端末）に対して返信しない。

10

【0418】

これら通知対象判定手段、通知情報返信手段、及び電子メールアドレス管理判定手段の機能の詳細については、図44(d)、(e)、(f)を参照して後述する。

【0419】

図37～図39は、ポイント管理装置50が行うポイント会員登録処理の一例を表すフローチャートである。ポイント管理装置50は、登録端末(PC6、携帯電話7、カードユニット20、キオスク端末30)から送信されてくるポイント会員登録画面配信要求の受信(S101)、及び情報端末(PC6、携帯電話7)から送信されてくる空メールの受信(S102)を待機する。ここでポイント会員登録画面配信要求は、PC6又は携帯電話7からは、図3のD103に示すURLがクリックされたことによって送信され、カードユニット20又はキオスク端末30からは、ポイント会員登録モードが実行されたことによって送信されてくるものである。また空メールは、PC6又は携帯電話7から、図3のD102に示すようにして送信されてくるものである。

20

【0420】

このS102で空メールの受信が有る(YES)と判定された場合には、図3のD103に示すように、ポイント会員登録画面へのアクセス用のURLを含む電子メールを当該IPアドレスの情報端末に対して返信して(S104)、S101に戻る。

【0421】

S101でポイント会員登録画面配信要求の受信が有る(YES)と判定された場合には、ポイント会員登録画面の一部であるメニュー画面を登録端末に対して配信し(S105)、ポイント会員登録画面配信処理を行う(S106)。このS105では、通信相手の登録端末によらず同一内容のメニュー画面が配信され、具体的には、PC6又は携帯電話7に対しては、図3のD104に示すメニュー画面を配信し、カードユニット20に対しては、図10のD200に示すメニュー画面を配信し、キオスク端末30に対しては、図13のD300に示すメニュー画面を配信する。またS106では、通信相手の登録端末に応じて異なるポイント会員登録画面が配信され、具体的には、PC6又は携帯電話7に対しては、図3～図5に示すポイント会員登録画面を配信し、カードユニット20に対しては、図10～図11に示すポイント会員登録画面を配信し、キオスク端末30に対しては、図13～図15に示すポイント会員登録画面を配信する。なおS106では、通信相手の登録端末に応じて、また、どのステップから戻ってくるかに応じて、異なるポイント会員登録画面が配信される。

30

40

【0422】

S106でポイント会員登録画面配信処理を行ったポイント管理装置50は、登録端末(PC6、携帯電話7、カードユニット20、キオスク端末30)から送信されてくる、第1登録要求の受信(S107)、第2登録要求の受信(S108)、会員統合要求の受信(S109)、グループ店一覧要求の受信(S110)、又は引き継ぎ要求の受信(S110a)を待機する。

【0423】

前記S110でグループ店一覧要求の受信が有る(YES)と判定された場合には、該

50

受信したグループ店一覧要求に会員ID（第1会員ID又は他システム会員ID）を含むか否かを判定する（S141）。このS141で会員IDを含む（YES）、即ちキオスク端末30からグループ店一覧要求を受信したと判定された場合には、該会員IDから会員カードIDを特定する会員カードID特定処理を行い（S142）、店舗特定手段により、該特定した会員カードIDから店舗IDを抽出し、グループ店特定手段により、該抽出した店舗IDの店舗が属するグループのグループ店として図27（b）に示すグループDBで記憶されている各店舗を特定して（S143）、S144に進む。一方、S141で会員IDを含まない（NO）、即ちPC6、携帯電話7、又はカードユニット20からグループ店一覧要求を受信したと判定された場合には、店舗特定手段により、該グループ店一覧要求に含まれる会員カードIDから店舗IDを抽出し、グループ店特定手段により、該抽出した店舗IDの店舗が属するグループのグループ店として図27（b）に示すグループDBで記憶されている各店舗を特定して（S143）、S144に進む。

10

【0424】

S144では、S143で特定されたグループ店が有るか否かを判定する。このS144でグループ店が無い（NO）と判定された場合には、グループ店が無い旨を表示した画面（図示外）を登録端末に配信して（S145）、図38のS130に進み、S144でグループ店が有る（YES）と判定された場合には、図6のD121に示すように、グループ店一覧を表示した画面を登録端末に配信して（S146）、図38のS130に進む。S130では、メニュー表示要求の受信を待機し、メニュー表示要求の受信が有る（YES）と判定された場合には、前記S105に戻る。

20

【0425】

これによれば、会員が操作する登録端末から受信したグループ店一覧要求に含まれる会員カードID又は会員IDから特定される会員カードIDに対応する店舗が特定され、該特定された店舗が属するグループのグループ店一覧が返信されるので、会員にグループ店を認識させることができる。

【0426】

図37に戻り、前記S107では、登録端末であるカードユニット20又はキオスク端末30から送信されてくる第1登録要求A若しくは第1登録要求B、又はキオスク端末30から送信されてくる第1登録要求Xの受信を待機する。このS107でいずれかの第1登録要求の受信が有る（YES）と判定された場合には、該受信した第1登録要求に会員IDのみを含むか否かを判定する（S111）。このS111で会員IDのみを含む（YES）、即ちキオスク端末30から第1登録要求Xを受信したと判定された場合には、該会員IDから会員カードIDを特定し、該特定した会員カードIDをキオスク端末30に対して返信する会員カードID特定処理を行い（S112）、S106に戻って、カードユニットにおけるD202又はD205と同様の画面をキオスク端末30に対して配信する。

30

【0427】

一方、S111で会員ID以外を含む（NO）、即ちカードユニット20又はキオスク端末30から第1登録要求を受信したと判定された場合には、受信した第1登録要求が第1登録要求Aであるか否か、即ち受信した第1登録要求に会員カードIDを1つのみ含むか否かを判定する（S113）。このS113で第1登録要求Aでない（NO）、即ち受信した第1登録要求に複数の会員カードIDを含むと判定された場合には、後述する図38のS120に進む。

40

【0428】

一方、S113で第1登録要求Aである（YES）、即ち受信した第1登録要求に会員カードIDを1つのみ含むと判定された場合には、前記エンコード情報照合処理を行う（S114）。このS114で照合NG（NO）と判定された場合には、入力が間違っている旨を示す画面を登録端末に対して配信して（S115）、S130に進む。一方、S114で照合OK（YES）と判定された場合には、受信した第1登録要求Aに含まれる会員カードID（第1会員カードID又は第2会員カードID）から店舗IDを抽出して（

50

S 1 1 6)、グループ識別情報判定手段により、店舗管理手段(グループDB及び店舗DB)において当該店舗IDにグループ識別情報(グループ名)が対応付けられているか否か、即ち当該店舗IDの店舗がいずれかのグループに属しているか否かを判定する(S 1 1 7)。

【0429】

このS 1 1 7で第1登録要求Aに含まれる会員カードIDから抽出した店舗IDにグループ識別情報が対応付けられている(Y E S)、即ち当該店舗IDの店舗がグループDBに記憶されており、グループに属していると判定された場合には、当該店舗IDに対応付けて管理している地域識別情報(地域名)と同一の地域識別情報に対応付けられている他の店舗IDがあるか否かを判定する(S 1 1 8)。

10

【0430】

このS 1 1 8で同一の地域名に対応付けられている他の店舗IDがある(Y E S)と判定された場合には、S 1 0 6に進んで、図10のD 2 0 4又はD 2 0 7に示すように、グループ店情報提供手段により、第1登録要求Aに含まれる会員カードIDから抽出した店舗IDの店舗を筆頭に、当該店舗IDと同一の地域名に対応付けられている他の店舗IDの店舗を認識可能な画面を、カードユニット20又はキオスク端末30に対して送信する。

【0431】

これによれば、会員が操作する登録端末から受信した第1登録要求Aに含まれる会員カードIDから特定される店舗IDの店舗がグループに属する場合には、グループ店情報が登録端末に対して提供されるので、当該グループに属する他のグループ店の存在をユーザーに認識させることができ、店舗情報提供装置をグループ店での集客の向上に利用したいという店舗の要望に応えることができる。

20

【0432】

また、グループに属する店舗が多い場合(例えば大型グループの場合)であっても、会員が操作する登録端末から受信した第1登録要求Aに含まれる会員カードIDから特定される店舗IDの店舗と同一地域に所在するグループ店(即ち会員が来店する可能性が高い店舗)を認識可能なグループ店情報が登録端末に対して提供されるので、会員の利便性が向上する。

【0433】

30

なお、前記S 1 1 7で当該店舗IDにグループ識別情報が対応付けられていない(N O)、即ち当該店舗IDの店舗がいずれのグループにも属しておらず、店舗DBに記憶されていると判定された場合と、前記S 1 1 8で同一の地域名に対応付けられている他の店舗IDがない(N O)と判定された場合には、S 1 0 6に進んで、図10のD 2 0 4又はD 2 0 7において、グループ店情報提供手段により、第1登録要求Aに含まれる会員カードIDから抽出した店舗IDの店舗のみを認識可能な画面を、カードユニット20又はキオスク端末30に対して送信する。

【0434】

前記S 1 0 8では、登録端末であるPC 6又は携帯電話7から送信されてくる第2登録要求A若しくは第2登録要求Bの受信を待機する。このS 1 0 8でいずれかの第2登録要求の受信が有る(Y E S)と判定された場合には、受信した第2登録要求が第2登録要求Aであるか否か、即ち受信した第2登録要求に会員カードIDを1つのみ含むか否かを判定する(S 1 4 0)。このS 1 4 0で第2登録要求Aでない(N O)、即ち受信した第2登録要求に複数の会員カードIDを含むと判定された場合には、後述する図38のS 1 2 0に進む。

40

【0435】

一方、S 1 4 0で第2登録要求Aである(Y E S)、即ち受信した第2登録要求に会員カードIDを1つのみ含むと判定された場合には、前記エンコード情報照合処理を行い(S 1 1 4)、S 1 1 5又はS 1 1 6以下に進む。そしてS 1 1 8でY E Sと判定された場合には、S 1 0 6に進んで、図4のD 1 0 7又はD 1 0 9に示すように、グループ店情報

50

提供手段により、第2登録要求Aに含まれる会員カードIDから抽出した店舗IDの店舗を筆頭に、当該店舗IDと同一の地域名に対応付けられている他の店舗IDの店舗を認識可能な画面を、PC6又は携帯電話7に対して送信する。一方、S117でNOと判定された場合と、S118でNOと判定された場合には、S106に進んで、図4のD107又はD109において、グループ店情報提供手段により、第2登録要求Aに含まれる会員カードIDから抽出した店舗IDの店舗のみを認識可能な画面を、PC6又は携帯電話7に対して送信する。

【0436】

図38に進み、S120では、属性情報判定手段により、前記受信した登録要求B（第1登録要求B又は第2登録要求B）に含まれる属性情報（性別、生年月日）が既に管理（登録）されているか否かを判定する。このS120で属性情報が登録されていない（NO）と判定された場合には、ポイント会員として初めての登録であるため、図26（a）に示すポイント会員情報DBにおいて、前記受信した登録要求に含まれる会員カードIDに対応付けて暗証番号及び属性情報を登録し（S131）、該登録要求Bに電子メールアドレスが含まれる場合（S132でYES）には、会員カードIDに対応付けて該電子メールアドレスも登録し（S133）、さらに該登録要求Bにメール配信店舗の店舗IDが含まれる場合（S134でYES）には、会員カードIDに対応付けて当該店舗IDをメール配信店舗の記憶欄に記憶する（S135）。そして該登録が完了した旨を示す登録完了画面（図示外）を登録端末に対して配信して（S136）、S130に進む。

【0437】

これによれば、ポイント管理装置50において、会員の所持する情報端末（PC6、携帯電話7）から第2登録要求Bが送信されてくると会員カードIDの登録が行われると共に、店舗に設置される店舗端末（カードユニット20、キオスク端末30）から第1登録要求Bが送信されてきても会員識別情報の登録が行われるので、情報端末を所有していない店舗会員や情報端末の操作が不得意な店舗会員であってもポイント会員として会員識別情報の登録が可能となり、すべての店舗会員に公平にポイント会員としての利益を享受する機会を与えることができる。

【0438】

一方、前記S120で属性情報が登録されている（YES）と判定された場合には、店舗特定手段により、前記登録要求Bに含まれる会員カードIDから店舗IDを抽出すると共に、前記登録されている属性情報に対応付けて既に管理されている会員カードIDから店舗IDを抽出し（S121）、店舗一致判定手段により、S121で抽出された店舗IDが一致するか否かを判定する（S122）。このS122で店舗IDが一致しない（NO）と判定された場合には、同一会員による異なる店舗の会員カードの登録であり、ポイント会員として登録すべきであるため、S131以下に進む。

【0439】

一方、S122で店舗IDが一致する（YES）と判定された場合とは、ある店舗の会員カードをポイント会員として既に登録している会員が、当該店舗の他の会員の会員カードを拾って、該拾った会員カードを自分の会員カードとは別に登録しようとしている場合か、又は当該会員の性別及び生年月日と同じ性別及び生年月日が当該店舗の他の会員の属性情報として偶然に登録されている場合であるため、会員識別情報抽出手段により、前記登録要求Bに含まれる会員カードIDと前記既に管理されている会員カードIDとを抽出して（S123）、S124に進む。

【0440】

これによれば、登録要求Bに含まれる属性情報が既に管理されており、該管理されている属性情報に対応付けて既に登録されている会員カードIDに対応する店舗と、登録要求に含まれる会員カードIDに対応する店舗とが一致する場合には、該登録要求Bに含まれる会員カードIDと前記既に登録されている会員カードIDとが抽出されるので、他の会員の記録媒体を拾った会員が当該他の会員の記録媒体を自分の記録媒体とは別に登録しようとしている可能性を特定することができる。

【0441】

S124では、S123で抽出した会員カードIDの両方が第1会員カードIDであるか否かを判定する。このS124で両方が第1会員カードIDである（YES）と判定された場合には、該第1会員カードIDが記録された記録媒体の発行店舗に設置されている第1会員管理装置100に対して、各第1会員カードIDに対応付けて管理されている氏名及び住所の送信を要求して（S125）、氏名及び住所の受信を待機する（S126）。このS126で氏名及び住所の受信が有る（YES）と判定された場合には、該受信した各々の氏名及び住所が一致するか否かを判定する（S127）。

【0442】

このS127で一致しない（NO）と判定された場合とは、当該会員の性別及び生年月日と同じ性別及び生年月日が当該店舗の他の会員の属性情報として偶然に登録されている場合であり、ポイント会員として登録すべきであるため、S131以下に進む。一方、S127で一致する（YES）と判定された場合とは、ある店舗の会員カードをポイント会員として既に登録している会員が、当該店舗の他の会員の会員カードを拾って、該拾った会員カードを自分の会員カードとは別に登録しようとしている場合であり、ポイント会員として登録すべきでないため、前記S123で抽出した会員カードIDをディスプレイ54に表示し（S128）、会員カードIDの登録が行われなかった旨を示すエラー画面（図示外）を登録端末に対して配信して（S129）、S130に進む。

【0443】

前記S124で両方が第1会員カードIDでない（NO）、即ちS123で抽出した会員カードIDの両方が第2会員カードIDであると判定された場合には、該会員カードIDをディスプレイ54に表示し（S124a）、該第2会員カードIDをポイント会員として登録するために、S131以下に進む。S124aで表示された第2会員カードIDを見たオペレータは、該第2会員カードIDが記録された記録媒体の発行店舗に対して、該第2会員カードIDに対応付けて第2会員管理装置200で管理されている氏名及び住所を電話等で問い合わせ、該氏名及び住所を取得する。そしてオペレータは、該取得した各々の氏名及び住所が一致すると判断した場合には、入力装置55を操作して、S131、S133、及びS135の登録を消去する処理を行う。

【0444】

図37に戻り、前記S109では、キオスク端末30から送信されてくる会員統合要求A、B（さらに3つの会員カードを統合する場合には会員統合要求C、4つの会員カードを統合する場合には会員統合要求D）、又は登録端末（PC6、携帯電話7、カードユニット20、キオスク端末30）から送信されてくる第1の会員統合要求若しくは第2の会員統合要求の受信を待機する。このS109でいずれかの会員統合要求の受信が有る（YES）と判定された場合には、図39に進み、該受信した会員統合要求に会員IDのみを含むか否かを判定する（S200）。このS200で会員IDのみを含む（YES）、即ちキオスク端末30から会員統合要求A、B、C、Dを受信したと判定された場合には、該会員IDから会員カードIDを特定し、該特定した会員カードIDをキオスク端末30に対して返信する会員カードID特定処理を行い（S201）、S106に戻って、図14のD321若しくはD322、D325若しくはD326、又は図15のD327若しくはD328に示す画面をキオスク端末30に対して配信する。

【0445】

一方、S200で会員ID以外を含む（NO）、即ち受信した会員統合要求が登録端末から送信されてくる第1の会員統合要求又は第2の会員統合要求のいずれかであると判定された場合には、受信した会員統合要求に未登録の会員カードIDが含まれるか否かを判定する（S203）。このS203で未登録の会員カードIDが含まれる（YES）と判定された場合には、受信した会員統合要求が第1の会員統合要求なので、該第1の会員統合要求に含まれる未登録の会員カードIDについて、前記エンコード情報照合処理を行う（S230）。このS230で照合NG（NO）と判定された場合には、入力が間違っている旨を示す画面を登録端末に対して配信して（S231）、S130に進む。一方、S

10

20

30

40

50

230で照合OK (YES) と判定された場合には、第1の会員統合要求に含まれる既登録の会員カードIDについて、前記ポイント会員情報照合処理を行う (S232)。このS232で照合NG (NO) と判定された場合には、S231に進む。

【0446】

一方、S232で照合OK (YES) と判定された場合には、店舗特定手段により、前記第1の会員統合要求に含まれる複数の会員カードIDから各々店舗IDを抽出し (S233)、グループ判定手段により、該抽出した店舗IDのすべてが図27 (b) に示すグループDBで記憶されている同一のグループに属するか否かを判定する (S234)。このS234で同一のグループに属する (YES) と判定された場合には、S237以下に進み、S242及びS243で、登録手段により、前記登録要求に含まれる複数の会員カードIDが対応付けて登録される。

10

【0447】

これによれば、第1の会員カードIDと第2の会員カードIDとを統合する旨の会員統合要求を受信した際に、該第1の会員カードIDから特定される店舗と第2の会員カードIDから特定される店舗とがグループ店である場合に限り統合が行われるので、当該各会員カードIDに対応するポイントを合算して使用でき、グループ店での集客の向上に利用することができる。

【0448】

一方、S234で同一のグループに属さない (NO) と判定された場合には、前記登録手段は、各未登録の会員カードIDに対応付けて既登録の属性情報を登録し (S235)、グループ店でないために統合はできなかったが単独で登録した旨を示す個別登録完了画面 (図示外) を登録端末に対して配信して (S236)、S130に進む。

20

【0449】

これによれば、会員統合要求に含まれる各会員カードIDに対応する各店舗がグループ店でない場合には、会員統合要求に含まれる新たに登録する会員カードIDが対応付けられずに登録されるので、登録操作を再度やり直す必要が無く、会員の利便性が向上する。

【0450】

S237では、店舗一致判定手段により、S233で抽出した各店舗IDが一致するかどうかを判定する。このS237で店舗IDが一致する (YES) と判定された場合とは、ある店舗の他の会員の会員カードを拾った会員が、当該店舗の自分の会員カードと統合しようとしている場合であるため、統合ができない旨を示すエラー画面を登録端末に対して配信して (S238)、S130に進む。

30

【0451】

これによれば、第1の会員カードIDと第2の会員カードIDとを統合する旨の会員統合要求を受信した際に、該第1の会員カードIDから特定される店舗と第2の会員カードIDから特定される店舗とが異なっている場合に限り統合が行われるので、会員カードIDが記録された会員カードを紛失した会員のポイントが、該会員カードを拾った他の会員のポイントと統合されてしまうおそれが低減し、該会員カードを紛失した会員が不利益を被るおそれを低減することができる。即ち、店舗が一致しても統合が行われてしまうと、会員カードを拾った会員は、該会員カードを紛失した会員のポイントも使用することができ、該会員カードを紛失した会員は勝手にポイントを使用されてしまうことにより不利益を被るが、これによれば、店舗が一致すると統合が行われないので、かかる不利益を被ることがない。

40

【0452】

さらに、会員が1つの店舗で2枚の会員カードを所持すると、1日あたりで付与されるポイントに上限値 (例えば10ポイント) がある場合であっても、2枚の会員カードを所持することによりそれぞれの会員カードで10ポイントを獲得でき、当該2枚の会員カードを統合すると2倍のポイントを獲得して使用できてしまうという不都合があるが、これによれば、店舗が一致する場合には統合が行われないので、かかる不都合がない。

【0453】

50

なお、会員統合要求に含まれる複数の会員カード I D に対応する各店舗が一致しない場合には統合されることから、例えば A 店の会員が、当該 A 店で他人の A 店の会員カードを拾い、該拾った他人の A 店の会員カードと自分の B 店の会員カードとを統合しようとする場合には統合が行われてしまうが、該拾った他人の A 店の会員カードを統合しようとする会員は、自身も A 店の会員カードを所持しており、既にポイント会員として登録しているか、又は登録しようとする自分の A 店の会員カードと統合しようとするのが通常であるため、多くの場合には統合を防止することができる。

【0454】

一方、S 2 3 7 で店舗 I D が一致しない (N O) と判定された場合には、同一会員判定手段により、前記第 1 の会員統合要求に含まれる既登録の会員カード I D に対応付けてポイント会員情報 D B で登録されている他の会員カード I D が有るか否かを判定する (S 2 3 9)。この S 2 3 9 で他の会員カード I D が無い (N O) と判定された場合には、登録手段により、未登録の会員カード I D に対応付けて、会員統合要求に含まれる暗証番号、及び既登録の属性情報を登録し、かつ既登録の会員カード I D を登録すると共に (S 2 4 2)、該登録された会員カード I D を既登録の会員カードに対応付けて登録、即ち統合して (S 2 4 3)、該統合が完了した旨を示す統合登録完了画面 (図示外) を登録端末に対して配信して (S 2 4 4)、S 1 3 0 に進む。

10

【0455】

一方、S 2 3 9 で他の会員カード I D が有る (Y E S) と判定された場合には、店舗特定手段により、当該他の会員カード I D から店舗 I D を抽出し (S 2 4 0)、店舗一致判定手段により、S 2 4 0 で抽出した店舗 I D と、前記第 1 の会員統合要求に含まれる未登録の会員カード I D から前記 S 2 3 3 で抽出した店舗 I D とが一致するか否かを判定する (S 2 4 1)。この S 2 4 1 で一致しない (N O) と判定された場合には、S 2 4 2 に進む。一方、S 2 4 1 で一致する (Y E S) と判定された場合には、登録手段による未登録会員カード I D の登録及び会員カード I D の対応付けの登録が行われず、S 2 3 8 の後、S 1 3 0 に進む。

20

【0456】

これによれば、第 1 の会員統合要求に含まれる既に登録されている会員カード I D に対応付けて登録されている他の会員カード I D に対応する店舗と、新たに登録する会員カード I D に対応する店舗とが一致する場合にも、当該新たに登録する会員カード I D が登録されないので、会員カードを紛失した会員が不利益を被るおそれをさらに低減することができる。

30

【0457】

前記 S 2 0 3 で未登録の会員カード I D が含まれない (N O) と判定された場合には、受信した会員統合要求が第 2 の会員統合要求なので、該第 2 の会員統合要求に含まれるすべての会員カード I D (即ち既登録の会員カード I D) について、前記ポイント会員情報照合処理を行う (S 2 5 1)。この S 2 5 1 で照合 N G (N O) と判定された場合には、入力が間違っている旨を示す画面を登録端末に対して配信して (S 2 5 2)、S 1 3 0 に進む。

【0458】

40

一方、S 2 5 1 で照合 O K (Y E S) と判定された場合には、店舗特定手段により、前記第 2 の会員統合要求に含まれる複数の会員カード I D から各々店舗 I D を抽出し (S 2 5 3)、グループ判定手段により、該抽出した店舗 I D のすべてが図 2 7 (b) に示すグループ D B で記憶されている同一のグループに属するか否かを判定する (S 2 5 4)。この S 2 5 4 で同一のグループに属する (Y E S) と判定された場合には、S 2 5 7 以下に進み、S 2 6 3 で、登録手段により、前記登録要求に含まれる複数の会員カード I D が対応付けて登録される。

【0459】

一方、S 2 5 4 で同一のグループに属さない (N O) と判定された場合には、前記登録手段は、既登録の各会員カード I D を対応付けて登録せず、該対応付けを行わない旨を示

50

す画面（図示外）を登録端末に対して配信して（S 2 5 5）、S 1 3 0に進む。

【0 4 6 0】

S 2 5 7では、店舗一致判定手段により、S 2 5 3で抽出した各店舗 I Dが一致するかどうかを判定する。このS 2 5 7で店舗 I Dが一致する（Y E S）と判定された場合とは、ある店舗の他の会員の会員カードを拾った会員が、当該店舗の自分の会員カードと統合しようとしている場合であるため、統合ができない旨を示すエラー画面を登録端末に対して配信して（S 2 5 8）、S 1 3 0に進む。

【0 4 6 1】

一方、S 2 5 7で店舗 I Dが一致しない（N O）と判定された場合には、同一会員判定手段により、前記第2の会員統合要求に含まれる既登録の会員カード I Dに対応付けてポイント会員情報 D Bで登録されている他の会員カード I Dが有るか否かを判定する（S 2 5 9）。このS 2 5 9で他の会員カード I Dが無い（N O）と判定された場合には、登録手段により、既登録の複数の会員カード I Dに対応付けて登録、即ち統合して（S 2 6 3）、S 2 4 4に進む。

10

【0 4 6 2】

一方、S 2 5 9で他の会員カード I Dが有る（Y E S）と判定された場合には、店舗特定手段により、当該他の会員カード I Dから店舗 I Dを抽出し（S 2 6 0）、店舗一致判定手段により、S 2 6 0で抽出した店舗 I Dと、前記第2の会員統合要求に含まれる残りの既登録の会員カード I Dから前記S 2 5 3で抽出した店舗 I Dとが一致するかどうかを判定する（S 2 6 1）。このS 2 6 1で一致しない（N O）と判定された場合には、S 2 6 3に進む。一方、S 2 6 1で一致する（Y E S）と判定された場合には、登録手段による会員カード I Dの対応付けの登録が行われず、S 2 5 8の後、S 1 3 0に進む。

20

【0 4 6 3】

これによれば、第2の会員統合要求に含まれる既に登録されている複数の会員カード I Dのいずれかに対応付けて登録されている会員カード I Dに対応する店舗と、当該複数の会員カード I Dのうちの残りの会員カード I Dに対応する店舗とが一致する場合にも、当該複数の会員カード I Dの対応付けが行われないので、記録媒体を紛失した会員が不利益を被るおそれをさらに低減することができる。

【0 4 6 4】

以上に説明したように、複数の各会員カード I Dが合算条件を満たすことを条件として、当該各会員カード I Dに対応する各取引関連情報（使用金額、ポイント）を合算する合算処理（統合処理）が行われるので、当該各会員カード I Dが記録された複数の会員カードを所有する所有者の利便性が向上する。

30

【0 4 6 5】

図37に戻り、前記S 1 1 0 aでは、キオスク端末30から送信されてくる引き継ぎ要求X、又はカードユニット20又はキオスク端末30から送信されてくる引き継ぎ要求の受信を待機する。このS 1 1 0 aでいずれかの引き継ぎ要求の受信が有る（Y E S）と判定された場合には、図40に進み、該受信した引き継ぎ要求が会員 I Dのみを含むかどうかを判定する（S 3 0 0）。このS 3 0 0で会員 I Dのみを含む（Y E S）、即ちキオスク端末30から引き継ぎ要求Xを受信したと判定された場合には、該会員 I Dから新会員カード I Dを特定し、該特定した新会員カード I Dをキオスク端末30に対して返信する会員カード I D特定処理を行い（S 3 0 1）、S 1 0 6に戻って、図11のD 2 2 1に示す画面をキオスク端末30に対して配信する。

40

【0 4 6 6】

一方、S 3 0 0で会員 I D以外を含む（N O）、即ち受信した引き継ぎ要求が、カードユニット20又はキオスク端末30から送信されてくる、既登録会員カード I D（旧会員カード I D）と新会員カード I Dとを含む引き継ぎ要求であると判定された場合には、登録判定手段により、該引き継ぎ要求に含まれる新会員カード I Dがポイント会員情報 D Bで登録済であるかどうかを判定する（S 3 0 3）。このS 3 0 3で登録済である（Y E S）と判定された場合には、引き継ぎができない旨を示すエラー画面を登録端末に対して配信

50

して（Ｓ３０４）、Ｓ１３０に進む。一方、Ｓ３０３で登録済でない（ＮＯ）と判定された場合には、Ｓ３３０以下に進んで、Ｓ３４２で引き継ぎ処理を行う。このＳ３０３の判定を行うのは、既登録の新会員カードＩＤに対する引き継ぎ処理を認めると、以下の問題が生ずるからである。

【０４６７】

具体的には、既登録の新会員カードＩＤに対する引き継ぎ処理が認められ、該引き継ぎ処理に伴って新会員カードＩＤに対応するポイントが無効とされる場合において、前記引き継ぎ要求を送信する前に、新会員カードＩＤが登録されて新たな会員カードが使用され、該新会員カードＩＤに対してポイントが付与された後に引き継ぎ要求を送信すると、当該新会員カードＩＤに対応付けられているポイントが無効になってしまうという問題が生ずる。

10

【０４６８】

また既登録の新会員カードＩＤに対する引き継ぎ処理が認められ、該引き継ぎ処理に伴って新会員カードＩＤに対応するポイントが無効とされずに既登録会員カードＩＤに対応するポイントと合算される場合において、ある既登録の会員カードの所有者が他人の既登録の会員カードを拾って、該他人の既登録会員カードＩＤを含むと共に自己の既登録会員カードＩＤを新会員カードＩＤとして含む引き継ぎ要求を送信すると、該他人の既登録会員カードＩＤに対応するポイントが新会員カードＩＤに対応するポイントと合算されてしまうという問題が生ずる。

【０４６９】

20

そこで本発明では、前記Ｓ３０３の判定を行い、新会員カードＩＤが登録されていないことを条件として引き継ぎ処理を行うこととしたので、これらの問題が生じない。即ち、既登録の新会員カードＩＤに対応付けられている取引関連情報（ポイント）が無効になってしまうということがなく、また既登録の新会員カードＩＤに対応付けられている取引関連情報に他人の既登録会員カードＩＤに対応付けられている取引関連情報が合算されて当該他人が損をしてしまうということがない。

【０４７０】

Ｓ３３０では、前記引き継ぎ要求に含まれる未登録の新会員カードＩＤについて、前記エンコード情報照合処理を行う。このＳ３３０で照合ＮＧ（ＮＯ）と判定された場合には、入力が間違っている旨を示す画面を登録端末に対して配信して（Ｓ３３１）、Ｓ１３０に進む。一方、Ｓ３３０で照合ＯＫ（ＹＥＳ）と判定された場合には、前記引き継ぎ要求に含まれる既登録会員カードＩＤについて、前記ポイント会員情報照合処理を行う（Ｓ３３２）。このＳ３３２で照合ＮＧ（ＮＯ）と判定された場合には、Ｓ３３１に進む。

30

【０４７１】

一方、Ｓ３３２で照合ＯＫ（ＹＥＳ）と判定された場合には、店舗特定手段により、前記引き継ぎ要求に含まれる既登録会員カードＩＤ及び新会員カードＩＤから各々店舗ＩＤを抽出し（Ｓ３３３）、店舗一致判定手段（同一店舗判定手段）により、Ｓ３３３で抽出した各店舗ＩＤが一致するか否かを判定する（Ｓ３３７）。このＳ３３７で店舗ＩＤが一致しない（ＮＯ）と判定された場合には、引き継ぎができない旨を示すエラー画面を登録端末に対して配信して（Ｓ３３８）、Ｓ１３０に進む。一方、Ｓ３３７で店舗ＩＤが一致する（ＹＥＳ）と判定された場合には、Ｓ３３９以下に進んで、Ｓ３４２で引き継ぎ処理を行う。これによれば、同一店舗で発行された会員カードの会員カードＩＤに対して引き継ぎ処理が行われるので、他の店舗で発行された会員カードの会員カードＩＤに対して引き継ぎ処理が行われてしまうおそれがない。

40

【０４７２】

Ｓ３３９では、対応付け判定手段により、前記引き継ぎ要求に含まれる既登録会員カードＩＤに対応付けて登録されている他の既登録会員カードＩＤがあるか否かを判定する。このＳ３３９で他の既登録会員カードＩＤがない（ＮＯ）と判定された場合には、Ｓ３４２に進む。一方、Ｓ３３９で他の既登録会員カードＩＤがある（ＹＥＳ）と判定された場合には、登録手段により、前記引き継ぎ要求に含まれる新会員カードＩＤを当該他の既登

50

録会員カード I D に対応付けて登録すると共に、当該他の既登録会員カード I D に対応する前記引き継ぎ要求に含まれる既登録会員カード I D を消去して（S 3 4 0）、S 3 4 2 に進む。これによれば、引き継ぎ要求に含まれる既登録会員カード I D に対応付けて登録されている他の既登録会員カード I D があれば、引き継ぎ要求に含まれる新会員カード I D が当該他の既登録会員カード I D に対応付けて登録されるので、当該他の既登録会員カード I D と新会員カード I D とを含む合算要求（会員統合要求）を送信する必要が無く、それら会員カード I D が記録された複数の会員カードを所有する所有者の利便性が向上する。

【0 4 7 3】

S 3 4 2 では、ポイント会員情報 D B において、引き継ぎ処理手段により、前記引き継ぎ要求に含まれる既登録会員カード I D に代えて新会員カード I D を登録し、登録済の暗証番号に代えて引き継ぎ要求に含まれる登録する暗証番号を登録することにより、前記引き継ぎ処理を行い、S 3 4 3 で、引き継ぎ特定情報管理手段により、該新会員カード I D に対応付けて、引き継ぎ日付を記憶（登録）すると共に、前記既登録会員カード I D を引き継ぎ元 I D として記憶（登録）し、S 3 4 4 で、引き継ぎが完了した旨を示す引き継ぎ完了画面を登録端末に対して配信して、S 1 3 0 に進む。

【0 4 7 4】

なお該引き継ぎ完了画面を受信した情報端末（P C 6、携帯電話 7）では、クッキーに記憶されている会員カード I D 及び暗証番号が、図 4 5 の D 4 0 5 に示す画面で入力された新会員カード I D 及び登録する暗証番号に書き換えられて、該書換後の新会員カード I D 及び暗証番号でポイント会員専用ホームページにログインしている状態となり、該書換以降は、書換前の会員カード I D 及び暗証番号ではログインできないようになる。

【0 4 7 5】

以上に説明したように、会員カードの所有者が操作する操作端末（登録端末）から引き継ぎ要求を受信したことに基づいて引き継ぎ処理が行われるので、該ポイント管理装置 5 0 及び店舗に設けられる会員管理装置（第 1 会員管理装置 1 0 0、第 2 会員管理装置 2 0 0）において引き継ぎ要求の送受信に伴うプログラムを組んだり、該送受信を行うための装置を設けたりする必要がなく、引き継ぎ処理のためのコストが低減される。また該ポイント管理装置 5 0 を含むポイント管理システム 1 において、引き継ぎ要求を送信するための会員管理装置を店舗に設ける必要がなくなる。

【0 4 7 6】

なお図 3 7 ～図 4 0 に示す処理の途中において、登録端末からメニュー表示要求を受信した場合には S 1 0 5 に戻り、登録端末から終了要求を受信した場合には処理を終了する。

【0 4 7 7】

ここで図 4 1 を参照して、制御部 5 2 が行う引き継ぎ処理について説明する。まず図 4 1（a）に示すように、ポイント会員情報 D B において、A 0 0 0 0 9 と B 0 0 2 4 6 の会員カード I D が対応付けて登録されている状態で、既登録会員カード I D（旧会員カード I D）である A 0 0 0 0 9 と未登録の新会員カード I D である A 0 1 1 1 1 とを含む引き継ぎ要求を受信すると、同一店舗判定手段により既登録会員カード I D と新会員カード I D が同一店舗（ここでは A 店）で発行された会員カードの会員カード I D であると判定され、かつ登録判定手段により新会員カード I D がポイント会員情報 D B で登録されていないと判定されるので、前記引き継ぎ処理が行われて、図 4 1（b）に示すようになる。

【0 4 7 8】

具体的には、まず登録手段により、前記図 4 0 に示す S 3 4 0 の処理が行われて、新会員カード I D である A 0 1 1 1 1 が、既登録会員カード I D である A 0 0 0 0 9 に対応付けて登録されている他の既登録会員カード I D である B 0 0 2 4 6 に対応付けて登録されると共に、B 0 0 2 4 6 に対応付けて登録されている A 0 0 0 0 9 が消去される。次に引き継ぎ処理手段により、同 S 3 4 2 の処理が行われて、A 0 0 0 0 9 に代えて A 0 1 1 1 1 が登録され、登録済の暗証番号（ここでは 4 1 2 6）に代えて引き継ぎ要求に含まれる

登録する暗証番号（ここでは4422）が登録されて引き継ぎ処理が行われ、さらに引き継ぎ特定情報管理手段により、同S343の処理が行われて、A01111に対応付けて、引き継ぎ日付（ここでは9月16日）が登録されると共に、A00009が引き継ぎ元IDとして登録される。

【0479】

次に当日の遊技場の営業終了後において、残額管理DBの記憶内容（図16（a））を受信すると、前記受信IDが小さい順に、前記図25（b）に示すポイント付与処理が行われて、図41（c）に示すようになる。具体的には、B00246の会員カードIDについては、累積使用金額が22000円増加しており、本日使用金額として該22000円が使用されているので、1日あたりに付与されるポイントの上限値である10ポイントが付与されて、当日ポイントの記憶欄に記憶される。

10

【0480】

またA01111の会員カードIDについては、本日に引き継ぎ処理が行われているので、以下のようにしてポイント付与処理が行われる。まず引き継ぎ元IDであるA00009に対応する本日使用金額（例えば9000円）に応じて9ポイントが付与されて、引き継ぎ先IDであるA01111に対応する当日ポイントの記憶欄に該9ポイントが記憶される。次に引き継ぎ先であるA01111に対応する本日使用金額（例えば3000円）に応じて3ポイントが付与されるが、前記記憶されている9ポイントと該付与された3ポイントとの合算値が1日あたりに付与されるポイントの上限値である10ポイントを超えているので、該10ポイントが当日ポイントの記憶欄に記憶される。なお合算値が上限値を超えていなければ、該合算値が当日ポイントの記憶欄に記憶される。

20

【0481】

このポイント付与処理が行われた後に、ポイント加算処理が行われて、図41（d）に示すようになる。具体的には、B00246の会員カードIDについては、当日ポイントの記憶欄に記憶されている10ポイントが累計ポイントの記憶欄に記憶されている369ポイントに対して加算更新されて379ポイントとされると共に、当日ポイントの記憶欄に記憶されている10ポイントが0にされる。またA01111の会員カードIDについては、当日ポイントの記憶欄に記憶されている10ポイントが累計ポイントの記憶欄に記憶されている5ポイントに対して加算更新されて15ポイントとされると共に、当日ポイントの記憶欄に記憶されている10ポイントが0にされる。なお該A01111に対応付けて登録されている引き継ぎ特定情報である引き継ぎ日付及び引き継ぎ元IDは、これらポイント付与処理及びポイント加算処理が行われた後であっても、消去されずに存置される。

30

【0482】

この例では、図25（a）に示す如く、ポイント付与対象情報である本日使用金額が遊技場の営業終了時に送信されてくるので、該ポイント付与対象情報の収集間隔は1日毎であり、該ポイント付与対象情報が送信されてくるとポイント付与処理が行われるので、ポイント付与間隔も1日毎であるが、仮にポイント付与対象情報の収集間隔がポイント付与間隔よりも短い（例えば6時間毎の）場合には、該ポイント付与対象情報が収集される前に引き継ぎ要求を受信して引き継ぎ処理を完了すると、収集されるはずのポイント付与対象情報に応じたポイントが付与されず、会員にとって不利益になるという問題がある。具体的には、例えば10時に営業を開始して22時に営業を終了する遊技場から、6時間毎、即ち営業中の16時と営業終了後の22時にポイント付与対象情報が送信されてくる場合において、15時に引き継ぎ要求を受信して引き継ぎ処理を完了すると、該15時までの間に玉貸を行っていたとしても、その玉貸に使用された使用金額は16時まで収集されないで、該使用金額に応じたポイントが付与されない。

40

【0483】

そこで本発明では、引き継ぎ処理を行うときに、引き継ぎ特定情報として引き継ぎ日付及び引き継ぎ元IDを記憶することにより、前回のポイント付与から次のポイント付与までの間に引き継ぎ要求が行われた旨を特定可能に管理しておくようにした。そしてポイ

50

ント付与処理及びポイント加算処理を行う際に、ポイント付与間隔（ここでは当日）中に引き継ぎ処理が行われた旨が管理されていれば、既登録会員カードIDに対応するポイント付与対象情報に応じた当日ポイント及び新会員カードIDに対応するポイント付与対象情報に応じた当日ポイントを、新会員カードIDに対応する累積ポイントに合算するようにしたのである。これによれば、ポイント付与対象情報の収集間隔に依らずに、既登録会員カードIDに対して付与されるべきポイントを新会員カードIDに対応するポイントに対して確実に合算することができる。

【0484】

また本発明では、既登録会員カードIDに対応するポイント付与対象情報に応じた当日ポイント及び新会員カードIDに対応するポイント付与対象情報に応じた当日ポイントを、新会員カードIDに対応する累積ポイントに合算する際に、両当日ポイントの合算値が1日あたりに付与されるポイントの上限値を超えている場合には、該上限値のポイントが、新会員カードIDに対応付けられている累計ポイントと合算されるので、引き継ぎを行った会員に上限値を超えたポイントが付与されることがなく、公平にポイントを付与することができる。

10

【0485】

図42～図44は、ポイント管理装置50が行うポイント会員専用画面配信処理の一例を表すフローチャートであり、図45～図48は、ポイント管理装置50から配信されて登録端末（PC6，携帯電話7，カードユニット20，キオスク端末30）のディスプレイに表示されるポイント会員専用画面の一例を表す図である。このポイント会員専用画面配信処理（S300）を行うポイント管理装置50は、登録端末（PC6，携帯電話7，カードユニット20，キオスク端末30）から送信されてくるログイン画面配信要求の受信を待機する（S301）。ここでログイン画面配信要求は、各登録端末においてポイント会員専用画面表示モードが実行されたことによって送信されてくるものである。

20

【0486】

このS301でログイン画面配信要求の受信が有る（YES）と判定された場合には、該受信したログイン画面配信要求に会員IDを含むか否かを判定する（S302）。このS302で会員IDを含む（YES）、即ちキオスク端末30からログイン画面配信要求を受信したと判定された場合には、該会員IDから会員カードIDを特定し、該特定した会員カードIDをキオスク端末30に対して返信する会員カードID特定処理を行うと共に（S321）、ログイン画面をキオスク端末30に対して配信して（S303）、S304に進む。一方、S302で会員IDを含まない（NO）、即ちPC6，携帯電話7，又はカードユニット20からログイン画面配信要求を受信したと判定された場合には、ログイン画面を該PC6，携帯電話7，又はカードユニット20に対して配信して（S303）、S304に進む。このS303では、通信相手の登録端末に応じて異なるログイン画面が配信される。

30

【0487】

具体的には、PC6又は携帯電話7に対しては、図45のD400-1に示すように、登録済の会員カードID及び暗証番号の入力欄が表示されているログイン画面が配信されて、ディスプレイに表示される。このログイン画面で、ポイント会員が操作キーを操作し、会員カードID及び暗証番号を入力して「ログイン」ボタンを操作すると、該入力された会員カードID及び暗証番号が一時的に記憶されると共に、該会員カードID及び暗証番号を含むログイン要求が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信される。

40

【0488】

なお前述の如く、PC6又は携帯電話7において、図45のD400-1に示すログイン画面に会員カードID及び暗証番号が入力された状態で、該画面（URL）をブックマーク（お気に入り）に登録しておく、該入力された会員カードID及び暗証番号がクッキーに記憶される。そして該登録されているブックマークを選択すると、クッキーに記憶されている会員カードID及び暗証番号が入力された状態でD400-1のログイン画面

50

が表示され、「ログイン」ボタンを操作すると、該ログイン画面に表示されている登録済の会員カードID（即ちログインID）と暗証番号とを含むログイン要求が、インターネットを介して、ポイント管理装置50に対して送信される。

【0489】

またカードユニット20に対しては、図45のD400-2に示すように、登録済の暗証番号の入力欄が表示されているログイン画面が配信されて、ディスプレイ27に表示される。このログイン画面では、挿入されている登録済の会員カードのICチップからカードR/W25により読み取った会員カードIDが表示される。このログイン画面で、ポイント会員が操作キーを操作し、暗証番号を入力して「ログイン」ボタンを操作すると、前記読み取った会員カードID及び該入力された暗証番号が一時的に記憶されると共に、該会員カードID及び暗証番号を含むログイン要求が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信される。

10

【0490】

またキオスク端末30に対しても、図45のD400-2に示すように、登録済の暗証番号の入力欄が表示されているログイン画面が配信されて、ディスプレイ34に表示される。このログイン画面では、S321で特定されて返信されてきた会員カードIDが表示される。このログイン画面で、ポイント会員が操作キーを操作し、暗証番号を入力して「ログイン」ボタンを操作すると、前記返信されてきた会員カードID及び該入力された暗証番号が一時的に記憶されると共に、該会員カードID及び暗証番号を含むログイン要求が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信される。

20

【0491】

図42に戻り、S304では、登録端末から、前記ログイン要求の受信を待機する。このログイン要求は、情報公開要求の一部であると共に確認要求の一部である。このS304でログイン要求の受信が有る（YES）と判定された場合には、該ログイン要求に含まれる会員カードID及び暗証番号とポイント会員情報DBで記憶している会員カードID及び暗証番号との照合を行い、該照合がOKであるか否かを判定する（S305）。このS305で照合NG（NO）と判定された場合には、照合NGである旨を示すエラー画面を配信して（S322）、処理を終了する（S323）。一方、S305で照合OK（YES）と判定された場合には、受信したログイン要求に含まれる会員カードID（即ちログインID）を特定し（S306）、該特定したログインIDに対応付けてポイント会員情報DBで登録されている他の会員カードID（以下「対応ID」と称する。）が有るか否かを判定する（S307）。

30

【0492】

このS307で対応IDが無い（NO）と判定された場合には、S306で特定されたログインIDを、前記ログイン要求の送信元である登録端末（以下「送信元端末」と称する。）のIPアドレスに対応付けて記憶して（S308）、S310に進む。一方、S307で対応IDが有る（YES）と判定された場合には、該対応IDを特定し（S324）、S306で特定されたログインID、及びS324で特定された対応IDを、前記送信元端末のIPアドレスに対応付けて記憶して（S308）、S310に進む。

【0493】

40

このように、ログインIDがIPアドレスに対応付けて記憶されることにより、前記送信元端末から送信されてくる、情報公開要求の一部であるポイント確認・使用要求（S311）、登録情報の更新要求（S312）、グループ店舗一覧要求（S313）、及び店舗追加情報要求（S314）や、確認要求の一部であるアンケート要求（S315）、イベント情報要求（S316）、及び当選情報要求（S317）にログインIDが含まれていなくても、該送信元端末のIPアドレスに対応付けて記憶しているログインIDを特定することができる。従って、該ログインIDを含むログイン要求と、ポイント確認・使用要求、登録情報の更新要求、グループ店舗一覧要求、又は店舗追加情報要求とを合わせたものが、会員カードIDを含む情報公開要求であり、またログインIDを含むログイン要求と、アンケート要求、イベント情報要求、及び当選情報要求とを合わせたものが、会員

50

カード I D を含む確認要求である。

【0494】

S 3 1 0 では、図 4 5 の D 4 0 1 - 1 又は D 4 0 1 - 2 に示すメニュー画面を、該 I P アドレスの送信元端末に対して配信する。具体的には、送信元端末が P C 6 又は携帯電話 7 である場合には D 4 0 1 - 1 に示すメニュー画面を配信し、送信元端末がカードユニット 2 0 又はキオスク端末 3 0 である場合には D 4 0 1 - 2 に示すメニュー画面を配信する。ここで D 4 0 1 - 1 では、「ポイント確認・使用」ボタン、「登録情報の更新」ボタン、「グループ店一覧」ボタン、「グループ店追加情報」ボタン、「アンケート」ボタン、「イベント情報」ボタン、「当選情報」ボタン、「統合登録」ボタン、及び「カードの引き継ぎ」ボタンが表示され、D 4 0 1 - 2 では、該「カードの引き継ぎ」ボタンを除く各ボタンが表示される。以下においては、D 4 0 1 - 1 と D 4 0 1 - 2 とを区別しないときには、単に「D 4 0 1」と表記する。

10

【0495】

この D 4 0 1 - 1 又は D 4 0 1 - 2 で、ポイント会員が操作キーを操作して、「ポイント確認・使用」ボタンを操作すると、ポイント確認・使用要求 (S 3 1 1) がポイント管理装置 5 0 に対して送信され、「登録情報の更新」ボタンを操作すると、登録情報の更新要求 (S 3 1 2) がポイント管理装置 5 0 に対して送信され、「グループ店一覧」ボタンを操作すると、グループ店舗一覧要求 (S 3 1 3) がポイント管理装置 5 0 に対して送信され、「グループ店追加情報」ボタンを操作すると、グループ店舗追加情報要求 (S 3 1 4) がポイント管理装置 5 0 に対して送信され、「アンケート」ボタンを操作すると、アンケート要求 (S 3 1 5) がポイント管理装置 5 0 に対して送信され、「イベント情報」ボタンを操作すると、イベント情報要求 (S 3 1 6) がポイント管理装置 5 0 に対して送信され、「当選情報」ボタンを操作すると、当選情報要求 (S 3 1 7) がポイント管理装置 5 0 に対して送信され、「統合登録」ボタンを操作すると、会員統合処理要求 (S 3 1 8) がポイント管理装置 5 0 に対して送信され、D 4 0 1 - 1 で「カードの引き継ぎ」ボタンを操作すると、引き継ぎ処理要求 (S 3 1 9) がポイント管理装置 5 0 に対して送信される。

20

【0496】

図 4 2 に戻り、S 3 1 0 でメニュー画面を配信したポイント管理装置 5 0 は、送信元端末から送信されてくる、ポイント確認・使用要求の受信 (S 3 1 1)、登録情報の更新要求の受信 (S 3 1 2)、グループ店舗一覧要求の受信 (S 3 1 3)、グループ店舗追加情報要求の受信 (S 3 1 4)、アンケート要求の受信 (S 3 1 5)、イベント情報要求の受信 (S 3 1 6)、当選情報要求の受信 (S 3 1 7)、会員統合処理要求の受信 (S 3 1 8)、又は引き継ぎ処理要求 (S 3 1 9) の受信を待機する。

30

【0497】

ここで S 3 1 9 で送信元端末である P C 6 又は携帯電話 7 から引き継ぎ処理要求の受信が有る (Y E S) と判定された場合には、前述した図 4 5 の D 4 0 5 に示す画面を、該引き継ぎ処理要求の送信元端末に対して配信して (S 3 2 0)、前記図 3 7 の S 1 1 0 a に進み、前記引き継ぎ要求の受信を待機する。この S 1 1 0 a で引き継ぎ要求の受信が有る (Y E S) と判定された場合には、前記図 4 0 の S 3 0 0 以下の処理を行うが、該図 4 0 中の「S 1 3 0」は、後述する「S 4 0 9」と読み替える。

40

【0498】

また S 3 1 8 で送信元端末から会員統合処理要求の受信が有る (Y E S) と判定された場合には、前記図 3 7 の S 1 0 6 に進み、通信相手の送信元端末に応じて異なるポイント会員登録画面が配信される。

【0499】

具体的には、P C 6 又は携帯電話 7 に対しては、図 5 の D 1 1 0 ~ D 1 1 6 に示す画面が配信され、該 P C 6 又は携帯電話 7 からは、前記ログイン要求の送信時に記憶した会員カード I D (即ちログイン I D) 及び暗証番号と、前記配信された各画面で入力された統合する会員カードの会員特定情報及び暗証番号とを含む、第 1 の会員統合要求又は第 2 の

50

会員統合要求が送信されてくる。

【0500】

またカードユニット20に対しては、図11のD210～D219に示す画面が配信され、該カードユニット20からは、前記ログイン要求の送信時に記憶した会員カードID（即ちログインID）及び暗証番号と、前記配信された各画面で入力された統合する会員カードの会員特定情報及び暗証番号とを含む、第1の会員統合要求又は第2の会員統合要求が送信されてくる。

【0501】

またキオスク端末30に対しては、図14のD321～D326、及び図15のD327～D328に示す画面が配信され、該キオスク端末30からは、前記ログイン要求の送信時に記憶した会員カードID（即ちログインID）及び暗証番号と、統合する会員カードから読み取った会員特定情報及び前記配信された各画面で入力された暗証番号とを含む、第1の会員統合要求又は第2の会員統合要求が送信されてくる。

【0502】

このように、これら送信元端末（PC6、携帯電話7、カードユニット20、キオスク端末30）において、ログイン画面からログインした後は、当該ログインに使用した会員カードIDに対応付けて他の会員カードIDを登録するために、当該ログインの際に入力する情報（即ちPC6又は携帯電話7においては会員カードID及び暗証番号であり、カードユニット20又はキオスク端末30においては暗証番号である）を改めて入力する必要がない。なお、これら送信元端末から会員統合要求が送信されてきた場合には、前記図39のS200以下に進み、第1の会員統合要求が送信されてきた場合には、前記図39のS230以下に進み、第2の会員統合要求が送信されてきた場合には、同S251以下に進む。

【0503】

図42に戻り、前記S311で、送信元端末からポイント確認・使用要求の受信が有る（YES）と判定された場合には、図43のS400に進み、前記S324で対応IDが特定されたか否かを判定する。

【0504】

このS400で対応IDが特定されなかった（NO）、即ちポイント確認・使用要求の送信元端末のIPアドレスに対応付けて記憶しているのがログインIDのみであると判定された場合には、該記憶しているログインIDに対応付けてポイント会員情報DBで記憶しているポイントを抽出し（S401）、抽選情報DBで記憶している抽選情報を抽出し（S402）、関連情報返信手段により、抽出したポイント（現在のポイント数）、及び抽出した抽選情報を表示した図46のD410-1に示す画面を送信元端末に対して配信して（S403）、応募情報の受信（S404）、又は「商品交換」ボタンの操作（S411）を待機する。このD410-1では、前記ログイン要求に含まれる会員カードIDに対応するポイント数が現在のポイント数として表示されると共に、抽選情報DBから抽出した抽選の内容（賞名、賞の説明、必要ポイント、及び当選者数）が、「応募」ボタン及び「商品交換」ボタンと共に表示される。

【0505】

このD410-1で、ポイント会員が操作キーを操作して、現在のポイント数の範囲内で応募可能な賞を選択（ここでは当該賞に対応するチェックボックスをチェック）して、「応募」ボタンを操作すると、該選択した賞（ここではB賞）の抽選への応募を示す応募情報が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信される。

【0506】

前記S404で送信元端末から応募情報の受信が有る（YES）と判定された場合には、抽選情報DBにおいて、前記抽出した抽選情報の抽選IDの、該応募情報で示される賞に対応する応募者会員カードIDの記憶欄に、前記ログインIDを記憶し（S405）、抽選への応募に使用されたポイントを、該ログインIDに含まれる店舗IDに対応付けて店舗情報DBで記憶されている残ポイント数から減算更新すると共に、抽選応募使用ポイ

10

20

30

40

50

ント数に加算更新し（S 4 0 6）、抽選への応募に使用されたポイントを、該ログインIDに対応付けてポイント会員情報DBで記憶されているポイント数から減算更新し（S 4 0 7）、該減算更新後のポイントを表示した図46のD 4 1 1-1に示す画面を登録端末に対して配信して（S 4 0 8）、メニュー画面表示要求の受信を待機する（S 4 0 9）。このS 4 0 9でメニュー画面表示要求の受信が有る（YES）と判定された場合には、前記S 3 1 0に戻る。D 4 1 1-1では、賞への応募に使用されたポイント数を減算した後の現在のポイント数と、応募した賞（ここではB賞）と、賞への応募に使用されたポイント数（ここでは4 0 P）とが表示される。

【0 5 0 7】

前記S 4 1 1で「商品交換」ボタンの操作が有る（YES）と判定された場合には、関連情報返信手段により、抽出したポイント（現在のポイント数）、及び商品情報を表示した図47のD 4 1 2-1に示す画面を送信元端末に対して配信して（S 4 1 2）、交換情報の受信を待機する（S 4 1 3）。このD 4 1 2-1では、前記ログイン要求に含まれる会員カードIDに対応するポイント数が現在のポイント数として表示されると共に、予め設定されている交換可能な商品の内容（商品名、及び必要ポイント）が、「交換」ボタン及び「抽選応募」ボタンと共に表示される。

【0 5 0 8】

このD 4 1 2-1で、ポイント会員が操作キーを操作して、現在のポイント数の範囲内で交換可能な商品を選択（ここでは当該商品に対応するチェックボックスをチェック）して、「交換」ボタンを操作すると、該選択した商品（ここでは携帯ストラップ）との交換を示す交換情報が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信される。

【0 5 0 9】

このS 4 1 3で送信元端末から「交換」ボタンの操作に伴う交換情報の受信が有る（YES）と判定された場合には、商品との交換に使用されたポイントを、前記記憶しているログインIDに含まれる店舗IDに対応付けて店舗情報DBで記憶されている残ポイント数から減算更新すると共に、商品交換使用ポイント数に加算更新し（S 4 1 4）、商品との交換に使用されたポイントを、該ログインIDに対応付けてポイント会員情報DBで記憶されているポイント数から減算更新して（S 4 1 5）、S 4 4 0に進む。

【0 5 1 0】

S 4 4 0では、該ログインIDに対応付けてポイント会員情報DBで氏名及び住所が登録されているか否かを判定する。このS 4 4 0で氏名及び住所が登録されている（YES）と判定された場合には、図47のD 4 1 3-1に示す画面を送信元端末に対して配信し、S 4 0 9に進む。このD 4 1 3-1では、商品を発送する旨が表示される。一方、S 4 4 0で氏名及び住所が登録されていない（NO）と判定された場合には、氏名及び住所の入力要求を表示した図47のD 4 1 3-2に示す画面を送信元端末に対して配信して（S 4 4 2）、該送信元端末から氏名及び住所を含む登録情報の受信を待機する（S 4 4 3）。このD 4 1 3-2では、商品を発送する旨が表示されると共に、氏名及び住所の入力が求められ、氏名及び住所の入力欄が表示される。このD 4 1 3-2で、ポイント会員が操作キーを操作して、氏名及び住所を入力欄に入力して、「登録」ボタンを操作すると、該入力された氏名及び住所を含む登録情報が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信される。

【0 5 1 1】

このS 4 4 3で登録情報の受信が有る（YES）と判定された場合には、ポイント会員情報DBにおいて、該受信した登録情報に含まれる氏名及び住所を前記ログインIDに対応付けて登録して（S 4 4 4）、S 4 0 9に進む。その後、ハードディスク53で記憶している発送情報DB（図示外）において、ポイント会員の氏名及び住所に対応付けて、交換した商品が登録され、カード会社からは、該登録された氏名及び住所を宛先として、交換した商品が発送される。

【0 5 1 2】

前記S 4 0 0で対応IDが特定された（YES）、即ちポイント確認・使用要求の送信

10

20

30

40

50

元端末のIPアドレスに対応付けて記憶しているのがログインID及び対応IDであると判定された場合には、該記憶しているログインID及び対応IDに対応付けてポイント会員情報DBで記憶している各ポイントを抽出し（S420）、合算処理手段により、該抽出した各ポイントを合算し（S421）、抽選情報DBで記憶している抽選情報を抽出し（S422）、関連情報返信手段により、抽出した各ポイント（内訳）、合算した合算ポイント（現在のポイント数）、及び抽選情報を表示した図46のD410-2に示す画面を送信元端末に対して配信して（S423）、応募情報の受信（S424）、又は「商品交換」ボタンの操作（S431）を待機する。このD410-2では、前記ログイン要求に含まれる会員カードIDに対応するポイント数（ここではA点ポイント数）、及び該会員カードIDに対応付けて登録されている他の会員カードIDに対応するポイント数（こ

10

【0513】

このD410-2で、ポイント会員が操作キーを操作して、現在のポイント数の範囲内で応募可能な賞を選択（ここでは当該賞に対応するチェックボックスをチェック）して、「応募」ボタンを操作すると、該選択した賞（ここではA賞）の抽選への応募を示す応募情報が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信される。

【0514】

このS424で送信元端末から応募情報の受信が有る（YES）と判定された場合には、抽選情報DBにおいて、前記抽出した抽選情報の抽選IDの、該応募情報で示される賞に対応する応募者会員カードIDの記憶欄に、前記ログインIDを記憶し（S425）、抽選への応募に使用されたポイントを、該ログインIDに含まれる店舗IDに対応付けてグループ情報DBで記憶されている残ポイント数から優先的に減算更新し、該ポイントが不足するようであれば該不足分を、前記対応IDに含まれる店舗IDに対応付けてグループ情報DBで記憶されている残ポイント数から減算更新すると共に、該減算更新されたポイント数を、各店舗IDに対応付けてグループ情報DBで記憶されている抽選応募使用ポイント数に加算更新し（S426）、抽選への応募に使用されたポイントを、該ログインIDに対応付けてポイント会員情報DBで記憶されているポイント数から優先的に減算更新し、該ポイントが不足するようであれば該不足分を、該対応IDにポイント会員情報DBで記憶されているポイント数から減算更新し（S427）、該減算更新後のポイントを表示した図46のD411-2に示す画面を送信元端末に対して配信して（S428）、S409に進む。このD411-2では、賞への応募に使用されたポイント数を減算した後の現在のポイント数及び内訳のポイント数と、応募した賞（ここではA賞）と、賞への応募に使用されたポイント数（ここでは100P）とが表示される。ここで内訳のポイント数は、ログイン要求に含まれる会員カードIDに対応するポイント数（ここではA点ポイント数）から優先して減算され、該ポイントが不足するようであれば、不足分が当該会員カードIDに対応付けて登録されている他の会員カードIDに対応するポイント（ここではX店ポイント）から減算されるようになっている。

20

30

【0515】

前記S431で「商品交換」ボタンの操作が有る（YES）と判定された場合には、関連情報返信手段により、抽出した各ポイント（内訳）、合算した合算ポイント（現在のポイント数）、及び商品情報を表示した図47のD412-2に示す画面を送信元端末に対して配信して（S432）、交換情報の受信を待機する（S433）。このD412-2では、前記ログイン要求に含まれる会員カードIDに対応するポイント数（ここではA点ポイント数）、及び該会員カードIDに対応付けて登録されている他の会員カードIDに対応するポイント数（ここではX店ポイント数）が内訳として表示され、それらポイント数を合算した合算ポイント数が現在のポイント数として表示されると共に、予め設定されている交換可能な商品の内容（商品名、及び必要ポイント）が表示される。

40

【0516】

50

このD 4 1 2-2で、ポイント会員が操作キーを操作して、現在のポイント数の範囲内で交換可能な商品を選択（ここでは当該商品に対応するチェックボックスをチェック）して、「交換」ボタンを操作すると、該選択した商品（ここでは特製ライター）との交換を示す交換情報が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信される。そして該ポイント管理装置50から登録端末に対して、前記D 4 1 3-1又はD 4 1 3-2に示す画面が配信されて、ディスプレイに表示される。

【0517】

ポイント管理装置50において、S 4 3 3で送信元端末から交換情報の受信が有る（YES）と判定された場合には、商品との交換に使用されたポイントを、前記ログインIDに含まれる店舗IDに対応付けてグループ情報DBで記憶されている残ポイント数から優先的に減算更新し、該ポイントが不足するようであれば該不足分を、前記対応IDに含まれる店舗IDに対応付けてグループ情報DBで記憶されている残ポイント数から減算更新すると共に、該減算更新されたポイント数を、各店舗IDに対応付けてグループ情報DBで記憶されている商品交換使用ポイント数に加算更新し（S 4 3 4）、商品との交換に使用されたポイントを、該ログインIDに対応付けてポイント会員情報DBで記憶されているポイント数から優先的に減算更新し、該ポイントが不足するようであれば該不足分を、該対応IDにポイント会員情報DBで記憶されているポイント数から減算更新して（S 4 3 5）、前記S 4 4 0に進む。

【0518】

これによれば、会員が操作する登録端末から受信した情報公開要求（ログイン要求及びポイント確認・使用要求）に含まれる会員カードIDに対応付けて他の会員カードIDが登録されている場合に、該情報公開要求に含まれる会員カードID及び該会員カードIDに対応付けて登録されている他の会員カードIDに関連する情報が返信されるので対応付けて登録されているいずれか1つの会員カードIDを含む情報公開要求を送信すれば、該対応付けて登録されている複数の会員カードIDに関する情報を把握することができ、会員の利便性が向上する。また、対応付けて登録された各会員カードIDに対応するポイントを合算して使用できるため、会員の利便性が向上する。

【0519】

図42に戻り、前記S 3 1 2で送信元端末から登録情報の更新要求の受信が有る（YES）と判定された場合には、図44（a）のS 5 0 0に進み、登録情報の更新要求の送信元端末のIPアドレスに対応付けて記憶しているログインIDに対応付けて、ポイント会員情報DBで氏名及び住所が登録されているか否かを判定する。このS 5 0 0で氏名及び住所が登録されていない（NO）と判定された場合には、更新すべき登録情報の登録がない旨を表示した画面（図示外）を送信元端末に対して配信して（S 5 0 7）、前記S 4 0 9に進む。一方、S 5 0 0で氏名及び住所が登録されている（YES）と判定された場合には、ポイント会員情報DBから、ログインIDに対応付けて登録されている氏名、住所、及び電子メールアドレスも登録されている場合には該電子メールアドレスを抽出し（S 5 0 1）、該抽出した氏名、住所、及び電子メールアドレスを現在の登録情報として表示した図47のD 4 3 0に示す登録情報表示画面を送信元端末に対して配信して（S 5 0 2）、更新情報の受信を待機する（S 5 0 3）。

【0520】

このD 4 3 0では、現在の登録情報として、氏名、住所、及び電子メールアドレスが表示されると共に、更新後の登録情報として、氏名、住所、及び電子メールアドレスの入力欄が表示される。このD 4 3 0で、ポイント会員が操作キーを操作して、更新する氏名、住所、及び／又は電子メールアドレスを入力欄に入力して（更新しない情報の入力欄は空欄のままにして）、「更新」ボタンを操作すると、該入力された情報を含む更新情報が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信される。

【0521】

ポイント管理装置50において、S 5 0 3で送信元端末から更新情報の受信が有る（YES）と判定された場合には、ログインIDに対応付けてポイント会員情報DBで記憶し

10

20

30

40

50

ている氏名、住所、及び電子メールアドレスを、該受信した更新情報に含まれる氏名、住所、及び電子メールアドレスに更新して（S 5 0 4）、S 5 0 5に進む。

【0 5 2 2】

このように、制御部 5 2 が、登録端末から受け付けた会員カード I D（ここでは受信済のログイン要求に含まれる会員カード I D）と更新情報とに基づいて、該会員カード I D と対応付けてポイント会員情報 D B で管理されている属性情報を更新するので、ポイント管理装置 5 0 にて管理されているポイント会員の属性情報の変更や修正に対応して、最新の属性情報を管理することができる。

【0 5 2 3】

S 5 0 5 では、記憶しているログイン I D 及び対応 I D に第 1 会員カード I D が含まれるか否かを判定する。この S 5 0 5 で第 1 会員カード I D が含まれない（N O）と判定された場合には、前記 S 4 0 9 に進む。一方、S 5 0 5 で第 1 会員カード I D が含まれる（Y E S）と判定された場合には、該第 1 会員カード I D と前記更新情報とを、該第 1 会員カード I D に含まれる店舗 I D から特定される店舗の第 1 会員管理装置 1 0 0 に対して送信し（S 5 0 6）、前記 S 4 0 9 に進む。この S 5 0 6 の更新情報と第 1 会員カード I D とを受信した第 1 会員管理装置 1 0 0 は、第 1 会員情報 D B（図 1 6（b））において、該第 1 会員カード I D に対応付けて記憶している氏名、住所、及び電子メールアドレスを該受信した更新情報に更新する。

【0 5 2 4】

このように、第 1 会員管理装置 1 0 0 において、ポイント管理装置 5 0 から送信されてきた第 1 会員カード I D と対応付けて第 1 会員情報 D B により管理している属性情報（ここでは氏名、住所、電子メールアドレス）を、該ポイント管理装置 5 0 から送信されてきた更新後の属性情報に更新するので、第 1 遊技場においても、変更作業の手間なく、最新の属性情報を管理することができる。

【0 5 2 5】

図 4 2 に戻り、前記 S 3 1 3 で送信元端末からグループ店一覧要求の受信が有る（Y E S）と判定された場合には、図 4 4（b）の S 6 0 0 に進み、店舗特定手段により、グループ店一覧要求の送信元端末の I P アドレスに対応付けて記憶しているログイン I D から店舗 I D を抽出して、グループ店特定手段により、該抽出した店舗 I D の店舗が属するグループのグループ店として図 2 7（b）に示すグループ情報 D B で記憶されている各店舗を特定し（S 6 0 0）、該グループ店が有るか否かを判定する（S 6 0 1）。この S 6 0 1 でグループ店が無い（N O）と判定された場合には、グループ店が無い旨を表示した画面（図示外）を送信元端末に配信して、前記 S 4 0 9 に進む。一方、S 6 0 1 でグループ店が有る（Y E S）と判定された場合には、グループ店一覧を表示した図 4 7 の D 4 4 0 に示す画面を送信元端末に配信して（S 6 0 2）、前記 S 4 0 9 に進む。

【0 5 2 6】

この D 4 4 0 では、前記図 6 の D 1 2 1 と同様に、D 4 0 0 で入力された会員カード I D に含まれる店舗 I D の店舗（ここでは A 店）が属するグループのグループ名（ここでは◎◎グループ）と、該グループのグループ店一覧（ここでは B 店、C 店、X 店）が表示される。

【0 5 2 7】

これによれば、会員が操作する登録端末から受信したグループ店一覧要求（ここでは既に受信済のログイン要求）に含まれる会員カード I D に対応する店舗が特定され、該特定された店舗が属するグループのグループ店一覧が返信されるので、会員にグループ店を認識させることができる。

【0 5 2 8】

図 4 5 の D 4 0 1 で、ポイント会員が操作キーを操作して、「グループ店追加情報」ボタンを操作すると、情報公開要求の一部であるグループ店追加情報要求が、インターネットを介してポイント管理装置 5 0 に対して送信される。

【0 5 2 9】

図４２に戻り、前記Ｓ３１４で送信元端末からグループ店追加情報要求の受信が有る（ＹＥＳ）と判定された場合には、図４４（ｃ）のＳ７００に進み、グループ店追加情報の送信元端末のＩＰアドレスに対応付けて記憶しているログインＩＤに対応付けて通知情報ＤＢでグループ店追加情報が記憶されているか否かを判定する（Ｓ７００）。ここでログインＩＤについてのみ該判定を行うのは、通知情報ＤＢで記憶しているグループ店追加情報は、ログインＩＤと対応ＩＤとで共通のものだからである。このＳ７００でグループ店追加情報の記憶が無い（ＮＯ）と判定された場合には、追加グループ店がない旨を表示した画面（図示外）を送信元端末に対して配信して、前記Ｓ４０９に進む。

【０５３０】

一方、Ｓ７００でグループ店追加情報の記憶が有る（ＹＥＳ）と判定された場合には、該記憶されているグループ店追加情報の内容に応じて、図４８のＤ４５０－１又はＤ４５０－２に示す画面を送信元端末に対して配信し（Ｓ７０１）、ログインＩＤに対応付けて通知情報ＤＢで記憶されているグループ店追加情報（即ちＤ４５０－１に示す新規店舗の追加情報又はＤ４５０－２に示す新グループのグループ店一覧情報）を消去すると共に、対応ＩＤに対応付けて通知情報ＤＢでグループ店追加情報（即ちＤ４５０－１に示す新規店舗の追加情報）が記憶されている場合には該グループ店追加情報を消去して（Ｓ７０２）、前記Ｓ４０９に戻る。

【０５３１】

ここでＤ４５０－１は、ログイン要求に含まれる会員カードＩＤ（例えばＤ４００に示すＡ店の会員カードＩＤ）から抽出した店舗ＩＤの店舗が属するグループに新規店舗の追加が行われた旨を、該会員カードＩＤの会員に対して示す画面であり、該追加された新規店舗（ここではＺ店）が表示される。またＤ４５０－２は、ログイン要求に含まれる会員カードＩＤ（例えば図示しないがＰ店の会員カードＩＤ）から抽出した店舗ＩＤの店舗について新たなグループが設定された旨を、該会員カードＩＤの会員に対して示す画面であり、該設定された新グループ（ここでは□□グループ）に属するグループ店（ここではＰ店、Ｑ店、Ｒ店）の一覧が表示される。

【０５３２】

これによれば、新たなグループの設定又は既に設定されているグループに対する新規店舗の追加が行われた場合に、当該グループに属する各店舗で発行された会員カードの所有者に対して、グループ店一覧又は新規店舗が通知されるので、会員に新たに統合できる店舗があることを認識させることができる。

【０５３３】

図４５のＤ４０１で、ポイント会員が操作キーを操作して、「アンケート」ボタンを操作すると、確認要求の一部であるアンケート要求が、インターネットを介してポイント管理装置５０に対して送信される。

【０５３４】

図４２に戻り、前記Ｓ３１５で送信元端末からアンケート要求の受信が有る（ＹＥＳ）と判定された場合には、図４４（ｄ）のＳ８００に進み、通知対象判定手段により、アンケート要求の送信元端末のＩＰアドレスに対応付けて記憶しているログインＩＤに対応付けて、通知情報ＤＢでアンケートが記憶されているか否かを判定する。ここでログインＩＤについてのみ該判定を行うのは、通知情報ＤＢで記憶しているアンケート情報は、ログインＩＤと対応ＩＤとで共通のものだからである。このＳ８００でアンケートが記憶されていない（ＮＯ）と判定された場合には、アンケートが無い旨を表示した画面（図示外）を登録端末に対して配信して（Ｓ８０６）、前記Ｓ４０９に進む。

【０５３５】

一方、Ｓ８００でアンケートが記憶されている（ＹＥＳ）と判定された場合には、電子メールアドレス管理判定手段により、前記記憶しているログインＩＤに対応付けてポイント会員情報ＤＢで電子メールアドレスが登録されているか否かを判定する（Ｓ８０１）。ここでログインＩＤについてのみ該判定を行うのは、ポイント会員情報ＤＢにおいて、対応ＩＤに対応付けて電子メールアドレスが登録されている場合には、必ずログインＩＤに

も対応付けて該電子メールアドレスが記憶されているからである。このS801で電子メールアドレスが登録されている(YES)と判定された場合には、通知情報返信手段により、通知情報であるアンケート情報を返信せず、該アンケート情報を電子メールで配信済みである旨の画面を送信元端末に対して配信し(S807)、前記ログインID及び対応IDに対応付けて通知情報DBで記憶しているアンケート情報を消去して(S805)、S409に進む。

【0536】

前記S801で電子メールアドレスが登録されていない(NO)と判定された場合には、通知情報返信手段により、アンケートを表示した図48のD460に示す画面を送信元端末に対して配信して(S802)、回答情報の受信を待機する(S803)。このD460では、前記図30のD21と同様に、ウェブ上で公開されているアンケートが表示されるが、該D21と異なり、会員カードIDの入力欄は表示されない。このD460で、ポイント会員が操作キーを操作して、アンケートの内容に応じた選択肢(ここでは好きな景品の選択肢)に対応するチェックボックスをチェックして、「応募」ボタンを選択することで、チェックされた選択肢(即ちアンケートへの回答)を示す回答情報が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信される。

【0537】

このS803で送信元端末から回答情報の受信が有る(YES)と判定された場合には、抽選情報DBにおいて、該アンケートに対応する抽選の抽選IDの応募者会員カードIDの記憶欄に、前記ログインIDを記憶して(S804)、S805に進む。具体的には、ポイント管理装置50では、該回答情報を受信すると、図27(d)に示す抽選情報DBにおいて、当該アンケートに対応する抽選の抽選ID(ここでは4035)に対応付けて、前記ログイン要求に含まれる会員カードIDが記憶される。またポイント管理装置50では、制御部52により、アンケート期間中に受信した回答情報に基づいて、各選択肢の選択数が集計される。

【0538】

図45のD401で、ポイント会員が操作キーを操作して、「イベント情報」ボタンを操作すると、確認要求の一部であるイベント情報要求が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信される。

【0539】

図42に戻り、前記S316で送信元端末から確認要求であるイベント情報要求の受信が有る(YES)と判定された場合には、図44(e)のS900に進み、通知対象判定手段により、イベント情報要求の送信元端末のIPアドレスに対応付けて記憶しているログインID及び／又は対応IDに対応付けて、通知情報DBでイベント情報が記憶されているか否かを判定する。ここでログインIDと対応IDの各々について該判定を行うのは、通知情報DBで記憶しているイベント情報は、店舗毎に異なるため、ログインIDと対応IDとで別々のものが記憶されているからである。このS900でイベント情報が記憶されていない(NO)と判定された場合には、イベント情報が無い旨を表示した画面(図示外)を送信元端末に対して配信して(S904)、前記S409に進む。

【0540】

一方、S900でイベント情報が記憶されている(YES)と判定された場合には、S801と同様に、電子メールアドレス管理判定手段により、前記ログインIDに対応付けてポイント会員情報DBで電子メールアドレスが登録されているか否かを判定する(S901)。このS901で電子メールアドレスが登録されている(YES)と判定された場合には、通知情報返信手段により、通知情報であるイベント情報を返信せず、該イベント情報を電子メールで配信済みである旨の画面を送信元端末に対して配信し(S905)、ログインID及び対応IDに対応付けて通知情報DBで記憶しているイベント情報を消去して(S903)、S409に進む。一方、S901で電子メールアドレスが登録されていない(NO)と判定された場合には、通知情報返信手段により、イベント情報を表示した図48のD470に示す画面を送信元端末に対して配信して(S902)、S409に

進む。このD470では、前記図21のD50で入力されたイベント情報が表示される。

【0541】

これによれば、ある店舗のイベント情報を、当該店舗の会員であって、電子メールアドレスを登録していない会員に対しても提供することができる。なお電子メールアドレスを登録しており、当該店舗の店舗IDをメール配信店舗として登録している会員に対しては、当該店舗のイベント情報は、前記図33のS94又はS95に示すように、電子メールに含まれて該電子メールアドレスに対して送信される。

【0542】

図45のD401で、ポイント会員が操作キーを操作して、「当選情報」ボタンを操作すると、確認要求の一部である当選情報要求が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信される。

10

【0543】

図42に戻り、前記S317で送信元端末から確認要求である当選情報要求の受信が有る(YES)と判定された場合には、図44のS1000に進み、通知対象判定手段により、当選情報要求の送信元端末のIPアドレスに対応付けて記憶しているログインID又は対応IDに対応付けて、通知情報DBで当選情報が記憶されているか否かを判定する。ここでログインIDと対応IDの各々について該判定を行うのは、通知情報DBで記憶している当選情報は、抽選情報DBで応募者会員カードIDとして登録されていた会員カードIDに対応付けて記憶されているため、ログインID及び対応IDのうちのいずれか1つにのみ対応付けて記憶されているからである。このS1000で当選情報が記憶されていない(NO)と判定された場合には、当選情報が無い旨を表示した画面(図示外)を送信元端末に対して配信して(S1007)、前記S409に進む。

20

【0544】

一方、S1000で当選情報が記憶されている(YES)と判定された場合には、S801と同様に、電子メールアドレス管理判定手段により、前記ログインIDに対応付けてポイント会員情報DBで電子メールアドレスが登録されているか否かを判定する(S1001)。このS1001で電子メールアドレスが登録されている(YES)と判定された場合には、通知情報返信手段により、通知情報である当選情報を返信せず、該当当選情報を電子メールで配信済みである旨の画面を送信元端末に対して配信し(S1008)、ログインID又は対応IDに対応付けて通知情報DBで記憶している当選情報を消去して(S1006)、S409に進む。

30

【0545】

一方、S1001で電子メールアドレスが登録されていない(NO)と判定された場合には、前記ログインIDに対応付けてポイント会員情報DBで氏名及び住所が登録されているか否かを判定する(S1002)。このS1002で氏名及び住所が登録されている(YES)と判定された場合には、通知情報返信手段により、当選情報を表示した図48のD480-1に示す画面を送信元端末に対して配信して(S1009)、S1006に進む。このD480-1では、前記図32のD30と同様に、抽選に当選した旨が表示される。一方、S1002で氏名及び住所が登録されていない(NO)と判定された場合には、当選情報と氏名及び住所の入力要求とを表示した図48のD480-2に示す画面を送信元端末に対して配信して(S1003)、該送信元端末から氏名及び住所を含む登録情報の受信を待機する(S1004)。このD480-2では、前記図32のD31と同様に、抽選に当選した旨が表示されると共に、氏名及び住所の入力が求められ、氏名及び住所の入力欄が表示される。

40

【0546】

このD480-2で、ポイント管理装置50が操作キーを操作して、氏名及び住所を入力欄に入力して、「登録」ボタンを操作すると、該入力された氏名及び住所を含む登録情報が、インターネットを介してポイント管理装置50に対して送信される。

【0547】

ポイント管理装置50におけるS1004で登録情報の受信が有る(YES)と判定さ

50

れた場合には、ポイント会員情報DBにおいて、該受信した登録情報に含まれる氏名及び住所を前記ログインIDに対応付けて登録して（S1004）、S1006に進む。その後、ハードディスク53で記憶している発送情報DB（図示外）において、当選したポイント会員の氏名及び住所に対応付けて、当選した賞品が登録され、カード会社からは、該登録された氏名及び住所を宛先として、当選した賞品が発送される。

【0548】

これら図44（d）、（e）、（f）によれば、店舗端末（カードユニット20、キオスク端末30）から登録を行い電子メールアドレスが登録されていないポイント会員に対しても、通知情報を店舗端末に返信して通知することができる。また情報端末（PC6、携帯電話7）から登録を行ったポイント会員に対しては、通知情報が電子メールで迅速に通知される一方、該ポイント会員に対しては、確認要求を受信しても通知情報（ここではアンケート情報）が返信されないの、通知情報を既に電子メールで受け取っているポイント会員に対する該通知情報の無駄な重複送信が防止される。

【0549】

なお図42～図44に示す処理の途中において、送信元端末からメニュー表示要求を受信した場合にはS306に戻り、送信元端末から終了要求を受信した場合には処理を終了する。

【0550】

[1'．第1実施形態の変形例]

第1実施形態の変形例に係るポイント管理システム1は、第1実施形態に係るポイント管理システム1と同様の構成を備えるが、上記の第1実施形態では、ポイント管理装置50において、店舗管理手段であるグループDB及び店舗DBが、店舗IDに対応付けて、当該店舗IDの店舗の所在地が属する地域を個々に識別可能な地域識別情報（地域名）を管理し、登録端末から登録要求Aを受信すると、グループ店情報提供手段である制御部52が、図4のD107又はD109や、図10のD204又はD207に示すように、グループDBにおいて前記受信した登録要求Aに含まれる店舗特定情報である会員カードIDから特定される店舗の店舗IDに対応付けて管理している地域識別情報（地域名）と同一の地域名に対応付けられている他の店舗IDの店舗を認識可能なグループ店情報を登録端末に対して返信したのに対し、この変形例では、店舗管理手段であるグループDB及び店舗DBが、店舗IDに対応付けて、当該店舗IDの店舗の所在地を特定可能な情報（ここでは郵便番号）を管理し、登録端末から登録要求Aを受信すると、グループ店情報提供手段である制御部52が、グループDBにおいてグループ識別情報（グループ名）に対応付けられている他の店舗IDの店舗を、前記受信した登録要求Aに含まれる店舗特定情報である会員カードIDから特定される店舗の所在地から近い場所に所在する順で認識可能なグループ店情報を登録端末に対して返信する点が異なり、その他の点は同様である。

【0551】

即ち、この変形例では、ポイント管理装置50のハードディスク53は、前記図27（b）（c）に示すグループ情報DB及び店舗DBに代えて、図50（b'）（c'）に示すグループDB及び店舗DBを記憶しており、これらグループDB及び店舗DBでは、店舗IDに対応付けて、前記地域名に代えて、当該店舗IDの店舗の所在地を特定可能な情報として郵便番号を管理（記憶）している。

【0552】

また前記グループ設定手段として機能するディスプレイ54及び入力装置55においては、図49に示すように、前記図28と同様のD01で、オペレータが入力装置55を操作して、「新規店舗の登録」ボタンを操作すると、D02'に示す画面がディスプレイ54に表示される。このD02'では、新規店舗の店舗名と店舗IDの入力が求められると共に、店舗名の入力欄と店舗IDの入力欄が表示され、さらに当該店舗の郵便番号を選択するためのプルダウンメニューが表示される。このD02'で、オペレータが入力装置55を操作して店舗名と店舗IDを入力し、プルダウンメニューから当該店舗の郵便番号を選択して「登録」ボタンを操作すると、図50（c'）に示す店舗DBにおいて、該選択

された郵便番号と該入力された店舗名及び店舗IDとが対応付けて記憶される。

【0553】

また前記図28と同様のD03で、新グループの設定が行われると、図50(b')に示すグループDBにおいて、グループ店として設定された複数の店舗の店舗IDとグループ名とが対応付けて記憶されると共に、該記憶された店舗IDと対応付けて店舗DBで記憶されている郵便番号、店舗名、ポイント会員数、総獲得ポイント数、残ポイント数、及び当月使用ポイント数(抽選応募使用ポイント数と商品交換使用ポイント数)が、当該店舗DBから消去されると共に、グループDBに移行されて、前記記憶された店舗IDと対応付けられる。

【0554】

また前記図28と同様のD04及びD05で、グループ店の追加が行われると、図50(b')に示すグループDBにおいて、D04で選択されたグループにD05で選択された店舗の店舗IDが追加されると共に、該追加された店舗IDと対応付けて店舗DBで記憶されている郵便番号、店舗名、ポイント会員数、総獲得ポイント数、残ポイント数、及び当月使用ポイント数(抽選応募使用ポイント数と商品交換使用ポイント数)が、当該店舗DBから消去されると共に、グループDBに移行されて、前記追加された店舗IDと対応付けられる。

【0555】

また制御部52は、前記図37に示すS118の処理に代えて、図示しないが、受信した登録要求Aに含まれる会員カードIDから特定される店舗IDに対応付けられているグループ識別情報(グループ名)に対応付けられている他の店舗IDの店舗(即ち同一グループに属する店舗)を、当該会員カードIDから特定される店舗(以下「特定店舗」と称する。)の所在地から近い場所に所在する順に抽出する処理を行う。具体的には、特定店舗の郵便番号と他の店舗の郵便番号との差の絶対値が小さい順に他の店舗を抽出する。例えば図50(b')に示すグループDBで管理されている◎◎グループについては、A店が特定店舗である場合には、郵便番号の差の絶対値が小さい順に、B店、C店、及びX店の順で、他の店舗を抽出する。またX店が特定店舗である場合には、郵便番号の差の絶対値が小さい順に、C店、A店、及びB店の順で、他の店舗を抽出する。

【0556】

そして前記グループ店情報提供手段として機能する制御部52は、特定店舗を筆頭に、前記抽出された順で他の店舗を認識可能な画面を、登録端末に対して送信する処理を行う。

【0557】

具体的には、PC6又は携帯電話7から、A店の会員カードIDを含む第2登録要求Aを受信した場合には、前記図4のD107に代えて、図51のD107'に示すように、特定店舗であるA店を筆頭に、前記抽出されたB店、C店、及びX店の順で他の店舗を認識可能な画面を、PC6又は携帯電話7に対して送信する。またPC6又は携帯電話7から、X店の会員カードIDを含む第2登録要求Aを受信した場合には、前記図4のD109に代えて、図51のD109'に示すように、特定店舗であるX店を筆頭に、前記抽出されたC店、A店、及びB店の順で他の店舗を認識可能な画面を、PC6又は携帯電話7に対して送信する。

【0558】

またカードユニット20又はキオスク端末30から、A店の会員カードIDを含む第1登録要求Aを受信した場合には、前記図10のD204に代えて、図示しないが、特定店舗であるA店を筆頭に、前記抽出されたB店、C店、及びX店の順で他の店舗を認識可能な画面を、カードユニット20又はキオスク端末30に対して送信する。さらにカードユニット20又はキオスク端末30から、X店の会員カードIDを含む第1登録要求Aを受信した場合には、前記図10のD207に代えて、図示しないが、特定店舗であるX店を筆頭に、前記抽出されたC店、A店、及びB店の順で他の店舗を認識可能な画面を、カードユニット20又はキオスク端末30に対して送信する。

10

20

30

40

50

【0559】

これによれば、グループに属する店舗が多い場合（例えば大型グループである場合）であっても、会員が操作する登録端末から受信した会員カードIDから特定される店舗の所在地から近い場所に所在する順に（即ち会員が来店する可能性が高い順に）グループ店を認識可能なグループ店情報が登録端末に対して提供されるので、会員の利便性が向上する。

【0560】

〔2. 第2実施形態に係るポイント管理装置50を含むポイント管理システム1〕

第2実施形態に係るポイント管理システム1は、第1実施形態に係るポイント管理システム1と同様の構成を備えるが、該第1実施形態と比較して、登録端末（PC6，携帯電話7，カードユニット20，キオスク端末30）において、ポイント会員登録画面からは統合登録が受け付けられず、ポイント会員専用ホームページからのみ統合登録が受け付けられる点と、該統合登録において、未登録の会員カードIDを含む統合はできず、既登録の会員カードIDのみを含む統合ができる点と、登録端末及びポイント管理装置50における該統合登録の処理のみが異なり、その他の点は同様である。

【0561】

まず登録端末において、ポイント会員登録画面からは統合登録が受け付けられない。具体的には、PC6又は携帯電話7で表示されるポイント会員登録画面において、図3のD104に示すメニュー画面では「統合登録」ボタンは表示されず、D110～D115に示す画面も表示されない。またカードユニット20で表示されるポイント会員登録画面において、図10のD200に示すメニュー画面では「統合登録」ボタンは表示されず、D210～D219に示す画面も表示されない。さらにキオスク端末30で表示されるポイント会員登録画面において、図13のD300に示すメニュー画面では「統合登録」ボタンは表示されず、D210～D219に示す画面も表示されない。このように、ポイント会員登録画面からは統合登録が受け付けられないので、これら登録端末からは、第1の会員統合要求及び第2の会員統合要求が送信されず、従って、ポイント管理装置50においては、図39に示す処理は行われない。

【0562】

一方、登録端末において、ポイント会員専用ホームページからの統合登録は、第1実施形態と同様に受け付けられて、図52に示す画面が表示され、該登録端末とポイント管理装置50により、図53に示す統合処理が行われる。以下、図53に示すフローチャートについて、図52を参照しつつ説明する。なお、ポイント管理装置50のポイント会員情報DBでは、図53の上側の表に示すように、同一の会員について、A00200，B00777，C00888，及びX00333の各会員カードIDがポイント会員として登録されていると共に、A00200とX00333の会員カードIDが対応付けて登録（即ち統合）されているものとする。

【0563】

まず登録端末において、前記図46と同様に、ポイント会員専用ホームページへのログインが行われて、前記D401（D401-1又はD401-2）と同様に、図52のD501に示すメニュー画面が表示されている状態で（S1101）、会員が「統合登録」ボタンを操作すると（S1102）、ログイン要求の送信時に記憶した会員カードIDであるログインID（ここではA00200）を含む会員統合処理要求をポイント管理装置50に対して送信する（S1103）。

【0564】

該会員統合処理要求を受信したポイント管理装置50は、該受信した会員統合処理要求に含まれるログインIDから店舗IDを抽出して、該抽出した店舗IDの店舗（ここではA店）と同一のグループ（ここでは◎◎グループ）に属するグループ店（ここではA店，B店，C店，及びX店）を特定し（S1104）、該グループ店のうち、当該ログインIDの店舗（ここではA店）と当該ログインIDに対応付けて登録されている他の会員カードIDの店舗（ここではX店）とを統合済店舗として特定すると共に（S1105）、当

該ログインIDに対応付けて登録されていない店舗（ここではB店、及びC店）を未統合店舗として特定して（S1106）、前記特定したグループ名と該特定した統合済店舗及び未統合店舗とを含む統合状況情報と、図52のD502及びD503に示す画面とを、登録端末に対して送信する（S1107）。即ち、S1106では、ログインIDの店舗と同一でなく、かつログインIDの店舗と同一のグループに属するグループ店が特定される。なおログインIDに対応付けてすべてのグループ店の会員カードIDが登録されている場合には、未統合店舗は特定されず、該未統合店舗は統合状況情報に含まれない。

【0565】

前記統合状況情報とD502及びD503の画面とを受信した登録端末は、該受信した画面を一時的に記憶して、まずD502の画面を表示する（S1108）。このD502では、前記受信した統合状況情報に含まれる情報に基づいて、グループ名が表示され、統合済店舗が「既にポイントを統合している店舗」として表示され、未統合店舗が「ポイント統合可能なその他の店舗」として表示されると共に、該未統合店舗についての統合を受け付けるための「統合」ボタンが表示される。これにより、会員は、統合が完了している統合済店舗と、統合が完了していない未統合店舗とを一見して把握可能であるため、統合を行う際の判断材料となる。なお統合状況情報に未統合店舗が含まれていない場合には、D502において、該未統合店舗及び「統合」ボタンは表示されず、「統合できる店舗はすべて統合済です」というメッセージが表示される。

10

【0566】

このD502で、会員が「統合」ボタンを操作すると、前記一時的に記憶しているD503の画面を表示する。このD503では、前記未統合店舗の各々について、統合する会員カードの会員カードID及び登録済の暗証番号の入力欄が表示される。このD503で、会員が一又は複数の未統合店舗について、統合する会員カードの会員カードID（ここではB00777）及び登録済の暗証番号を入力欄に入力して「統合」ボタンを操作すると（S1109）、該入力欄に入力された内容を含む会員統合要求をポイント管理装置50に対して送信する（S1110）。

20

【0567】

前記ログインIDの送信元である登録端末から該会員統合要求を受信したポイント管理装置50は、該受信した会員統合要求に含まれる会員カードID（第1会員カードID又は第2会員カードID）がポイント会員として登録済であるか否か、具体的には、該受信した会員統合要求に含まれる会員カードID及び暗証番号がポイント会員情報DBで登録されているか否かを判定する（S1111）。このS1111でポイント会員として登録されていない（NO）と判定された場合には、「ポイント会員登録を行って下さい」というメッセージを表示したエラー画面を登録端末に対して送信する。

30

【0568】

一方、S1111でポイント会員として登録済である（YES）と判定された場合には、前記受信した会員統合要求に含まれる会員カードIDについて、ある未統合店舗（例えばB店）の入力欄に入力された当該会員カードIDが当該未統合店舗の会員カードIDであるか否かを判定する（S1112）。このS1112で当該未統合店舗の会員カードIDでない（NO）と判定された場合、例えばB店の会員カードIDがC店の入力欄に入力されている場合には、統合処理が行われず、「C店の会員カードIDではありません」というメッセージを表示したエラー画面を登録端末に対して送信する。

40

【0569】

一方、S1112で当該未統合店舗の会員カードIDである（YES）と判定された場合、即ちB店の会員カードIDがB店の入力欄に入力されている場合には、統合処理を行う（S1113）。具体的には、ポイント会員情報DBにおいて、ログインID（ここではA00200）に対応付けて、会員統合要求に含まれる当該未統合店舗の会員カードID（ここではB00777）を登録し、ログインIDに対応付けて登録されている会員カードID（ここではX00333）に対応付けて、会員統合要求に含まれる当該未統合店舗の会員カードIDを登録し、かつ会員統合要求に含まれる当該未統合店舗の会員カード

50

I Dに対応付けて、ログイン I D、及び該ログイン I Dに対応付けて登録されている会員カード I Dを登録すると共に、これら対応付けて登録（即ち統合）された会員カード I Dに対応するポイントを合算する。

【0570】

即ち、第2実施形態では、第1実施形態と異なり、S1111に示すように、統合対象となるすべての会員カード I Dが既にポイント会員として登録されている場合に限って、統合処理が行われる。一方、第2実施形態では、S1112に示すように、会員統合要求に含まれる会員カード I Dが未統合店舗の会員カード I Dである場合、つまり第1実施形態と同様に、統合対象となる会員カード I Dの店舗が同一でなく、かつ該店舗が同一のグループに属するグループ店である場合に限って、統合処理が行われる。

10

【0571】

従って、第2実施形態でも、ポイント管理手段であるポイント会員情報DBは、第1実施形態と同様に、前記操作端末（登録端末）から、該ポイント会員情報DBで既に登録している第1の会員カード I D（ここではA店、X店の会員カード I D）に対して、該第1の会員カード I Dから特定される店舗と異なる店舗の会員カード I Dであって、該ポイント会員情報DBで既に登録している第2の会員カード I D（ここではB店の会員カード I D）を統合する旨の会員統合要求を受信したこと（即ち同一店舗でないこと）を条件として、当該第1の会員カード I Dと第2の会員カード I Dとを対応付けて登録するものである。

【0572】

20

またポイント管理手段であるポイント会員情報DBは、第1実施形態と同様に、前記操作端末（登録端末）から、該ポイント会員情報DBで既に登録している第1の会員カード I D（ここではA店、X店の会員カード I D）に対して、該第1の会員カード I Dから特定される店舗と同一のグループに属する店舗の会員カード I Dであって、該ポイント会員情報DBで既に登録している第2の会員カード I D（ここではB店の会員カード I D）を統合する旨の会員統合要求（第2の会員統合要求）を受信したこと（即ち同一グループであること）を条件として、当該第1の会員カード I Dと第2の会員カード I Dとを対応付けて登録するものである。

【0573】

換言すれば、この第2実施形態では、第1実施形態と同様の、同一店舗でないこと、及び同一グループであることという条件に加えて、S1112でYESと判定されることを統合の条件としている。つまり第2実施形態では、S1104～S1106において、店舗が同一ではなく、かつ同一グループに属する店舗が未統合店舗として登録端末に対して返信されるので、S1112でYESと判定されると、結果として、同一店舗でなく、かつ同一グループであることを条件として、統合処理が行われることとなる。

30

【0574】

S1113で統合処理を行ったポイント管理装置50は、統合された店舗（ここではB店）及び統合後のポイントを含む統合完了通知と、図52のD504に示す画面とを、登録端末に対して送信する（S1114）。該統合完了通知とD504の画面とを受信した登録端末は、該D504の画面を表示する（S1115）。このD504では、前記受信した統合完了通知に含まれる統合された店舗と統合後のポイントが表示される。

40

【0575】

[3. 第3実施形態に係るポイント管理装置50を含むポイント管理システム1]

第3実施形態に係るポイント管理システム1は、第1実施形態に係るポイント管理システム1と同様の構成を備えるが、該第1実施形態と比較して、引き継ぎ要求に含まれる新会員カード I Dがポイント会員として登録されているか否かに拘わらず引き継ぎ処理が行われる点のみが異なり、その他の点は同様である。

【0576】

即ち第3実施形態では、引き継ぎ処理手段として機能する制御部52は、登録判定手段による判定結果に依らずに、前記同一店舗判定手段により同一店舗で発行された会員カー

50

ドの会員カード I Dであると判定されたことを条件として、引き継ぎ処理を行う。

【0577】

また第3実施形態では、引き継ぎ処理手段として機能する制御部52は、登録判定手段により新会員カード I Dが登録されていると判定された場合には、引き継ぎ処理として、既登録会員カード I Dに対応付けられている取引関連情報を該新会員カード I Dに対応付けて管理すると共に、該新会員カード I Dに対応付けられている取引関連情報と合算する処理を行う。即ち登録判定手段により新会員カード I Dが登録されていないと判定された場合には、前記図41と同様の処理を行い、登録判定手段により新会員カード I Dが登録されていると判定された場合には、図55に示す処理を行う。

【0578】

即ち制御部52は、カードユニット20又はキオスク端末30から引き継ぎ要求を受信した場合に、図54に示すように、前記図37と同様のS303で、登録判定手段により、該引き継ぎ要求に含まれる新会員カード I Dがポイント会員情報DBで登録済であるか否かを判定し、登録済でない(N O)と判定された場合には、前記図37に示すS330以下の処理を行うが、登録済である(Y E S)と判定された場合には、図54に示すS351以下の処理を行う。

【0579】

まずS351では、前記引き継ぎ要求に含まれる既登録会員カード I D(旧会員カード I D)及び既登録の新会員カード I Dについて、前記ポイント会員情報照合処理を行う。このS351で照合N G(N O)と判定された場合には、入力が間違っている旨を示す画面を登録端末に対して配信して(S352)、S130に進む。

【0580】

一方、S351で照合O K(Y E S)と判定された場合には、店舗特定手段により、前記引き継ぎ要求に含まれる既登録会員カード I D及び新会員カード I Dから各々店舗 I Dを抽出し(S353)、店舗一致判定手段(同一店舗判定手段)により、S353で抽出した各店舗 I Dが一致するか否かを判定する(S357)。このS357で店舗 I Dが一致しない(N O)と判定された場合には、引き継ぎができない旨を示すエラー画面を登録端末に対して配信して(S358)、S130に進む。一方、S357で店舗 I Dが一致する(Y E S)と判定された場合には、S359以下に進んで、S362で引き継ぎ処理を行う。これによれば、同一店舗で発行された会員カードの会員カード I Dに対して引き継ぎ処理が行われるので、他の店舗で発行された会員カードの会員カード I Dに対して引き継ぎ処理が行われてしまうおそれがない。

【0581】

S359では、対応付け判定手段により、前記引き継ぎ要求に含まれる既登録会員カード I Dに対応付けて登録されている他の既登録会員カード I Dがあるか否かを判定する。このS359で他の既登録会員カード I Dがない(N O)と判定された場合には、S362に進む。一方、S359で他の既登録会員カード I Dがある(Y E S)と判定された場合には、登録手段により、前記引き継ぎ要求に含まれる新会員カード I Dを当該他の既登録会員カード I Dに対応付けて登録すると共に、当該他の既登録会員カード I Dに対応する前記引き継ぎ要求に含まれる既登録会員カード I Dを消去して(S360)、S363に進む。これによれば、引き継ぎ要求に含まれる既登録会員カード I Dに対応付けて登録されている他の既登録会員カード I Dがあれば、引き継ぎ要求に含まれる新会員カード I Dが当該他の既登録会員カード I Dに対応付けて登録されるので、当該他の既登録会員カード I Dと新会員カード I Dとを含む合算要求(会員統合要求)を送信する必要が無く、それら会員カード I Dが記録された複数の会員カードを所有する所有者の利便性が向上する。

【0582】

S362では、ポイント会員情報DBにおいて、引き継ぎ処理手段により、前記引き継ぎ要求に含まれる既登録会員カード I Dに代えて新会員カード I Dを登録し、登録済の暗証番号に代えて引き継ぎ要求に含まれる登録する暗証番号を登録すると共に、既登録会員

10

20

30

40

50

カード I D に対応付けられている累計使用金額及び累計ポイントを新会員カード I D に対応付けられている累計使用金額及び累計ポイントと合算することにより、前記引き継ぎ処理を行い、S 3 6 3 で、引き継ぎ特定情報管理手段により、該新会員カード I D に対応付けて、引き継ぎ日付を記憶（登録）すると共に、前記既登録会員カード I D を引き継ぎ元 I D として記憶（登録）し、S 3 4 4 で、引き継ぎが完了した旨を示す引き継ぎ完了画面を登録端末に対して配信して、S 1 3 0 に進む。

【0 5 8 3】

これによれば、新会員カード I D に対応付けて取引関連情報（使用金額、ポイント）が管理されている場合であっても、既登録会員カード I D に対応付けられている取引関連情報と該新会員カード I D に対応付けられている取引関連情報とが合算されるので、それら
10
会員カード I D が記録された複数の会員カードを所有する所有者の利便性が向上する。

【0 5 8 4】

なお制御部 5 2 は、P C 6 又は携帯電話 7 から引き継ぎ要求を受信した場合にも、図 5 4 に示す処理を行うが、該図 5 4 中の「S 1 3 0」は、「S 4 0 9」と読み替える。

【0 5 8 5】

ここで図 5 5 を参照して、新会員カード I D が既登録である場合において制御部 5 2 が行う引き継ぎ処理について説明する。まず図 5 5（a'）に示すように、ポイント会員情報 D B において、A 0 0 0 0 9 と B 0 0 2 4 6 の会員カード I D が対応付けて登録されており、かつ A 0 1 1 1 1 の会員カード I D が登録されている状態で、既登録会員カード I D（旧会員カード I D）である A 0 0 0 0 9 と既登録の新会員カード I D である A 0 1 1
20
1 1 とを含む引き継ぎ要求を受信すると、同一店舗判定手段により既登録会員カード I D と新会員カード I D が同一店舗（ここでは A 店）で発行された会員カードの会員カード I D であると判定され、かつ登録判定手段により新会員カード I D がポイント会員情報 D B で登録されていると判定されるので、前記引き継ぎ処理が行われて、図 5 5（b'）に示すようになる。

【0 5 8 6】

具体的には、まず登録手段により、前記図 5 4 に示す S 3 6 0 の処理が行われて、新会員カード I D である A 0 1 1 1 1 が、既登録会員カード I D である A 0 0 0 0 9 に対応付けて登録されている他の既登録会員カード I D である B 0 0 2 4 6 に対応付けて登録されると共に、B 0 0 2 4 6 に対応付けて登録されている A 0 0 0 0 9 が消去される。次に引
30
き継ぎ処理手段により、同 S 3 6 2 の処理が行われて、A 0 0 0 0 9 に代えて A 0 1 1 1 1 が登録され、登録済の暗証番号（ここでは 4 1 2 6）に代えて引き継ぎ要求に含まれる登録する暗証番号（ここでは 4 4 2 2）が登録されると共に、既登録会員カード I D に対応付けられている累計使用金額及び累計ポイントが新会員カード I D に対応付けられている累計使用金額及び累計ポイントと合算されて引き継ぎ処理が行われ、さらに引き継ぎ特定情報管理手段により、同 S 3 6 3 の処理が行われて、A 0 1 1 1 1 に対応付けて、引き継ぎ日付（ここでは 9 月 1 6 日）が登録されると共に、A 0 0 0 0 9 が引き継ぎ元 I D として登録される。

【0 5 8 7】

なおポイント付与処理は、前記図 4 1（c）に示すのと同様にして行われ、ポイント加
40
算処理は、前記図 4 1（d）に示すのと同様にして行われる。

【0 5 8 8】

[4. 本発明の変形例]

最後に、本発明の変形例について説明する。

【0 5 8 9】

上記の実施形態では、店舗が遊技場であり、取引処理が玉貸処理である例について説明したが、これに限らず、該店舗は、商品やサービスを提供する一般店舗であっても良い。例えば店舗がコンビニエンスストアであり、該コンビニエンスストアの店舗会員がポイント会員として登録した場合に、各コンビニエンスストアで取引処理である買い物が行われた場合に、該買い物金額に応じてポイントを付与し、他のコンビニエンスストアの会員カ
50

ードと統合することにより、各会員カードに対応するポイントを合算して使用できるようにしても良い。また店舗がゲームセンタであり、各ゲームセンタの店舗会員がポイント会員として登録した場合に、該ゲームセンタに備えられている麻雀ゲーム機で取引処理であるゲームが行われた場合に、該ゲーム結果に応じてポイントを付与し、他のゲームセンタの会員カードと統合することにより、各会員カードに対応するポイントを合算して使用できるようにしても良い。即ち本発明は、各店舗において店舗会員として登録されると共に、ポイント管理装置50においてポイント会員として登録される形態であれば、いかなる店舗にも適用可能である。

【0590】

上記の実施形態では、図1に示すように、店舗端末が、カードユニット20及びキオスク端末30である例について説明したが、これに限らず、該店舗端末は、カードユニット20又はキオスク端末30のいずれか一方のみであっても良い。

10

【0591】

上記の実施形態では、図1、図7、図8に示すように、カードユニット20が、システム管理装置40及びインターネットを介してポイント管理装置50と通信（第1登録要求及び会員統合要求の送信、並びに表示画面の配信）する例について説明したが、これに限らず、該カードユニット20が、システム管理装置40及び転送装置70を介してポイント管理装置50と通信するようにしても良く、またカードユニット20を直接インターネットに接続可能に構成し、該インターネットを介してポイント管理装置50と通信するようにしても良い。

20

【0592】

上記の実施形態では、カードユニット20から送信される会員カードID及び使用金額が、システム管理装置40、及び転送装置70を介してポイント管理装置50に送信される例について説明したが、これに限らず、システム管理装置40、転送装置70を介せずにポイント管理装置50に送信されるようにしても良く、いずれか一方のみを介してポイント管理装置50に送信されるようにしても良い。あるいは、カードユニット20から送信される第1会員カードID及び使用金額が、一時的に所定の記憶装置に記憶されて、該記憶装置の記憶内容がインターネットを介してポイント管理装置50に送信されるようにしても良い。

【0593】

30

上記の実施形態では、図1に示すように、システム管理装置40が残額管理DBを管理し、第1会員管理装置100が第1会員情報DBを管理する例について説明したが、これに限らず、システム管理装置40と第1会員管理装置100の両方の機能を備えるコンピュータで、残額管理DBと第1会員情報DBの両方を管理するようにしても良い。

【0594】

上記の実施形態では、ポイント管理装置50がウェブサーバとして機能する例について説明したが、これに限らず、該ポイント管理装置50とは別のコンピュータがウェブサーバとして機能するようにしても良い。

【0595】

上記の実施形態では、店舗情報提供装置がポイント管理装置50である例について説明したが、これに限らず、該店舗情報提供装置は、店舗情報を公開するウェブサイトを運営するウェブサーバであっても良い。この場合には、複数の店舗の店舗IDがリンク情報として貼り付けられている各店舗名が表示されているウェブページにおいて、ある店舗名がクリックされると、該クリックされた店舗名のリンク情報である店舗IDが、前記「店舗特定情報を含む店舗情報要求」として、操作端末からウェブサーバに対して送信され、前記グループ店情報提供手段により、グループ店情報が操作端末に対して提供される。ここでグループ店情報提供手段は、前記クリックされた店舗（例えばA店）と同一グループ（即ち◎◎グループ）に属するすべての店舗（即ちA店、B店、C店、及びX店）の店舗情報を、グループ店情報として操作端末に対して提供するようにしても良く、またクリックされた店舗の店舗情報と、該クリックされた店舗と同一グループに属する他の店舗（即ち

40

50

B店、C店、及びX店)の店舗IDがリンク情報として貼り付けられている当該各店舗名とが表示されているウェブページを、グループ店情報として操作端末に対して提供するようにしても良い。

【0596】

上記の実施形態では、図2に示すように、記録媒体が、カード型の会員カード(第1会員カード4、第2会員カード5)である例について説明したが、これに限らず、該記録媒体は、コイン型であっても良く、また携帯電話であっても良い。

【0597】

上記の実施形態では、図2に示すように、会員カード(第1会員カード4、第2会員カード5)において、非接触式のICチップ及び磁気ストライプにより、第1会員特定情報が電氣的又は磁氣的に記録されている例について説明したが、これに限らず、ICチップ又は磁気ストライプのいずれか一方のみで第1会員特定情報を記録するものであっても良く、またICチップは、非接触式のものではなく、接触式のものであっても良い。

【0598】

上記の実施形態では、図2に示すように、会員カード(第1会員カード4、第2会員カード5)において、会員カードID及び会員IDの番号自体が、第2会員特定情報として目視可能に記録されている例について説明したが、これに限らず、該会員カードIDや会員IDを示す二次元コード(例えばバーコードやQRコード)、三次元コード、又は光干渉コード(例えばホログラム)等が、第2会員特定情報として目視可能に記録されているようにしても良く、この場合には該コードを読み取るリーダ(例えば携帯電話7に設けられたカメラ等)で該コードが読み取られ、該読み取ったコードから特定される会員カードIDや会員IDが第2会員特定情報として入力される。即ち第2会員特定情報は、目視可能に記録されているものであれば、該第2会員特定情報を直接的に認識できるもののみならず、リーダにより読み取ることで該第2会員特定情報を間接的に認識できるものであっても良い。

【0599】

上記の実施形態では、図2に示すように、記録媒体(会員カード)に会員識別情報(会員カードID)が記録されている例について説明したが、これに限らず、該記録媒体には、会員識別情報は記録されていなくても良く、第1会員特定情報及び第2会員特定情報が記録されていれば良い。

【0600】

上記の実施形態では、図2(a)に示すように、第1会員カード4の表示領域4aに第1会員ID及び第1会員カードIDが目視可能に表示されているが、該第1会員IDは表示しないようにしても良い。

【0601】

上記の実施形態では、図3に示すように、貨幣として、紙幣2及び硬貨3の双方を使用可能である例について説明したが、これに限らず、紙幣2又は硬貨3のいずれか一方のみを使用可能としても良い。また使用可能な貨幣の種類は、上記のものには限定されない。また貨幣は、紙幣2や硬貨3のような実物以外にも、例えば電子マネーカードにより使用可能な電子マネー、クレジットカードにより使用可能な与信金額、デビットカードにより使用される預金残高等であっても良い。

【0602】

上記の実施形態では、遊技用有価価値の大きさや使用価値の大きさが、カード残額や使用金額自体である例について説明したが、これに限らず、遊技用有価価値の大きさや使用価値の大きさは、金額が所定の比率で換算された残度数や点数等であっても良い。

【0603】

上記の実施形態では、遊技用有価価値の大きさを特定可能な有価価値特定情報として、第1記録媒体(第1会員カード4)には第1会員カードID及びカード残額が記録され、第2記録媒体(第2会員カード5)には第2会員カードID及びカード残額が記録されている例について説明したが、これに限らず、第1記録媒体には、有価価値特定情報として

10

20

30

40

50

、第1会員カードID又はカード残額のいずれか一方のみが記録されるようにしても良く、第2記録媒体には、有価価値特定情報として、第2会員カードID又はカード残額のいずれか一方のみが記録されるようにしても良い。また、有価価値特定情報は、第1記録媒体及び第2記録媒体への入金処理に伴いシステム管理装置40において生成される入金IDであっても良く、該入金IDとカード残額とを対応付けて管理することで遊技用有価価値の大きさを特定可能としても良い。さらに第1記録媒体に記録される有価価値特定情報は、第1会員IDであっても良く、システム管理装置40において、第1会員IDに対応付けてカード残額を記憶しておくことにより、第1会員IDからカード残額を特定可能となり、該第1会員IDが有価価値特定情報として作用する。

【0604】

上記の実施形態では、第2会員カード5に第2会員カードID及びカード残額が記録されており、第2会員カードIDが、カード会社において当該第2会員カード5を個々に識別するための情報であると共に、有価価値特定情報である第2記録媒体識別情報として作用するとともに、第2会員カードID及びカード残額の両情報を含む情報が、前記第2記録媒体識別情報として作用する例について説明したが、これに限らず、第2会員カード5にカード残額を記録することなく、システム管理装置40において、第2会員カードIDと対応付けてカード残額を記憶することで、第2会員カードIDからカード残額を特定可能として、第2会員カードIDが第2記録媒体識別情報として作用するようにしても良い。また、第2会員カード5に第2会員カードID及びカード残額を記録し、システム管理装置40において、第2会員カードIDとカード残額が対応付けて記憶されないようにしても良く、この場合には、第2会員カード5に記録されている第2会員カードIDが当該第2会員カード5を個々に識別するための情報であり、同記録されているカード残額が有価価値特定情報となる。つまり、これら第2会員カードID及びカード残額の両情報を含む情報が、第2記録媒体識別情報となる。

【0605】

上記の実施形態では、図1に示すように、遊技機がパチンコ機10である例について説明したが、これに限らず、該遊技機は、例えば遊技媒体としてメダルを使用するスロットマシン、遊技媒体としてパチンコ玉を使用するスロットマシンであるパロット（登録商標）、遊技媒体であるパチンコ玉が指触不能に封入された封入式のパチンコ機、パチンコ玉やメダルを用いることなく得点データを使用して遊技可能なパチンコ機やスロットマシン、遊技領域やパチンコ玉が画像にて表示される画像式のパチンコ機、リールが画像にて表示される画像式のスロットマシン等であっても良い。

【0606】

上記の実施形態では、貨幣の金額又は遊技用有価価値の大きさを遊技に使用させるための処理が玉貸処理（ビジュ玉貸処理又は会員カード玉貸処理）である例について説明したが、これに限らず、該処理は、前記メダルを貸与するメダル貸出処理や、前記画像式のパチンコ機やスロットマシンにおいて有価価値の大きさを遊技媒体としての得点に変換して遊技に使用させる処理等でも良い。

【0607】

上記の実施形態では、玉貸処理が行われた場合に、カードユニット20とパチンコ機10との間でパチンコ玉の貸与に関する信号のやり取りが行われて、該パチンコ機10に設けられた玉払出装装置13からパチンコ玉が払い出されて貸与される例について説明したが、これに限らず、カードユニット20に設けられた図示しない玉払出装装置からパチンコ玉が払い出されて貸与されるようにしても良い。

【0608】

上記の実施形態では、カードユニット20のユニット制御部22のRAMに入金残額を記憶する例について説明したが、これに限らず、該カードユニット20は、ユニット制御部がEEPROMを備えているものであれば、該EEPROMに入金残額を記憶するようにしても良い。またカードユニット20は、ビジュ遊技者用の記録媒体を外部から受け付けるタイプのものであっても良く、封入カードに入金残額を記憶するものであっても良い

10

20

30

40

50

。

【0609】

上記の実施形態では、図26(a)に示すポイント会員情報DBにおいて、属性情報として、ポイント会員に登録するときには性別、生年月日のみの登録を求め、抽選に当選したとき、及び商品との交換をしたときに、氏名と住所の登録を求める例について説明したが、これに限らず、ポイント会員に登録するときにすべての属性情報の登録を求めるようにしても良い。

【0610】

上記の実施形態では、図26(a)に示すポイント会員情報DBでポイント会員として登録された後の使用金額に基づいてポイントが付与される例について説明したが、これに限らず、図26(c)に示す使用金額DBでポイント会員として登録されていない店舗会員の使用金額も記憶しておき、ポイント会員として登録された際に、該記憶されている使用金額に基づいてポイントが付与されるようにしても良い。

10

【0611】

上記の実施形態では、図26(a)に示すポイント会員情報DBで会員カードIDに対応付けて電子メールアドレスが登録されている場合にも、図26(b)に示す通知情報DBで該会員カードIDに対応付けて通知情報であるアンケート情報、イベント情報、及び当選情報が記憶される例について説明したが、これに限らず、電子メールアドレスが登録されている会員カードIDについては、これら通知情報が記憶されないようにしても良く、この場合には、通知対象判定手段により通知対象でないと判定されるので、通知情報は返信されない。

20

【0612】

上記の実施形態では、図26(a)に示すように、各会員カードIDに対応付けて個別にポイントを管理し、図43のS421に示すように、ポイント確認・使用画面を配信する際に、ポイントの合算を行う例について説明したが、これに限らず、会員カードIDの対応付けが行われた時点で各会員カードIDに対応するポイントを合算し、該合算ポイントを管理するようにしても良く、この場合には、該合算ポイントから使用ポイントが減算される。また個別ポイントと合算ポイントの両方を管理するようにしても良く、この場合には、各店舗の個別ポイントから各店舗の個別ポイントからの使用分がそれぞれ減算されると共に、合算ポイントからも使用ポイントが減算される。

30

【0613】

上記の実施形態では、図26(a)に示すように、ポイント会員情報DBにおいて、各店舗毎に会員カードIDが登録され、図35～図36に示すように、会員カードの統合が行われると、該統合が行われた会員カードIDが互いに対応付けて登録される(例えば図35(a-1)に示すように、A店の会員カードIDに対応付けてB店の会員カードIDが登録され、かつB店の会員カードIDに対応付けてA店の会員カードIDが登録される)例について説明したが、これに限らず、ポイント会員情報DBを1つのDBとして構成して、ポイント会員として登録された一の会員カードIDに対応付けて、統合が行われた会員カードIDが順次対応付けて登録されていくようにしても良い。

【0614】

40

具体的には、未登録の会員カードIDと既登録の会員カードIDとを含む第1の会員統合要求に基づいて統合が行われる場合には、該既登録の会員カードIDに対応付けて、該未登録の会員カードIDを登録する。また複数の既登録の会員カードIDを含む第2の会員統合要求に基づいて統合が行われる場合には、該第2の会員統合要求に含まれる一の会員カードIDに対応付けて他の会員カードIDを登録すると共に、当該他の会員カードIDに対応するポイントを前記一の会員カードIDに対応するポイントに対して加算更新するか、あるいは移行した前記他の会員カードIDに対応付けて管理すると共に、当該他の会員カードIDに対応するデータを削除する。

【0615】

上記の実施形態では、ポイント管理装置50において、図26(b)に示す通知情報D

50

Bで通知情報が記憶されているか否かに拘わらず、図45のD401に示すメニュー画面が登録端末に対して配信される例について説明したが、これに限らず、ログイン要求の受信に基づいて、該ログイン要求に含まれる会員カードIDに対応付けて通知情報DBでグループ店追加情報、アンケート情報、イベント情報、及び当選情報が記憶されているか否かを判定し、記憶されていない情報に対応するボタンが表示されないメニュー画面を登録端末に対して配信するようにしても良く、これによれば、記憶されている情報に対応するボタンのみがメニュー画面に表示されるので、該記憶されている情報の種類をポイント会員が容易に把握することができる。

【0616】

上記の実施形態では、図27(a)に示すように、第1会員カードIDと第1会員IDとの対応付け、及び第2会員カードIDと他システム会員IDとの対応付けを示す対応情報が、エンコード情報管理装置60から送信されるエンコード情報DBの記憶内容であり、エンコード情報管理装置用通信部51aが、該対応情報を受け付ける対応情報受付手段として機能する例について説明したが、これに限らず、該対応情報受付手段は、メディアに記録された対応情報を読み取る読み取り装置であっても良く、紙に記録された対応情報を読み取るOCRであっても良い。また、ポイント管理装置50のオペレータが、ディスプレイ54等に表示される対応情報入力画面によって対応情報を入力するようにしても良く、例えば1000枚分の第2会員カード5にエンコードされた対応情報を入力する場合には、最初の1枚のカードについてのみ他システム会員IDと第2会員カードIDを入力し、その状態でエンコードされた第2会員カードが1000枚である旨を入力すると、最初に入力された他システム会員IDと第2会員カードIDを基準として、その後所定のルールに従って（例えば、他システム会員IDと第2会員カードIDをいずれも1ずつ増加させる等）連続的に1000枚分の対応付けが行われるようにすると良い。

【0617】

上記の実施形態では、図27(b)に示すグループ情報DBにおいて、各店舗について個別に残ポイント数及び当月使用ポイント数を管理していると共に、グループについて合算した残ポイント数及び当月使用ポイント数を管理している例について説明したが、これに限らず、いずれか一方のみを管理するようにしても良い。

【0618】

上記の実施形態では、各グループ又は各店舗が、図27(b)に示すグループ情報DB及び図27(c)に示す店舗情報DBで記憶されている商品交換使用ポイント数に応じて対価を負担する例について説明したが、これに限らず、抽選応募使用ポイント数に応じて対価を負担するようにしても良く、また今月使用ポイント数に応じて対価を負担するようにしても良い。

【0619】

上記の実施形態では、図28のD03に示す新グループの設定登録や、同D05に示すグループ店の追加設定において、表示された店舗に対応するチェックボックスをチェックすることで店舗が選択されて、該選択された店舗が新グループに登録又はグループに追加される例について説明したが、これに限らず、新グループに登録又はグループに追加する店舗を直接入力し、該入力された店舗が登録又は追加されるようにしても良い。

【0620】

上記の実施形態では、図28又は図49に示すように、新規店舗をグループ店として登録する場合には、まずD02又はD02'で新規店舗の登録を行ってから、D03で新グループの設定、又はD05でグループ店の追加を行う例について説明したが、これに限らず、新規店舗の登録時にグループ店として登録できるようにしても良く、この場合には、例えばD03で新グループの設定を行う際に当該新規店舗もグループ店として登録することができるようにし、またD05でグループ店の追加を行う際に当該新規店舗をグループ店として追加できるようにする。

【0621】

上記の実施形態では、図30のD21に示すように、制御部52が送信するアンケート

情報が、アンケートにアクセスするためのURLである例について説明したが、これに限らず、アンケート情報がアンケートの内容自体であっても良く、この場合には、インターネットに接続される外部通信部51cから該アンケートの内容自体を含む電子メールが送信される。

【0622】

上記の実施形態では、図35～図36に示すように、会員識別情報（会員カードID）に店舗識別情報（店舗ID）が含まれ、店舗特定手段（制御部52）は、該会員識別情報から店舗識別情報を抽出することにより店舗識別情報を特定する例について説明したが、これに限らず、例えばポイント管理装置50において、店舗識別情報を含まない会員識別情報と、当該会員識別情報の記録媒体を発行した店舗の店舗識別情報とを対応付けて記憶しておき、店舗特定手段は、会員識別情報に対応付けて記憶されている店舗識別情報を特定するようにしても良い。なお会員識別情報と店舗識別情報との対応付けは、各会員識別情報毎に店舗識別情報が対応付けられているものでも良く、複数の会員識別情報（例えば何番～何番）に1つの店舗識別情報が対応付けられているものでも良い。即ち店舗特定手段は、会員識別情報に対応する店舗の店舗識別情報を特定可能なものであれば良い。

10

【0623】

上記の実施形態では、図25（a）に示すように、残額管理DBの記憶内容及び残額管理DBの記憶内容が、遊技場の営業終了後に転送装置70に送信される例について説明したが、これに限らず、これらの情報は、予め定められた所定時刻又は所定間隔で送信されるようにしても良い。

20

【0624】

上記の実施形態では、第1会員遊技者に対して付与されるポイント及び第2会員遊技者に対して付与されるポイントのいずれもが、使用金額1000円毎に1ポイント付与される例について説明したが、これに限らず、前者と後者で異なる金額比率でポイントが付与されるようにしても良い。例えば第1会員遊技者には使用金額1000円につき1ポイント付与し、第2会員遊技者には使用金額2000円につき1ポイント付与するようにしても良い。

【0625】

上記の実施形態では、ポイント付与処理において、1日あたりに付与されるポイントに上限値が設けられている例について説明したが、これに限らず、該上限値を設けないようにしても良い。

30

【0626】

上記の実施形態では、ポイント付与処理において、本日使用金額に応じてポイント（使用ポイント）が付与される例について説明したが、これに限らず、来店に応じて（例えば1日あたり1ポイントの）来店ポイントが付与されるようにしても良い。ここで引き継ぎ処理が行われている場合には、引き継ぎ先の会員カードIDと引き継ぎ元の会員カードIDの各々について各1ポイント（即ち合計2ポイント）の来店ポイントを付与するのではなく、引き継ぎ先の会員カードIDについてのみ1ポイントの来店ポイントを付与する。なお前記上限値は、使用ポイントに対してのみ適用されるようにしても良く、使用ポイントと来店ポイントの合算値に対して適用されるようにしても良い。

40

【0627】

上記の実施形態では、ポイント付与処理において、使用価値の大きさ（使用金額）に応じたポイントを付与する例について説明したが、これに限らず、遊技時間に応じたポイントを付与するようにしても良い。この場合には、システム管理装置40の残額管理DBにおいて、会員カードIDに対応付けて、例えば該会員カードIDの会員カードがカードユニット20に挿入されている時間を遊技時間をして記憶しておき、該残額管理DBの記憶内容がポイント管理装置50に送信されてくると、制御部52が、該遊技時間に応じたポイントを付与するポイント付与処理を行うようにすれば良い。

【0628】

上記の実施形態では、ポイント付与処理において、ポイント付与間隔が1日である例に

50

について説明したが、これに限らず、該ポイント付与間隔は、ポイント付与対象情報の収集間隔以上であれば、1日よりも短い間隔（例えば6時間毎）であっても良い。この場合には、ポイント会員情報DBにおいて、引き継ぎ特定情報として、引き継ぎ日付のみならず、引き継ぎ時刻も管理する。

【0629】

上記の実施形態では、ポイント付与処理において、受信IDが小さい順にポイント付与処理が行われる例について説明したが、受信IDが大きい順にポイント付与処理が行われるようにしても良く、この場合には、前記図41(c)に示す例では、まず引き継ぎ先であるA01111に対応する本日使用金額（例えば3000円）に応じて3ポイントが付与されて、該A01111に対応する当日ポイントの記憶欄に該3ポイントが記憶され、次に引き継ぎ元IDであるA00009に対応する本日使用金額（例えば9000円）に応じて9ポイントが付与されるが、前記記憶されている3ポイントと該付与された9ポイントとの合算値が1日あたりに付与されるポイントの上限値である10ポイントを超えているので、該10ポイントが当日ポイントの記憶欄に記憶される。

10

【0630】

上記の実施形態では、ポイント付与処理及びポイント加算処理が行われた後であっても、引き継ぎ特定情報（引き継ぎ日付、引き継ぎ元ID）が消去されずに存置される例について説明したが、これに限らず、該引き継ぎ特定情報は、ポイント付与処理が行われた後に消去されるようにしても良い。

20

【0631】

上記の実施形態では、ポイント管理装置50において、システム管理装置から定型レポート送信要求が送信されてきたことに基づいて、図20のD45に示す定型レポートが作成されて、ポイント管理装置50に対して送信される例について説明したが、これに限らず、予め定型レポートを作成しておき、システム管理装置から定型レポート送信要求が送信されてきたことに基づいて、該作成されている定型レポートをポイント管理装置50に対して送信するようにしても良い。

【0632】

上記の実施形態では、図22に示すように、制御部52により集計されたアンケート結果が、転送装置用通信部51bから各遊技場のシステム管理装置に対して配信される例について説明したが、これに限らず、アンケート結果がディスプレイ54で出力されるようにしても良く、またアンケート結果をウェブ上で閲覧可能なようにしても良い。

30

【0633】

上記の実施形態では、図10～図11、図13～図15に示すポイント会員登録画面が、ポイント管理装置50から店舗端末（カードユニット20、キオスク端末30）に対して、インターネットを介して配信される例について説明したが、カードユニット20については、該ポイント会員登録画面が、システム管理装置40及び転送装置70を介してポイント管理装置50から配信されるようにしても良く、またキオスク端末30についても、システム管理装置40と通信可能に構成し、該ポイント会員登録画面が、システム管理装置40及び転送装置70を介してポイント管理装置50から配信されるようにしても良い。

40

【0634】

上記の実施形態では、図10～図11、図13～図15に示すポイント会員登録画面が、ポイント管理装置50から登録端末に対して配信されて、該登録端末で表示される例について説明したが、これに限らず、情報端末（PC6、携帯電話7）については、該ポイント会員登録画面を表示させるためのプログラムをポイント管理装置50からダウンロードし、該プログラムの実行によりポイント会員登録画面が表示されるようにしても良く、店舗端末（カードユニット20、キオスク端末30）については、該ポイント会員登録画面を表示させるためのプログラムを予め記憶させておき、該プログラムの実行によりポイント会員登録画面が表示されるようにしても良い。

【0635】

50

上記の実施形態では、例えば図4のD108に示すように、PC6、携帯電話7、又はカードユニット20において、第2会員特定情報として他システム会員IDを入力する際に、下4桁の入力が求められる例について説明したが、これに限らず、下4桁以外の桁数（例えば下5桁以上）の入力が求められるようにしても良い。即ち第2会員特定情報として入力される会員IDの桁数は、ポイント管理装置50で行われるエンコード情報照合処理において、偶然の一致を排除できるに十分な桁数であれば良い。

【0636】

上記の実施形態では、例えば図5のD110に示すように、統合する会員カードの数、即ち会員統合要求に含まれる会員カードIDの数が、2～4つである例について説明したが、該会員統合要求に含まれる会員カードIDの数は、2つ以上であれば特に限定されない。

10

【0637】

上記の実施形態では、図4～図5に示すように、情報端末（PC6、携帯電話7）から送信される第2登録要求B又は会員統合要求に、第2会員特定情報として会員カードID及び会員IDが含まれる例について説明したが、これに限らず、該第2会員特定情報として会員IDのみを含むようにして、ポイント管理装置50において該会員IDに対応する会員カードIDを特定し、該特定した会員カードIDを登録するようにしても良い。また該第2会員特定情報として会員カードIDのみを含むようにして、ポイント管理装置50において該会員カードIDを登録するようにしても良い。

20

【0638】

上記の実施形態では、カードユニット20において、該カードユニット20が設置されている店舗以外の他店で発行された会員カード（第1会員カード4、第2会員カード5）は受付不能である例について説明したが、これに限らず、他店で発行された会員カードも受付可能として、該他店で発行された会員カードについてポイント会員登録ができるようにしても良く、また他店で発行された会員カード同士の統合登録ができるようにしても良い。

【0639】

上記の実施形態では、図11に示すように、カードユニット20から送信される会員統合要求に、カードR/W25で受け付けた会員カードから読み取った第1会員特定情報（会員カードID）と、会員が入力した第2会員特定情報とが含まれる例について説明したが、これに限らず、該会員統合要求には、会員が1枚目の会員カードを目視して入力した第2会員特定情報と、2枚目の会員カードを目視して入力した第2会員特定情報とが含まれるようにしても良い。

30

【0640】

上記の実施形態では、キオスク端末30において、該キオスク端末30が設置されている店舗以外の他店で発行された会員カード（第1会員カード4、第2会員カード5）も受付可能である例について説明したが、これに限らず、自店で発行された会員カードのみを受付可能であるようにしても良く、この場合には、他店で発行された会員カードの会員カードID、会員ID等の手入力を受け付けることによりポイント会員登録ができるようにしても良く、あるいは他店で発行された会員カードについてはポイント会員登録ができないようにしても良い。

40

【0641】

上記の実施形態では、ポイント会員登録モードのキオスク端末30において会員カード（第1会員カード4又は第2会員カード5）が挿入されると、該会員カードの磁気ストライプから読み取った第1会員特定情報である会員ID（第1会員ID又は他システム会員ID）を含む第1登録要求X、会員統合要求A、又は会員統合要求Bがポイント管理装置50に対して送信される例について説明したが、これに限らず、これら第1登録要求X、会員統合要求A、又は会員統合要求Bをポイント管理装置50に対して送信せずに、前記読み取った会員IDを一時的に記憶しておき、暗証番号の入力を受け付けた後に、前記記憶している第1会員特定情報である会員IDと、該入力された暗証番号とを含む第1登録

50

要求,又は会員統合要求がポイント管理装置50に対して送信されるようにしても良い。この場合には、ポイント管理装置50において、該第1登録要求,又は会員統合要求に含まれる第1会員特定情報である会員IDから、エンコード情報DBの記憶内容に基づいて、会員識別情報である会員カードIDが特定され、該会員カードIDの登録や統合の処理が行われる。

【0642】

上記の実施形態では、統合登録を受け付けるキオスク端末30において、1枚目の会員カードが排出された後に2枚目の会員カードを受け付ける例について説明したが、これに限らず、1枚目の会員カードを内部留保して2枚目の会員カードを受け付け、会員統合要求の送信後に、内部留保しているすべての会員カードを排出するようにしても良い。また

10

【0643】

上記の実施形態では、キオスク端末30では、会員カード(第1会員カード4,第2会員カード5)の磁気ストライプ4c,5cを読み取り可能である例について説明したが、これに限らず、会員カードのICチップ4b,5cを読み取り可能にしても良く、これによれば、該ICチップから会員カードID(第1会員カードID,第2会員カードID)を読み取ることができるため、会員ID(第1会員ID,他システム会員ID)をポイント管理装置50に対して送信し、該ポイント管理装置50において特定された会員カードIDを取得する工程が不要となる。

20

【0644】

上記の実施形態では、例えば図13に示すように、ポイント会員登録を受け付けるキオスク端末30において、ポイント管理装置から会員カードID(第1会員カードID又は第2会員カードID)を取得して、該取得した会員カードIDが表示される例について説明したが、これに限らず、該会員カードIDの取得及び表示は行われなくても良い。

【0645】

上記の実施形態では、図14～図15に示すように、キオスク端末30から送信される会員統合要求に、カードリーダー33で受け付けた会員カードから読み取った第1会員特定情報(会員ID)が複数含まれる例について説明したが、これに限らず、該会員統合要求には、1枚目の会員カードから読み取った第1会員特定情報と、会員が2枚目の会員カードを目視して入力した第2会員特定情報とが含まれるようにしても良く、また会員が1枚目の会員カードを目視して入力した第2会員特定情報と、2枚目の会員カードを目視して入力した第2会員特定情報とが含まれるようにしても良い。

30

【0646】

上記の実施形態では、ポイント会員情報DBにおいて氏名及び住所が登録されている場合には、図32のD30及び図48のD480-1に示すように、当選した旨のみを示す電子メール又は画面が配信され、また図47のD413-1に示すように、商品を発送した旨のみを示す画面が配信される例について説明したが、これら電子メール又は画面に、前記登録されている氏名及び住所を含めて配信し、該氏名及び住所の確認を求めるようにすると共に、該氏名及び／又は住所が変更されている場合には、変更後の該氏名及び／又は住所の入力を受け付けるようにしても良い。

40

【0647】

上記の実施形態では、グループ設定手段(ディスプレイ54及び入力装置55)により新グループの設定が行われた場合には、図48のD450-2に示すグループ店一覧が配信され、グループ店の追加が行われた場合には、同D450-1に示す追加店舗が配信される例について説明したが、これに限らず、グループ店の追加が行われた場合にも、グループ店一覧が配信されるようにしても良い。

【0648】

50

上記の実施形態では、図45のD401に示すように、ログイン要求を送信してポイント会員専用ホームページにログインした送信元端末から、ログイン要求の送信時に記憶した会員カードID（即ちログインID）及び暗証番号と、統合する会員カードの会員カードID及び暗証番号とを含む第2の会員統合要求又は第3の会員統合要求が送信される例について説明したが、これに限らず、該ログインID及び暗証番号を含まず、統合する会員カードの会員カードID及び暗証番号のみを含む会員統合要求が送信されるようにしても良い。この場合には、ポイント管理装置50において、前記ログイン要求の受信時に、前記送信元端末のログインIDがIPアドレスに対応付けて記憶されているので、当該会員統合要求にログインIDが含まれていなくても、該送信元端末のIPアドレスに対応付けて記憶しているログインIDを特定することができる。従って、ログインID及び暗証番号を含むログイン要求と、統合する会員カードの会員カードID及び暗証番号を含む会員統合要求とを合わせたものが、前記第2の会員統合要求又は第3の会員統合要求である。

10

【0649】

上記の実施形態では、図38に示すように、ポイント管理装置50において、登録端末（PC6、携帯電話7、カードユニット20、キオスク端末30）から送信されてくる登録要求に基づいてポイント会員登録処理を行う際に、登録要求Bを受信してから該処理を行う例について説明したが、これに限らず、登録要求Aを受信したことに基づいて、該登録要求Aに含まれる会員カードIDを一旦登録し、所定時間内に登録要求Bを受信したことに基づいて、前記登録された会員カードIDに対応付けて該登録要求Bに含まれる属性情報を登録し、所定時間内に登録要求Bを受信しなければ、前記会員カードIDの登録を消去するようにしても良い。

20

【0650】

上記の実施形態では、図38のS123で属性情報が一致する会員カードIDが抽出された場合において、第1会員カードIDならば、各会員カードIDから抽出した店舗IDの遊技場に設置されている第1会員管理装置100に対して氏名、住所の送信を要求し、第2会員カードIDならば、各会員カードIDをディスプレイ54に表示して、オペレータが、各会員カードIDから抽出した店舗IDの遊技場に対して、該遊技場に設置されている第2会員管理装置200で記憶している氏名、住所を問い合わせる例について説明したが、これに限らず、第2会員管理装置200を管理する他社とその他の構成要素を管理するカード会社とが連携している場合には、ポイント管理装置50から第2会員管理装置200に対して氏名、住所の送信を要求するようにしても良い。また第1会員管理装置100に対しても住所、氏名の送信を要求するのではなく、連携しているか否かに拘わらず、常にオペレータが問い合わせるようにしても良い。

30

【0651】

上記の実施形態において、図39のS234とS237、S254とS257の各処理の順番を逆にしても良い。即ちグループ判定手段による判定と店舗一致判定手段による判定は、いずれが先に行われるようにしても良い。

【0652】

上記の実施形態では、図39のS237、S257で店舗IDが一致する（YES）と判定された場合に、一律にエラー画面が配信される例について説明したが、これに限らず、例えば会員統合要求に含まれる会員カードIDが3つ以上ある場合には、一律にエラーにするのではなく、店舗IDが一致しない会員カードIDのみを対応付けて登録するようにしても良い。

40

【0653】

上記の実施形態では、図39のS261で、店舗一致判定手段により、受信した会員統合要求に含まれる複数の会員カードIDのいずれかに対応付けて登録されている会員識別情報に対応する店舗の店舗ID（ここではS260で抽出した店舗ID）と、前記会員統合要求に含まれる残りの会員カードIDに対応する店舗の店舗ID（ここではS253で抽出した店舗ID）とが一致するか否かを判定し、前記登録手段は、該店舗一致判定手段

50

により一致しない（NO）と判定されたことを条件として、会員カードIDを対応付けて登録する一方、一致する（YES）と判定されたことを条件として、会員カードIDを対応付けて登録しない例について説明したが、さらに以下のようにしても良い。

【0654】

即ち、店舗一致判定手段は、受信した会員統合要求に含まれる複数の会員カードIDのいずれかに対応付けて登録されている会員カードIDに対応する店舗の店舗IDと、前記会員統合要求に含まれる残りの会員カードIDに対応付けて登録されている会員カードIDに対応する店舗の店舗IDとが一致するか否かを判定し、前記登録手段は、該店舗一致判定手段により一致しないと判定されたことを条件として、各会員カードIDを対応付けて登録する一方、一致すると判定されたことを条件として、各会員カードIDを対応付けて登録しないようにしても良い。

10

【0655】

具体的には、図56に示すように、ポイント管理装置50のポイント会員情報DBで、ある会員（ここでは甲）について、該会員甲のA店の会員カードIDとB店の会員カードIDとが対応付けて登録されていると共に、該会員甲のC店の会員カードIDとD店の会員カードIDとが対応付けて登録されている場合において、会員甲の属性情報とA店の会員カードIDとC店の会員カードIDとを含む会員統合要求を受信すると、店舗一致判定手段は、該会員統合要求に含まれるA店の会員カードIDに対応付けて登録されているB店の会員カードIDと、該会員統合要求に含まれる残りのC店の会員カードIDに対応付けて登録されているD店の会員カードIDとが一致するか否かを判定する。この例では一致しないと判定されるので、登録手段は、各会員カードIDを対応付けて登録する。

20

【0656】

また店舗一致判定手段は、受信した会員統合要求に含まれる複数の会員カードIDの各々に対応する各店舗の店舗IDと、該複数の会員カードIDの各々に対応付けて登録されている会員カードIDに対応する各店舗の店舗IDのうち、一致するものがあるか否かを判定し、前記登録手段は、該店舗一致判定手段により一致するものがないと判定されたことを条件として、各会員カードIDを対応付けて登録する一方、一致するものがあると判定されたことを条件として、各会員カードIDを対応付けて登録しないようにしても良い。

。

【0657】

30

具体的には、前記図56に示す例では、会員統合要求を受信すると、該会員統合要求に含まれるA店の会員カードID及びC店の会員カードIDと、該A店の会員カードIDに対応付けて登録されているB店の会員カードID及び該C店の会員カードIDに対応付けて登録されているD店の会員カードIDのうち、一致するものがあるか否かを判定する。この例では一致するものがないと判定されるので、登録手段は、各会員カードIDを対応付けて登録する。

【0658】

上記の実施形態では、図42に示すように、キオスク端末30から送信されてくるログイン要求が、該キオスク端末30で受け付けた会員カードの磁気ストライプから読み取った第1会員特定情報である会員ID（第1会員ID又は他システム会員ID）に基づいてポイント管理装置50（S321）で特定された会員カードIDを含むものであり、ポイント管理装置50において、該ログイン要求に含まれる会員カードIDでログインされる例について説明したが、これに限らず、該会員カードIDではなく、前記第1会員特定情報である会員IDを含むものであっても良く、この場合には、ポイント管理装置50において、該ログイン要求に含まれる会員IDから会員カードIDが特定され、該特定された会員カードIDでログインされる。

40

【0659】

上記の実施形態では、図42に示すように、情報公開要求が、会員カードIDを含むログイン要求と、該会員カードIDを含まないポイント確認・使用要求、グループ店一覧要求、及びグループ店追加情報要求とを合わせたものである例について説明したが、これに

50

限らず、登録端末（PC6，携帯電話7，カードユニット20，キオスク端末30）において、ログイン要求に含まれる会員カードIDを記憶しておき、該記憶している会員カードIDを含むポイント確認・使用要求，グループ店一覧要求，及びグループ店追加情報要求が送信されるようにしても良く、この場合には、ログイン要求は情報公開要求ではなく、会員カードIDを含んで送信されるポイント確認・使用要求，グループ店一覧要求，及びグループ店追加情報要求が単独で情報公開要求となる。

【0660】

上記の実施形態では、図42に示すように、確認要求が、会員カードIDを含むログイン要求と、該会員カードIDを含まないアンケート要求，イベント情報要求，又は当選情報要求とを合わせたものである例について説明したが、これに限らず、登録端末（PC6，携帯電話7，カードユニット20，キオスク端末30）において、ログイン要求に含まれる会員カードIDを記憶しておき、該記憶している会員カードIDを含むアンケート要求，イベント情報要求，又は当選情報要求が送信されるようにしても良く、この場合には、ログイン要求は確認要求ではなく、会員カードIDを含んで送信されるアンケート要求，イベント情報要求，又は当選情報要求が単独で確認要求となる。

10

【0661】

上記の実施形態では、図43に示すように、店舗情報DB（S406，S414）又はグループ情報DB（S426，S434）におけるポイントの更新が行われてから、ポイント会員情報DB（S407，S415，S427，S435）におけるポイントの更新が行われる例について説明したが、これに限らず、これらポイントの更新が行われる順序は逆であっても良い。

20

【0662】

上記の実施形態では、図43に示すように、合算ポイントが使用された場合に、使用ポイント数が、ログインIDに対応するポイントから優先して減算され、該ポイントが不足するようであれば不足分が、対応IDに対応するポイントから減算される例について説明したが、これに限らず、該ポイントの減算を、ログインIDに対応するポイントから優先して行うか，又は対応IDに対応するポイントから優先して行うかを、ポイント会員が選択できるようにしても良く、また各ポイントから減算するポイントを、ポイント会員が任意に指定できるようにしても良い。

【0663】

上記の実施形態では、図43及び図44に示すように、ポイント管理装置50において、情報公開要求の一部であるポイント確認・使用要求，登録情報の更新要求，グループ店舗一覧要求，及び店舗追加情報要求や、確認要求の一部であるアンケート要求，イベント情報要求，及び当選情報要求を受信した後に、各要求に対応した情報が送信元端末に対して配信される例について説明したが、これに限らず、前記ログイン要求のみが情報公開要求及び確認要求として機能するようにしても良く、この場合には、ポイント管理装置50において、該ログイン要求を受信した後に、前記各要求（ポイント確認・使用要求，登録情報の更新要求，グループ店舗一覧要求，店舗追加情報要求，アンケート要求，イベント情報要求，及び当選情報要求）に対応して配信すべきすべての情報を送信元端末に対して返信し、該送信元端末において、該返信されてきた情報を記憶しておき、図45のD401に示すメニュー画面におけるボタン操作に応じて、該記憶している情報が表示されるようになる。

30

40

【0664】

上記の実施形態では、図44（d），（e），（f）に示すように、店舗端末（カードユニット20又はキオスク端末30）から確認要求（アンケート要求，イベント情報要求，又は当選情報要求）が送信されてきた場合のみならず、情報端末（PC6又は携帯電話7）から確認要求が送信されてきた場合にも、前記電子メールアドレス管理判定手段による判定が行われ（S801，S901，S1001）、該電子メールアドレス管理判定手段により電子メールアドレスを管理していると判定されると、通知情報（アンケート情報，イベント情報，当選情報）が該情報端末に対して返信されない例について説明したが、

50

これに限らず、情報端末から確認要求が送信されてきた場合には、前記電子メールアドレス管理判定手段による判定を行わず、一律に該通知情報が情報端末に対して返信されるようにしても良い。

【0665】

上記の実施形態では、図44(d)、(e)、(f)に示すように、登録端末から確認要求の一部であるアンケート要求、イベント情報要求、又は当選情報要求が送信されてきたことに基づいて、前記電子メールアドレス管理判定手段による判定(S801, S901, S1001)が行われる例について説明したが、これに限らず、登録端末から確認要求の一部であるログイン要求が送信されてきたことに基づいて、前記電子メールアドレス管理判定手段による判定が行われるようにしても良く、この場合におけるアンケート要求、イベント情報要求、又は当選情報要求は、確認要求ではない。また、この場合において、電子メールアドレス管理判定手段により電子メールアドレスを管理していると判定された場合には、図45のD401で、「アンケート」ボタン、「イベント情報」ボタン、及び「当選情報」ボタンを表示しない画面を配信するようにしても良い。

10

【0666】

上記の実施形態では、図44(d)、(e)、(f)に示すように、電子メールアドレス管理判定手段により電子メールアドレスを管理していると判定された場合には、一律に通知情報(アンケート情報、イベント情報、当選情報)が登録端末に対して返信されない(S807, S905, S1008)例について説明したが、これに限らず、常に返信する通知情報を予め設定しておき、電子メールアドレス管理判定手段により電子メールアドレスを管理していると判定された場合であっても、該常に返信すると設定されている通知情報については返信するようにしても良く、これによれば、例えば当選情報等の比較的重要なものを常に返信する通知情報として設定しておくことにより、電子メールによる該通知情報の通知に加えて、店舗端末でも該通知情報を通知することができる。

20

【0667】

上記の実施形態では、図27(b)や図50(b')に示すように、グループ識別情報がグループ名である例について説明したが、これに限らず、該グループ識別情報は、数字や記号等からなるグループIDであっても良い。即ちグループ識別情報は、グループを個々に識別可能な情報であれば良い。

【0668】

上記の実施形態では、図27(b)(c)に示すように、地域識別情報が地域名である例について説明したが、これに限らず、該地域識別情報は、数字や記号等からなる地域IDであっても良い。即ち地域識別情報は、地域を個々に識別可能な情報であれば良い。

30

【0669】

上記の実施形態では、図27(b)(c)に示すように、地域の単位が都道府県である例について説明したが、これに限らず、該地域の単位は、都道府県よりも広い地域(例えば東北地方、関東地方等や、南関東地方、北関東地方等)でも良く、また都道府県よりも狭い地域(例えば新宿区、渋谷区等や、東京23区地域、多摩地域等)でも良く、さらには行政区画ではない独自の地域(例えば山の手、下町等)でも良い。

【0670】

上記の実施形態では、図30に示す地域名の登録、又は図49に示す郵便番号の登録が、新規店舗の登録時(D2, D2')に行われる例について説明したが、これに限らず、これら地域名や郵便番号の登録は、新グループの設定時又はグループ店の追加時に行われるようにしても良く、この場合には、該登録された地域名や郵便番号は、図27(c)又は図50(c')に示す店舗DBでは登録されず、図27(b)又は図50(b')に示すグループDBでのみ登録される。

40

【0671】

上記の実施形態では、図4のD107やD109、図10のD204やD207に示すように、登録要求Aに含まれる会員カードIDから特定される店舗の所在地が属する地域の他の店舗を認識可能なグループ店情報が登録端末に対して提供される例について説明し

50

たが、これに限らず、当該地域（例えば東京都）に属する他の店舗のみならず、当該地域に隣接する地域（例えば神奈川県、千葉県、埼玉県、山梨県）に属する店舗も認識可能なグループ店情報が登録端末に対して提供されるようにしても良い。

【0672】

上記の実施形態では、図4のD107やD109、図10のD204やD207に示すように、グループ店情報に、他の店舗と共に、受信した店舗情報要求に含まれる店舗特定情報から特定される店舗（ここではA店又はX店）が含まれる例について説明したが、これに限らず、該グループ店情報には、受信した店舗情報要求に含まれる店舗特定情報から特定される店舗は含まれず、他の店舗のみが含まれるようにしても良い。この場合には、受信した店舗情報要求に含まれる店舗特定情報から特定される店舗の店舗情報を含む電子メールは、ユーザーの希望によらずに強制的に、該ユーザーの電子メールアドレスに対して送信されるようにしても良い。

10

【0673】

上記の実施形態では、店舗に関する店舗情報が、当該店舗のイベント情報である例について説明したが、これに限らず、該店舗情報は、例えば当該店舗の所在地や営業時間等の営業情報であっても良く、またイベント情報や営業情報を示すURLであっても良い。

【0674】

上記の実施形態では、図33に示すように、配信対象店舗のイベント情報を含む電子メールを配信する際に、メール配信店舗として該配信対象店舗以外の他の店舗の店舗IDが記憶されている場合には、当該他の店舗のイベント情報を含む電子メールが送信される（S94）例について説明したが、これに限らず、配信対象店舗毎に、各配信対象店舗のイベント情報を含む電子メールを配信するようにしても良い。

20

【0675】

上記の実施形態では、図38のS133に示すように、ポイント管理装置50において、PC6又は携帯電話7からポイント会員登録を受け付けた場合にも、カードユニット20又はキオスク端末30からポイント会員登録を受け付けた場合と同様に、第2登録要求Bに含まれる電子メールアドレスをポイント会員情報DBに登録する例について説明したが、これに限らず、PC6又は携帯電話7からポイント会員登録を受け付ける場合には、該PC6又は携帯電話7から空メールを受信したときに、該空メールの送信元である電子メールアドレスをポイント会員情報DBに登録するようにしても良い。

30

【0676】

上記の実施形態では、図10のD205に示すように、第2遊技場に設置されるカードユニット20からポイント管理装置50に対して送信される第1登録要求Aに、エンコード情報照合処理（図37のS114）を行うための他システム会員IDの下4桁が含まれる例について説明したが、該第1登録要求Aに含まれる第2会員カードIDは、第2会員カード5のICチップ5bから読み取ったものであり、間違っていると言うことが無いため、該第1登録要求Aに他システム会員IDの下4桁を含めず、該第1登録要求を受信してもエンコード情報照合処理を行わないようにしても良い。

【0677】

上記の実施形態では、図14のD326に示すように、キオスク端末30からポイント管理装置50に対して送信される第1の会員統合要求に、エンコード情報照合処理（図39のS230）を行うための他システム会員IDの下4桁が含まれる例について説明したが、該第1の会員統合要求に含まれる第2会員カードIDは、第2会員カード5の磁気ストライプ5cから読み取った他システム会員IDから特定されたものであり、間違っていると言うことが無いため、該第1の会員統合要求に他システム会員IDの下4桁を含めず、該第1の会員統合要求を受信してもエンコード情報照合処理を行わないようにしても良い。

40

【0678】

上記の第1実施形態では、既登録の会員カードIDと未登録の会員カードIDの統合、及び既登録の会員カードID同士の統合が行われる例について説明したが、これに限らず

50

、未登録の会員カード I D 同士の統合が行われるようにしても良い。この場合には、まず 1 枚目の未登録の会員カードについて、ポイント会員登録を行う場合の登録要求 A と同様に、会員カード I D と登録時の暗証番号又は他システム会員 I D の下 4 桁を送信して、前記グループ店情報を受信し、次に登録要求 B と同様の内容、及び 2 枚目の未登録の会員カードの会員カード I D と登録時の暗証番号又は他システム会員 I D の下 4 桁を含む会員統合要求を送信するようにすれば良い。

【0679】

上記の第 1 実施形態の変形例では、図 50 (b') (c') に示すように、所在地を特定可能な情報が郵便番号である例について説明したが、これに限らず、該所在地を特定可能な情報は、住所そのものであっても良い。この場合には、例えば該住所を地図上にプロットし、店舗特定情報から特定される店舗の所在地から他の店舗の所在地までの直線距離が短い順に当該他の店舗を抽出するようにしても良く、また各店舗の最寄り駅を特定し、店舗特定情報から特定される店舗の最寄り駅から他の店舗の最寄り駅までの鉄道距離が短い順に当該他の店舗を抽出するようにしても良い。

【0680】

また第 1 実施形態の変形例において、所在地を特定可能な情報は、例えば店舗の所在地に応じて順に（例えば北から南まで順に）付与された店舗番号であっても良い。この場合には、店舗特定情報から特定される店舗の店舗番号と他の店舗の店舗番号との差の絶対値が小さい順に当該他の店舗を抽出する。

【0681】

また第 1 実施形態の変形例において、前記グループ店情報を送信する毎に、これらの抽出を行うのではなく、各店舗毎に、当該店舗から近い順の他の店舗を予め決定しておき、グループ店情報を送信する際には、該決定されている結果を送信するようにしても良い。

【0682】

上記の第 2 実施形態では、既登録の会員カード I D 同士の統合のみが行われる例について説明したが、これに限らず、既登録の会員カード I D と未登録の会員カード I D の統合が行われるようにしても良く、この場合には、図 53 に示す S 1 1 1 1 の処理は省略される。また、この場合には、登録端末において、メニュー画面（図 52 の D 5 0 1）に「統合登録」ボタンを設けるのみならず、該メニュー画面にログインするためのログイン画面（図 45 の D 4 0 0 - 1 又は D 4 0 0 - 2）に「統合登録」ボタンを設けるようにしても良く、該ログイン画面において、未登録の会員カード I D（例えば B 店の会員カード I D）が入力されて「統合登録」ボタンが操作されると、該入力された会員カード I D が登録端末からポイント管理装置 50 に対して送信され、該会員カード I D の店舗と同一グループに属する店舗（即ち A 店、B 店、及び X 店）が統合候補店舗としてポイント管理装置 50 から登録端末に対して返信され、該統合候補店舗の会員カード I D のうちの既登録の会員カード I D と登録済の暗証番号とが入力されて会員統合要求が行われると、該会員統合要求に含まれる既登録の会員カード I D と前記ログイン要求に含まれる未登録の会員カード I D との統合処理が行われる。

【0683】

上記の実施形態では、図 45 の D 4 0 5 に示すように、P C 6 又は携帯電話 7 からは、ポイント会員専用ホームページにログインした場合にのみ引き継ぎ要求が送信される例について説明したが、これに限らず、例えばカードユニット 20（図 10 の D 2 0 0）又はキオスク端末 30（図 13 の D 3 0 0）と同様に、図 3 の D 1 0 4 に示すポイント会員登録画面に「カードの引き継ぎ」ボタンを設け、該ポイント会員登録画面からも引き継ぎ要求を送信できるようにしても良い。

【0684】

上記の実施形態では、図 11 の D 2 1 1、又は図 45 の D 4 0 5 に示すように、既登録会員カード I D（旧会員カード I D）と新会員カード I D の両方を含む引き継ぎ要求が送信される例について説明したが、これに限らず、既登録会員カード I D を含む第 1 の引き継ぎ要求と、新会員カード I D を含む第 2 の引き継ぎ要求とが、それぞれ別個に送信され

るようにしても良く、この場合には、第1の引き継ぎ要求と第2の引き継ぎ要求とを合わせたものが引き継ぎ要求となる。

【0685】

上記の実施形態では、カードユニット20又はキオスク端末30から送信される引き継ぎ要求と同様に処理するために、図45のD405に示すように、PC6又は携帯電話7から送信される引き継ぎ要求に、該登録済の暗証番号が含まれ、該引き継ぎ要求を受信したポイント管理装置50において、図40のS332に示すポイント会員情報照合処理が行われる例について説明したが、これに限らず、PC6又は携帯電話7から送信される引き継ぎ要求に、該登録済の暗証番号が含まれず、該引き継ぎ要求を受信したポイント管理装置50において、図40のS332に示すポイント会員情報照合処理が行われないよう

10

【0686】

上記の実施形態では、図40に示すように、登録判定手段による判定(S303)を行ってから、同一店舗判定手段による判定(S337)を行う例について説明したが、これに限らず、同一店舗判定手段による判定を行ってから、登録判定手段による判定を行うようにしても良い。

【0687】

上記の実施形態では、図40のS333及びS337に示すように、同一店舗判定手段が、引き継ぎ要求に含まれる既登録会員カードID及び新会員カードIDから店舗を特定して、該店舗が一致するか否かを判定する例について説明したが、これに限らず、例えばログイン要求の受信に基づいて、該ログイン要求に含まれるログインID(既登録会員カードID)から店舗(例えばA店)を特定して、該特定した店舗のシステム管理装置40から店舗会員として登録されている全会員カードIDを抽出し、引き継ぎ要求の受信に基づいて、該引き継ぎ要求に含まれる新会員カードIDが前記抽出した会員カードIDのいずれかであるか否かを判定するようにしても良く、これによれば、新会員カードIDから店舗を特定する必要がない。即ち同一店舗判定手段は、引き継ぎ要求に含まれる既登録会員カードIDと新会員カードIDが同一店舗で発行された会員カードの会員カードIDであるか否かを判定するものであれば良い。

20

【0688】

上記の実施形態では、記録媒体が店舗で発行された会員カードであり、記録媒体識別情報が会員カードIDであり、取引関連情報が使用金額及びポイントである例について説明したが、これに限らず、例えば記録媒体はクレジットカードであり、記録媒体識別情報は該クレジットカードのカード番号であり、取引関連情報は該クレジットカードによる決済金額であっても良く、この場合における管理装置は、引き継ぎ元である既登録カード番号を含むと共に引き継ぎ先である新カード番号を含む引き継ぎ要求を受信したことに基

30

【0689】

最後に、上記の実施形態に記載した発明に対応する「従来技術」、「発明が解決しようとする課題」、及び「発明の効果」を説明する。

40

【0690】

本願出願人が先に出願した「特願2004-292138」の図9、並びに段落0163, 0198, 及び0200には、会員識別情報である会員IDに対応付けて、当該会員IDが記録された会員カードを所持する会員の属性情報とポイントとを管理する統合管理装置において、会員が操作する情報端末から送信される会員IDと属性情報とを受信してメール会員として登録を行う際に、該受信した属性情報が既に登録されていれば、該既に登録されている属性情報に対応付けられている会員IDと前記受信した会員IDとを対応付けて登録すると共に、各会員IDに対応するポイントを統合する旨が記載されている。

【0691】

50

しかしながら、上記出願に示す統合管理装置では、前記会員 I D が記録された記録媒体の一例である会員カードをある会員が紛失し、当該紛失した会員カードを拾った当該会員とは異なる他の会員が、当該拾った会員カードの会員 I D と当該他の会員の属性情報とを情報端末から統合管理装置に対して送信した場合に、該統合管理装置において、当該他の会員の属性情報が既に登録されていると、会員カードを紛失した会員のポイントと当該他の会員のポイントが統合されるので、会員カードを紛失した会員が不利益を被るという問題があった。

【0692】

そこで、上記の実施形態に記載した発明では、各店舗において店舗会員として会員登録した会員に対して発行された記録媒体（会員カード）に記録されている当該会員を個々に識別可能な会員識別情報（会員カード I D）を含む登録要求を、前記会員が操作する登録端末（PC 6、携帯電話 7、カードユニット 20、キオスク端末 30）から受信し、該受信した登録要求に含まれる会員識別情報を登録すると共に、該登録した会員識別情報に対応付けて、当該記録媒体の所有者のポイント进行管理するポイント管理装置 50 であって、前記登録端末から、複数の会員識別情報を含む会員統合要求を受信したことに基づいて、当該複数の会員識別情報に対応する各店舗を個々に識別可能な店舗識別情報（店舗 I D）を特定する店舗特定手段（制御部 52）と、該店舗特定手段により特定された各店舗識別情報が一致するか否かを判定する店舗一致判定手段（制御部 52）と、該店舗一致判定手段により一致しないと判定されたことを条件として、前記複数の会員識別情報に対応付けて登録する一方、前記店舗一致判定手段により一致すると判定されたことを条件として、前記複数の会員識別情報に対応付けて登録しない登録手段（制御部 52）と、を有するポイント管理装置を構成した。これによれば、会員統合要求に含まれる複数の会員特定情報から特定される複数の会員識別情報に対応する各店舗が一致する場合には、当該複数の会員識別情報が登録されないの、記録媒体を紛失した会員のポイントが当該該記録媒体を拾った他の会員のポイントと統合されてしまうおそれが低減し、該記録媒体を紛失した会員が不利益を被るおそれを低減することができる。

【0693】

また前記「特願 2004-292138」の図 19、及び段落 0195～0197 には、各店舗において店舗会員として会員登録した会員が、自己の情報端末（PC 又は携帯電話）において、該会員を個々に識別可能な会員識別情報である会員 I D 等を入力して登録操作を行うと、該入力された会員 I D 等を含む登録要求が統合管理装置に対して送信され、統合管理装置において、該送信されてきた登録要求に含まれる会員 I D がメール会員として登録される旨が記載されている。

【0694】

しかしながら、上記出願に示す統合管理装置では、情報端末を所有していない店舗会員や情報端末の操作が不得意な店舗会員は、前記登録要求を送信することができないため、ポイント会員の一例である前記メール会員として登録することができず、すべての店舗会員に公平にポイント会員としての利益を享受する機会を与えることができなかった。

【0695】

そこで、上記の実施形態に記載した発明では、各店舗において店舗会員として会員登録した会員に対して発行された記録媒体（会員カード）から特定され、当該会員を個々に識別可能な会員識別情報（会員カード I D）に対応付けて、当該記録媒体の所有者のポイント进行管理する会員情報管理手段（ポイント会員情報 DB）を有するポイント管理装置 50 を備えるポイント管理システム 1 であって、前記記録媒体には、前記会員識別情報を特定可能な第 1 会員特定情報が磁氣的又は電氣的に記録されると共に、前記会員識別情報を特定可能な第 2 会員特定情報が目視可能に記録され、各店舗に設置され、前記記録媒体を受け付けて、該受け付けた記録媒体に記録されている前記第 1 会員特定情報を読み取る記録媒体受付手段（カード R/W 25、カードリーダー 33）と、該記録媒体受付手段により読み取った第 1 会員特定情報を含む第 1 登録要求を前記ポイント管理装置に対して送信する第 1 登録要求送信手段（制御部 22、32）と、を有する店舗端末（カードユニット 20

、キオスク端末30)をさらに備え、前記ポイント管理装置は、前記第1登録要求送信手段から第1登録要求を受信したことに基づいて、該受信した第1登録要求に含まれる第1会員特定情報から前記会員識別情報を特定し、該特定した会員識別情報を前記会員情報管理手段に登録すると共に、会員が所持する情報端末(PC6、携帯電話7)において当該会員が前記第2会員特定情報を入力して登録操作を行うことにより該情報端末から送信されてくる、該入力された第2会員特定情報を含む第2登録要求から前記会員識別情報を特定し、該特定した会員識別情報を前記会員情報管理手段に登録する登録手段(制御部52)を有するポイント管理システムを構成した。これによれば、ポイント管理装置50において、会員の所持する情報端末(PC6、携帯電話7)から第2登録要求が送信されてくると会員カードIDの登録が行われると共に、店舗に設置される店舗端末(カードユニット20、キオスク端末30)から第1登録要求が送信されてきても会員カードIDの登録が行われるので、情報端末を所有していない店舗会員や情報端末の操作が不得意な店舗会員であってもポイント会員として会員カードIDの登録が可能となり、すべての店舗会員に公平にポイント会員としての利益を享受する機会を与えることができる。

【0696】

また、第1の従来技術として、特開2005-296235号公報(図7、段落0061、0064)を示す。この第1の従来技術には、各店舗において会員として会員登録した該会員の会員識別情報に対応付けて、当該会員の属性情報を記憶すると共に、各会員が会員となっている各店舗の会員識別情報に対応付けて、当該会員が所有する各店舗のポイント記憶する管理装置を備える会員サービス提供システムにおいて、新規の会員登録が行われて新たに登録する会員識別情報と当該会員識別情報が記録された会員カードを所持する会員の属性情報とを受信したときに、該属性情報(氏名及び電子メールアドレス)が既に登録されている属性情報と一致するか否かを判定し、一致すれば、該属性情報に対応する会員識別情報と前記受信した新たに登録する会員識別情報とを対応付けて登録して、各店舗のポイントを統合する旨が記載されている。

【0697】

しかしながら、上記第1の従来技術に示す会員サービス提供システムでは、属性情報が一致すればいずれの店舗のポイントであっても統合されてしまうため、該会員サービス提供システムをグループ店間における来店促進に利用したいという店舗の要望に応えることができなかった。

【0698】

そこで、上記の実施形態に記載した発明では、各店舗において店舗会員として会員登録した会員に対して発行された記録媒体(会員カード)に記録されている当該会員を個々に識別可能な会員識別情報(会員カードID)を含む登録要求を、前記会員が操作する登録端末(PC6、携帯電話7、カードユニット20、キオスク端末30)から受信し、該受信した登録要求に含まれる会員識別情報を登録すると共に、該登録した会員識別情報に対応付けて、当該記録媒体の所有者のポイント管理するポイント管理装置50であって、複数の店舗をグループ店として設定するグループ設定手段(ディスプレイ54及び入力装置55)と、前記登録端末から、複数の会員識別情報を含む会員統合要求を受信したことに基づいて、当該複数の会員識別情報に対応する各店舗を個々に識別可能な店舗識別情報(店舗ID)を特定する店舗特定手段(制御部52)と、該店舗特定手段により特定された各店舗識別情報が前記グループ設定手段により設定されたグループに属する店舗の店舗識別情報であるか否かを判定するグループ判定手段(制御部52)と、該グループ判定手段によりグループに属する店舗の店舗識別情報であると判定されたことを条件として、前記複数の会員識別情報に対応付けて登録する登録手段(制御部52)と、該登録手段により対応付けて登録された各会員識別情報に対応するポイントを合算する合算手段(制御部52)と、該合算手段により合算された合算ポイントを前記会員が所定のサービス享受するために使用させるための処理を行うポイント使用処理手段(制御部52)と、を有するポイント管理装置を構成した。これによれば、会員統合要求に含まれる複数の会員特定情報から特定される各会員識別情報に対応する各店舗がグループ店である場合に限り、

当該会員統合要求に含まれる複数の会員特定情報から特定される複数の会員識別情報が対応付けて登録され、当該複数の会員識別情報に対応するポイントを合算して使用できるため、グループ店での集客の向上に利用することができる。

【0699】

さらに、第2の従来技術として、特開2002-890号公報（図6，図9，図10）を示す。この第2の従来技術には、所定の地域毎に、各地域に属する店舗の店舗名と当該店舗に関する店舗情報（例えばイベント情報等）とを対応付けて記憶しておき、ユーザーが操作する携帯端末装置から、該ユーザーが選択した地域の情報を受信したことに基づいて、当該地域に属する店舗を選択可能に返信し、ユーザーが選択した店舗の店舗情報を返信する遊技場情報配信装置が記載されている。

10

【0700】

しかしながら、上記第2の従来技術に示す遊技場情報配信装置では、ユーザーが選択した店舗の店舗情報を該ユーザーに認識させることはできるが、該店舗がグループ店である場合に、当該グループに属する他の店舗の存在をユーザーに認識させることができないため、前記遊技場情報配信装置をグループ店での集客の向上に利用したいという店舗の要望に応えることができなかった。

【0701】

そこで、上記の実施形態に記載した発明では、ユーザー（会員）が操作する操作端末（PC6，携帯電話7，カードユニット20，キオスク端末30）から、店舗を特定可能な店舗特定情報（会員カードID）を含む店舗情報要求（登録要求）を受信したことに基づいて、該受信した店舗情報要求に含まれる店舗特定情報から特定される店舗に関する店舗情報（イベント情報）を前記操作端末に対して提供する店舗情報提供手段（制御部52）を有する店舗情報提供装置（ポイント管理装置50）であって、複数の店舗が属するグループを設定するグループ設定手段（ディスプレイ54及び入力装置55）と、当該店舗情報提供装置に登録された店舗を個々に識別可能な店舗識別情報（店舗ID）を管理すると共に、該店舗が前記グループに属するときには、該グループを個々に識別可能なグループ識別情報（グループ名）を対応付けて管理する店舗管理手段（グループDB，店舗DB）と、前記店舗情報要求を受信したことに基づいて、前記店舗管理手段において該受信した店舗情報要求に含まれる店舗特定情報から特定される店舗の店舗識別情報に前記グループ識別情報が対応付けられているか否かを判定するグループ識別情報判定手段（制御部52）と、該グループ識別情報判定手段により前記グループ識別情報が対応付けられていると判定されたことを条件として、前記店舗管理手段において当該グループ識別情報に対応付けられている他の店舗識別情報の店舗を認識可能なグループ店情報を前記操作端末に対して提供するグループ店情報提供手段（制御部52）と、を有する店舗情報提供装置を構成した。これによれば、ユーザーが操作する操作端末から受信した店舗情報要求に含まれる店舗特定情報から特定される店舗がグループに属する場合には、グループ店情報が操作端末に対して提供されるので、当該グループに属する他のグループ店の存在をユーザーに認識させることができ、店舗情報提供装置をグループ店での集客の向上に利用したいという店舗の要望に応えることができる。

20

30

【図面の簡単な説明】

40

【0702】

【図1】図1は本発明に係る管理装置であるポイント管理装置を含むポイント管理システムの一例を表す全体図である。

【図2】図2（a）は第1会員カードの正面図であり、図2（b）は第2会員カードの正面図である。

【図3】図3はPC及び携帯電話のディスプレイに表示されるポイント会員登録画面の一例を表す図である。

【図4】図4は図3に続く図である。

【図5】図5は図3に続く図である。

【図6】図6は図3に続く図である。

50

【図 7】図 7 は第 1 遊技場内に設置される各装置の一例を表す機能ブロック図である。

【図 8】図 8 は第 2 遊技場内に設置される各装置の一例を表す機能ブロック図である。

【図 9】図 9 (a) はカードユニット及びパチンコ機の正面図であり、図 9 (b) は同カードユニットの断面右側面図である。

【図 10】図 10 はカードユニットのディスプレイに表示されるポイント会員登録画面の一例を表す図である。

【図 11】図 11 は図 10 に続く図である。

【図 12】図 12 (a) はキオスク端末の一例を表す斜視図であり、図 12 (b) は同機能ブロック図である。

【図 13】図 13 はキオスク端末のディスプレイに表示されるポイント会員登録画面の一例を表す図である。

【図 14】図 14 は図 13 に続く図である。

【図 15】図 15 は図 14 に続く図である。

【図 16】図 16 (a) はシステム管理装置及び転送装置が記憶する残額管理 DB の記憶内容の一例を表す図であり、図 16 (b) は第 1 会員管理装置が記憶する第 1 会員情報 DB の記憶内容の一例を表す図であり、図 16 (c) は第 2 会員管理装置が記憶する第 2 会員情報 DB の記憶内容の一例を表す図である。

【図 17】図 17 はカードユニットにおける入金に際しての処理の一例を表す図である。

【図 18】図 18 はカードユニットにおける会員カードを使用した処理の一例を表す図である。

【図 19】図 19 はカードユニットにおけるカード返却ボタン操作時の処理の一例を表す図である。

【図 20】図 20 はシステム管理装置で表示される定型レポート表示画面の一例を表す図である。

【図 21】図 21 は図 20 に続く図であり、イベント情報送信画面の一例を表す図である。

【図 22】図 22 は図 20 に続く図であり、アンケート結果表示画面の一例を表す図である。

【図 23】図 23 は図 20 に続く図であり、ポイント状況表示画面の一例を表す図である。

【図 24】図 24 はポイント管理装置に接続される各装置の一例を表す機能ブロック図である。

【図 25】図 25 (a) は遊技場の営業終了後における処理の一例を表す図であり、図 25 (b) はポイント管理装置が行うポイント付与処理の一例を表すフローチャートである。

【図 26】図 26 はポイント管理装置が記憶する各 DB の記憶内容の一例を表す図であり、(a) はポイント会員情報 DB、(b) は通知情報 DB、(c) は使用金額 DB である。

【図 27】図 27 はポイント管理装置が記憶する各 DB の記憶内容の一例を表す図であり、(a) はエンコード情報 DB、(b) はグループ DB、(c) は店舗 DB、(d) は抽選情報 DB である。

【図 28】図 28 はポイント管理装置が行うグループ設定処理の一例を表す図である。

【図 29】図 29 はポイント管理装置が行うアンケート処理の一例を表す図である。

【図 30】図 30 は PC 及び携帯電話のディスプレイに表示されるアンケート画面の一例を表す図である。

【図 31】図 31 はポイント管理装置が行う抽選処理の一例を表すフローチャートである。

【図 32】図 32 は PC 及び携帯電話のディスプレイに表示される当選画面の一例を表す図である。

【図 33】図 33 はポイント管理装置が行うイベント情報配信処理の一例を表すフローチャート

10

20

30

40

50

ャートである。

【図 3 4】図 3 4 は P C 及び携帯電話のディスプレイに表示されるイベント情報メールの一例を表す図である。

【図 3 5】図 3 5 はポイント管理装置が行う店舗一致判定処理の一例を表す図である。

【図 3 6】図 3 6 は図 3 5 に続く図である。

【図 3 7】図 3 7 はポイント管理装置が行うポイント会員登録処理の一例を表すフローチャートである。

【図 3 8】図 3 8 は図 3 7 に続く図である。

【図 3 9】図 3 9 は図 3 7 に続く図である。

【図 4 0】図 4 0 は図 3 7 に続く図である。

10

【図 4 1】図 4 1 はポイント管理装置が行う引き継ぎ処理の一例を表す図である。

【図 4 2】図 4 2 はポイント管理装置が行うポイント会員専用画面配信処理の一例を表すフローチャートである。

【図 4 3】図 4 3 は図 4 2 に続く図である。

【図 4 4】図 4 4 は図 4 2 に続く図である。

【図 4 5】図 4 5 はポイント管理装置から配信されて登録端末（情報端末である P C 及び携帯電話、並びに店舗端末であるカードユニット及びキオスク端末）のディスプレイに表示されるポイント会員専用画面の一例を表す図である。

【図 4 6】図 4 6 は図 4 5 に続く図である。

【図 4 7】図 4 7 は図 4 5 に続く図である。

20

【図 4 8】図 4 8 は図 4 5 に続く図である。

【図 4 9】図 4 9 は第 1 実施形態の変形例に係るポイント管理装置が行うグループ設定処理の一例を表す図である。

【図 5 0】図 5 0 は第 1 実施形態の変形例に係るポイント管理装置が記憶するグループ D B 及び店舗 D B の記憶内容の一例を表す図である。

【図 5 1】図 5 1 は第 1 実施形態の変形例に係る P C 及び携帯電話のディスプレイに表示されるポイント会員登録画面の一例を表す図である。

【図 5 2】図 5 2 は第 2 実施形態に係る登録端末のディスプレイに表示されるポイント会員専用画面の一例を表す図である。

【図 5 3】図 5 3 は第 2 実施形態に係る登録端末とポイント管理装置により行われる統合処理の一例を表すフローチャートである。

30

【図 5 4】図 5 4 は第 3 実施形態に係るポイント管理装置が行う処理の一例を表すフローチャートである。

【図 5 5】図 5 5 は第 3 実施形態に係るポイント管理装置が行う引き継ぎ処理の一例を表す図である。

【図 5 6】図 5 6 はポイント管理装置が行うポイント会員登録処理の変形例を表す図である。

【符号の説明】

【 0 7 0 3 】

1 …ポイント管理システム

40

4 …第 1 会員カード

4 b … I C チップ（第 1 会員カード I D，第 1 会員 I D）

4 c …磁気ストライプ（第 1 会員 I D）

5 …第 2 会員カード

5 b … I C チップ（第 2 会員カード I D，他システム会員 I D）

5 c …磁気ストライプ（他システム会員 I D）

6 … P C

7 …携帯電話

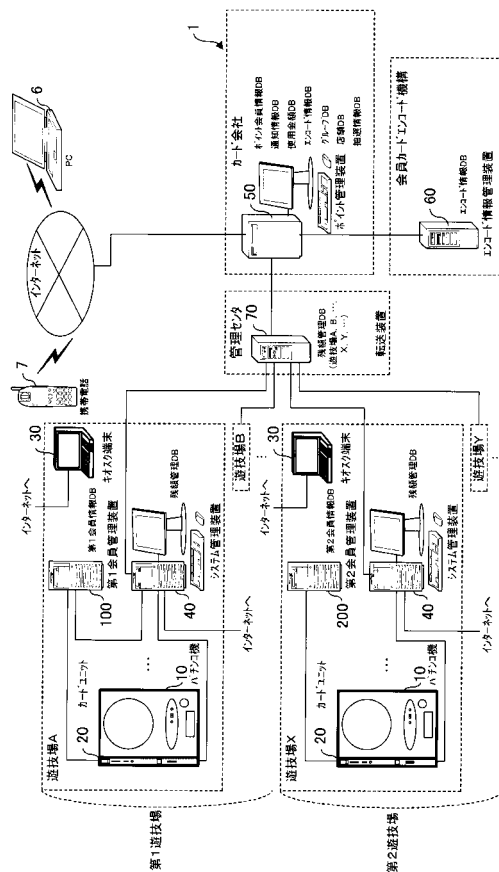
1 0 …パチンコ機

2 0 …カードユニット

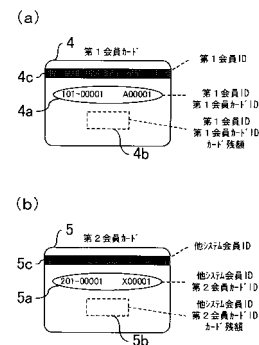
50

- 30…キオスク端末
- 50…ポイント管理装置
- 52…制御部
- 53…ハードディスク
- 54…ディスプレイ
- 55…入力装置

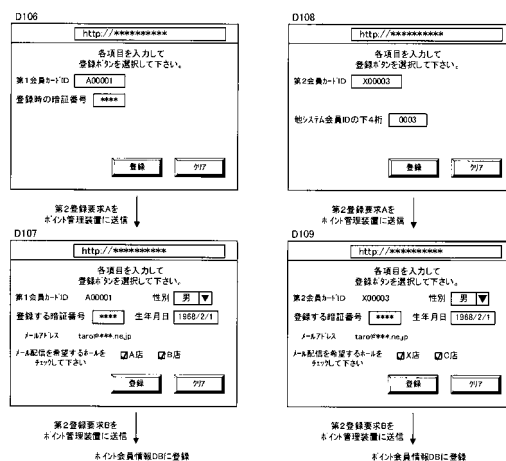
【図 1】



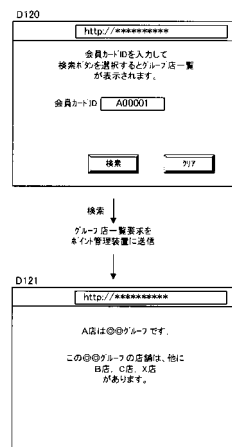
【図 2】



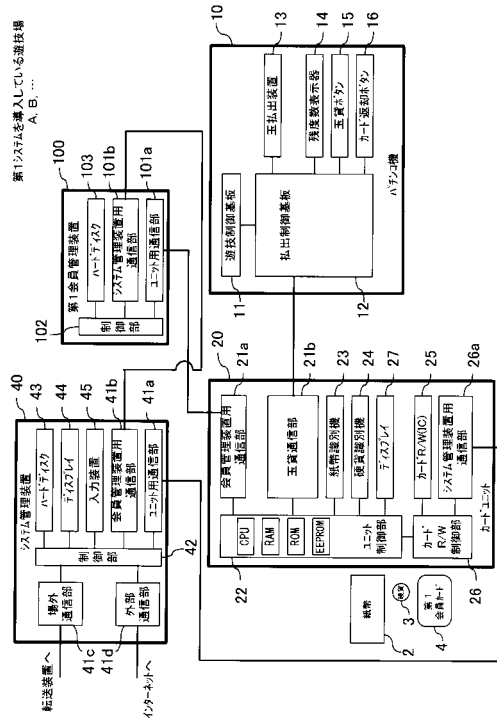
【図 4】



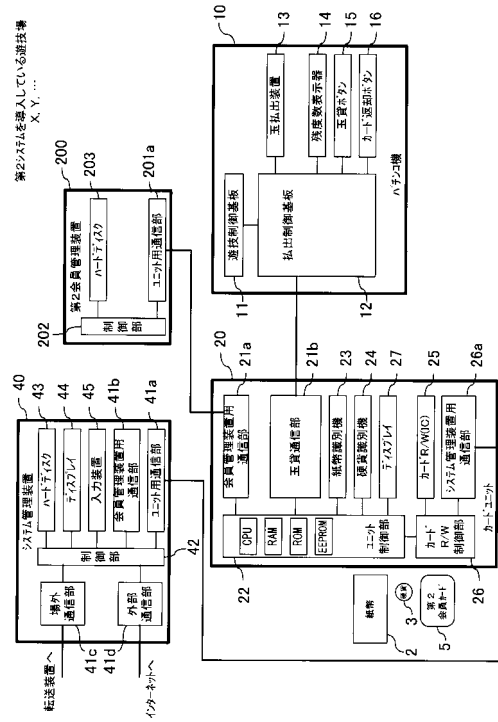
【図 6】



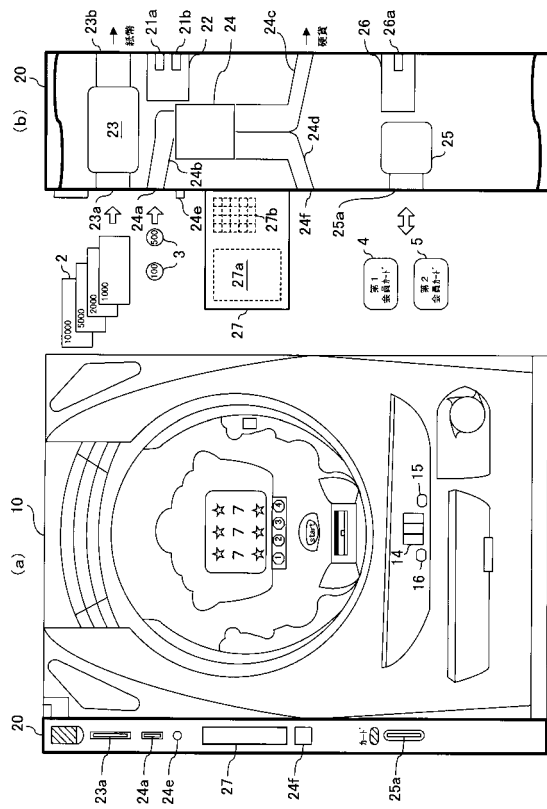
【图 7】



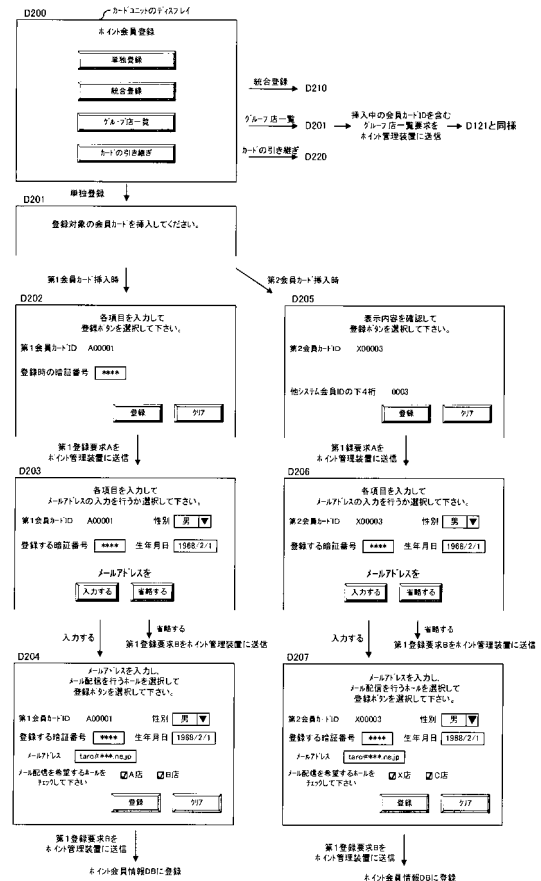
【図 8】



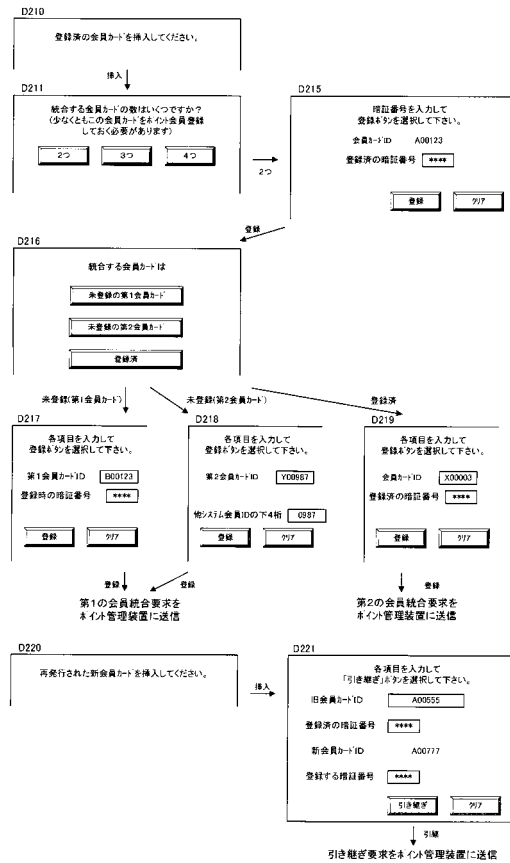
【図 9】



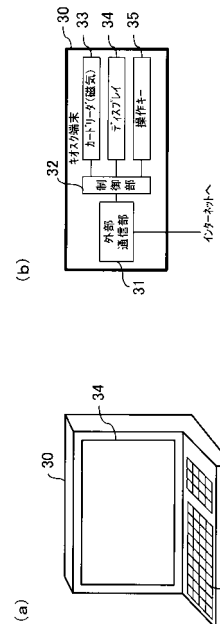
【図 10】



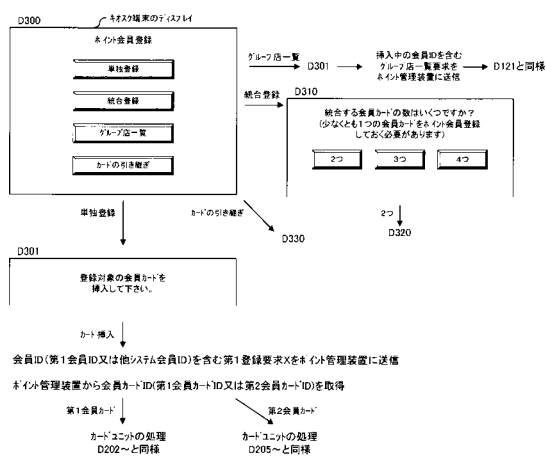
【図 1 1】



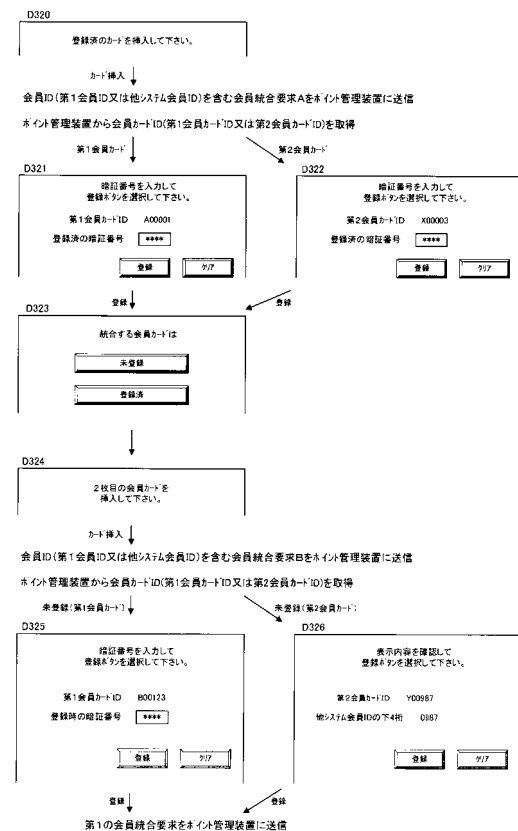
【図 1 2】



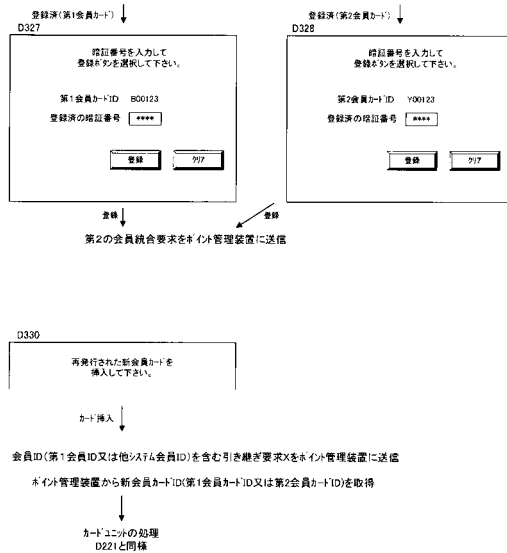
【図 1 3】



【図 1 4】



【図 15】



【図 16】

(a) 残額管理 DB (システム管理装置、転送装置)

会員カードID	カード残額	本日使用金額
A00001	7,500	16,000
A00002	0	-
A00003	2,000	3,000
...	...	...

※システム管理装置では当該競技場のデータ、転送装置では当該競技場のデータ

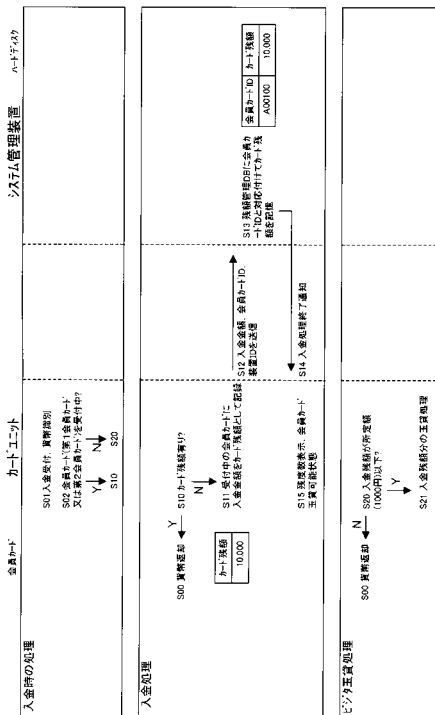
(b) 第1会員情報 DB (第1会員管理装置)

第1会員ID	暗証番号	氏名	住所	性別	生年月日	電子メールアドレス	競技情報
101-00001	1234	〇〇太郎	神奈川県川崎市	男	1989/7/1	taroo@xxx.ne.jp	...
101-00002	2345	△△花子	東京都港区	女	1973/11/4	hanako@xxx.ne.jp	...
101-00003	4321	□□一平	東京都品川区	男	1959/5/6	ichiro@xxx.ne.jp	...
...	...	...	...	...	...	...	...

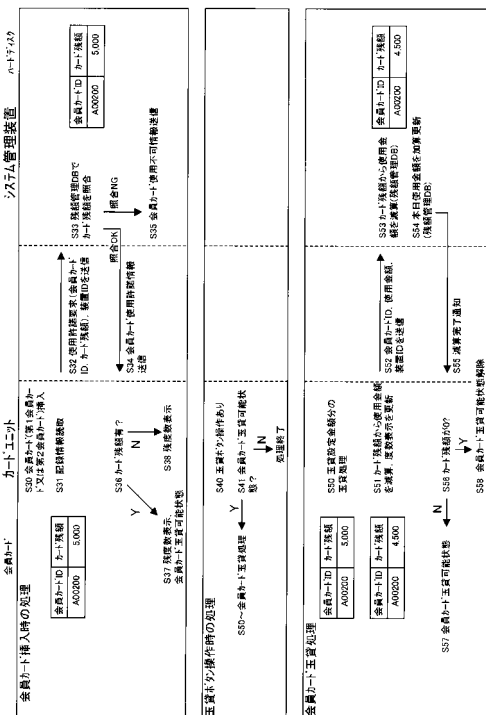
(c) 第2会員情報 DB (第2会員管理装置)

第2会員ID	暗証番号	氏名	住所	性別	生年月日	電子メールアドレス	競技情報
201-00001	...	...	...	...	...	...	...
201-00002	...	...	...	...	...	...	...
201-00003	...	...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...	...	...

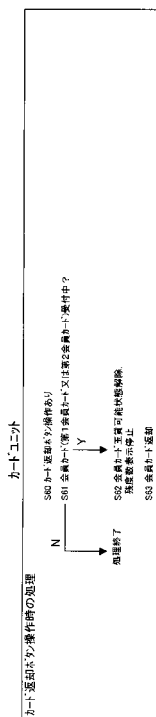
【図 17】



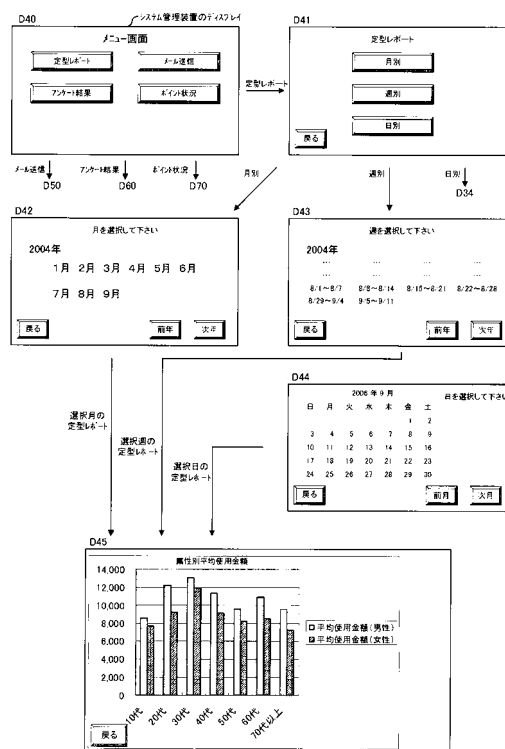
【図 18】



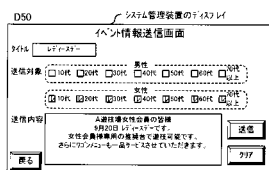
【図 19】



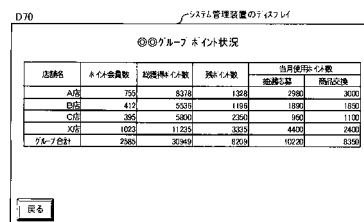
【図 20】



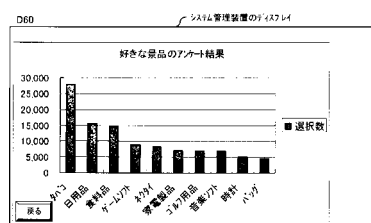
【図 2 1】



【图 2 3】



【図 2 2】



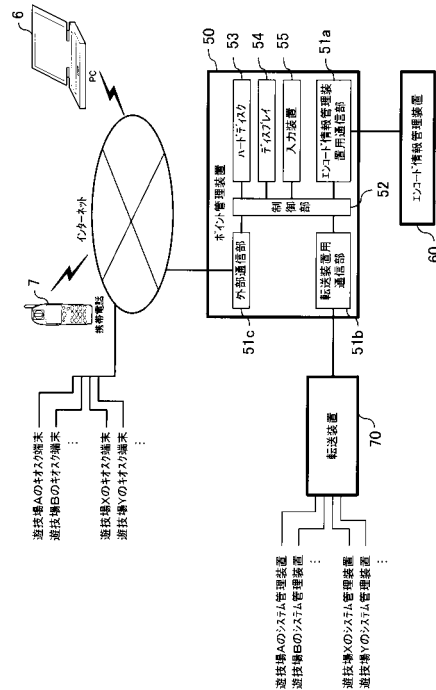
971

戸数キイロ状況

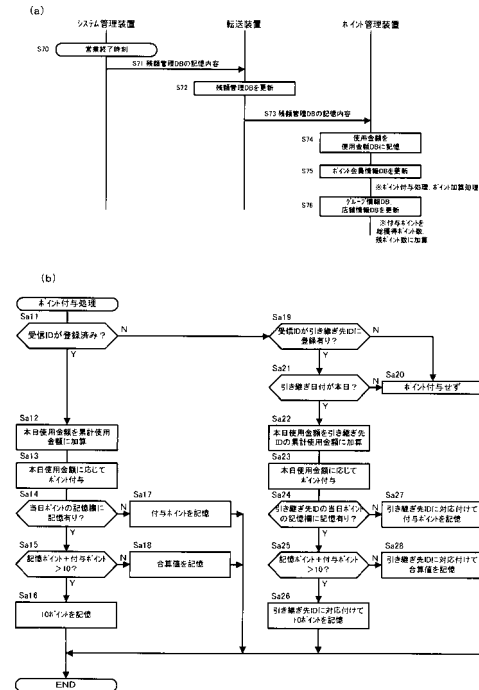
モノの会員数	収模債付の戸数	残キイロ数	当月収用付の戸数
			増減に基
174	3333	2481	550
			500
			100

戻る

【図 24】



【図 25】



【図 2 6】

(a) 外协会会员情報DB (外管理装置)									
会員種別ID	住所ID	住所名称	氏名	性別	誕生日	誕生日	誕生日	誕生日	誕生日
A0001	A0002	1234	〇太郎	男	1982/1/1	1982/1/1	1982/1/1	1982/1/1	1982/1/1
A0004	A0005	4567	×次郎	女	1983/4/17	1983/4/17	1983/4/17	1983/4/17	1983/4/17
A0723	B0073	8994	×次郎	男	1978/5/15	1978/5/15	1978/5/15	1978/5/15	1978/5/15
B0002	...	7777	山口文	男	1980/2/2	1980/2/2	1980/2/2	1980/2/2	1980/2/2
X0001	B0745	9876	〇一郎	男	1980/10/30	1980/10/30	1980/10/30	1980/10/30	1980/10/30
X0435	A0003	8765	〇太郎	男	1980/4/6	1980/4/6	1980/4/6	1980/4/6	1980/4/6
X0003	A0001	1234	〇太郎	男	1982/7/1	1982/7/1	1982/7/1	1982/7/1	1982/7/1
Y0003	D0343	3024	△太郎	女	1974/11/15	1974/11/15	1974/11/15	1974/11/15	1974/11/15

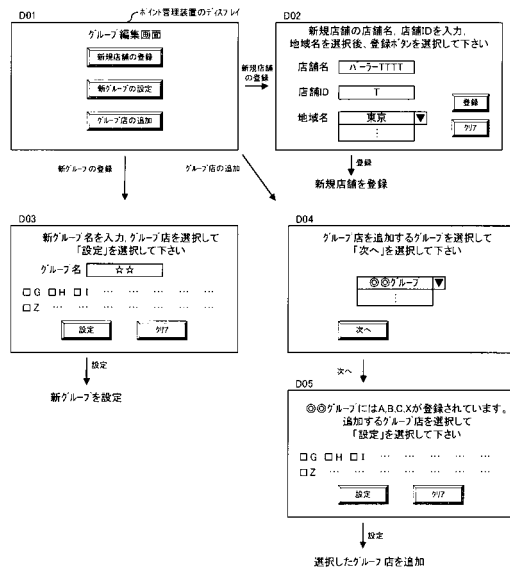
(c) 使用金額DB (外管理装置)									
会員種別ID	住所ID	住所名称	氏名	性別	誕生日	誕生日	誕生日	誕生日	誕生日
A0001	A0002	1234	〇太郎	男	1982/1/1	1982/1/1	1982/1/1	1982/1/1	1982/1/1
A0004	A0005	4567	×次郎	女	1983/4/17	1983/4/17	1983/4/17	1983/4/17	1983/4/17
A0723	B0073	8994	×次郎	男	1978/5/15	1978/5/15	1978/5/15	1978/5/15	1978/5/15
B0002	...	7777	山口文	男	1980/2/2	1980/2/2	1980/2/2	1980/2/2	1980/2/2
X0001	B0745	9876	〇一郎	男	1980/10/30	1980/10/30	1980/10/30	1980/10/30	1980/10/30
X0435	A0003	8765	〇太郎	男	1980/4/6	1980/4/6	1980/4/6	1980/4/6	1980/4/6
X0003	A0001	1234	〇太郎	男	1982/7/1	1982/7/1	1982/7/1	1982/7/1	1982/7/1
Y0003	D0343	3024	△太郎	女	1974/11/15	1974/11/15	1974/11/15	1974/11/15	1974/11/15

(b) 通知情報DB (外管理装置)									
会員種別ID	住所ID	住所名称	氏名	性別	誕生日	誕生日	誕生日	誕生日	誕生日
A0001	A0002	1234	〇太郎	男	1982/1/1	1982/1/1	1982/1/1	1982/1/1	1982/1/1
A0004	A0005	4567	×次郎	女	1983/4/17	1983/4/17	1983/4/17	1983/4/17	1983/4/17
A0723	B0073	8994	×次郎	男	1978/5/15	1978/5/15	1978/5/15	1978/5/15	1978/5/15
B0002	...	7777	山口文	男	1980/2/2	1980/2/2	1980/2/2	1980/2/2	1980/2/2
X0001	B0745	9876	〇一郎	男	1980/10/30	1980/10/30	1980/10/30	1980/10/30	1980/10/30
X0435	A0003	8765	〇太郎	男	1980/4/6	1980/4/6	1980/4/6	1980/4/6	1980/4/6
X0003	A0001	1234	〇太郎	男	1982/7/1	1982/7/1	1982/7/1	1982/7/1	1982/7/1
Y0003	D0343	3024	△太郎	女	1974/11/15	1974/11/15	1974/11/15	1974/11/15	1974/11/15

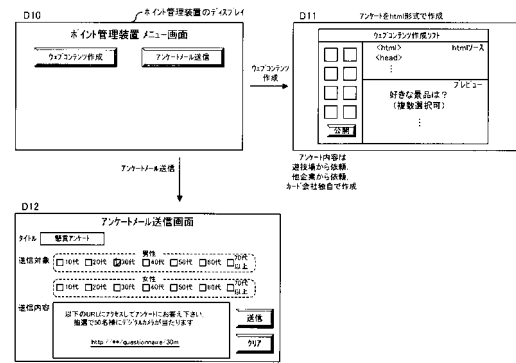
【図 27】

[illegible]

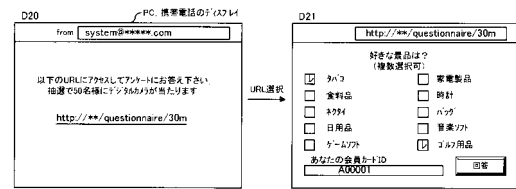
【図 28】



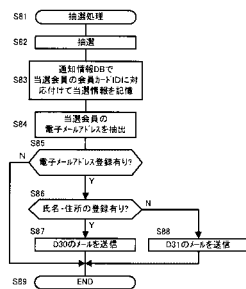
【図 29】



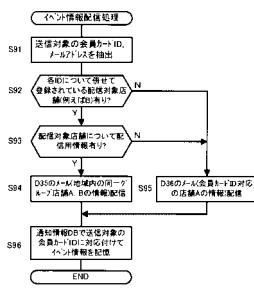
【図 30】



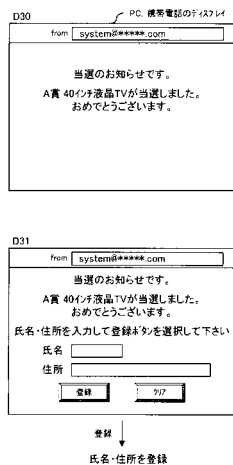
【図 3 1】



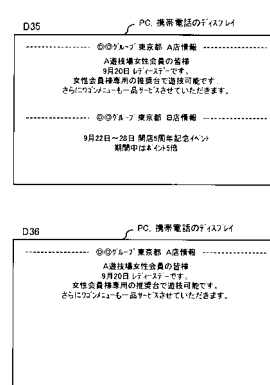
【图 3 3】



【図 3 2】



【図 3 4】



【図 35】

(a) A店カードIDを登録済				
会員カードID	他の会員カードID	暗証番号	性別	生年月日
A00200		4283	女	1980/8/8

(a-1) 自分の既登録A店カードIDに自分の未登録B店カードIDを統合要求

- S1 統合要求に含まれるカードIDからA店IDとB店IDを抽出
 S2 抽出された店舗IDが一致と判定
 S3 B店カードIDに対応付けて、暗証番号、既登録の性別と生年月日、及びA店カードIDを登録
 S4 B店カードIDをA店カードIDに対応付けて登録

会員カードID	他の会員カードID	暗証番号	性別	生年月日
A00200	B00300	4283	女	1980/8/8
B00300	A00200	9741	女	1980/8/8

(a-2) 自分の既登録A店カードIDと他人の未登録A店カードIDとを統合要求

- S1 統合要求に含まれるカードIDからA店IDとA店IDを抽出
 S2 抽出された店舗IDが一致と判定
 S3 他人のA店カードIDを登録しない

(a') A店カードIDに対応付けてB店カードIDを登録済				
会員カードID	他の会員カードID	暗証番号	性別	生年月日
A00200	B00300	4283	女	1980/8/8
B00300	A00200	9741	女	1980/8/8

(a-1') 自分の既登録A店カードIDに自分の未登録C店カードIDを統合要求

- S1 統合要求に含まれるカードIDからA店IDとC店IDを抽出
 S2 抽出された店舗IDが一致と判定
 S3 統合要求に含まれる既登録A店カードIDに対応付けられている既登録B店カードIDがあると判定
 S4 該既登録B店カードIDからB店IDを抽出
 S5 S1で抽出されたC店IDとS4で抽出されたB店IDが一致と判定
 S6 C店カードIDに対応付けて、暗証番号、既登録の性別と生年月日、A店カードID、及びB店カードIDを登録
 S7 C店カードIDをA店カードID、B店カードIDに対応付けて登録

会員カードID	他の会員カードID	暗証番号	性別	生年月日
A00200	B00300	C00400	4283	女 1980/8/8
B00300	A00200	C00400	9741	女 1980/8/8
C00400	A00200	B00300	1200	女 1980/8/8

(a-2') 自分の既登録A店カードIDに他人の未登録B店カードIDを統合要求

- S1 統合要求に含まれるカードIDからA店IDとB店IDを抽出
 S2 抽出された店舗IDが一致と判定
 S3 統合要求に含まれる既登録A店カードIDに対応付けられている既登録B店カードIDがあると判定
 S4 該既登録B店カードIDからB店IDを抽出
 S5 S1で抽出されたB店IDとS4で抽出されたB店IDが一致と判定
 S6 他人のB店カードIDを登録しない

【図 36】

(b) A店カードIDとB店カードIDを各々登録済				
会員カードID	他の会員カードID	暗証番号	性別	生年月日
A00300		6182	男	1975/6/1
B00400		3574	男	1975/6/1

(b-1) 自分の既登録A店カードIDに自分の既登録B店カードIDを統合要求

- S1 統合要求に含まれるカードIDからA店IDとB店IDを抽出
 S2 抽出された店舗IDが一致と判定
 S3 各カードIDに対応付けて登録

会員カードID	他の会員カードID	暗証番号	性別	生年月日
A00300	B00400	6182	男	1975/6/1
B00400	A00300	3574	男	1975/6/1

(b-2) 自分の既登録A店カードIDと他人の既登録A店カードIDとを統合要求

- S1 統合要求に含まれるカードIDからA店IDとA店IDを抽出
 S2 抽出された店舗IDが一致と判定
 S3 各カードIDの対応付けを行わない

(b') A店カードIDに対応付けてB店カードIDを登録済、かつC店カードIDを別個に登録済				
会員カードID	他の会員カードID	暗証番号	性別	生年月日
A00300	B00400	6182	男	1975/6/1
B00400	A00300	3574	男	1975/6/1
C00500		8776	男	1975/6/1

(b-1') 自分の既登録A店カードIDに自分の既登録C店カードIDを統合要求

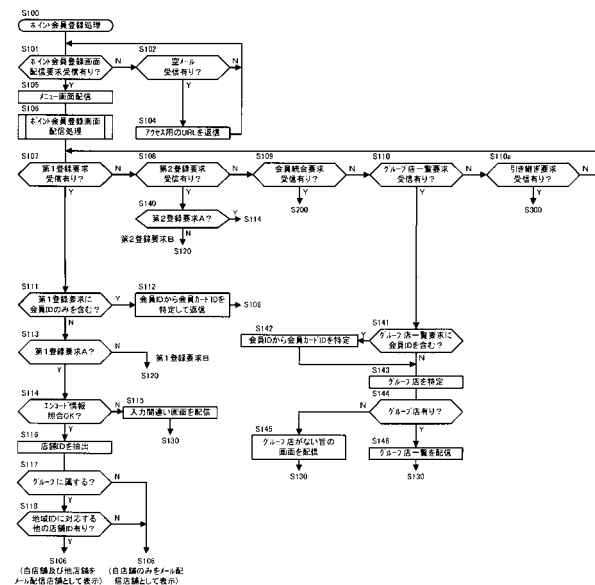
- S1 統合要求に含まれるカードIDからA店IDとC店IDを抽出
 S2 抽出された店舗IDが一致と判定
 S3 統合要求に含まれる既登録A店カードIDに対応付けられている既登録B店カードIDがあると判定
 S4 該既登録B店カードIDからB店IDを抽出
 S5 S1で抽出されたC店IDとS4で抽出されたB店IDが一致と判定
 S6 C店カードIDに対応付けてA店カードID、及びB店カードIDを登録
 S7 C店カードIDをA店カードID、及びB店カードIDに対応付けて登録

会員カードID	他の会員カードID	暗証番号	性別	生年月日	
A00300	B00400	C00500	6182	男	1975/6/1
B00400	A00300	C00500	3574	男	1975/6/1
C00500	A00300	B00400	8776	男	1975/6/1

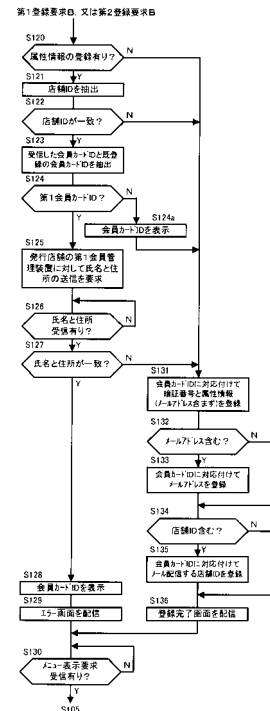
(b-2') 自分の既登録A店カードIDに他人の既登録B店カードIDを統合要求

- S1 統合要求に含まれるカードIDからA店IDとB店IDを抽出
 S2 抽出された店舗IDが一致と判定
 S3 統合要求に含まれる既登録A店カードIDに対応付けられている既登録B店カードIDがあると判定
 S4 該既登録B店カードIDからB店IDを抽出
 S5 S1で抽出されたB店IDとS4で抽出されたB店IDが一致と判定
 S6 他人のB店カードIDとの対応付けを行わない

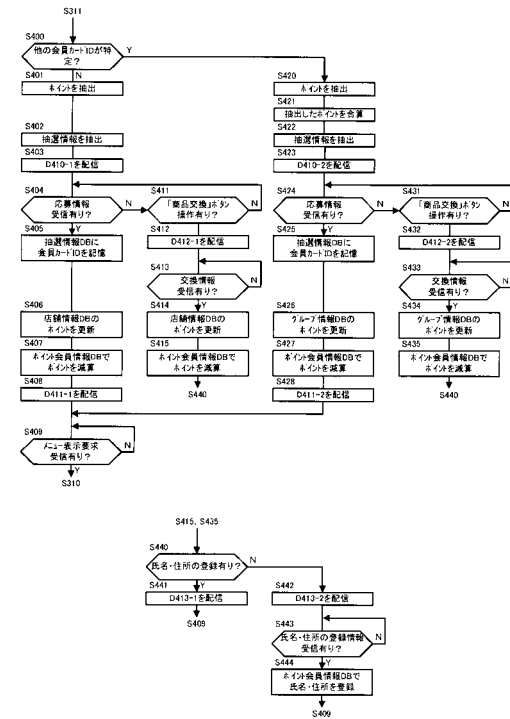
【図 37】



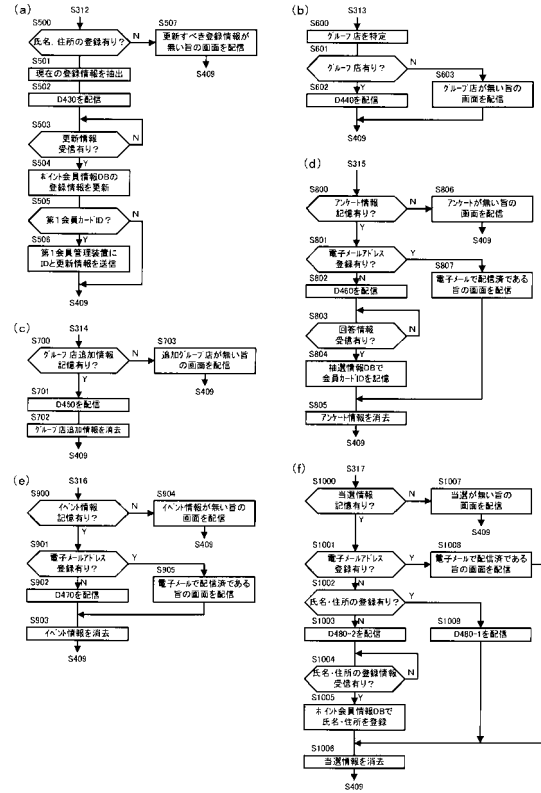
【図 38】



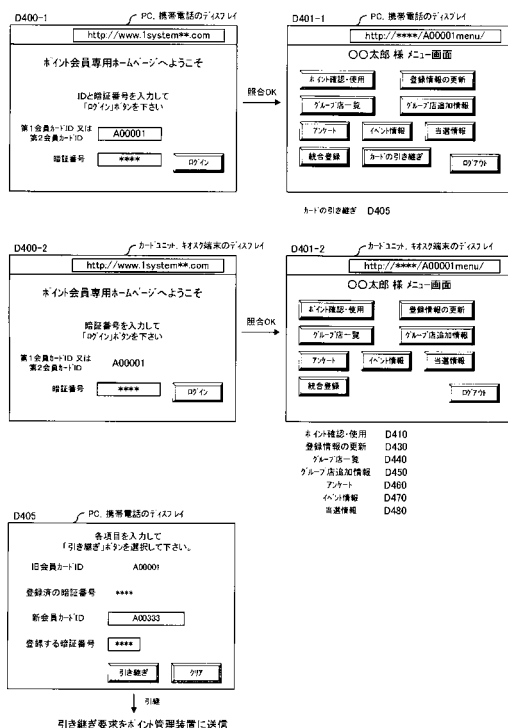
【図 4 3】



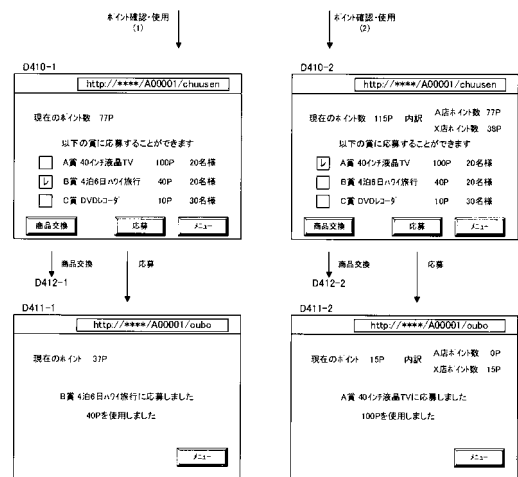
【図 4 4】



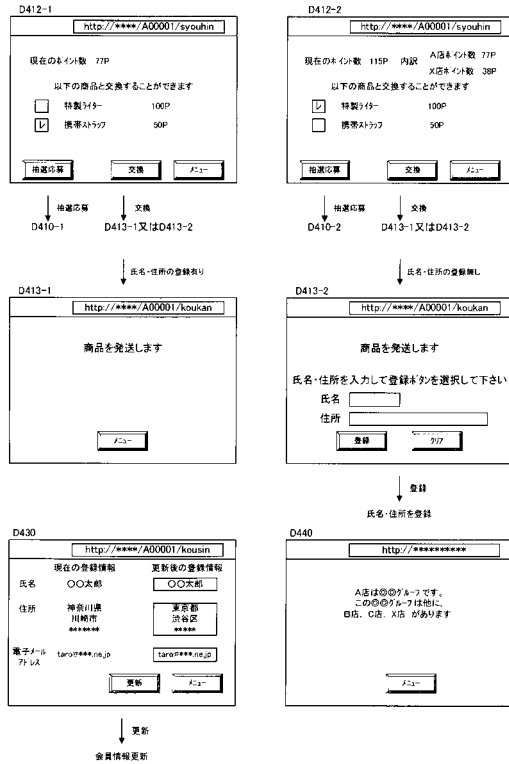
【図 4 5】



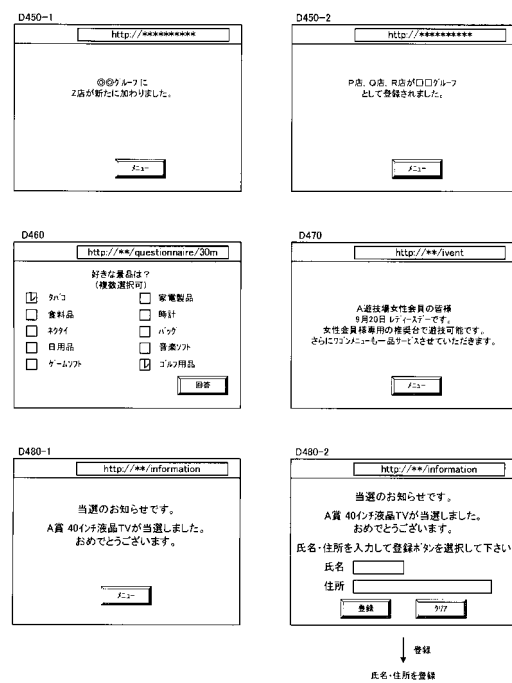
【图 4 6】



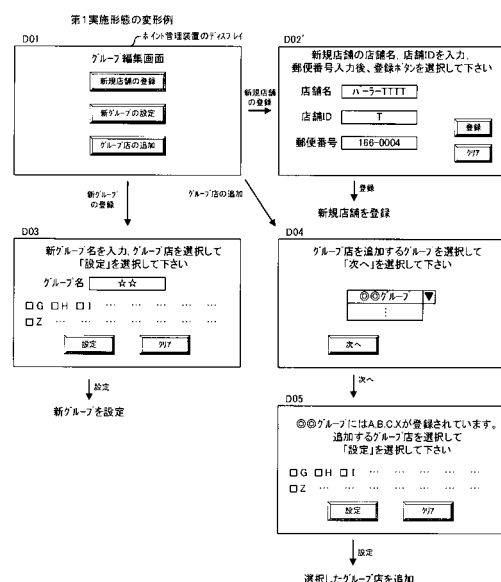
【図 47】



【図 48】



【図 49】



【図 50】

第1実施形態の変形例

(b') グループDB (ポイント管理装置)

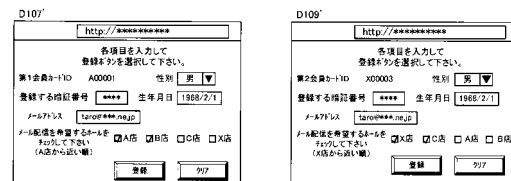
グループ名	郵便番号	店舗名	店舗ID	ポイント会員数	総獲得ポイント数	残ポイント数	当月使用ポイント数	商品交換
〇〇	167-0852	A店	A	755	8372	1328	2980	3000
	167-0841	B店	B	412	5536	1195	1830	1850
	221-0957	C店	C	395	5800	2350	950	1100
	221-0124	X店	X	1023	11235	3335	4480	2400
△△	170-0814	D店	D	2555	30845	8295	10220	8350
	170-0839	Y店	Y	155	7680	2220	2790	1350
××	158-0813	E店	E	378	12402	3002	2920	2350
	243-0835	F店	F	487	4450	1575	880	950
		グループ合計		573	4843	1823	340	1050

(c') 店舗DB (ポイント管理装置)

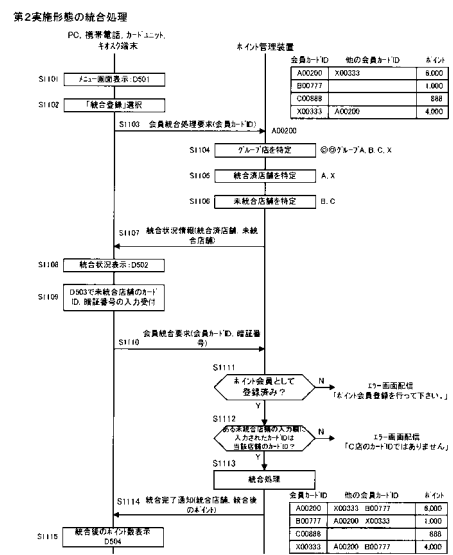
郵便番号	店舗名	店舗ID	ポイント会員数	総獲得ポイント数	残ポイント数	当月使用ポイント数	商品交換
289-0802	P店	P	124	3339	2451	450	450
281-0805	Q店	Q	756	4640	334	1100	1100
339-0851	R店	R	858	9347	5238	3650	3690

【図 51】

第1実施形態の変形例



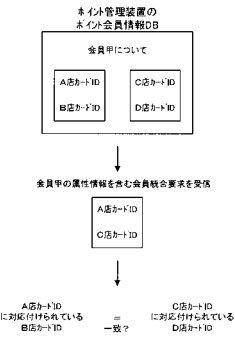
【図 5 3】



【図 5 5】



【図 56】



フロントページの続き

- (72)発明者 福田 秀樹
東京都渋谷区渋谷 3-28-13 渋谷新南口ビル 日本ゲームカード株式会社内
- (72)発明者 植原 洋
東京都渋谷区渋谷 3-28-13 渋谷新南口ビル 日本ゲームカード株式会社内
- (72)発明者 宇多村 由紀子
東京都渋谷区渋谷 3-28-13 渋谷新南口ビル 日本ゲームカード株式会社内

審査官 土屋 保光

- (56)参考文献 特開 2006-141882 (JP, A)
特開 2005-177164 (JP, A)
特開 2003-303298 (JP, A)
特開 2002-260097 (JP, A)
特開平 06-068357 (JP, A)

- (58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
- | | |
|--------|-------|
| A 63 F | 7/02 |
| A 63 F | 5/04 |
| G 06 F | 17/60 |
| G 06 K | 17/00 |
| G 06 K | 19/00 |
| G 06 Q | 30/00 |
| G 06 Q | 50/00 |
| G 07 G | 1/12 |